

**第6期高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書**

目次

1. 調査概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査方法	1
3) 回収状況	1
4) 集計上の注意	2
2. 調査結果	3
ご本人について	3
お住まいと世帯について	17
健康・医療について	30
運動・外出状況について	45
こころの状況について	54
日常生活について	55
社会参加などについて	63
介護保険について	68
相談ごと・情報について	105
高齢者施策について	113
介護者について	118
生活状況評価（うつ予防・支援）	132
自由回答	133

1. 調査概要

1) 調査の目的

本調査は、平成 27 年 4 月から始まる「箕面市第 6 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定のための基礎資料とするため、第 2 号被保険者（40～64 歳の市民）、第 1 号被保険者（65 歳以上の市民）および要支援・要介護認定を受けている人を対象に、本人の生活実態とともに、介護保険制度や保健福祉施策に対する意識・動向、サービスの利用状況等を把握することを目的に実施しました。

2) 調査方法

■調査期間 : 平成 25 年 11 月 28 日～12 月 18 日

■調査基準日 : 平成 25 年 10 月 1 日

■調査方法 : 郵送による配布・回収、無記名調査、調査時期の中間で督促状を送付

■調査対象

調査名称	調査対象	人数
第 2 号被保険者調査	40～64 歳の市民（要支援・要介護認定者を除く）	500 人（無作為抽出）
第 1 号被保険者調査	65 歳以上の市民（要支援・要介護認定者を除く）	500 人（無作為抽出）
要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定者	500 人（無作為抽出）

3) 回収状況

調査名称	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
第 2 号被保険者調査	500	288	57.6%	288	57.6%
第 1 号被保険者調査	500	405	81.0%	405	81.0%
要支援・要介護認定者調査	500	341	68.2%	319	63.8%

※要支援・要介護認定者調査については、集計上で「要支援」および「要介護」に分類するため、要介護度が不明なものも無効としています。

4) 集計上の注意

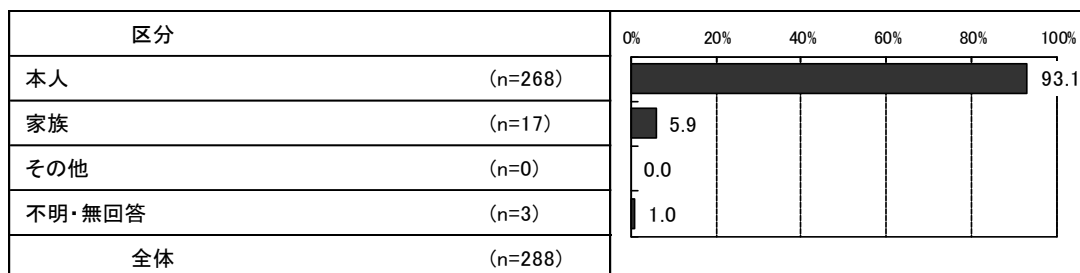
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は、少数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100.0%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100.0%を超えます。
- 図表中の「不明・無回答」については、回答が示されていない、または、回答の判別が著しく困難なものです。
- 図表中の「全体」については、クロス項目の不明・無回答者も含みます。該当する図表番号に「*」を付しています。
- 本文中の設問の選択肢については、長文のものは簡略化して記載している場合があります。
- 本報告書のタイトルや分析文における【2号】【1号】【要支援】【要介護】については、以下のとおりです。
 - 【2号】：第2号被保険者調査
 - 【1号】：第1号被保険者調査
 - 【要支援】：要支援・要介護認定者調査の要支援認定者抜粋
 - 【要介護】：要支援・要介護認定者調査の要介護認定者抜粋

2. 調査結果

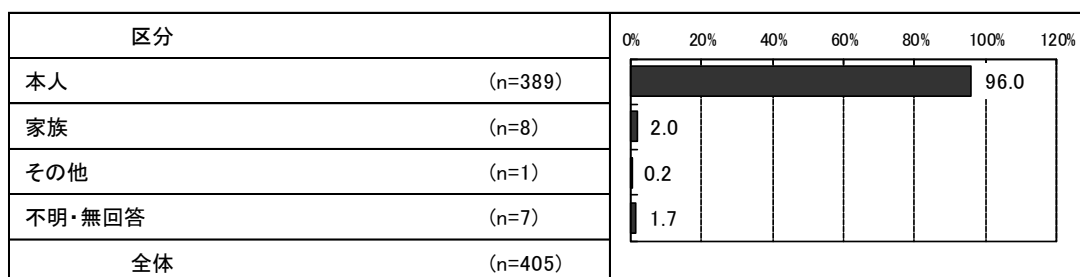
ご本人について

図表1 ○ この調査に回答されるかたはどなたですか。

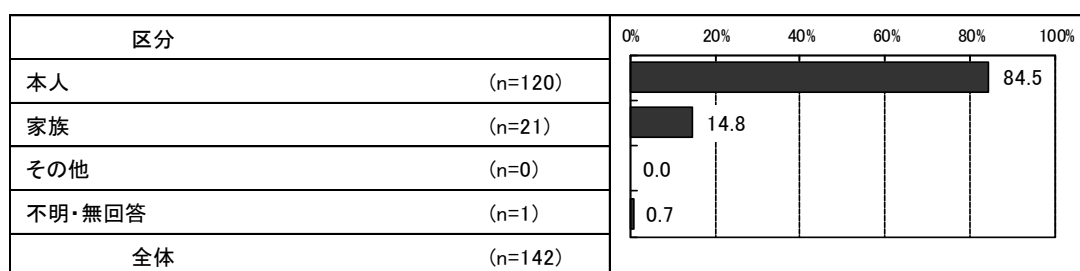
【2号】



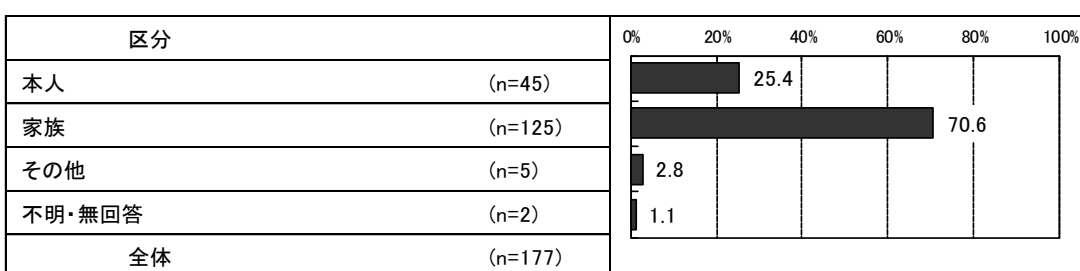
【1号】



【要支援】



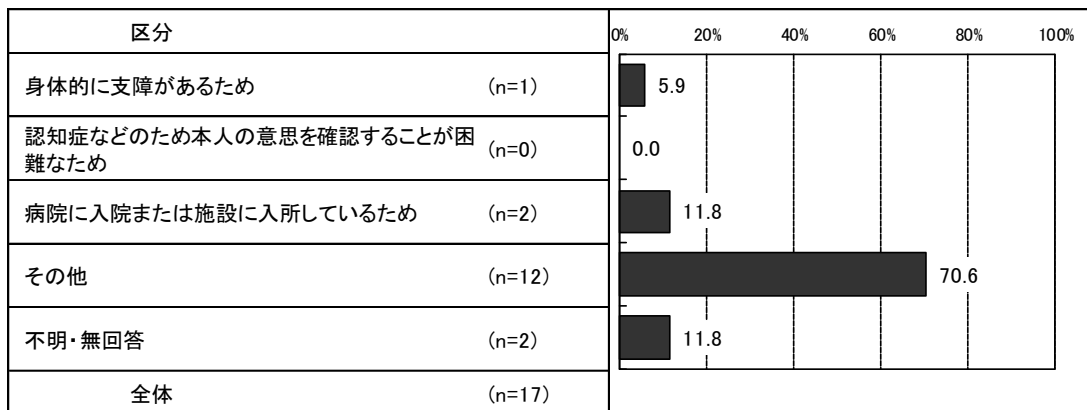
【要介護】



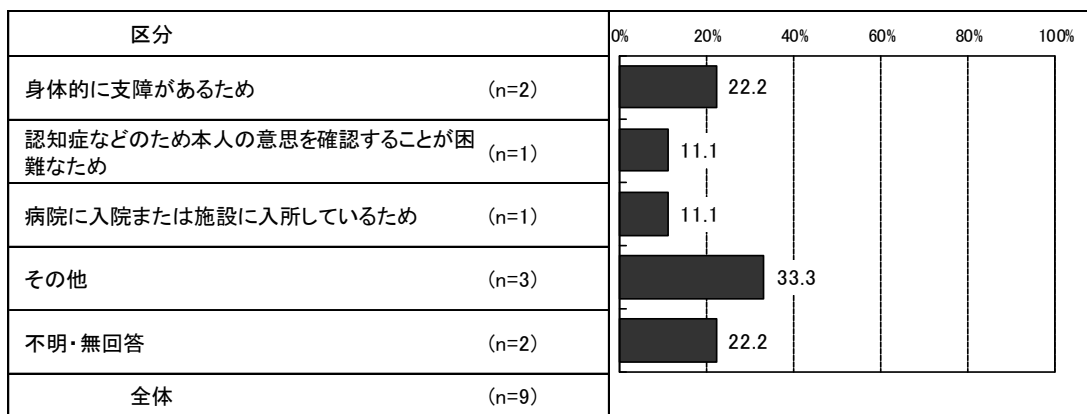
回答者については、【2号】【1号】【要支援】では「本人」が最も多くなっていますが、【要介護】では「家族」が最も多くなっており、「本人」は 25.4%となっています。

図表2 ○ ご本人が回答できない理由

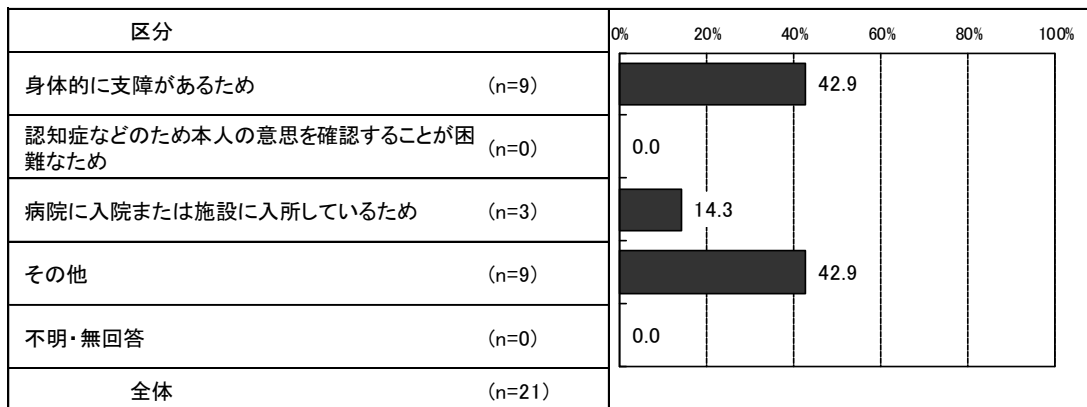
【2号】



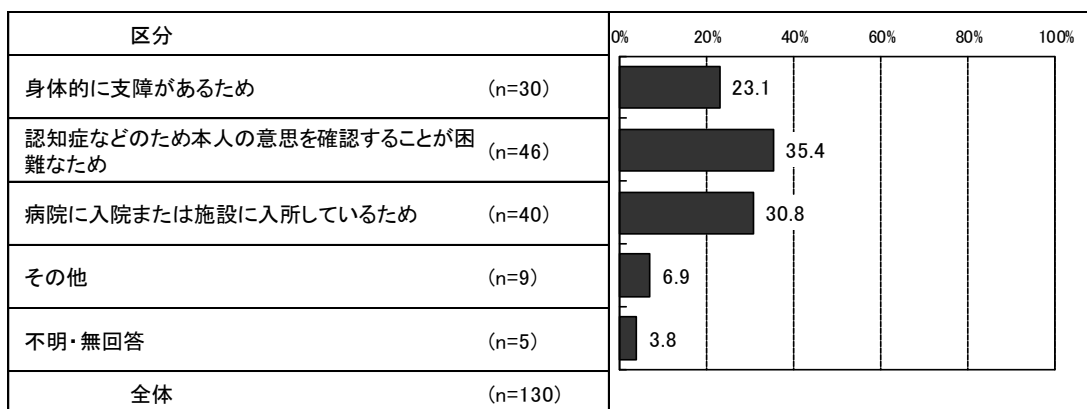
【1号】



【要支援】

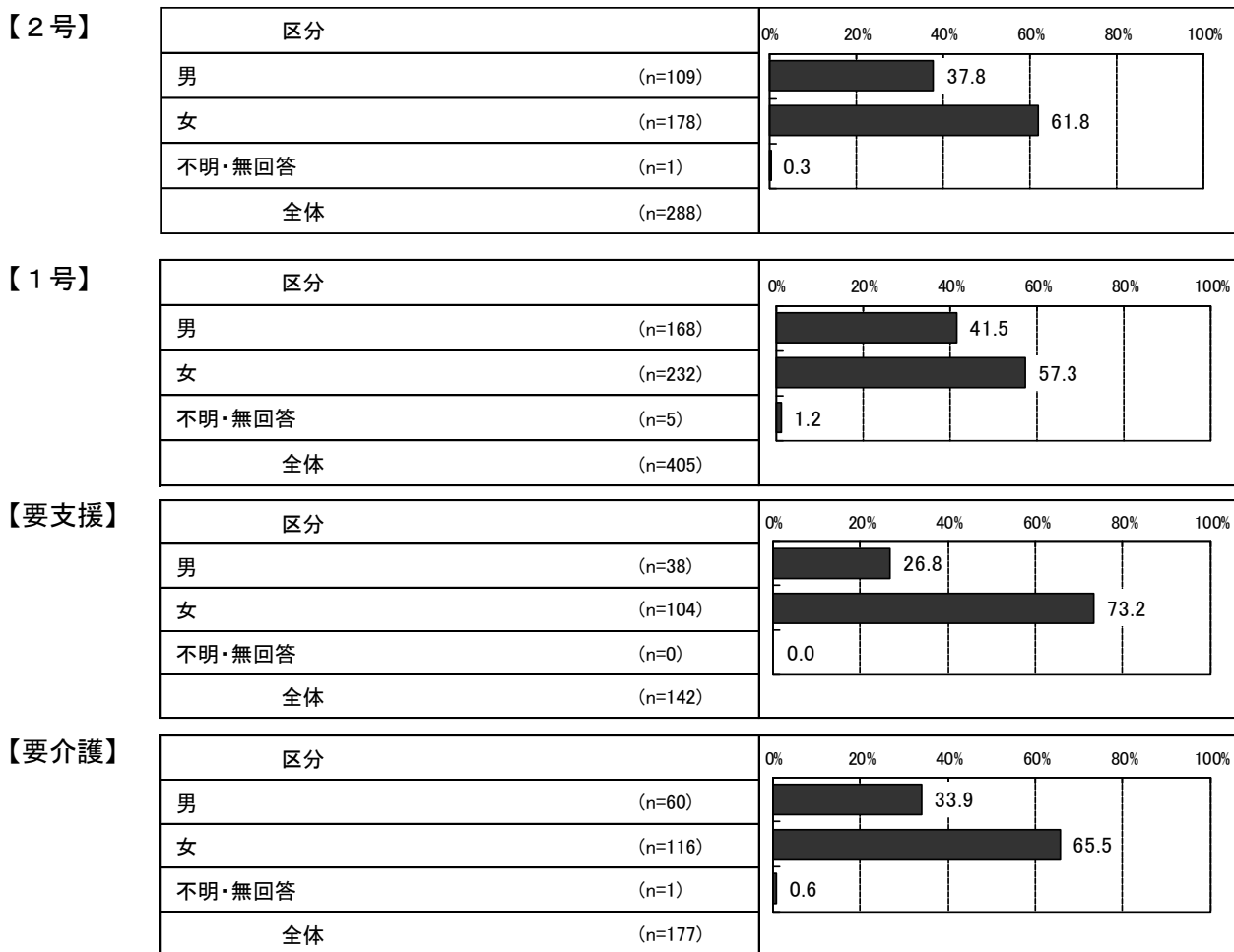


【要介護】



調査対象者が回答できない理由については、【要介護】では「認知症などのため本人の意思を確認することが困難なため」が最も多くなっており、【要支援】では「身体的に支障があるため」「その他」が最も多く、【2号】や【1号】では「その他」が最も多くなっています。

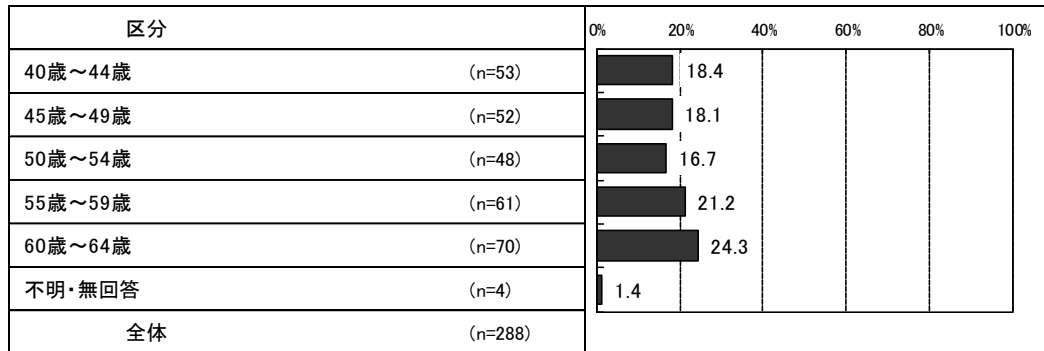
図表3 ○ あなたの性別はどちらですか。



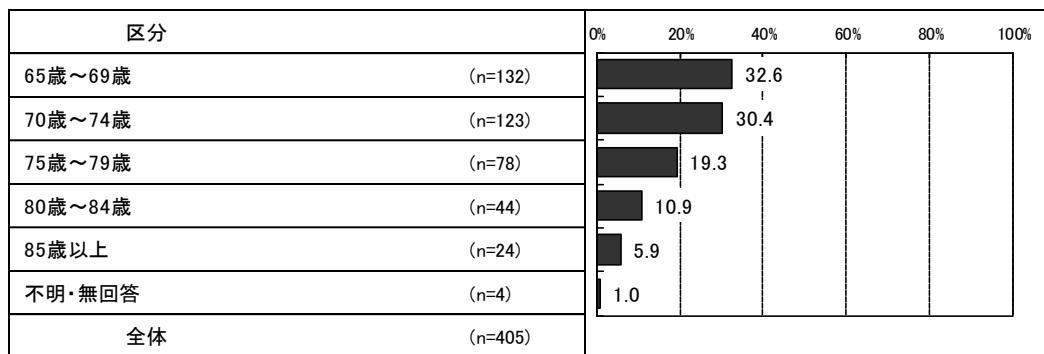
調査対象者の性別については、【2号】【1号】【要支援】【要介護】ともに「女性」の割合が高くなっています。

図表4 ○ 平成25年(2013年)10月1日現在で何歳ですか。

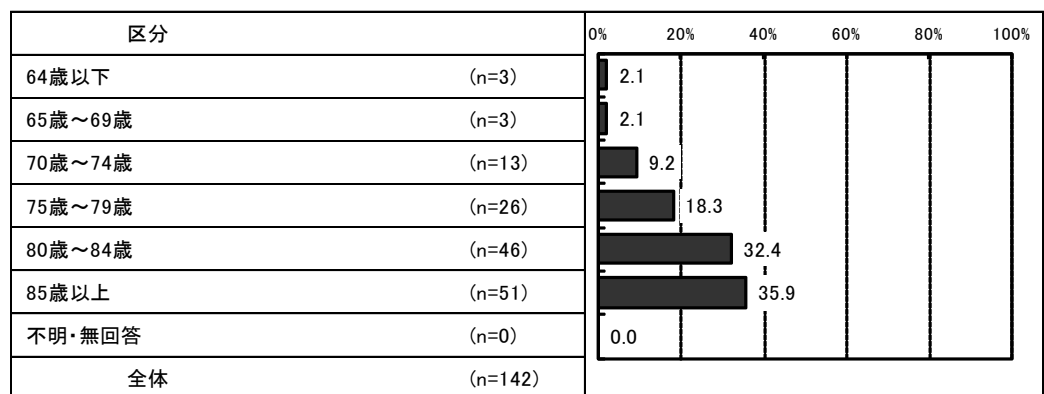
【2号】



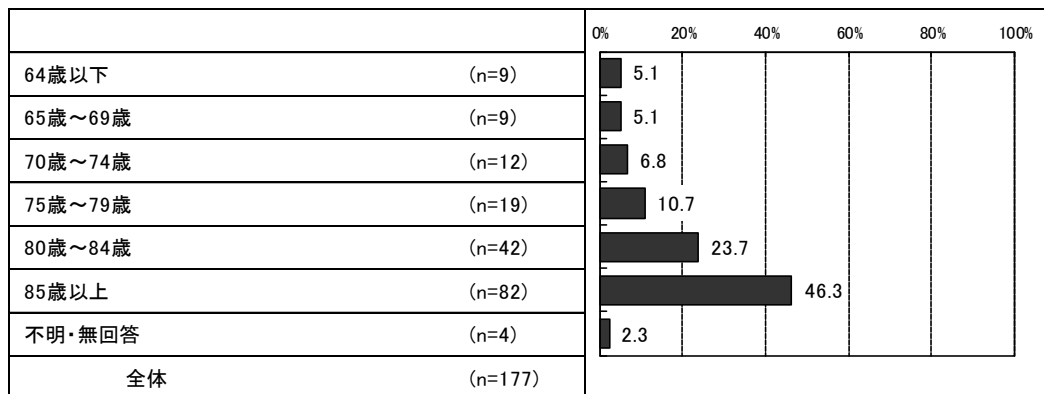
【1号】



【要支援】



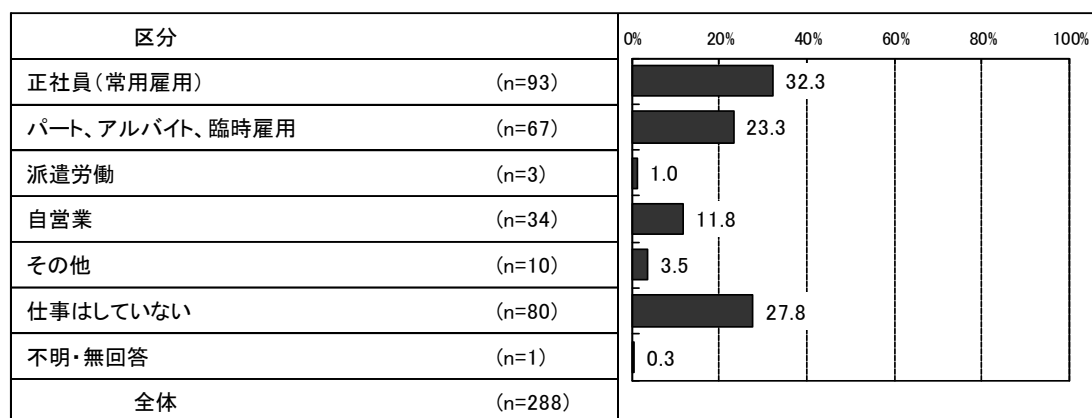
【要介護】



調査対象者の年齢については、【1号】では年齢とともに回答者の構成割合が低くなり、【要支援】【要介護】では年齢とともに構成割合が高くなっています。また、【2号】については、「40歳～44歳」、「45歳～49歳」、「50歳～54歳」、「55歳～59歳」の年齢区分の構成割合はいずれも2割程度を占め、「60歳～64歳」では2割台半ばを占めています。

図表5 ○ あなたの就労状況についておたずねします。

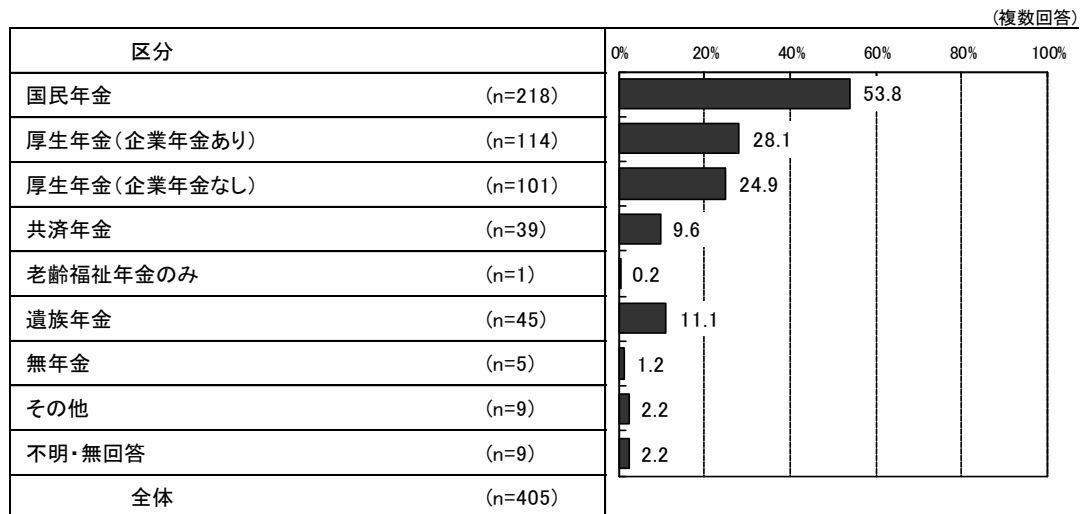
【2号】



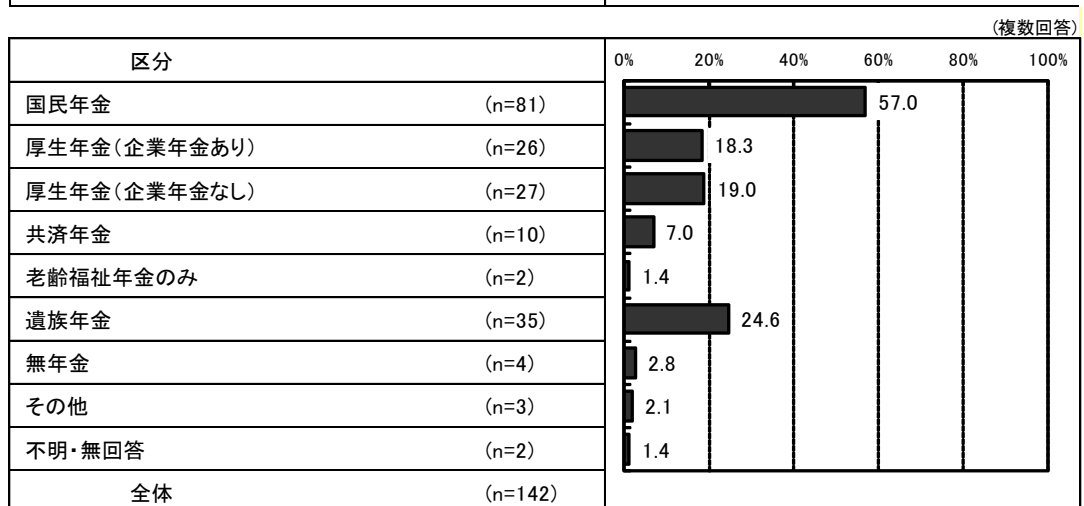
【2号】の就労状況については、「正社員（常用雇用）」が32.3%で最も高く、「仕事はしていない」が27.8%、「パート、アルバイト、臨時雇用」が23.3%が続いています。

図表6 ○ あなたが受けとっている年金の種類はどれですか。

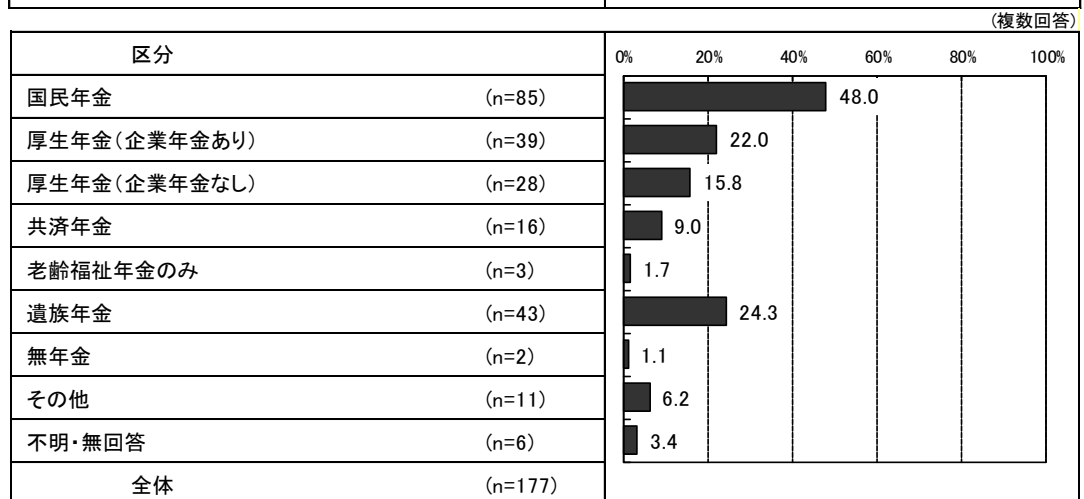
【1号】



【要支援】



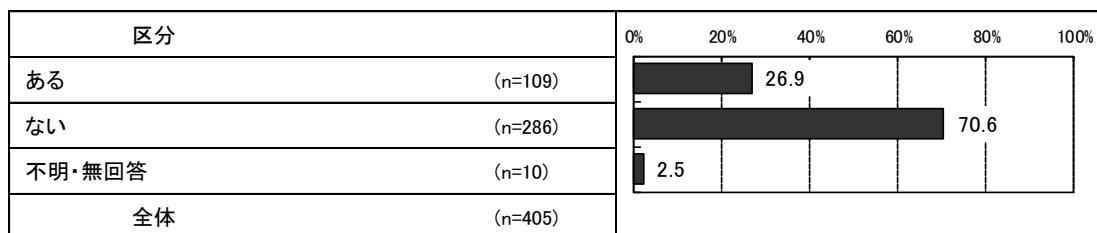
【要介護】



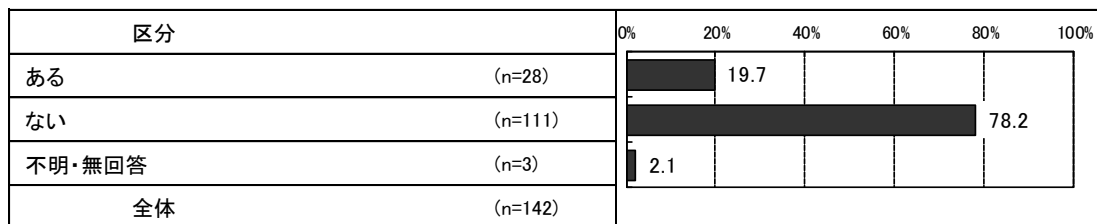
加入している年金の種類については、【1号】では、「国民年金」が最も多く、「厚生年金(企業年金あり)」や「厚生年金(企業年金なし)」が続いています。【要支援】では、「国民年金」が最も多く、「遺族年金」や「厚生年金(企業年金なし)」が続いています。【要介護】では、「国民年金」が最も多く、「厚生年金(企業年金あり)」や「遺族年金」が続いています。

図表7 ○ 年金以外に収入がありますか。

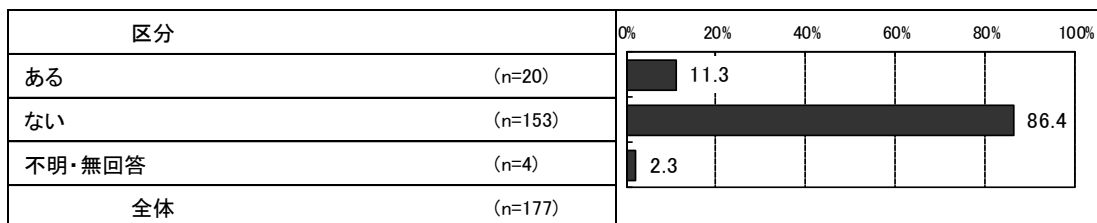
【1号】



【要支援】



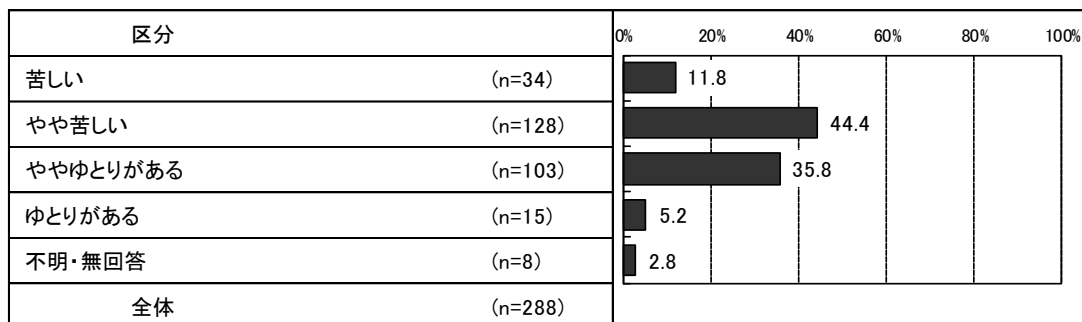
【要介護】



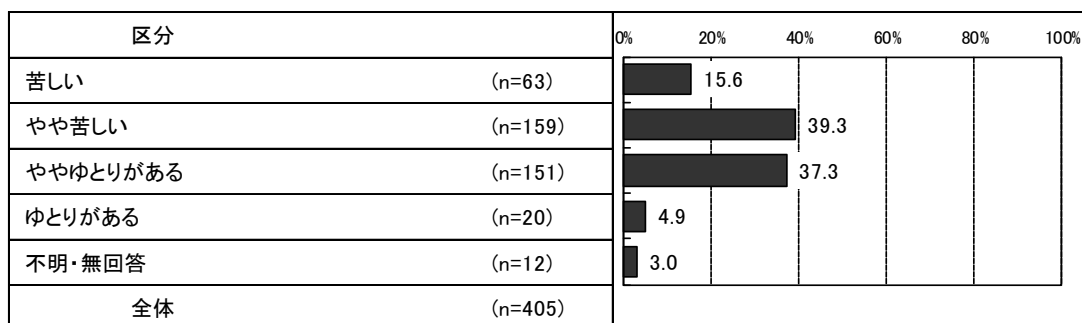
年金以外の収入については、すべての区分で、年金以外の収入が「ない」の割合が高くなっており、「ある」については、【1号】で26.9%となっています。

図表8 ○ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じますか。

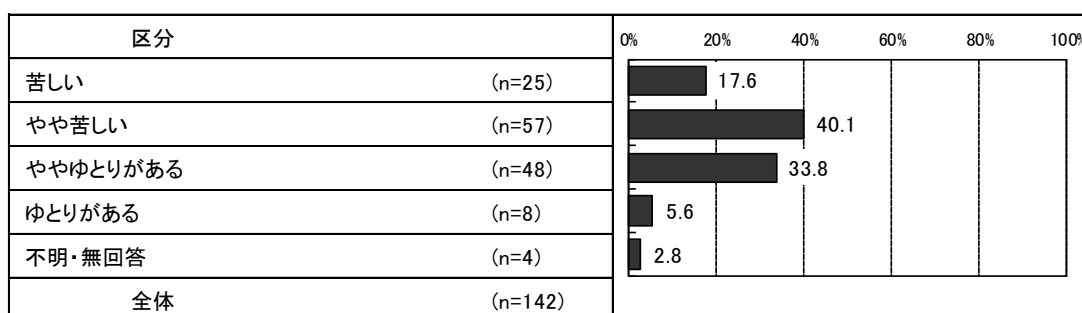
【2号】



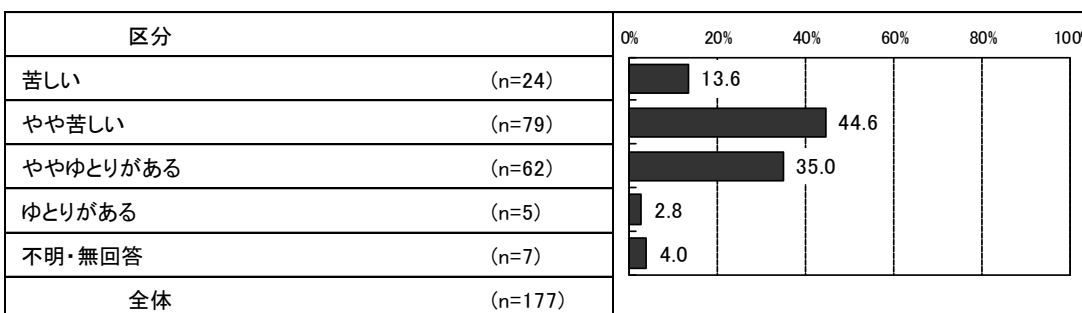
【1号】



【要支援】



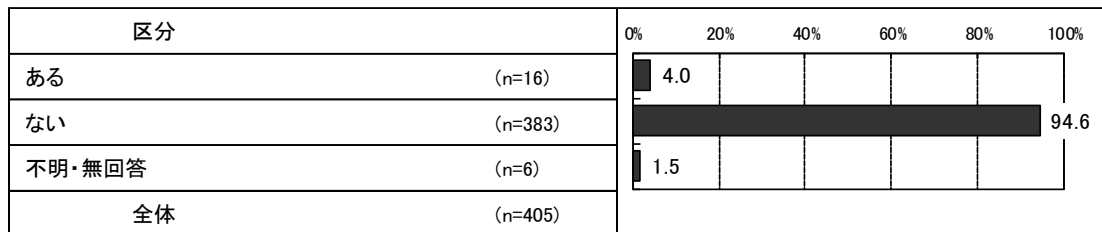
【要介護】



現在の暮らしの状況を経済的にみた結果については、すべての区分で、経済的に「やや苦しい」が最も多くなっており、経済的に苦しいとする人（「苦しい」「やや苦しい」）が約6割を占めています。【要支援】【要介護】では、経済的に苦しいとする人の割合が、【2号】【1号】を上回っています。

図表9 ○ あなたは、介護保険の要介護認定を申請したことがありますか。

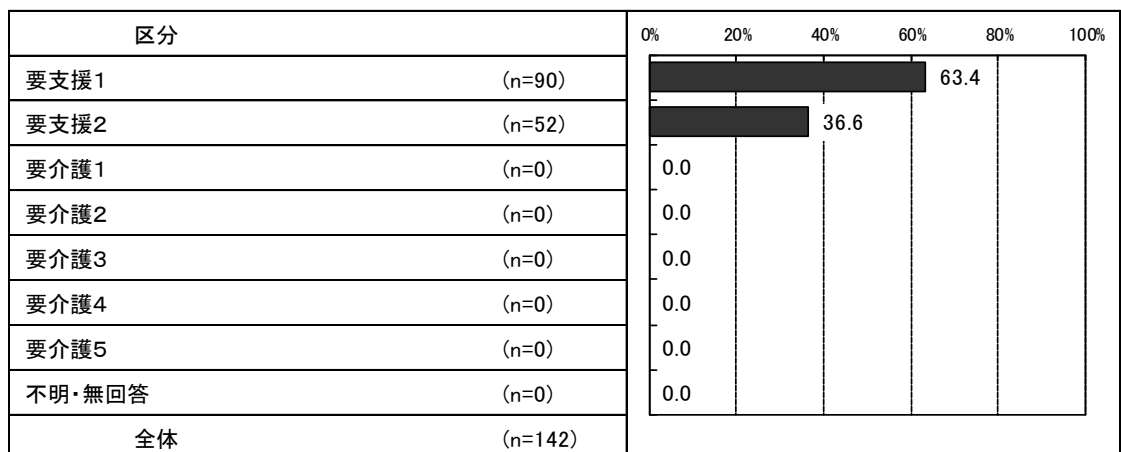
【1号】



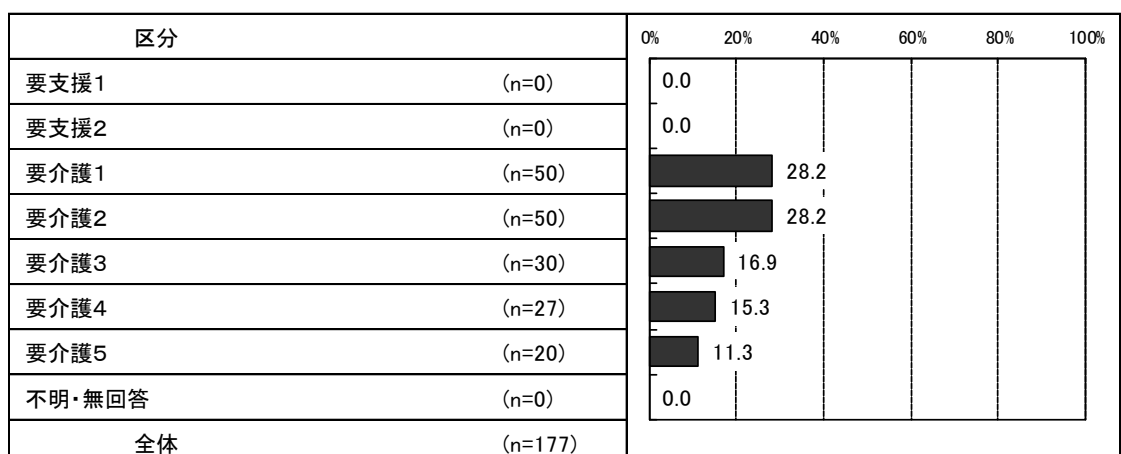
【1号】の介護保険要介護認定の申請有無については、「ない」が94.6%を占めています。

図表10 ○ あなたの現在の要介護度はどれですか。

【要支援】



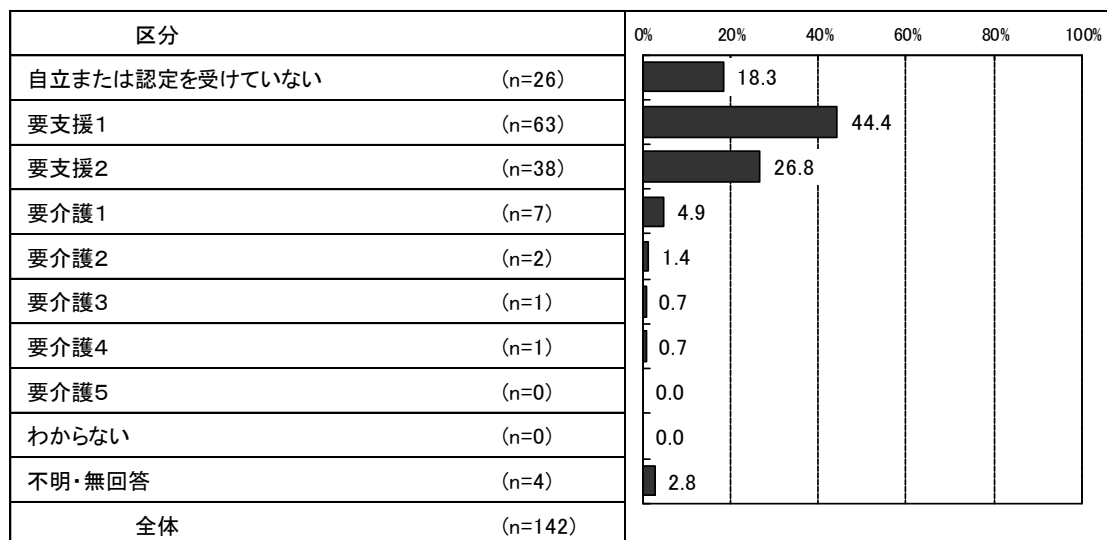
【要介護】



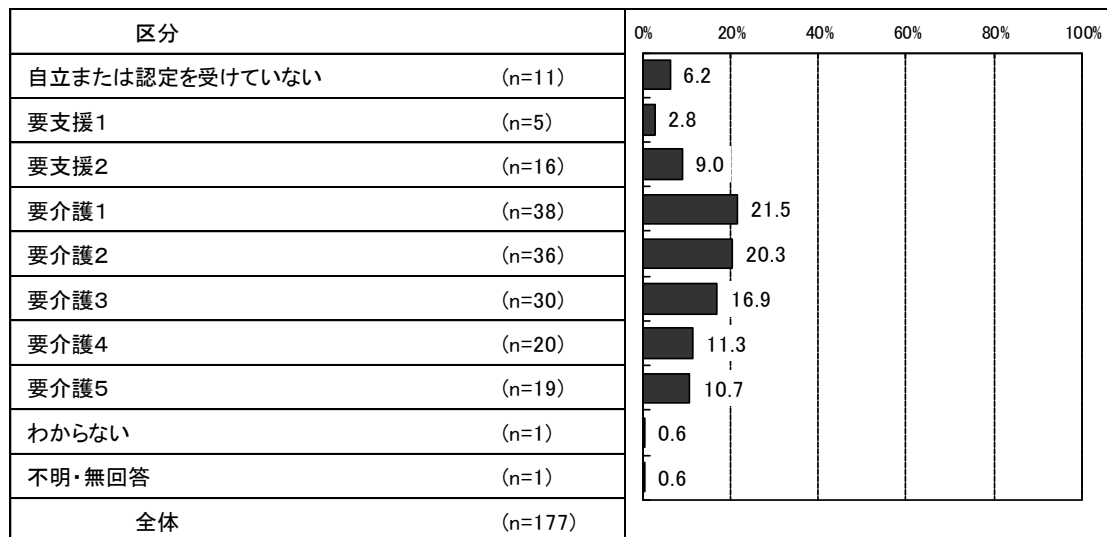
調査対象者の要介護度については、【要支援】では、「要支援1」が63.4%、「要支援2」が36.6%となっています。また、【要介護】では、「要介護1」が28.2%、「要介護2」が28.2%となっており、要介護1および2で過半数を占めています。

図表 11 ○ 1年前の要支援・要介護度はどれでしたか。

【要支援】



【要介護】



1年前の要支援・要介護度については、【要支援】では、「要支援1」が44.4%で最も高く、「要支援2」が26.8%、「自立または認定を受けていない」が18.3%と続いています。【要介護】では、「要介護1」が21.5%で最も高く、「要介護2」が20.3%、「要介護3」が16.9%で続いています。

図表 11-1 ■ 要介護度別状態変化の状況

以下の表では、縦軸に「現在の要介護度」を、横軸に「1年前の要介護度」をとっています。縦軸と横軸をクロスし、同じ要介護度の人は「1年前の要介護状態を維持している人」であり、縦軸の要介護度と同じ横軸の要介護度から右側に位置する人は、この1年で「要介護状態が軽度化した人」を、左側に位置する人は、「要介護状態が重度化した人」を示します。

【要支援】介護保険サービス利用者の要介護度の変化

上段(人) 下段(%)		1年前の要介護度										
		全体	自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答
現在の要介護度	全体	90	10	40	29	6	2	0	1	0	0	2
		100.0	11.1	44.4	32.2	6.7	2.2	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2
	要支援1	52	8	34	7	1	0	0	1	0	0	1
		100.0	15.4	65.4	13.5	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9
	要支援2	38	2	6	22	5	2	0	0	0	0	1
		100.0	5.3	15.8	57.9	13.2	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

「要介護状態が重度化した人」
「1年前の要介護状態を維持している人」「要介護状態が軽度化した人」

【要支援】介護保険サービス未利用者の要介護度の変化

上段(人) 下段(%)		1年前の要介護度										
		全体	自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答
現在の要介護度	全体	45	13	22	6	1	0	1	0	0	0	2
		100.0	28.9	48.9	13.3	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4
	要支援1	32	11	18	2	0	0	0	0	0	0	1
		100.0	34.4	56.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	要支援2	13	2	4	4	1	0	1	0	0	0	1
		100.0	15.4	30.8	30.8	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7

「要介護状態が重度化した人」
「1年前の要介護状態を維持している人」「要介護状態が軽度化した人」

要支援者について、要介護度別状態変化の状況をみると、1年前と比べて「現状維持」または「軽度化」した人は、介護保険サービス利用者で、現在の要介護度「要支援1」が80.8%、「要支援2」が76.4%、未利用者で、現在の要介護度「要支援1」が62.6%、「要支援2」が46.2%となっています。「要支援1」「要支援2」ともに、サービス利用者の「現状維持」「軽度化」した人がサービス未利用者より上回っています。

【要介護】介護保険サービス利用者の要介護度の変化

上段(人) 下段(%)		1年前の要介護度										
		全体	自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答
現在の要介護度	全体	160	9	4	16	33	31	30	19	16	1	1
		100.0	5.6	2.5	10.0	20.6	19.4	18.8	11.9	10.0	0.6	0.6
	要介護1	44	7	2	8	25	1	1	0	0	0	0
		100.0	15.9	4.5	18.2	56.8	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護2	43	2	0	7	6	24	1	1	1	0	1
		100.0	4.7	0.0	16.3	14.0	55.8	2.3	2.3	2.3	0.0	2.3
	要介護3	30	0	1	0	1	5	21	2	0	0	0
		100.0	0.0	3.3	0.0	3.3	16.7	70.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	要介護4	26	0	1	1	1	1	6	13	3	0	0
		100.0	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	23.1	50.0	11.5	0.0	0.0
	要介護5	17	0	0	0	0	0	1	3	12	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6	70.6	5.9	0.0

「要介護状態が重度化した人」

「1年前の要介護状態を維持している人」
「要介護状態が軽度化した人」

【要介護】介護保険サービス未利用者の要介護度の変化

上段(人) 下段(%)		1年前の要介護度										
		全体	自立または未認定	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	不明・無回答
現在の要介護度	全体	15	2	1	0	5	4	0	1	2	0	0
		100.0	13.3	6.7	0.0	33.3	26.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0
	要介護1	6	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0
		100.0	16.7	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護2	6	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0
		100.0	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

「要介護状態が重度化した人」

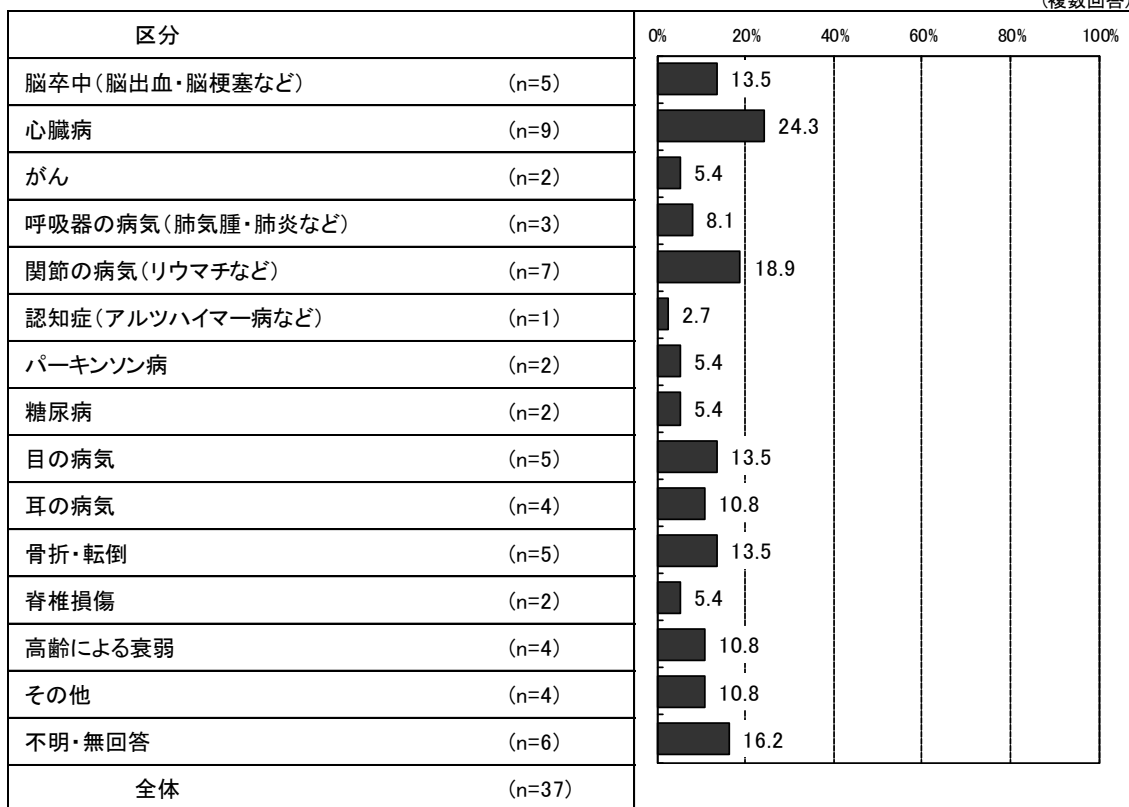
「1年前の要介護状態を維持している人」
「要介護状態が軽度化した人」

要介護者について、要介護度別状態変化の状況をみると、「現状維持」または「軽度化」した人は、介護保険サービス利用者で「要介護1」が61.4%、サービス未利用者で83.4%となっており、サービス未利用者の割合が上回っています。一方、「要介護2」ではサービス利用者がサービス未利用者の割合が上回っています。

図表 12 ○ 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。

【1号】

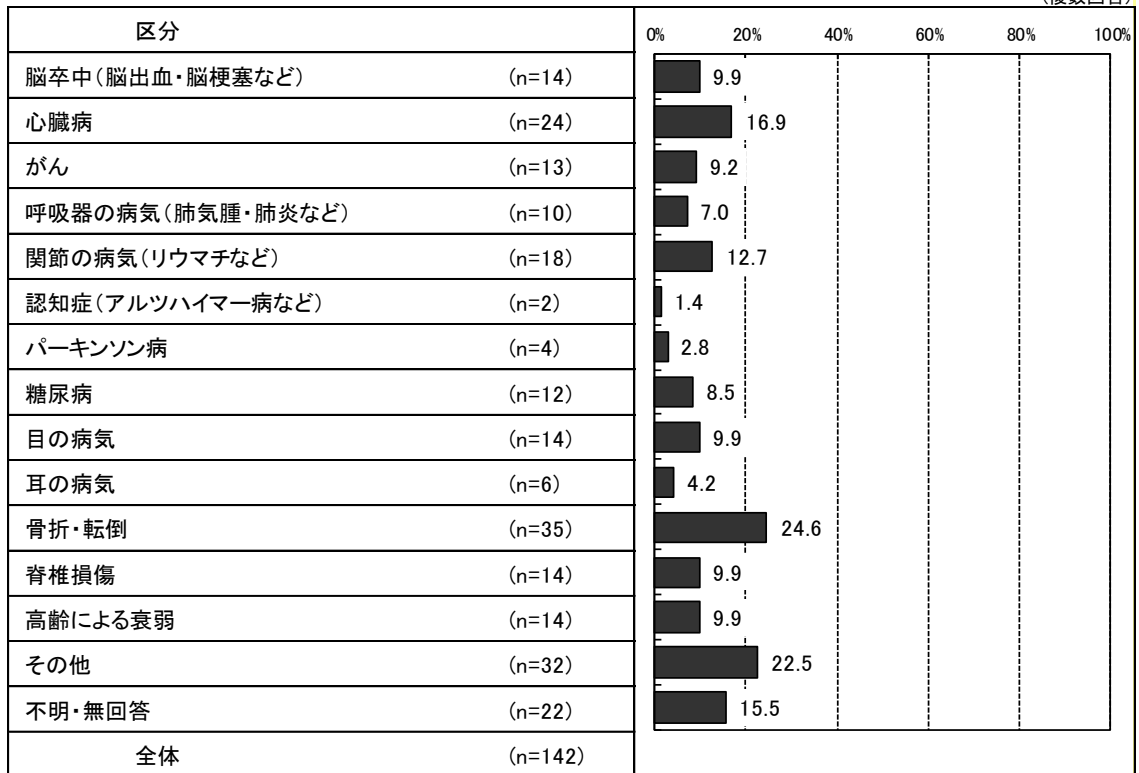
(複数回答)



【1号】で介護・介助が必要な人について、その主な原因をみると、「心臓病」が24.3%で最も高く、「関節の病気」(18.9%)、「脳卒中」(13.5%)、「目の病気」(13.5%)、「骨折・転倒」(13.5%)が続いています。

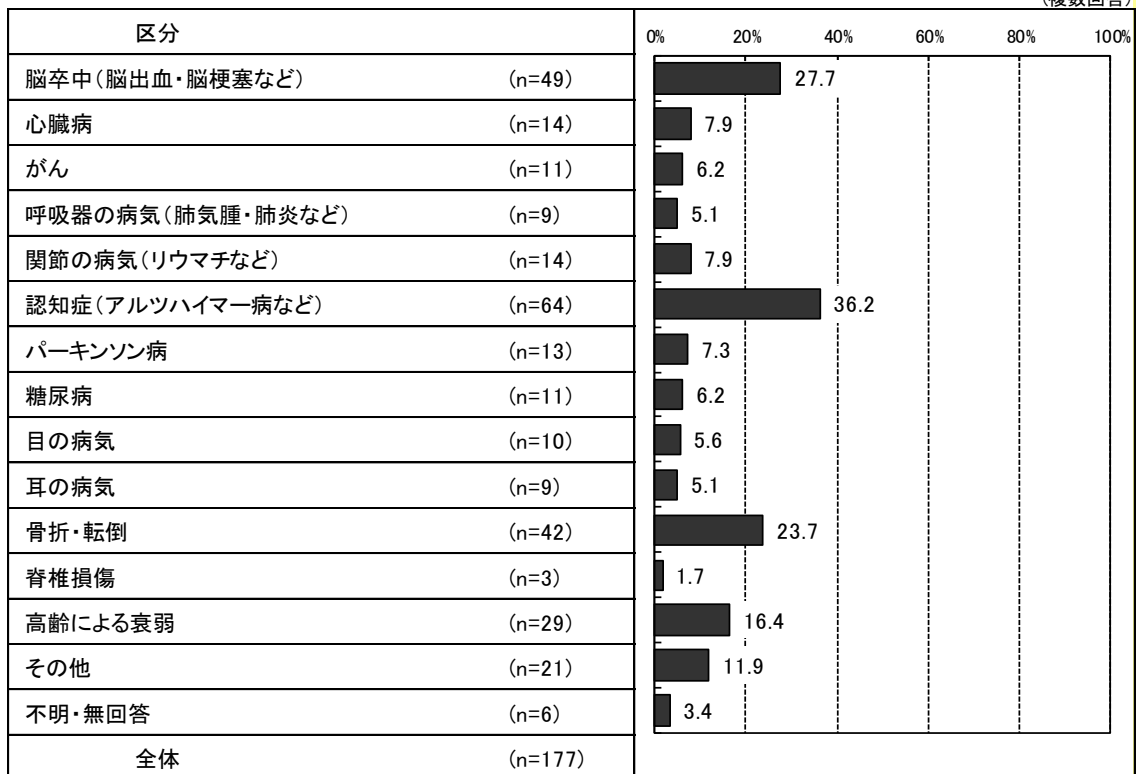
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

(複数回答)

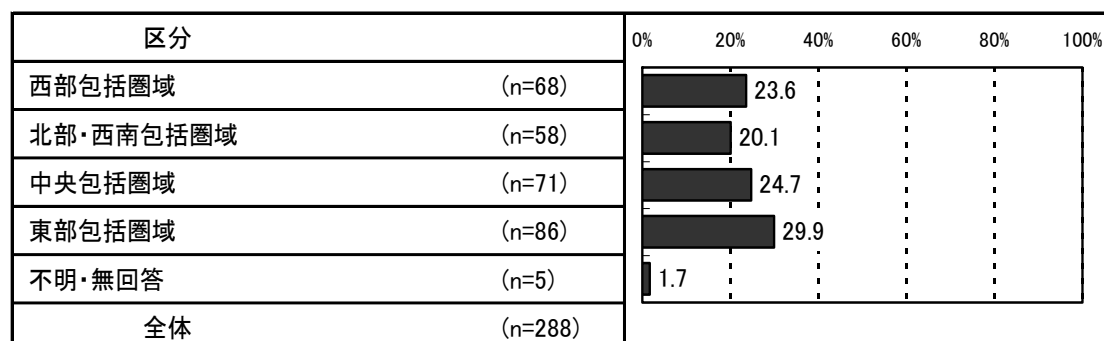


要支援・要介護状態になった原因については、【要支援】では「骨折・転倒」、「心臓病」、「関節の病気」が上位を占めています。また、【要介護】では、「認知症」が36.2%で最も高く、「脳卒中」や「骨折・転倒」などが続きます。

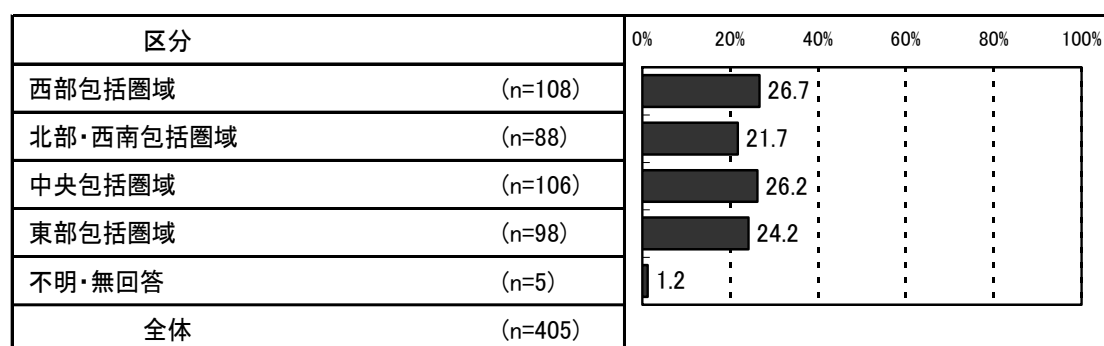
お住まいと世帯について

図表 13 ○ あなたのお住まいの地域はどこですか。

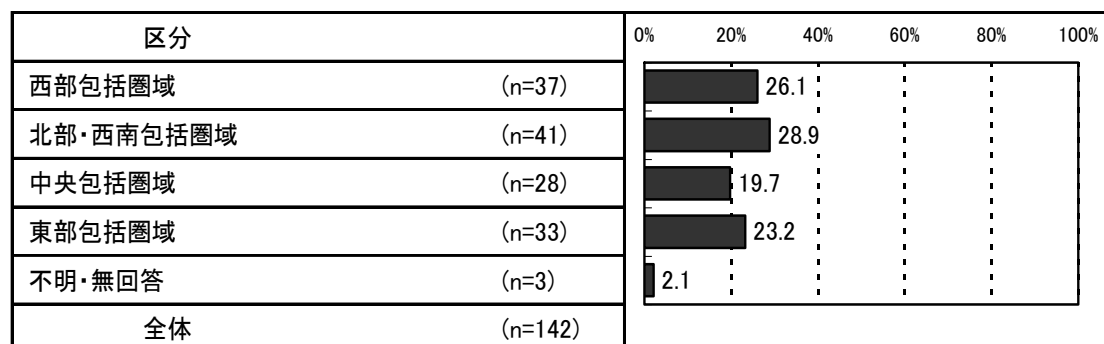
【2号】



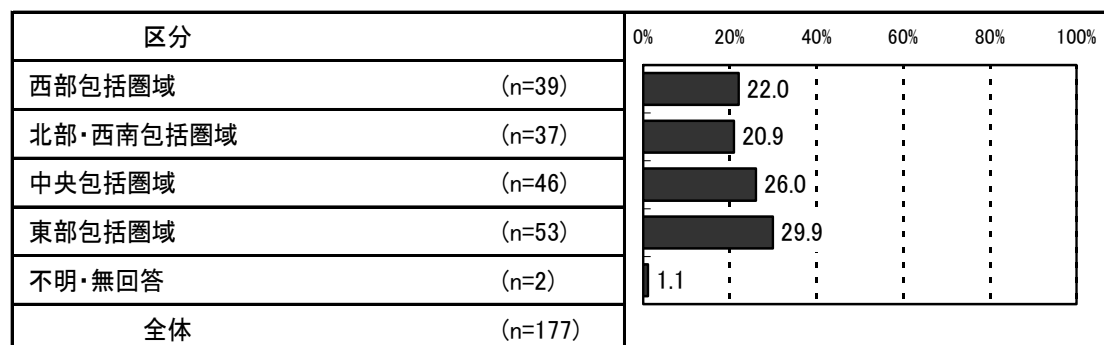
【1号】



【要支援】



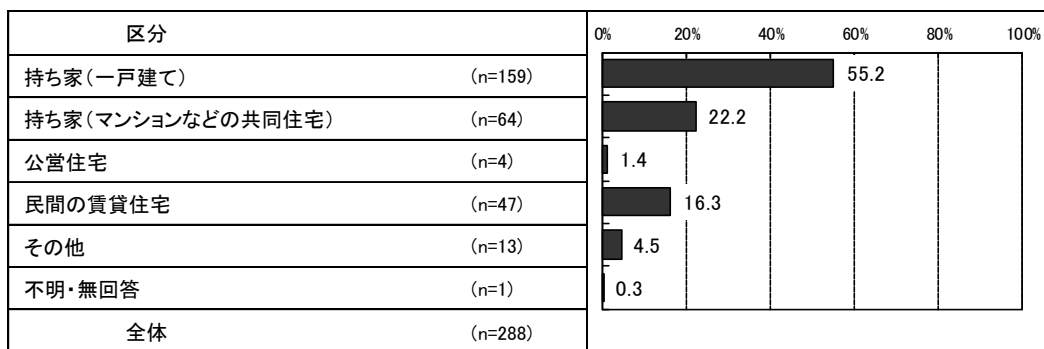
【要介護】



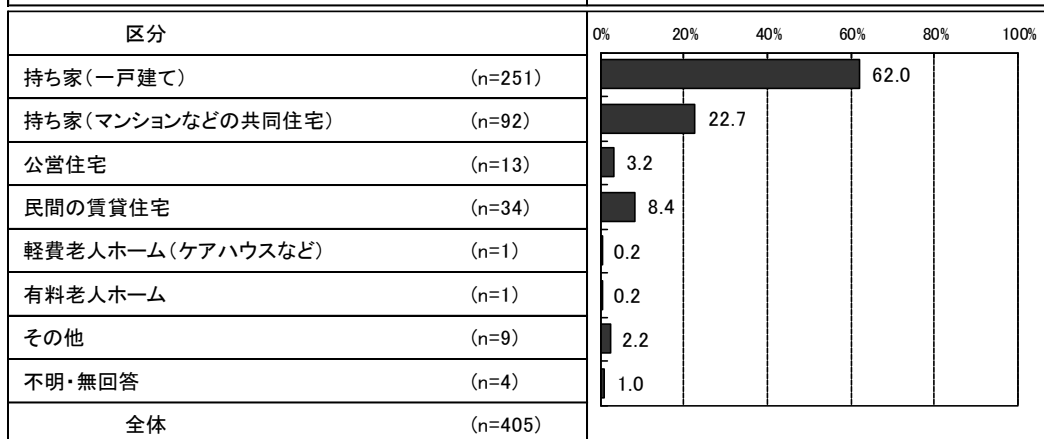
居住地域については、【2号】では「中央包括圏域」や「東部包括圏域」、【1号】では「西部包括圏域」や「中央包括圏域」、【要支援】では「西部包括圏域」や「北部・西南包括圏域」、【要介護】では「中央包括圏域」や「東部包括圏域」の割合が高くなっています。

図表 14 ○ 現在のお住まいについておたずねします。

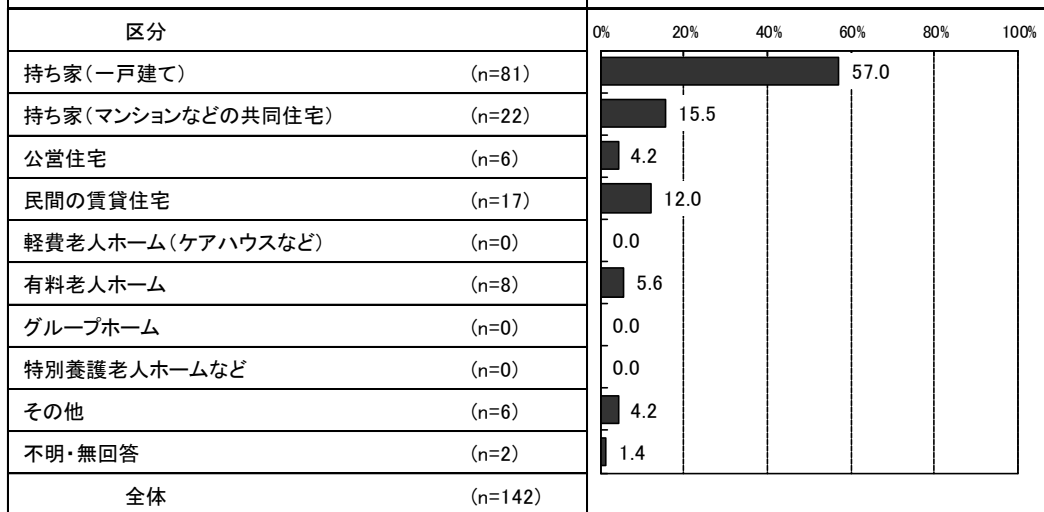
【2号】



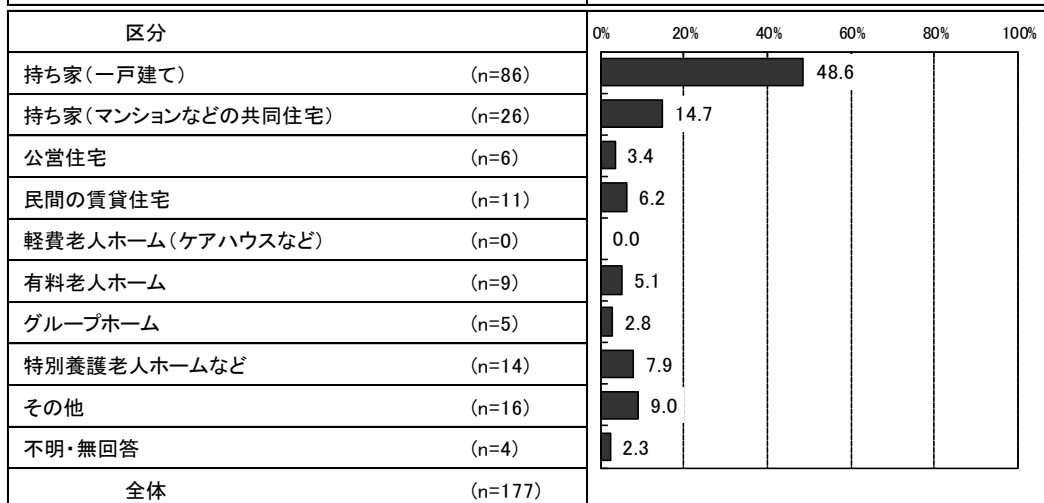
【1号】



【要支援】



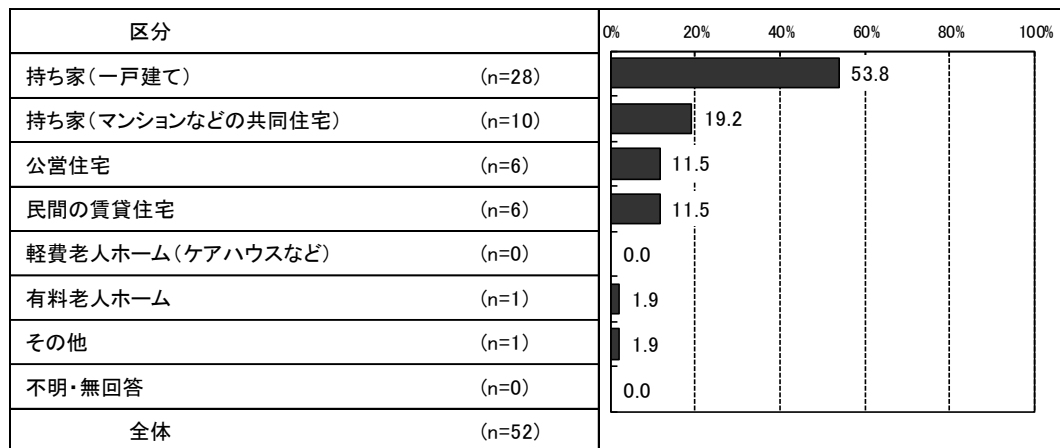
【要介護】



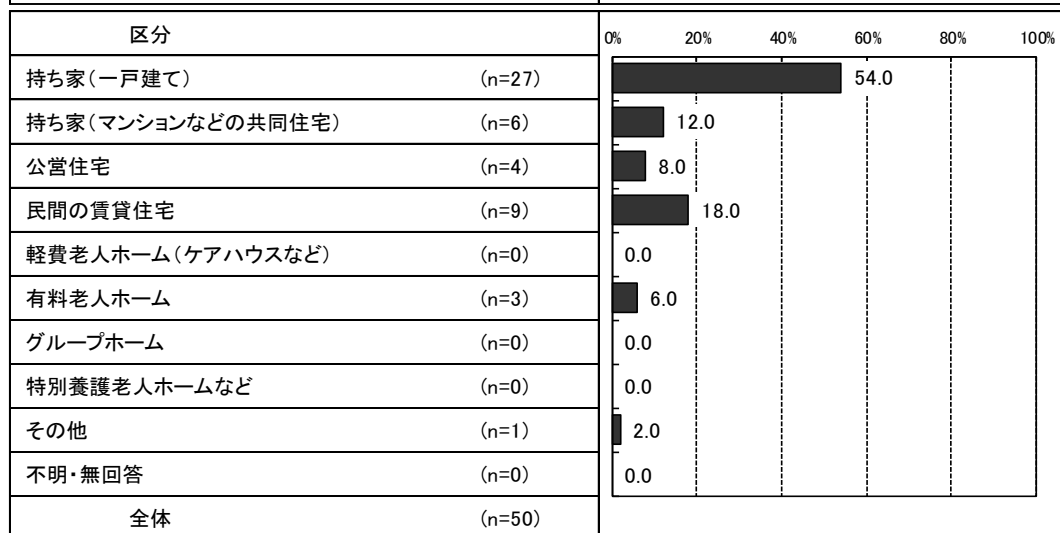
住まいについては、いずれの区分においても、「持ち家（一戸建て）」の割合が最も高く、【2号】【1号】【要支援】では約6割、【要介護】では約5割を占めています。

図表 14-1 ■ ひとり暮らしの住まいの状況

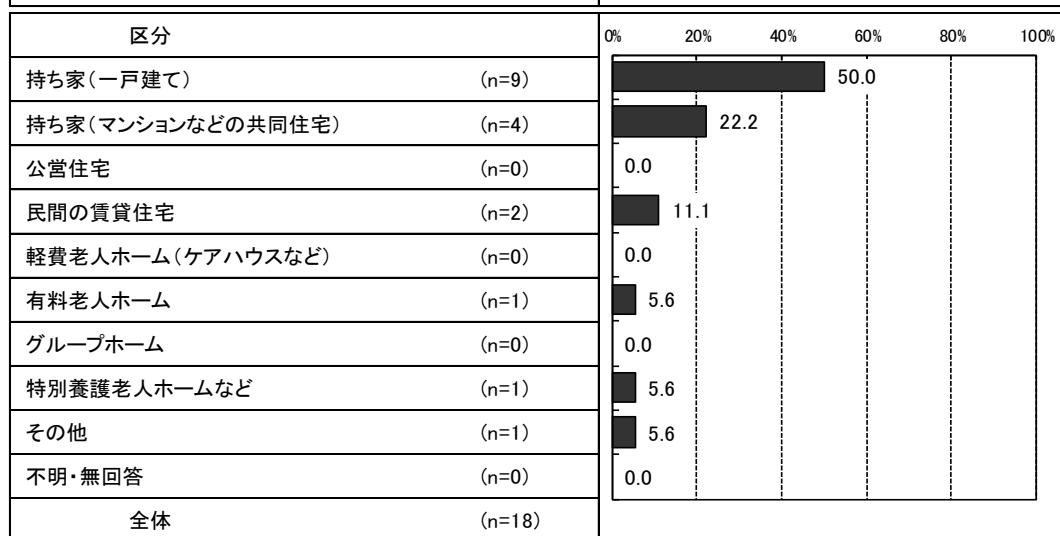
【1号】



【要支援】



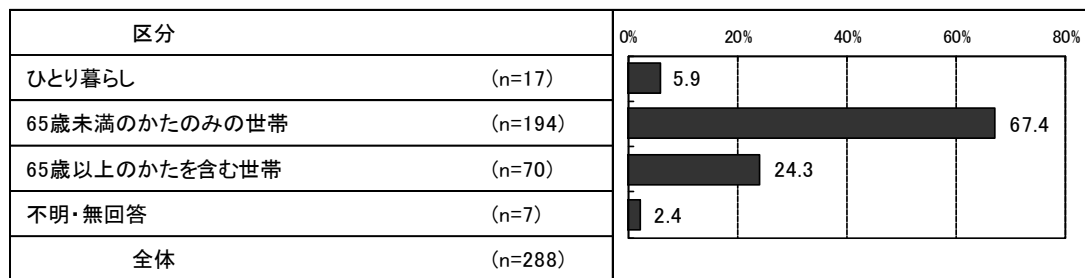
【要介護】



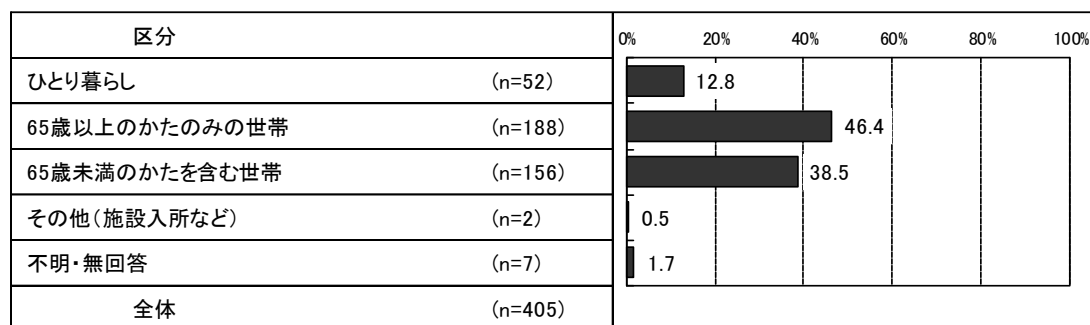
「ひとり暮らし」の住まいについては、いずれの区分においても、「持ち家」が最も高く、いずれの区分も約5割を占めています。

図表 15 ○ あなたの世帯の状況についておたずねします。

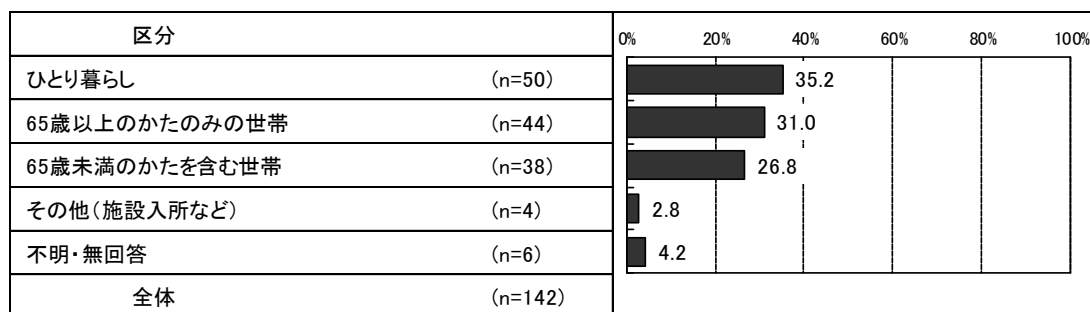
【2号】



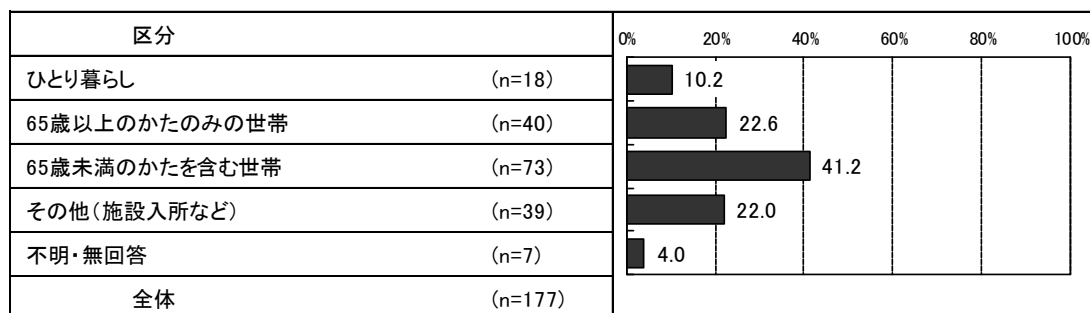
【1号】



【要支援】

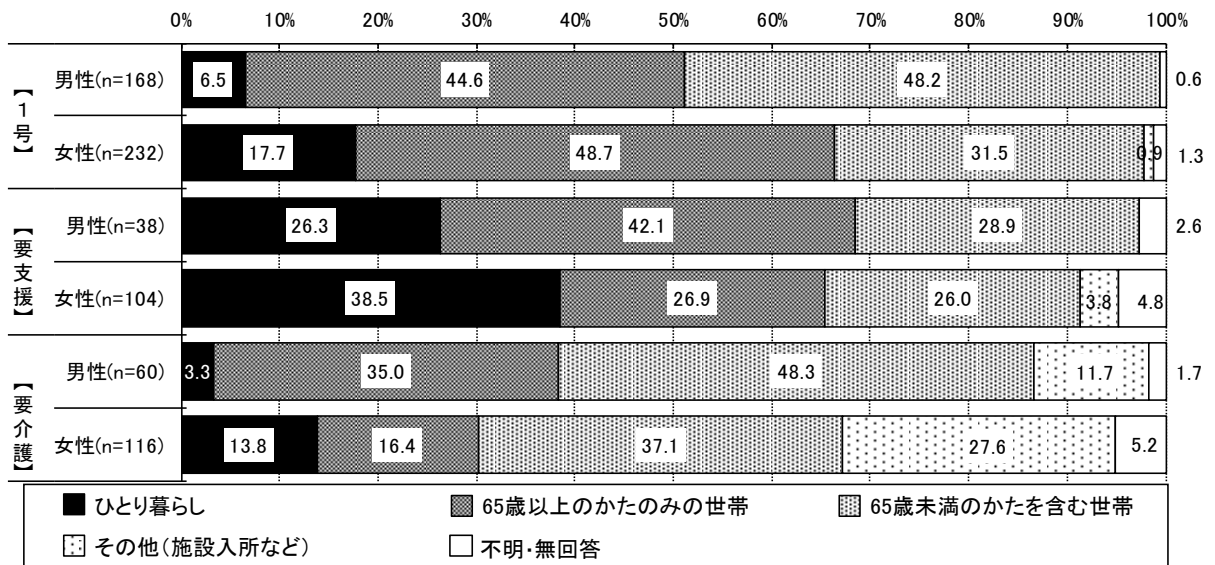
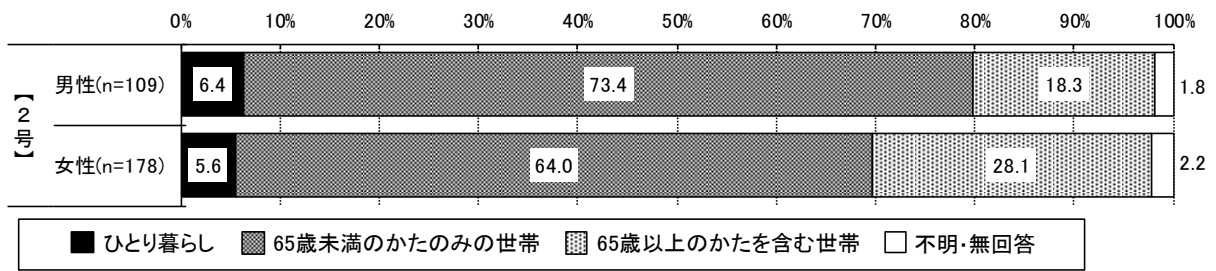


【要介護】



世帯の状況については、【2号】では「65歳未満のかたのみの世帯」、【1号】では「65歳以上のかたのみの世帯」、【要支援】では「ひとり暮らし」、【要介護】では「65歳未満のかたを含む世帯」が最も多くなっています。特に、【要支援】では「ひとり暮らし」が35.2%と他と比べて高くなっています。また、「ひとり暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合についてみると、【1号】では59.2%、【要支援】では66.2%、【要介護】では32.8%となっています。

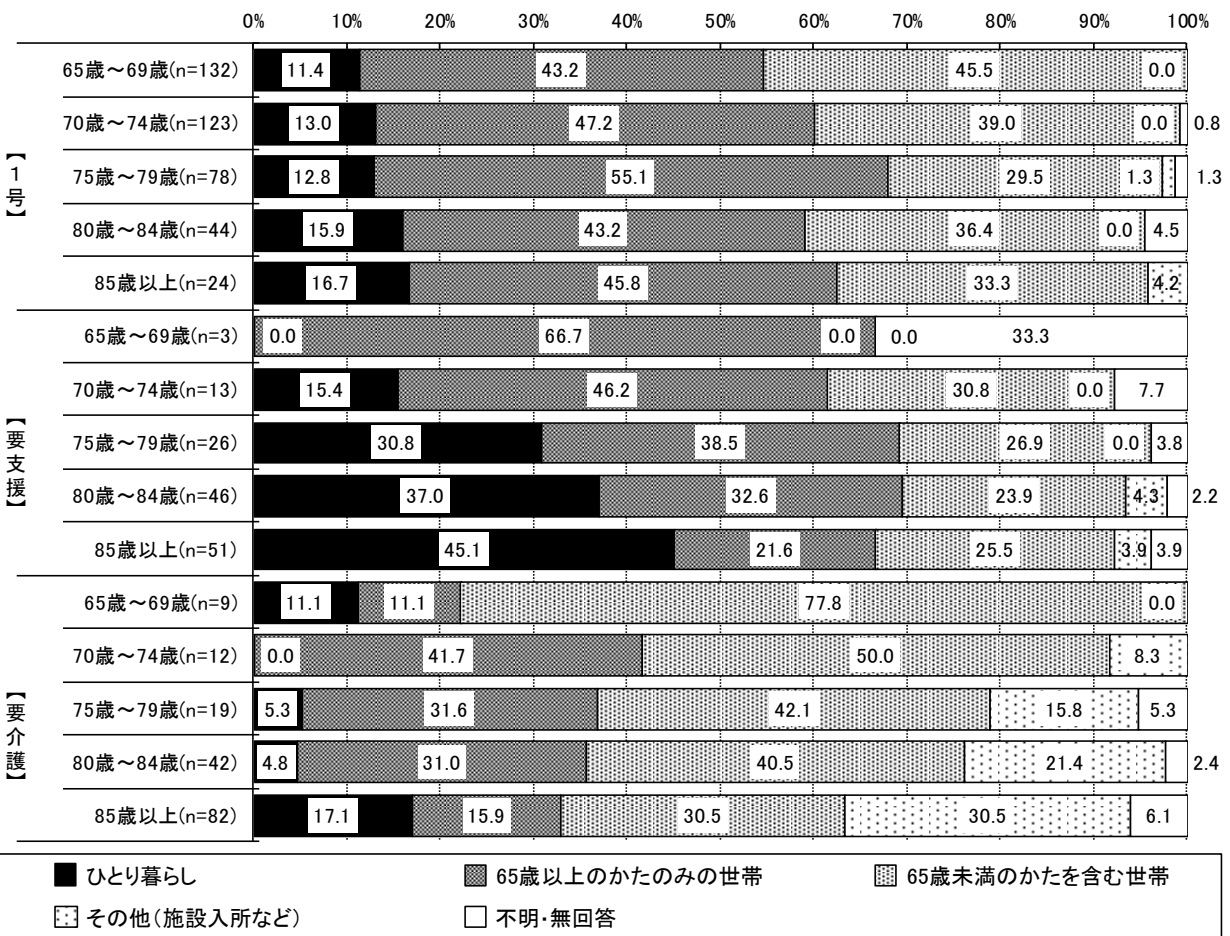
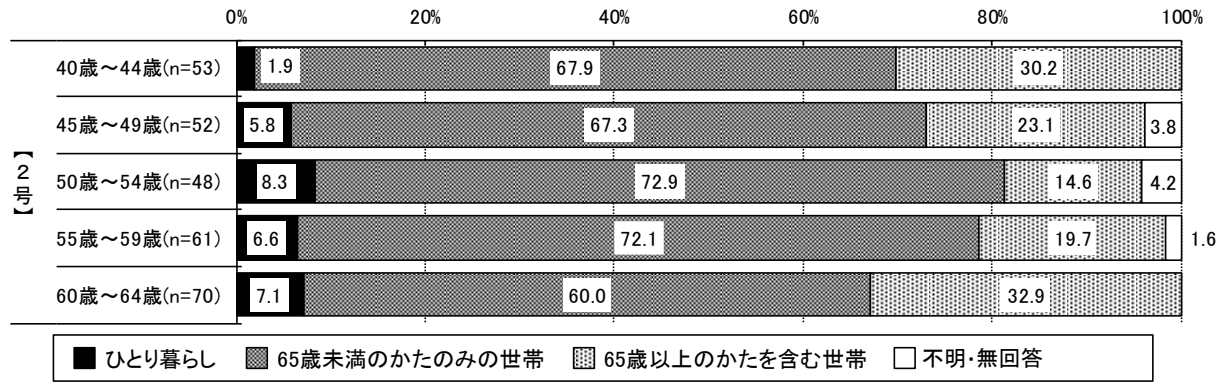
図表 15-1 ■ 性別の世帯の状況



世帯の状況について、性別で見ると、「ひとり暮らし」では、【2号】以外のいずれの区分でも、「女性」が「男性」を上回っており、【要支援】では「男性」が 26.3%、「女性」が 38.5%と、他より高くなっています。

また、【要支援】では、「ひとり暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合が、男女とも6割を超えています。

図表 15-2 ■ 年齢階層別の世帯の状況

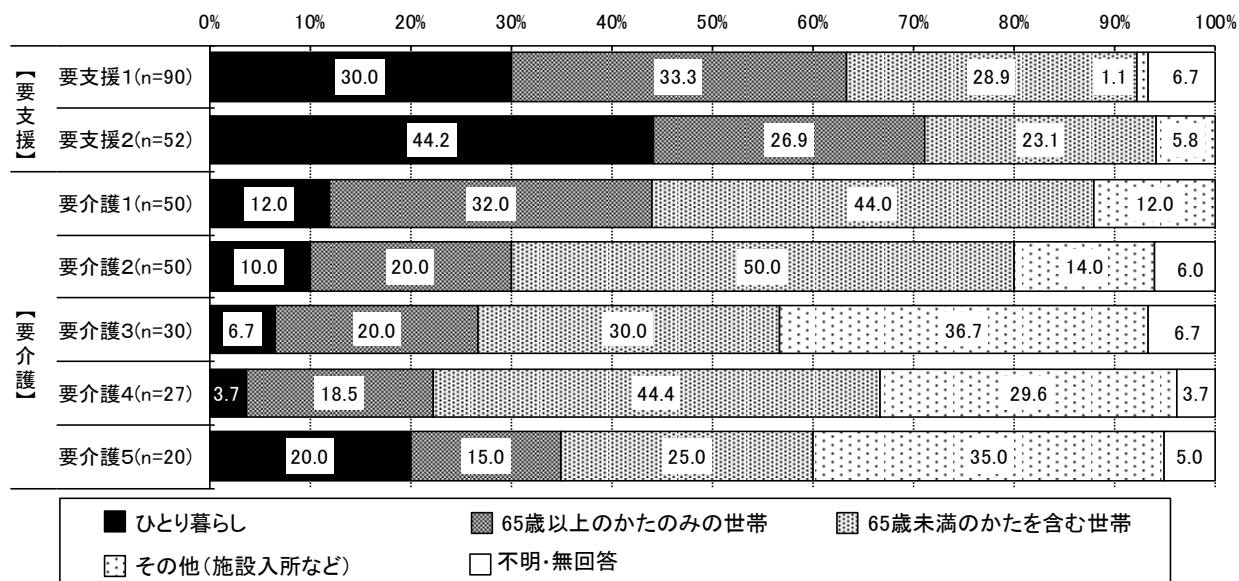


世帯の状況について、年齢階層別で見ると、「ひとり暮らし」は、【1号】ではいずれの年齢階層でも 11.4%~16.7%となっています。

また、「ひとり暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合では、【1号】と【要支援】のほとんどの年齢階層で5割を超えており、【要介護】では、70歳以上から85歳以上までの年齢階層すべてで、約3割~4割を占めています。

さらに、「その他(施設入所など)」は、【要介護】で年齢階層が高くなるにしたがって、その割合がおおむね高くなる傾向にあり、「85歳以上」では30.5%を占めています。

図表 15-3 ■ 要介護度別の世帯の状況



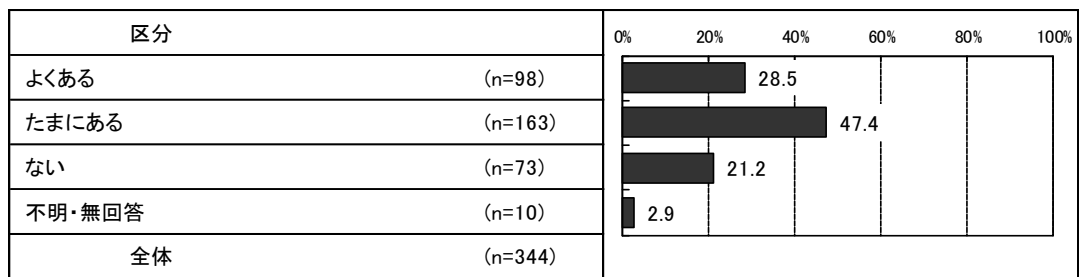
世帯の状況について、要介護度別で見ると、「ひとり暮らし」は、「要支援1」で30.0%、「要支援2」で44.2%、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」で約6%~12%、「要介護4」で3.7%を占めています。「要介護5」では20.0%となっています。

また、「ひとり暮らし」と「65歳以上のかたのみの世帯」の合計割合は、「要介護4」まではおおむね減少傾向にありますが、「要介護5」は35.0%となっています。

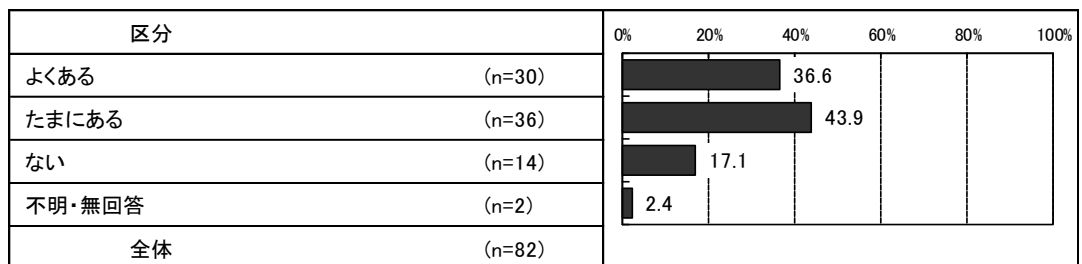
さらに、「その他(施設入所など)」は、要介護3までは、要介護度が重度化するとともに、割合がおおむね高くなる傾向にあります。要介護3以上では約3割~3割半ばを占めています。

図表 16 ○ あなたは日中、一人になることがありますか。

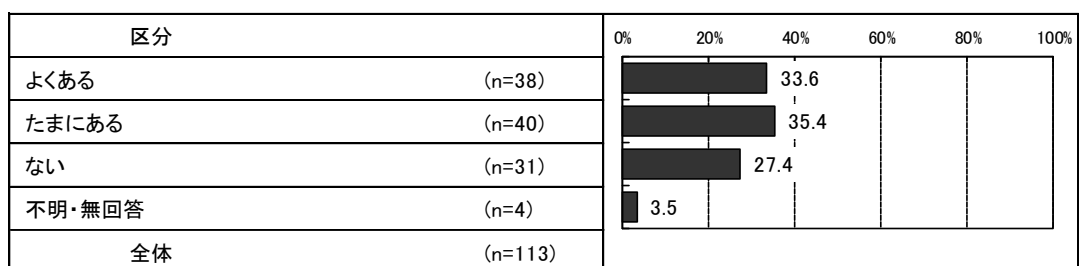
【1号】



【要支援】

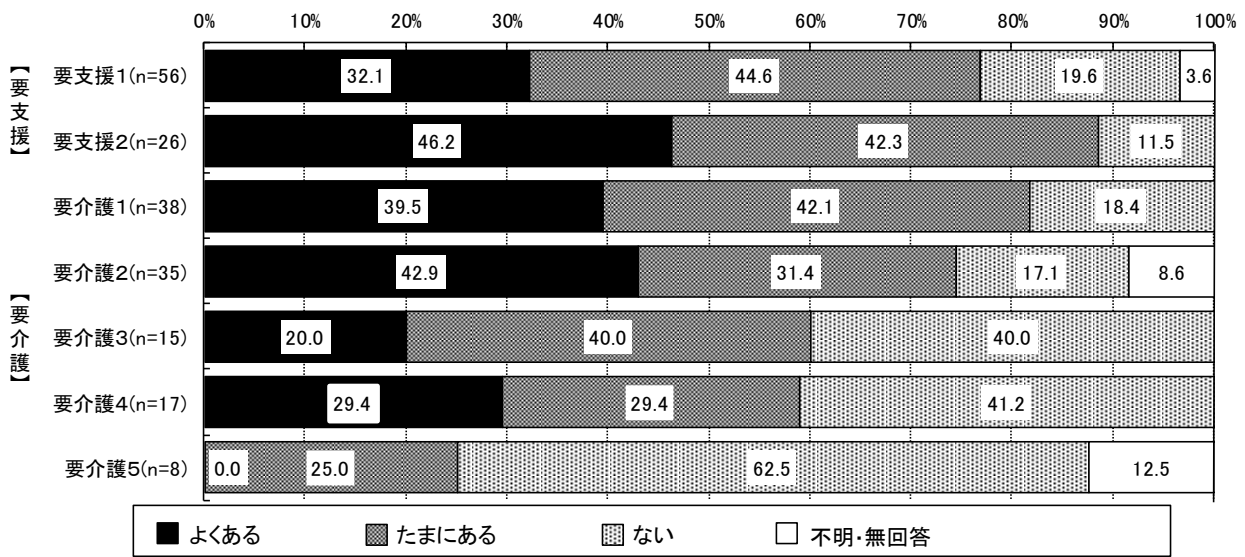


【要介護】



ひとり暮らし以外のかたが日中一人でいる頻度については、いずれの区分においても、「たまにある」が最も高くなっています。また、日中独居の状況が「よくある」人については、【1号】では28.5%、【要支援】では36.6%、【要介護】では33.6%となっており、【要支援】で他より高くなっています。

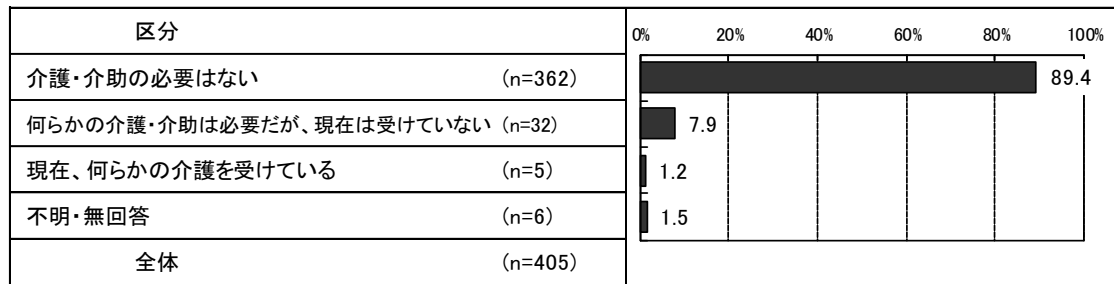
図表 16-1 ■ 要介護度別の日中独居の状況



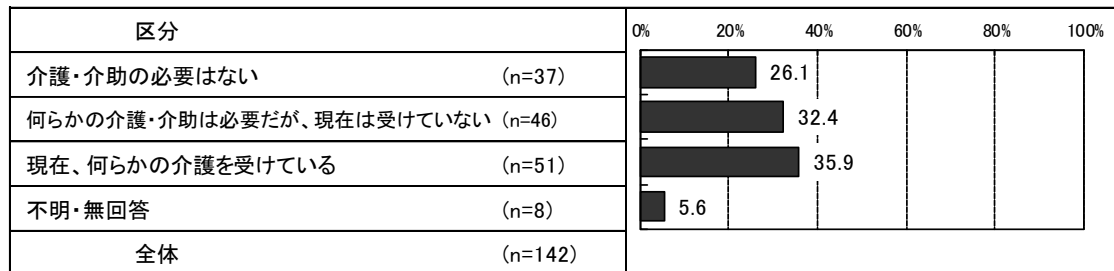
ひとり暮らし以外のかたが日中一人でいる頻度について、要介護度別でみると、「よくある」は、「要支援1」「要支援2」では約3割～5割を占めており、「要介護1」「要介護2」では約4割を占めています。また、「要介護3」では2割、「要介護4」では約3割を占めています。

図表 17 ○ あなたは普段の生活で、どなたかの介護・介助を受ける必要がありますか。

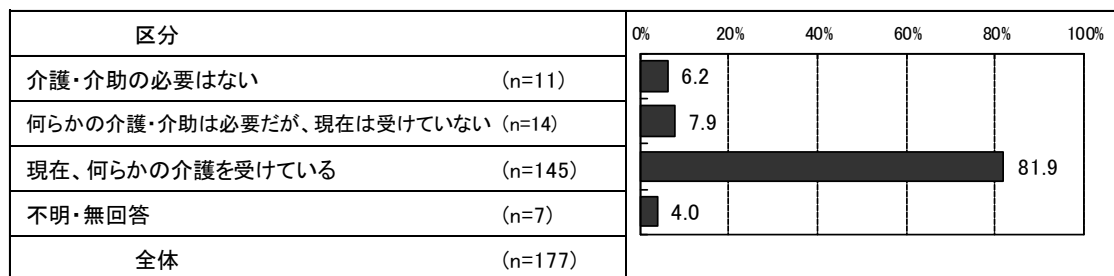
【1号】



【要支援】



【要介護】



介護・介助の必要性については、【1号】では「介護・介助の必要はない」が89.4%、【要支援】では「現在、何らかの介護を受けている」が35.9%、【要介護】では「現在、何らかの介護を受けている」が81.9%で、最も高くなっています。

また、何らかの介護・介助が必要な人（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」）については、【1号】では9.1%、【要支援】では68.3%、【要介護】では89.8%となっています。

図表 18 ○ 主な介護者・介助者はどなたですか。

【1号】

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
配偶者(夫・妻)	(n=2)			40.0			
息子	(n=0)	0.0					
娘	(n=1)		20.0				
子の配偶者	(n=0)	0.0					
孫	(n=0)	0.0					
兄弟・姉妹	(n=0)	0.0					
ヘルパー	(n=1)		20.0				
その他	(n=0)	0.0					
不明・無回答	(n=1)		20.0				
全体	(n=5)						

主な介護者・介助者では、「配偶者」が40.0%で最も高く、「娘」「ヘルパー」がともに20.0%で続いています。

図表 19 ○ 主な介護者・介助者の年齢

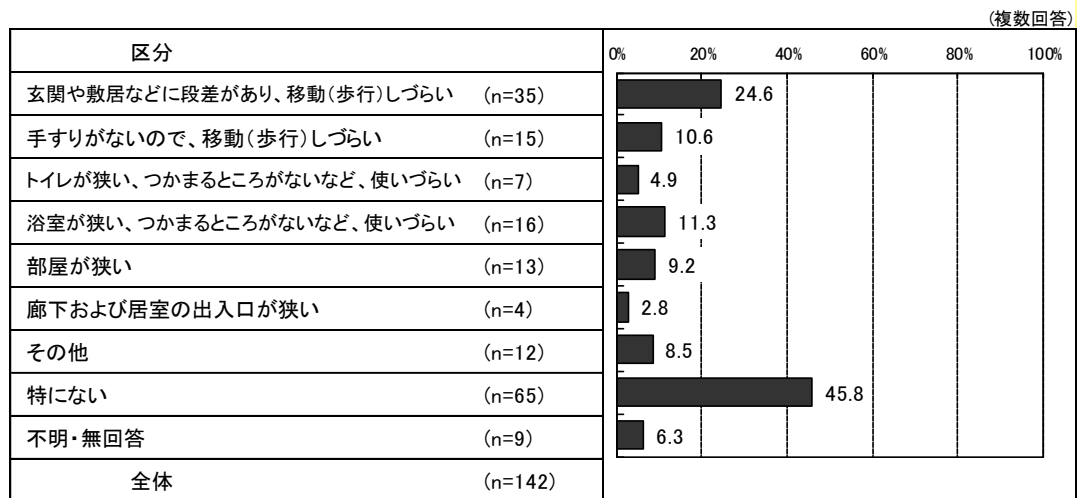
【1号】

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
40歳未満	(n=0)	0.0					
40～64歳	(n=0)	0.0					
65～74歳	(n=3)				60.0		
75歳以上	(n=1)		20.0				
不明・無回答	(n=1)		20.0				
全体	(n=5)						

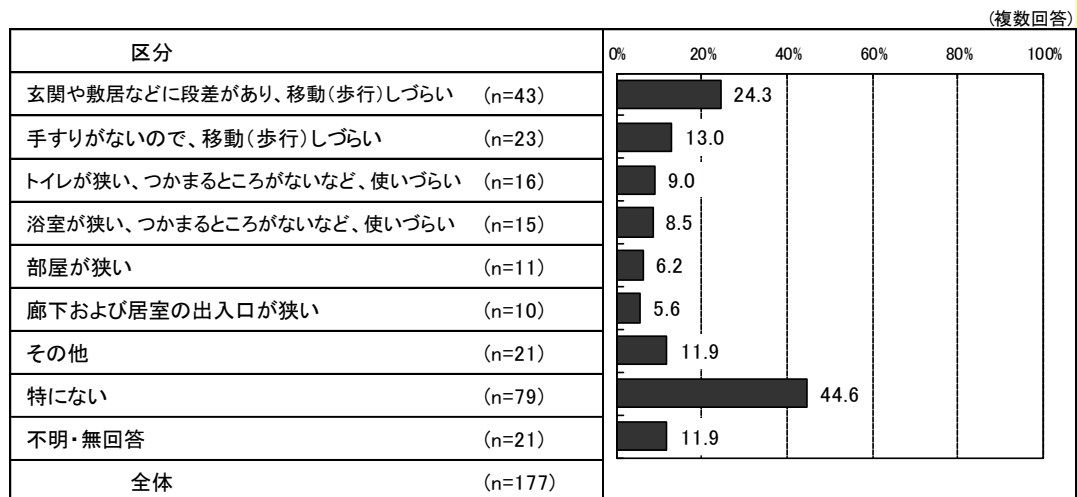
主な介護者・介助者の年齢については、「65～74歳」が60.0%で最も高く、「75歳以上」が20.0%で続いています。

図表 20 ○ 現在のお住まいで、あなたが生活する上で不便なこと、困っていることはありますか。

【要支援】



【要介護】



現在の住まいで生活する上で不便なことや困っていることについては、【要支援】【要介護】ともに「特にない」が最も高くなっており、「玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい」が続いています。

図表 20-1* ■ 居住形態別の生活上不便・困難なこと

【要支援】

	合計(人)	(単位: %)								
		玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい	手すりがないので、移動(歩行)しづらい	トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	部屋が狭い	廊下および居室の出入口が狭い	その他	特にない	不明・無回答
全体	142	24.6	10.6	4.9	11.3	9.2	2.8	8.5	45.8	6.3
持ち家(一戸建て)	81	32.1	6.2	1.2	3.7	4.9	3.7	8.6	45.7	8.6
持ち家(マンションなどの共同住宅)	22	13.6	13.6	4.5	4.5	9.1	0.0	9.1	63.6	0.0
公営住宅	6	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
民間の賃貸住宅	17	11.8	23.5	11.8	52.9	23.5	5.9	11.8	23.5	0.0
軽費老人ホーム(ケアハウスなど)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム	8	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	62.5	0.0
グループホーム	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホームなど	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7

注：図表番号の「*」は、図表中の「全体」の「合計人数」が不明・無回答者も含むため、項目の合計と一致しないことを表しています（以下、同様）。

【要介護】

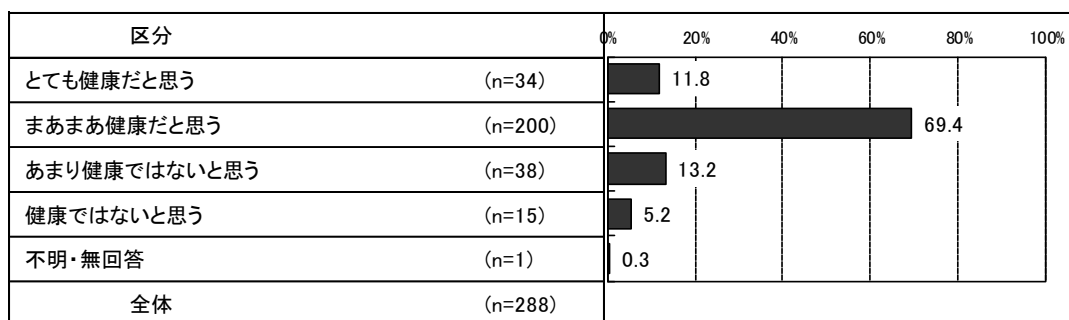
	合計(人)	(単位: %)								
		玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい	手すりがないので、移動(歩行)しづらい	トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい	部屋が狭い	廊下および居室の出入口が狭い	その他	特にない	不明・無回答
全体	177	24.3	13.0	9.0	8.5	6.2	5.6	11.9	44.6	11.9
持ち家(一戸建て)	86	32.6	12.8	8.1	5.8	3.5	5.8	11.6	38.4	9.3
持ち家(マンションなどの共同住宅)	26	11.5	15.4	11.5	7.7	7.7	7.7	3.8	61.5	7.7
公営住宅	6	50.0	33.3	50.0	66.7	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
民間の賃貸住宅	11	45.5	36.4	18.2	27.3	9.1	9.1	18.2	36.4	0.0
軽費老人ホーム(ケアハウスなど)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有料老人ホーム	9	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	44.4	22.2
グループホーム	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0
特別養護老人ホームなど	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	57.1	35.7
その他	16	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	56.3	12.5

現在の住まいで生活する上で不便なことや困っていることについて、居住形態別で見ると、ほとんどの居住形態で「特にない」の割合が最も高くなっています。しかしながら、「公営住宅」では、【要支援】で「玄関や敷居などに段差があり、移動(歩行)しづらい」「手すりがないので、移動(歩行)しづらい」「トイレが狭い、つかまるところがないなど、使いづらい」および「浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい」が同じ割合となっています。【要介護】では「浴室が狭い、つかまるところがないなど、使いづらい」という回答が最も多くなっています。

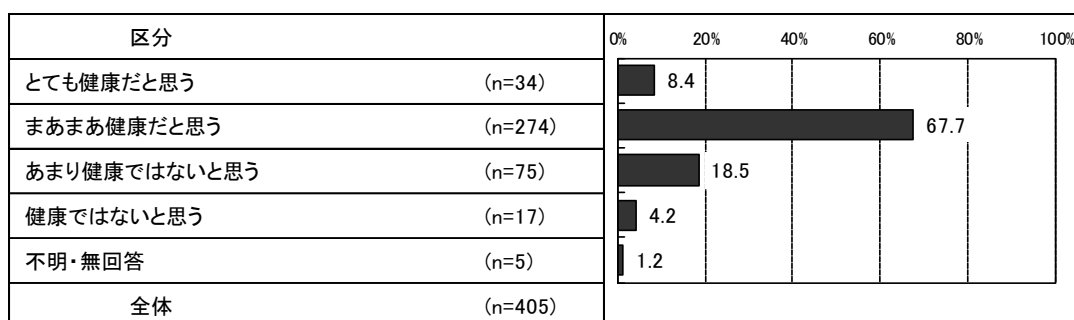
健康・医療について

図表 21 ○ 普段、ご自分で健康だと思いますか。

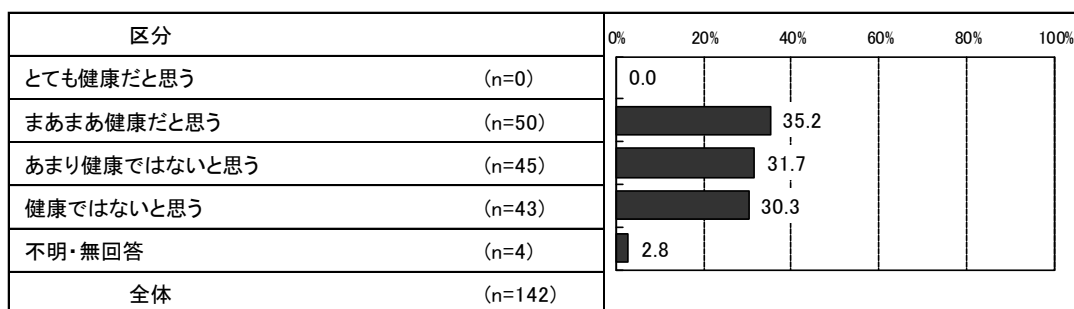
【2号】



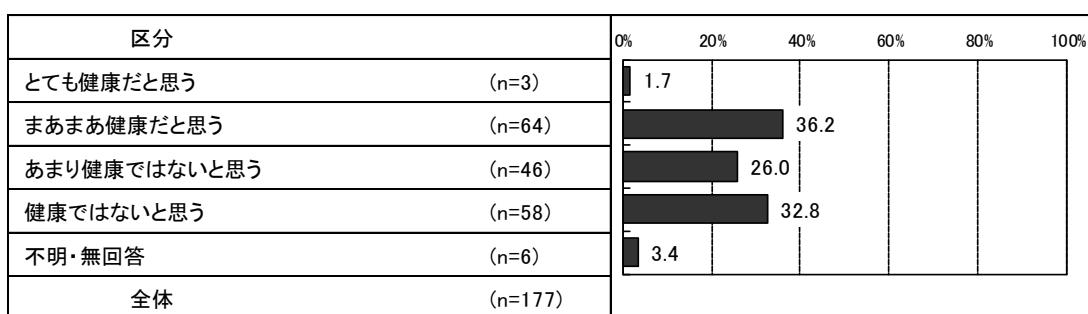
【1号】



【要支援】



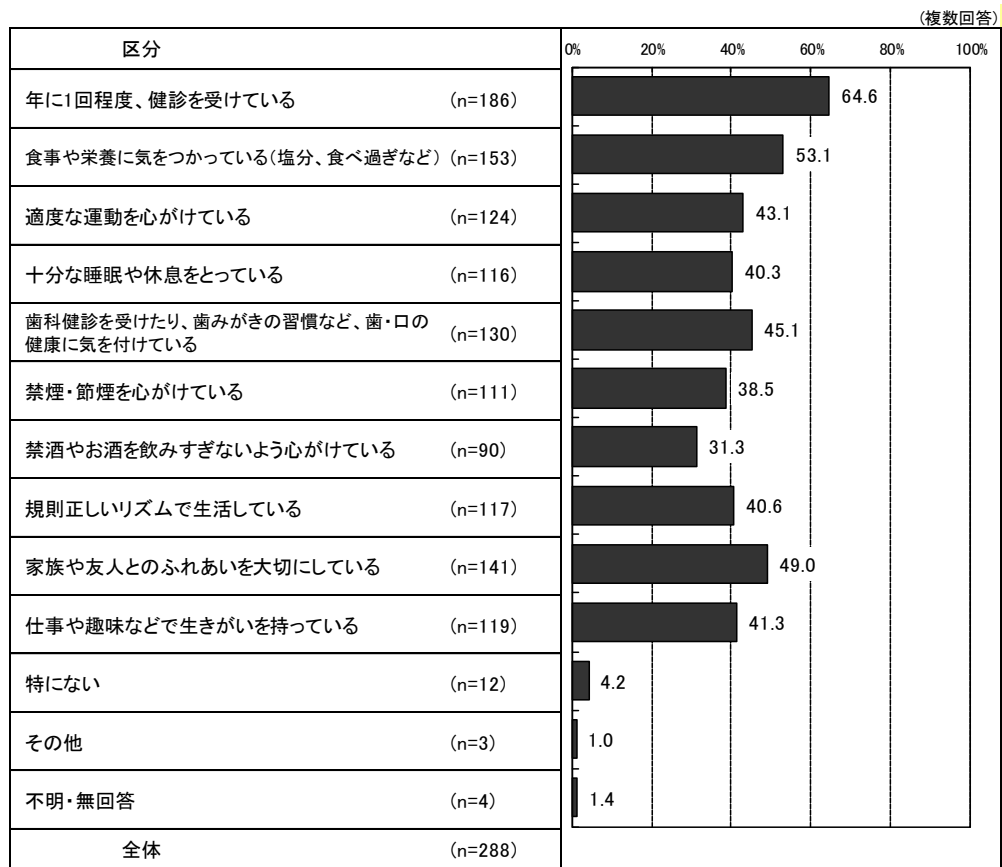
【要介護】



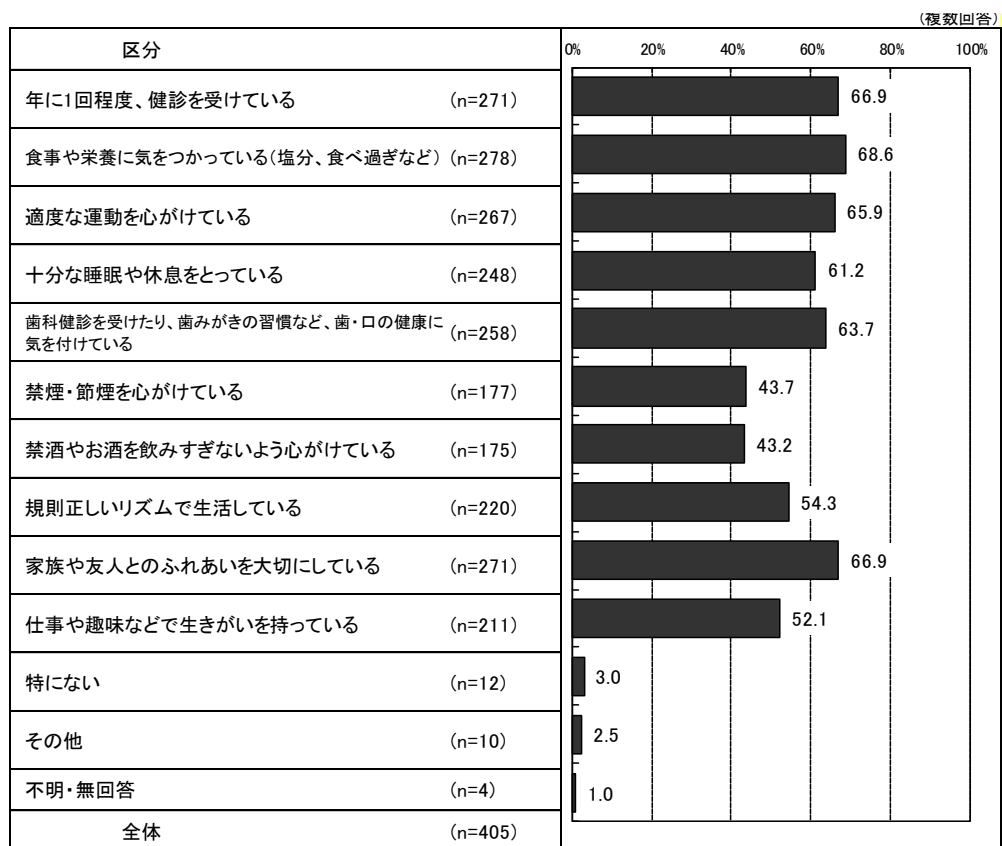
自分の健康については、自身は健康と感じている人（「とても健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」）は、【2号】で 81.2%、【1号】で 76.0%となっていますが、【要支援】では 35.2%、【要介護】では 37.9%となっています。

図表 22 ○ 健康や介護予防のために気をつけていることはありますか。

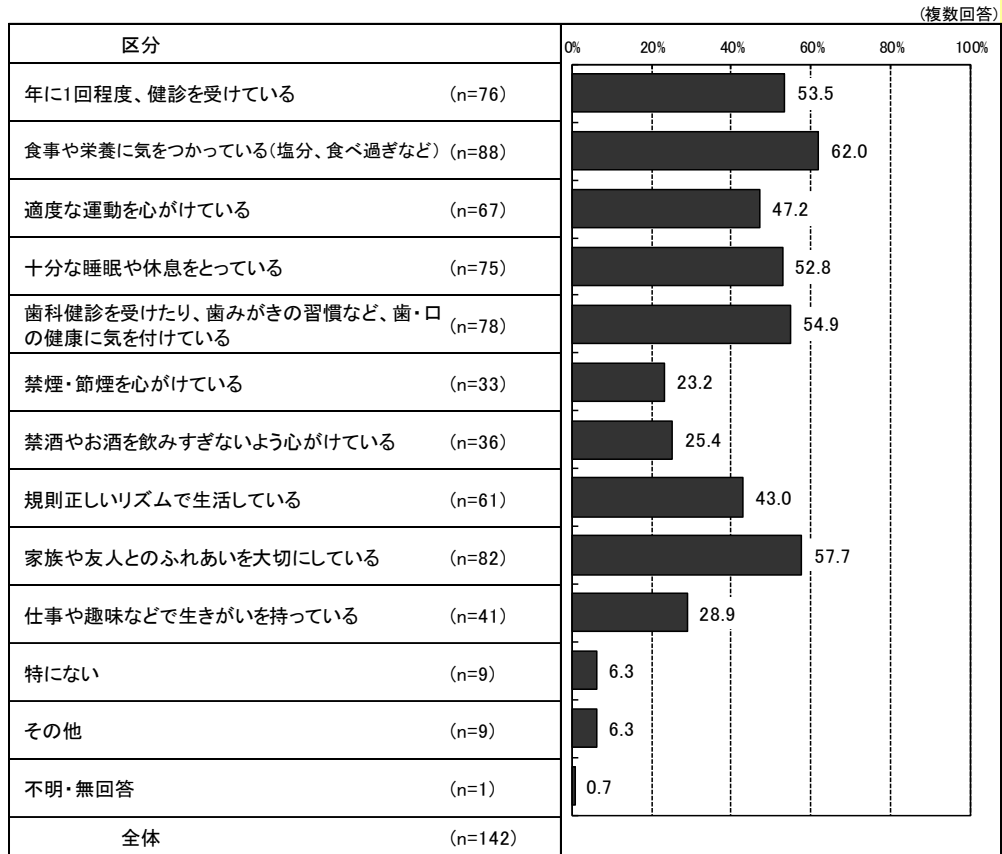
【2号】



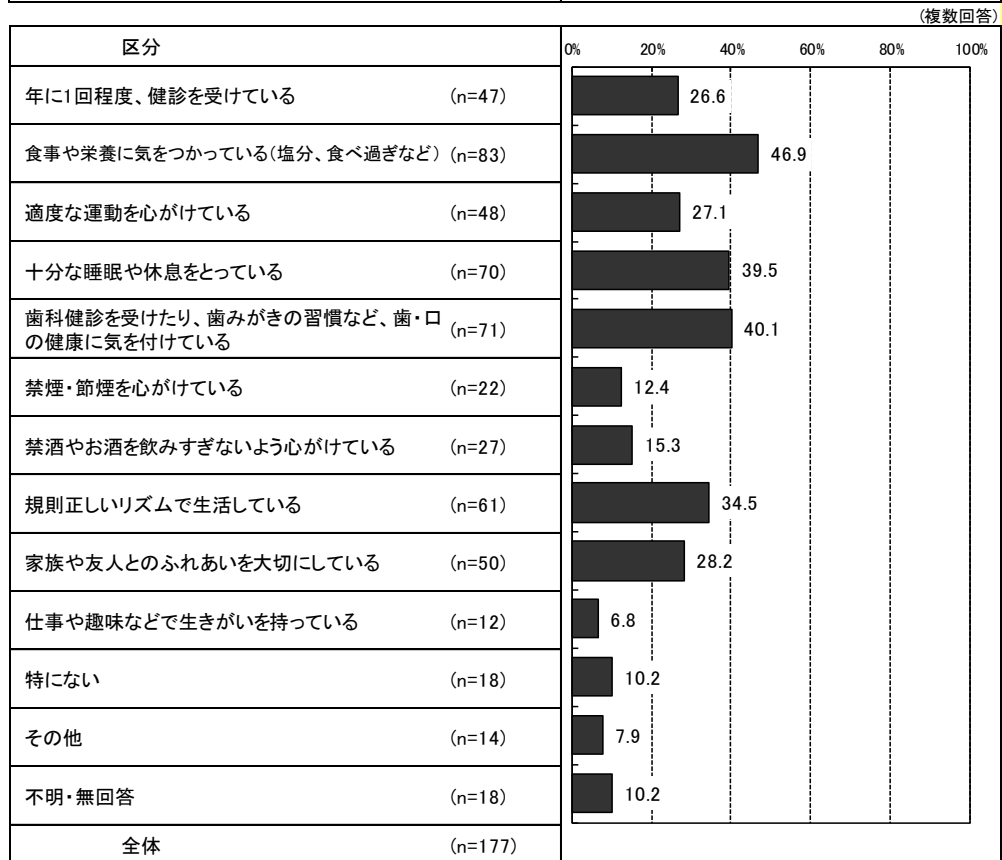
【1号】



【要支援】



【要介護】

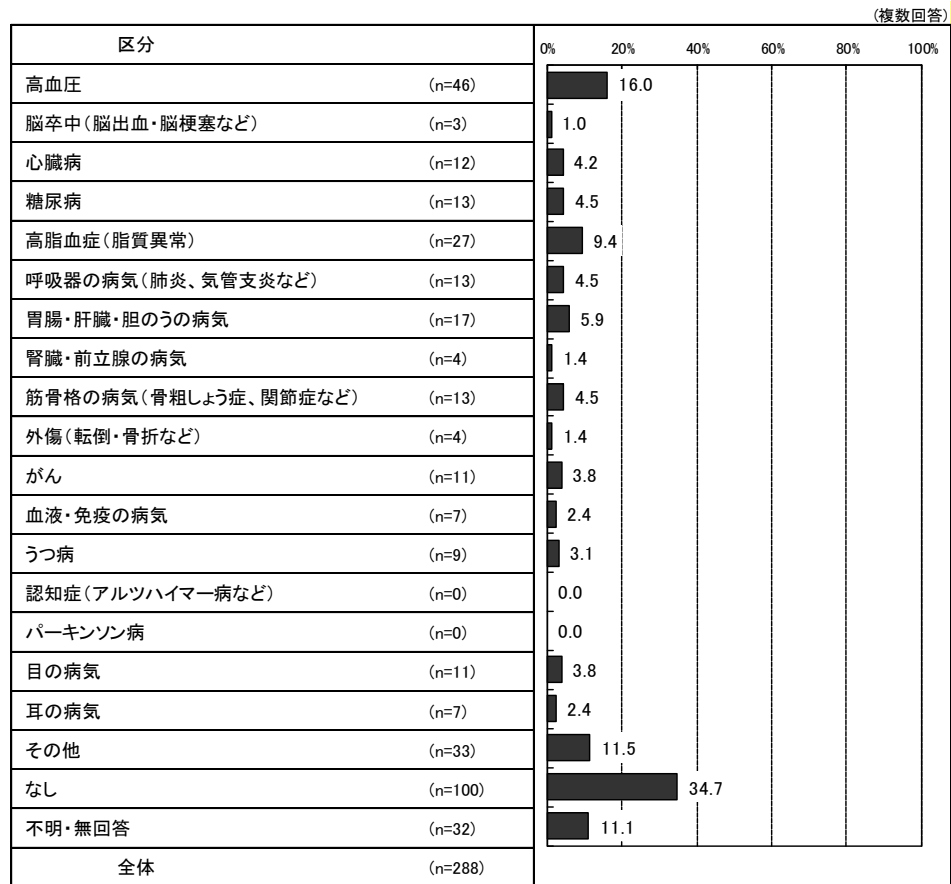


健康や介護予防で気をつけていることについては、【1号】【要支援】【要介護】では「食事や栄養に気をつけている（塩分、食べ過ぎなど）」の割合が高く、「禁煙・節煙を心がけている」や「禁酒やお酒を飲みすぎないように心がけている」の割合が低くなっています。

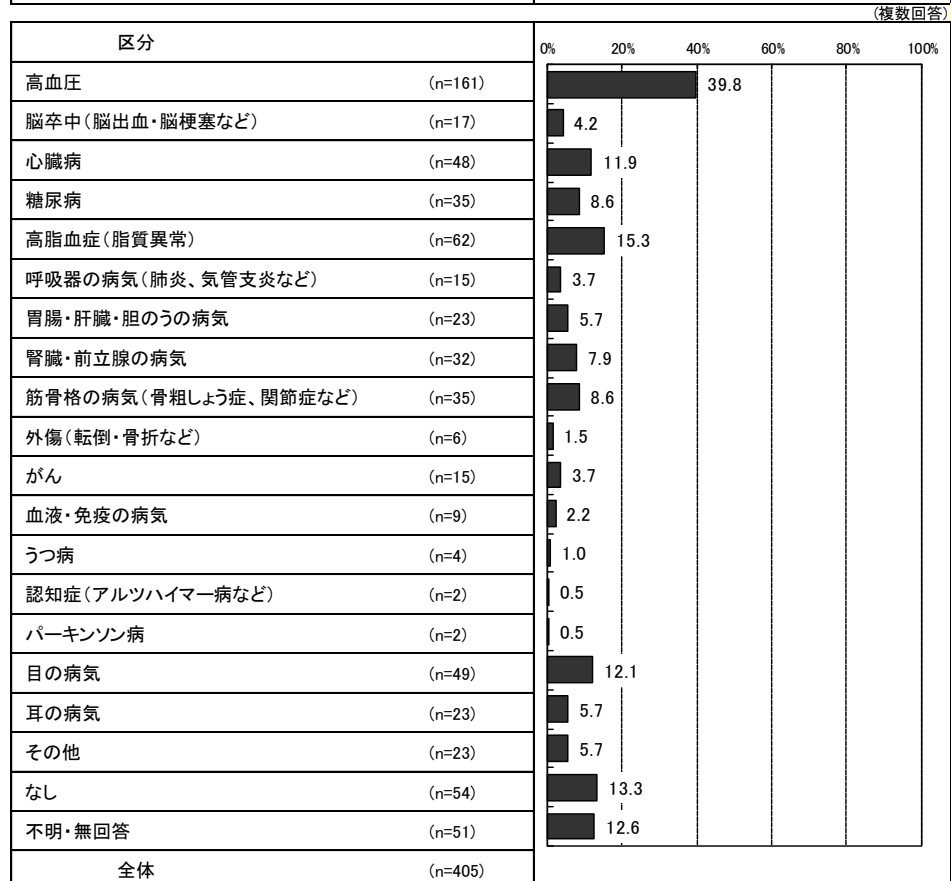
また、【1号】では、ほとんどの項目で5割を超えており、他と比べて健康や介護予防への関心が強いことがうかがえます。

図表 23 ○ 持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気はありますか。

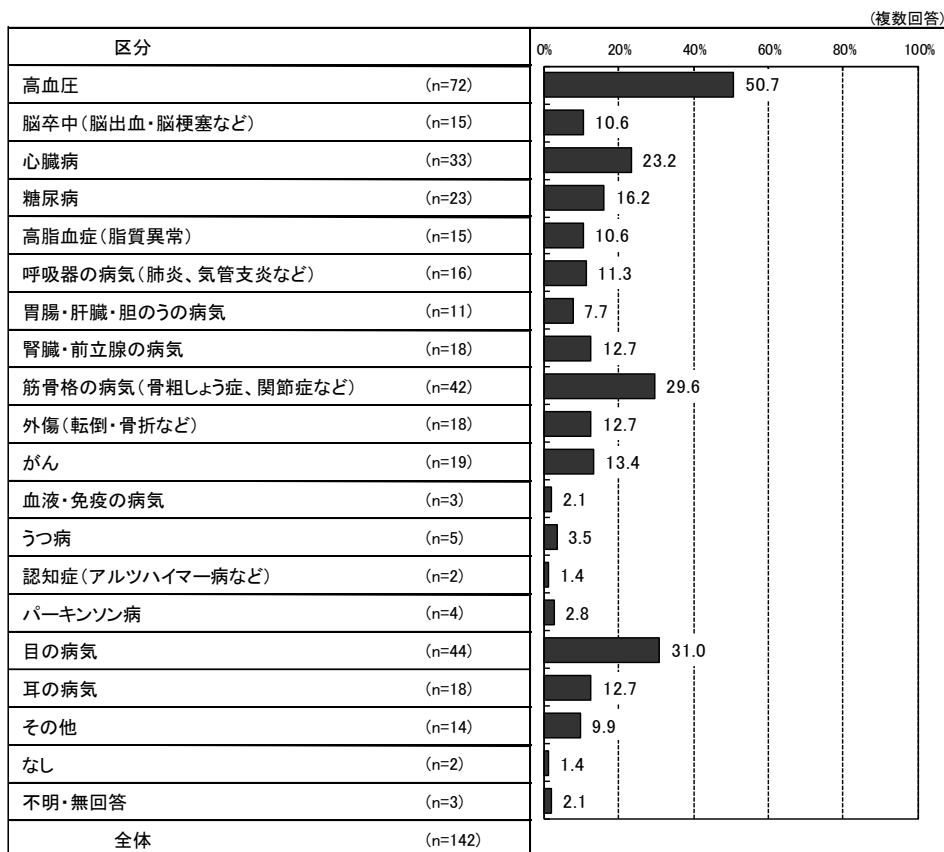
【2号】



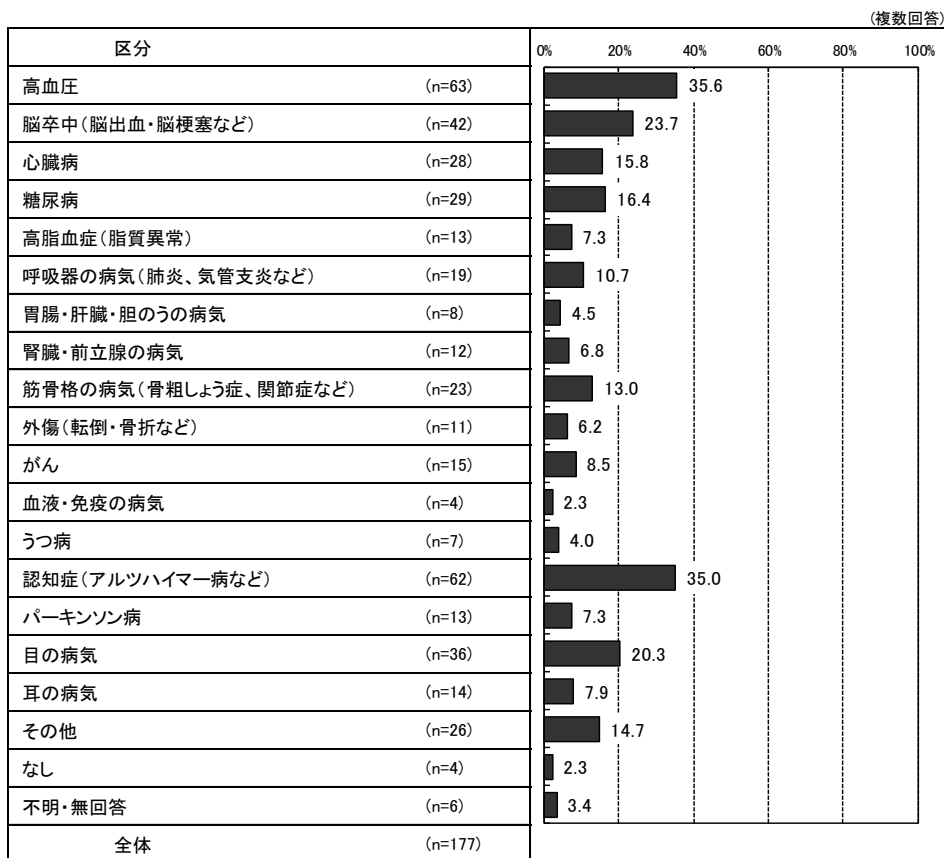
【1号】



【要支援】



【要介護】



持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気については、【2号】では「なし」が最も多くなっており、【1号】【要支援】【要介護】では「高血圧」が最も多くなっています。

また、【要支援】では「筋骨格の病気」や「目の病気」、【要介護】では「認知症」が他と比べて多くなっています。

図表 23-1* ■ 性別の持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気
【2号】

	合計(人)	(単位:%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病	腎臓・前立線の病気	筋骨格の病気	外傷(転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	288	16.0	1.0	4.2	4.5	9.4	4.5	5.9	1.4	4.5	1.4	3.8	2.4	3.1	0.0	0.0	3.8	2.4	11.5	34.7	11.1
男	109	16.5	0.9	6.4	7.3	11.9	3.7	8.3	3.7	2.8	2.8	1.8	4.6	0.0	0.0	3.7	0.9	6.4	29.4	11.0	
女	178	15.7	1.1	2.8	2.8	7.9	5.1	4.5	0.0	5.6	0.6	4.5	2.2	0.0	0.0	3.9	3.4	14.6	37.6	11.2	

【1号】

	合計(人)	(単位:%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病	腎臓・前立線の病気	筋骨格の病気	外傷(転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	405	39.8	4.2	11.9	8.6	15.3	3.7	5.7	7.9	8.6	1.5	3.7	2.2	1.0	0.5	0.5	12.1	5.7	5.7	13.3	12.6
男	168	50.0	6.5	16.7	11.9	11.9	6.0	6.0	17.3	1.8	0.0	6.0	2.4	0.6	0.0	0.6	10.7	7.1	6.5	13.7	7.7
女	232	31.9	2.6	8.6	6.5	18.1	1.7	5.6	1.3	13.4	2.6	2.2	1.3	0.9	0.4	12.9	4.3	5.2	13.4	16.4	

持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気について、性別で見ると、男性では、【2号】は「なし」が約3割を占めて最も高く、「高血圧」や「高脂血症」が続きますが、【1号】は「高血圧」が最も高くなり、【2号】の3倍以上となっています。次に、「腎臓・前立線の病気」「心臓病」が続きます。

また、女性では、同じく【2号】は「なし」が約4割を占めて最も高く、「高血圧」が続きますが、【1号】は「高血圧」が最も高くなり、【2号】の2倍となっています。次に、「高脂血症」「筋骨格の病気」が続きます。

【要支援】

	合計(人)	(単位:%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷(転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	142	50.7	10.6	23.2	16.2	10.6	11.3	7.7	12.7	29.6	12.7	13.4	2.1	3.5	1.4	2.8	31.0	12.7	9.9	1.4	2.1
男	38	57.9	18.4	31.6	34.2	15.8	21.1	13.2	36.8	10.5	7.9	31.6	0.0	5.3	2.6	0.0	31.6	18.4	5.3	0.0	0.0
女	104	48.1	7.7	20.2	9.6	8.7	7.7	5.8	3.8	36.5	14.4	6.7	2.9	2.9	1.0	3.8	30.8	10.6	11.5	1.9	2.9

【要介護】

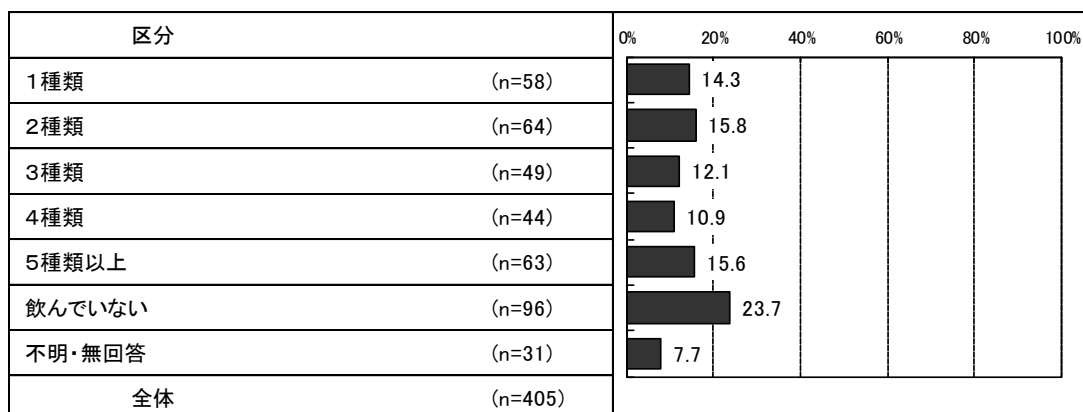
	合計(人)	(単位:%)																			
		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷(転倒・骨折など)	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	なし	不明・無回答
全体	177	35.6	23.7	15.8	16.4	7.3	10.7	4.5	6.8	13.0	6.2	8.5	2.3	4.0	35.0	7.3	20.3	7.9	14.7	2.3	3.4
男	60	36.7	33.3	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	11.7	15.0	5.0	16.7	0.0	3.3	21.7	11.7	16.7	11.7	11.7	1.7	1.7
女	116	35.3	19.0	15.5	16.4	6.9	6.9	2.6	4.3	12.1	6.9	4.3	3.4	4.3	42.2	5.2	21.6	6.0	16.4	2.6	4.3

持病または現在治療中の病気、後遺症のある病気について、性別でみると、男性では、【要支援】は「高血圧」が約6割を占めて最も高く、「腎臓・前立腺の病気」や「糖尿病」が続きます。【要介護】は「高血圧」が最も高いものの、【要支援】より割合は低くなっており、「脳卒中」や「認知症」が続きます。

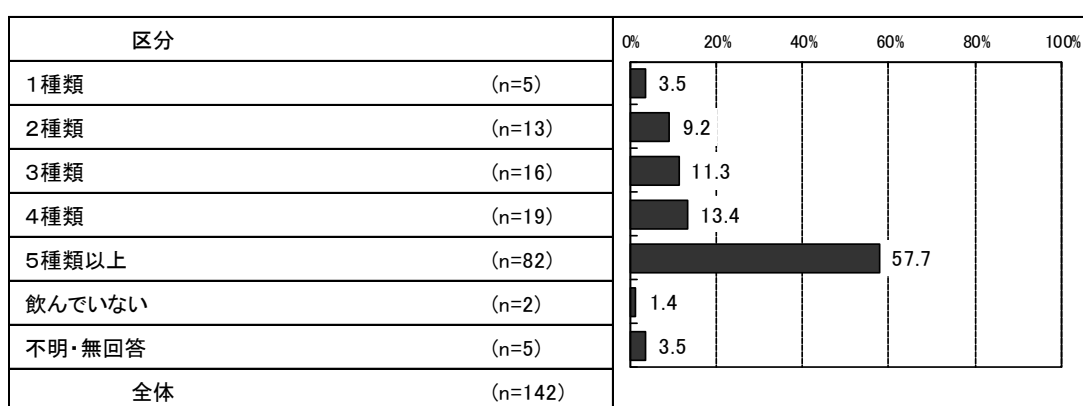
また、女性では、同じく【要支援】は「高血圧」が約5割を占めて最も高くなっていますが、次の「筋骨格の病気」も約4割を占めています。【要介護】は「認知症」が最も高くなり、約4割を占めています。次に、「高血圧」や「目の病気」が続きます。

図表 24 ○ あなたは現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

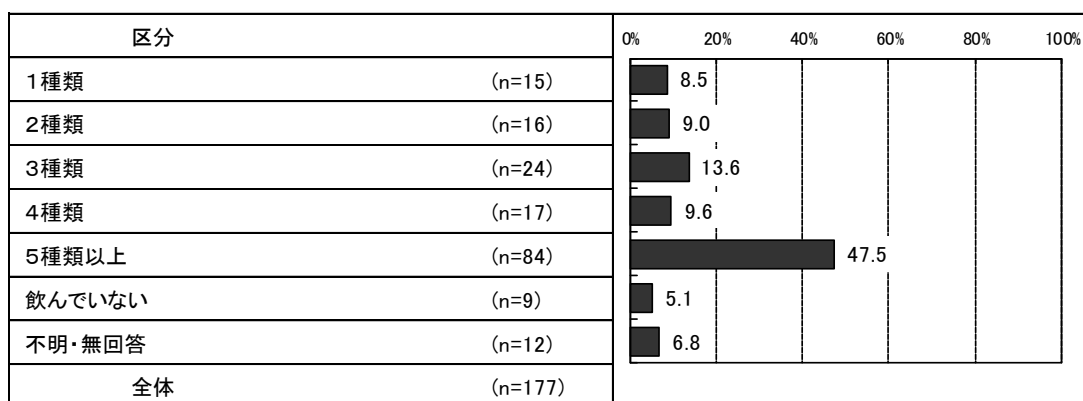
【1号】



【要支援】



【要介護】

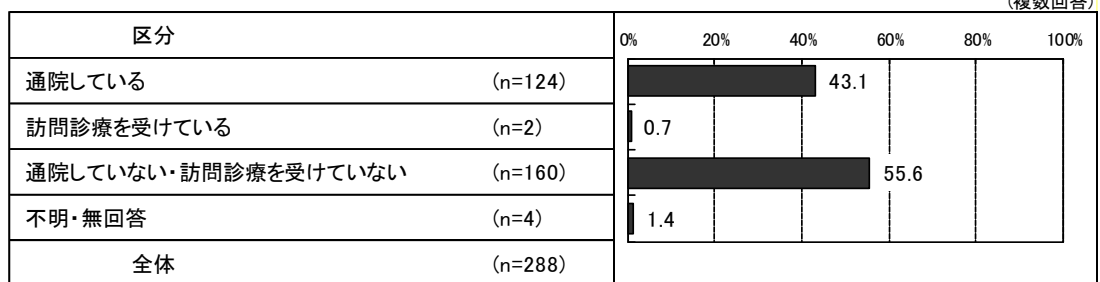


現在服用している医師の処方した薬の種類については、【1号】では「飲んでいない」が23.7%で最も高くなっています。また、【要支援】【要介護】はともに「5種類以上」が約5割で最も高くなっています。

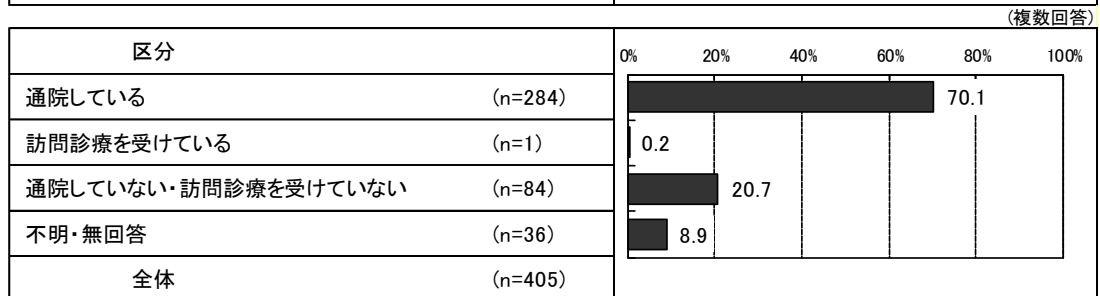
現在医師の処方した薬を飲んでいる人は、【1号】では68.6%、【要支援】では95.1%、【要介護】では88.1%を占めています。

図表 25 ○ 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。
または、訪問診療を受けていますか。

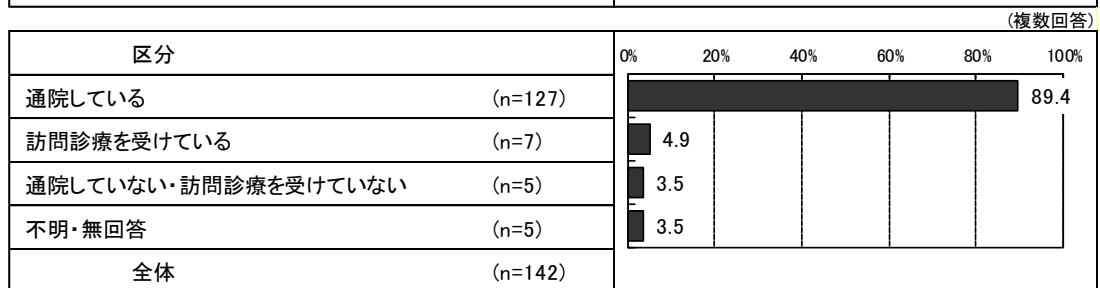
【2号】



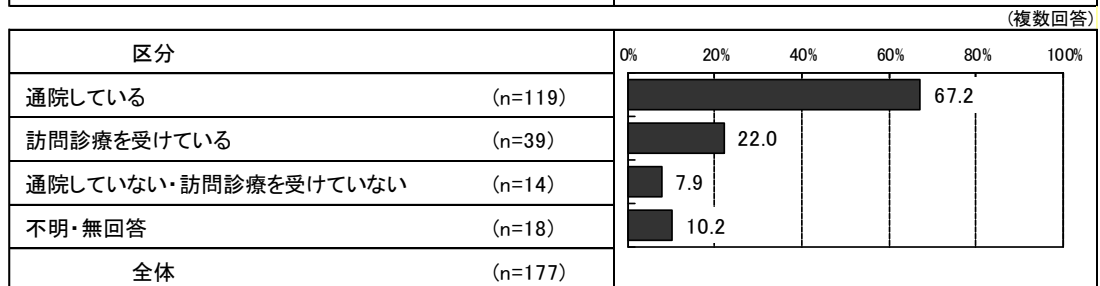
【1号】



【要支援】



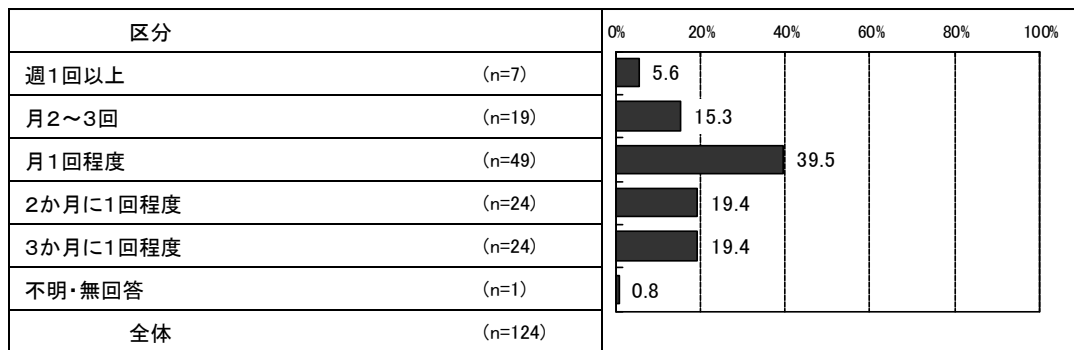
【要介護】



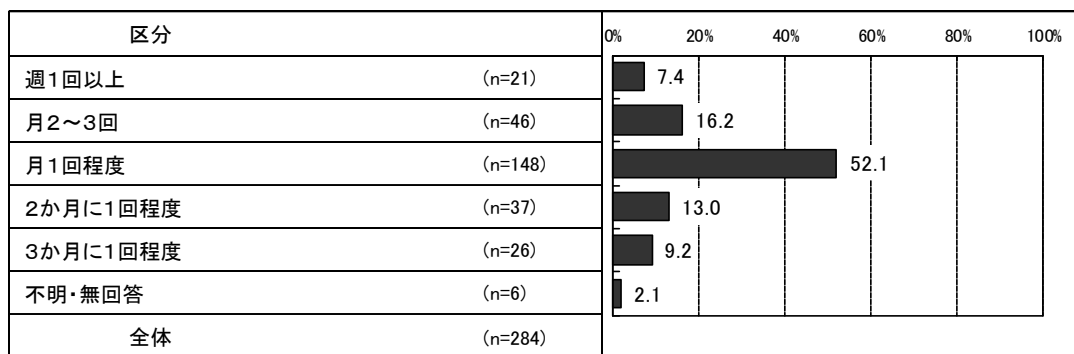
病院・医院などへの通院および訪問診療の受診については、【2号】では「通院していない・訪問診療を受けていない」、【1号】【要支援】【要介護】では「通院している」が最も多くなっています。また、「訪問診療を受けている」については、【要介護】で22.0%と、他より高くなっています。

図表 26 ○ 通院の頻度

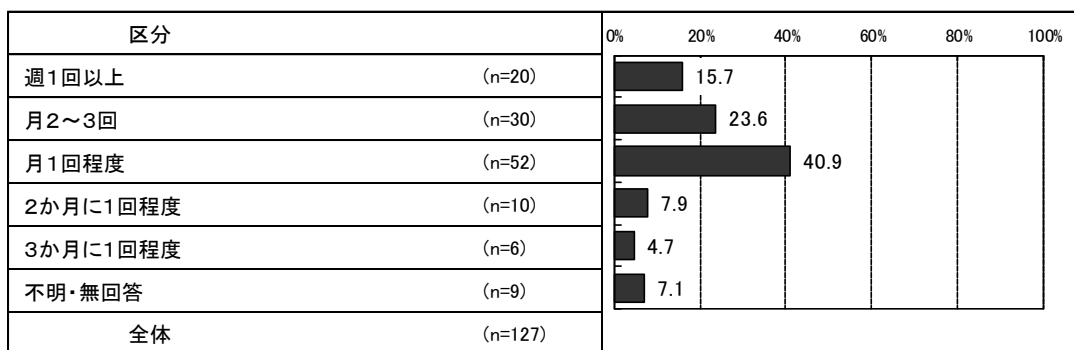
【2号】



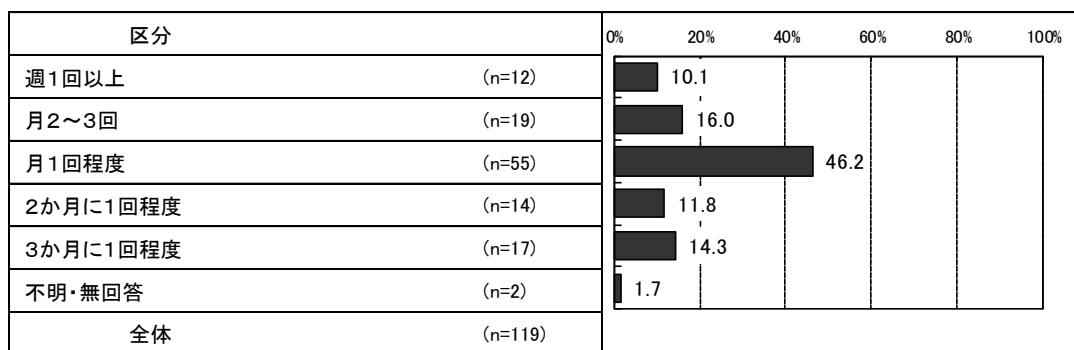
【1号】



【要支援】

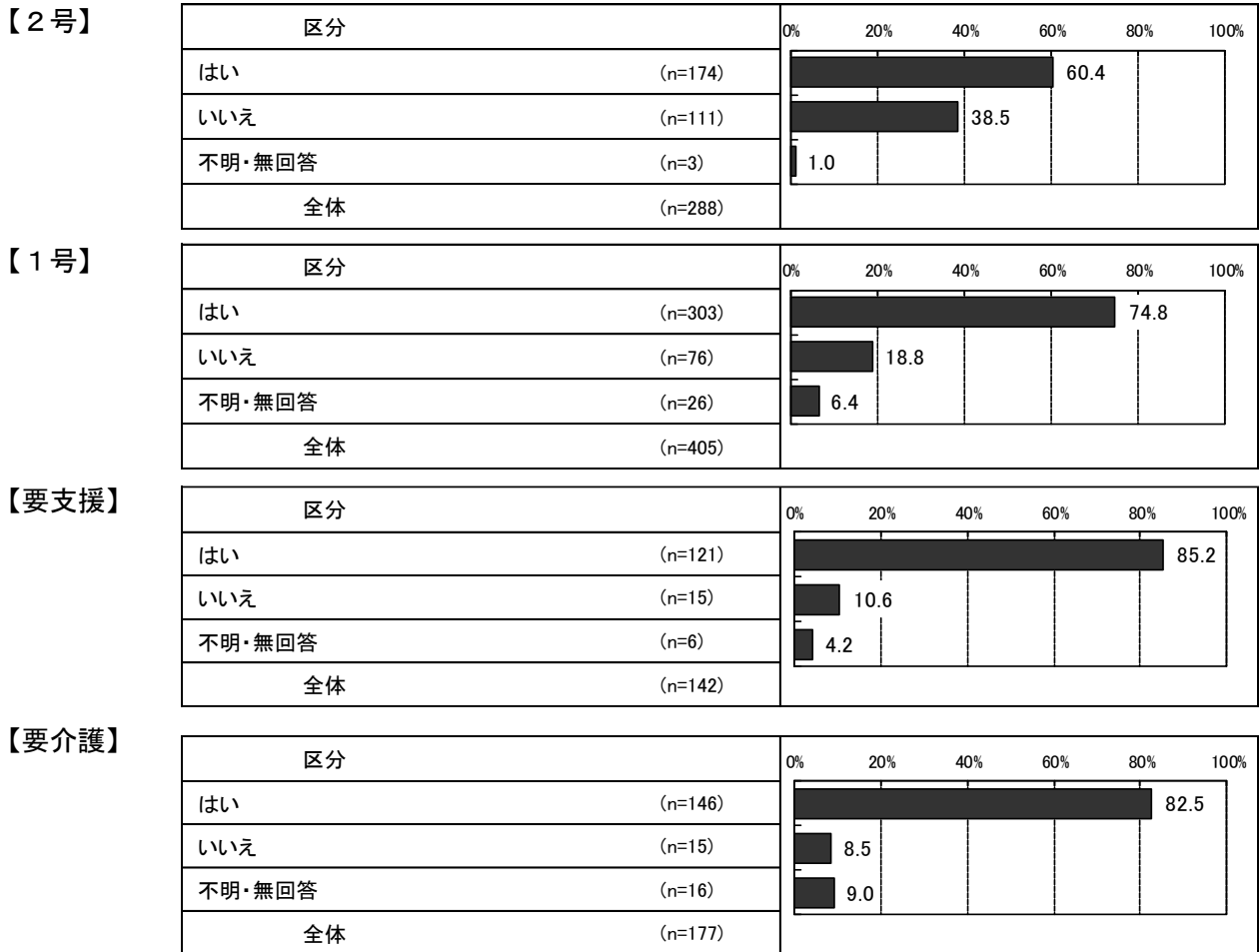


【要介護】



病院や医院（診療所、クリニック）に通院している人について、通院頻度をみると、いずれの区分においても、「月1回程度」が約4割～5割を占めて最も高くなっています。

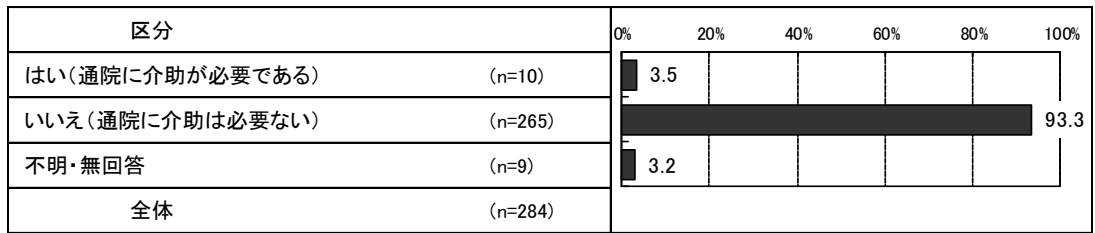
図表 27 ○ かかりつけ医の有無



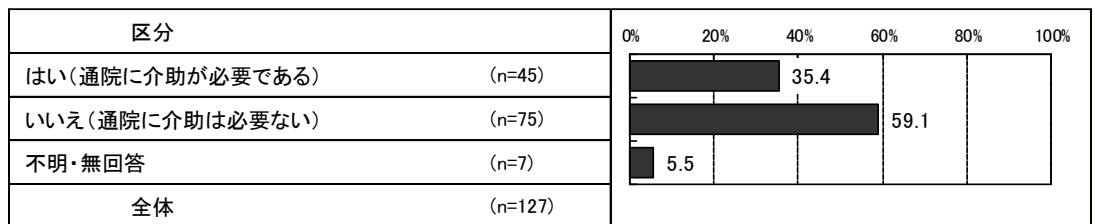
かかりつけ医の有無について、いずれの区分においても、かかりつけ医がいる人（「はい」の人）はいない人（「いいえ」の人）を大きく上回っています。かかりつけ医のいる人の割合は、【要支援】では85.2%、【要介護】では82.5%、【1号】では74.8%、【2号】では60.4%となっています。

図表 28 ○ あなたは、通院に介助が必要ですか。

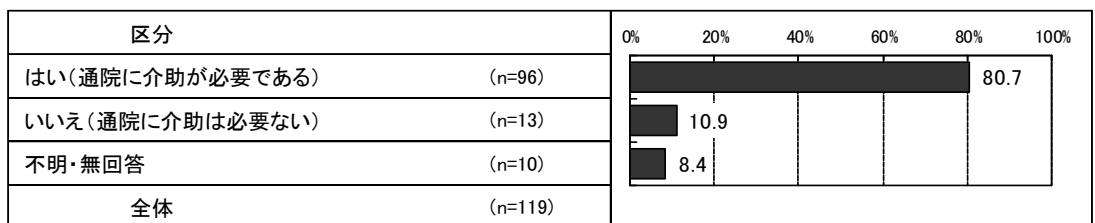
【1号】



【要支援】



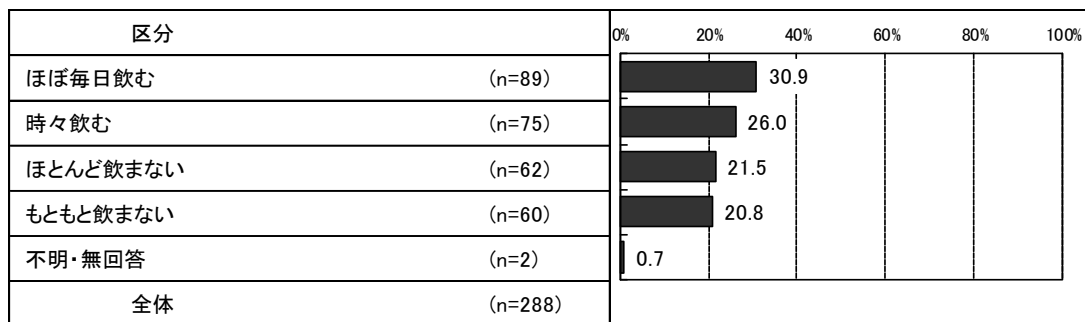
【要介護】



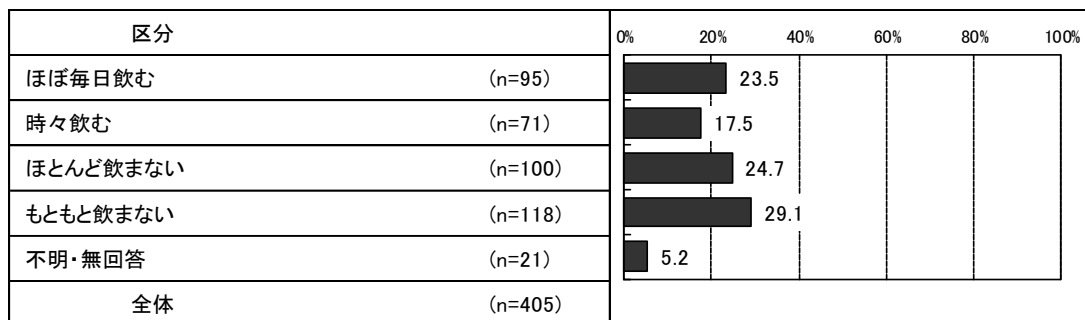
通院における介助の必要性については、【1号】では「いいえ（通院に介助は必要ない）」が 93.3%、【要支援】では「いいえ（通院に介助は必要ない）」が 59.1%、【要介護】では「はい（通院に介助が必要である）」が 80.7%で最も高くなっています。

図表 29 ○ あなたはお酒を飲みますか。

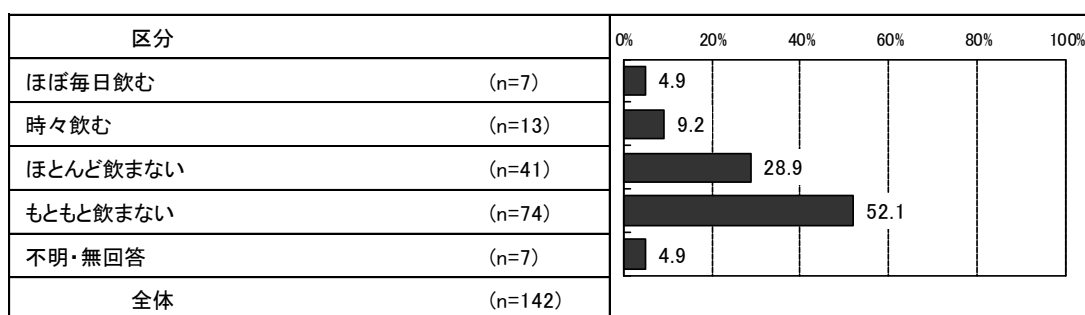
【2号】



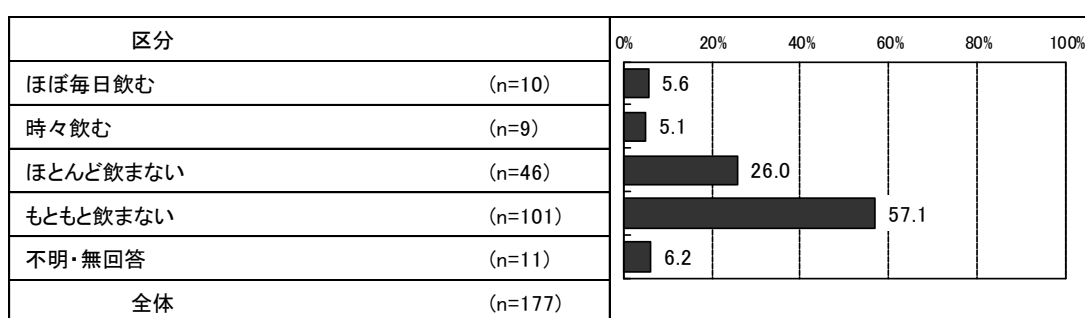
【1号】



【要支援】



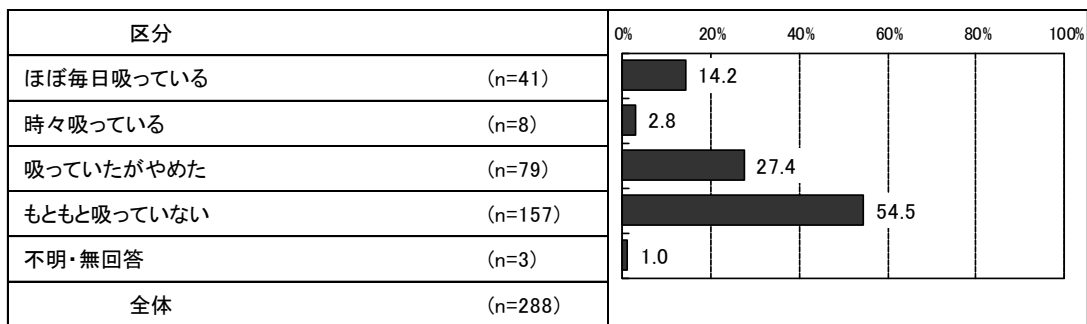
【要介護】



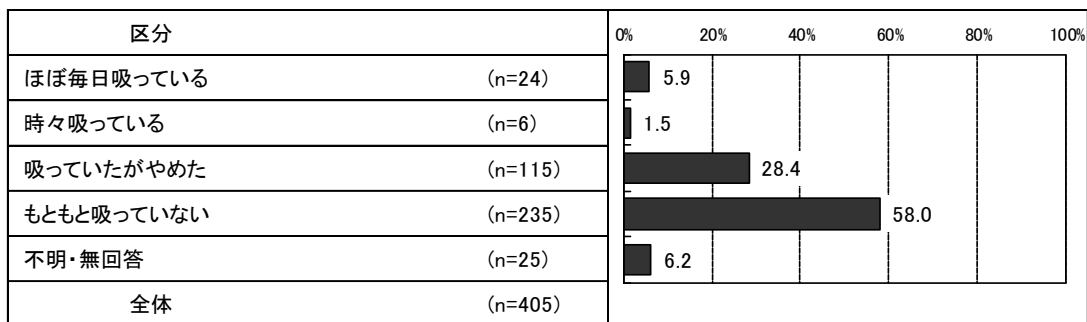
飲酒の状況については、【1号】【要支援】【要介護】では「もともと飲まない」が最も多くなっています。特に、【要支援】【要介護】では「もともと飲まない」は5割を超えています。一方、【2号】では「ほぼ毎日飲む」が最も多くなっています。

図表 30 ○ あなたはタバコを吸いますか。

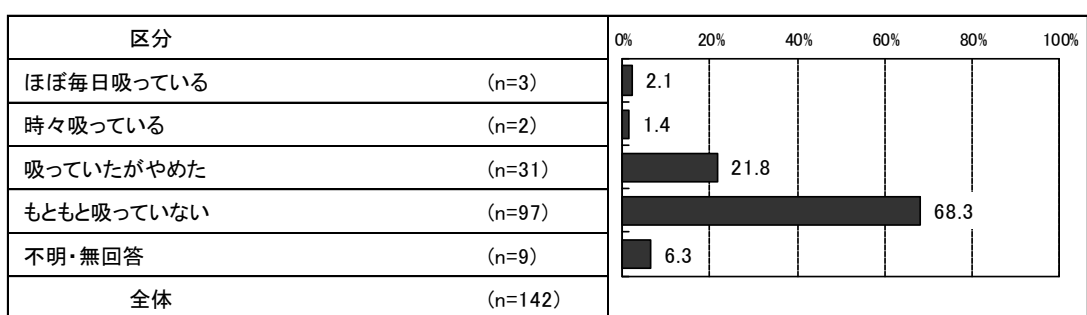
【2号】



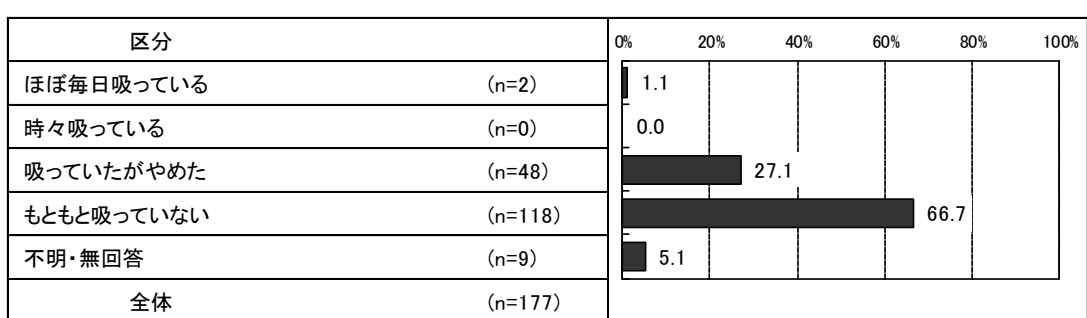
【1号】



【要支援】



【要介護】



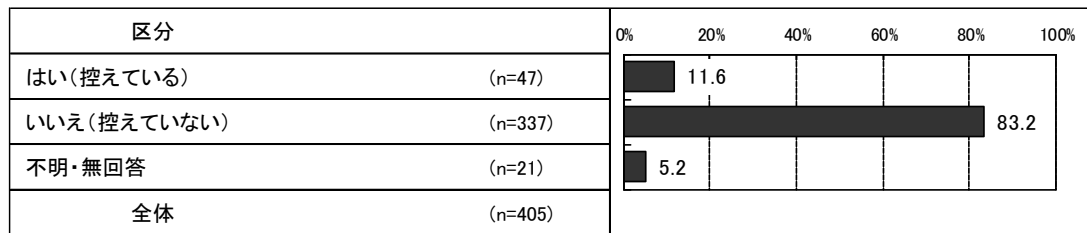
喫煙の状況については、いずれの区分においても、「もともと吸っていない」が最も多くなっていますが、特に、【要支援】【要介護】では「もともと吸っていない」は約7割を占めています。

一方、【1号】では、「ほぼ毎日吸っている」が5.9%となっており、【要支援】【要介護】と比べて高くなっています。

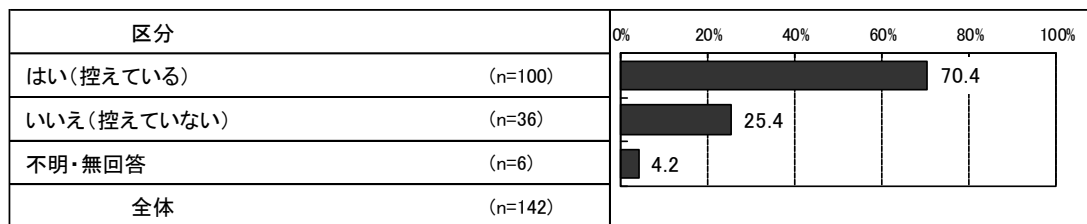
運動・外出状況について

図表 31 ○ あなたは、外出を控えていますか。

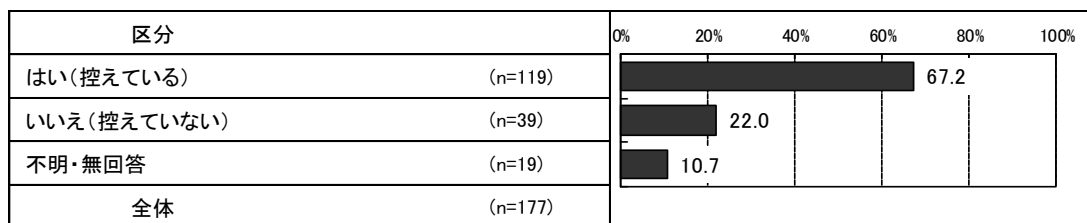
【1号】



【要支援】



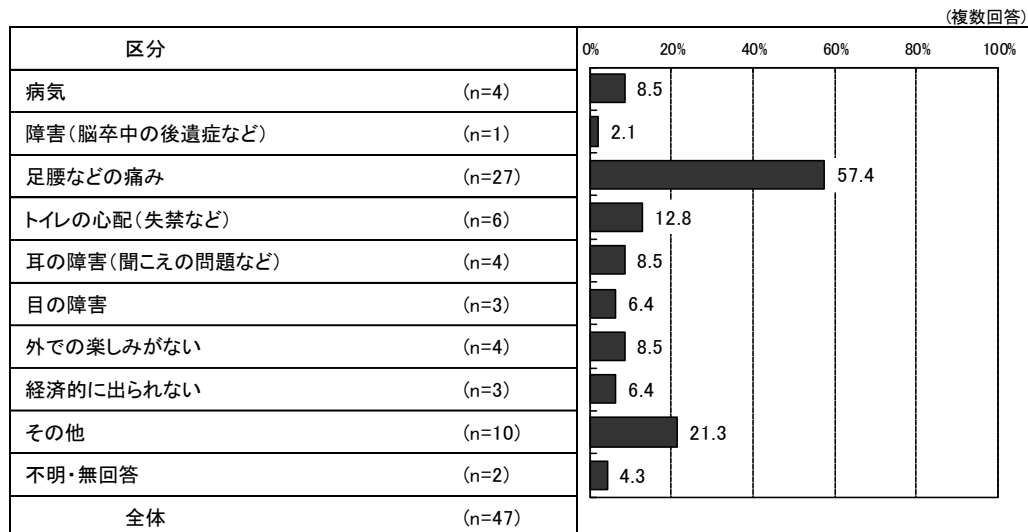
【要介護】



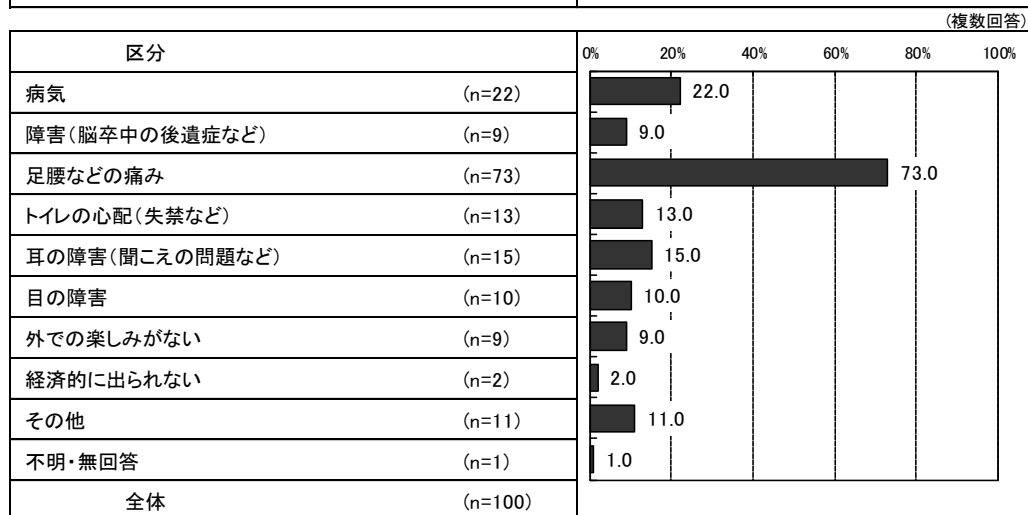
外出を控えているかについては、【1号】では「いいえ（控えていない）」が83.2%を占めていますが、【要支援】【要介護】では「はい（控えている）」が約7割を占めています。

図表 32 ○ あなたが外出を控えている理由は何ですか。

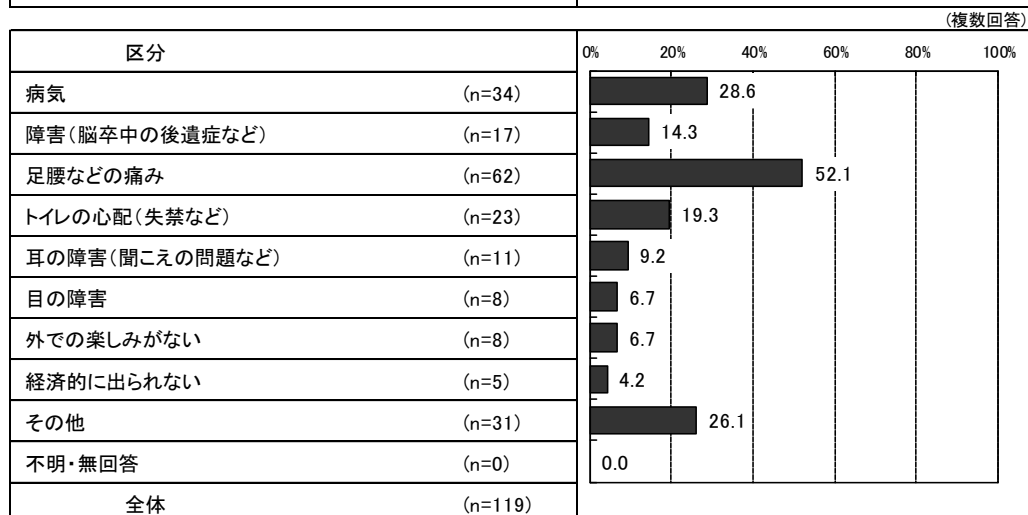
【1号】



【要支援】



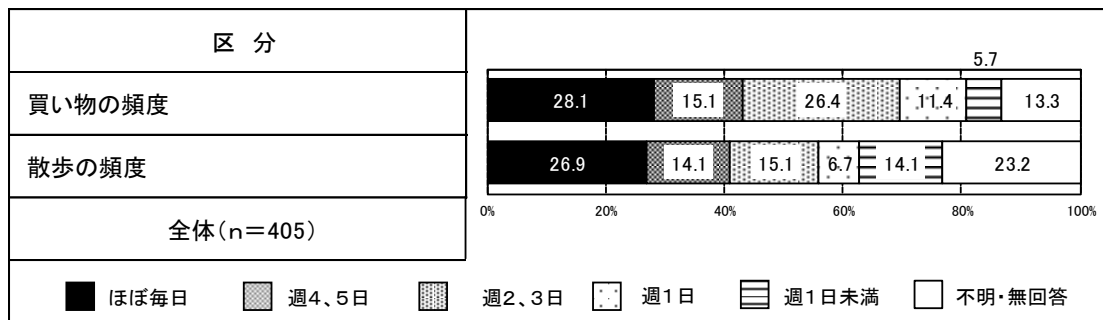
【要介護】



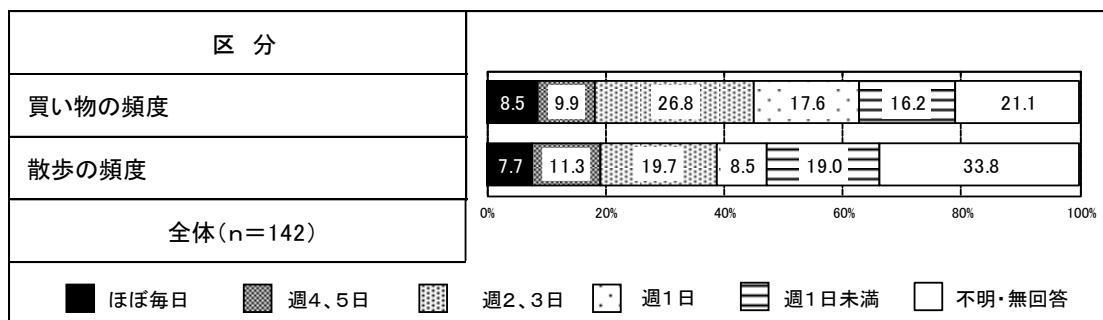
外出を控えている理由については、いずれの区分においても、「足腰などの痛み」が最も多くなっています。次に、【要支援】【要介護】では「病気」が続いています。

図表 33 ○ 買物や散歩で外出する頻度について

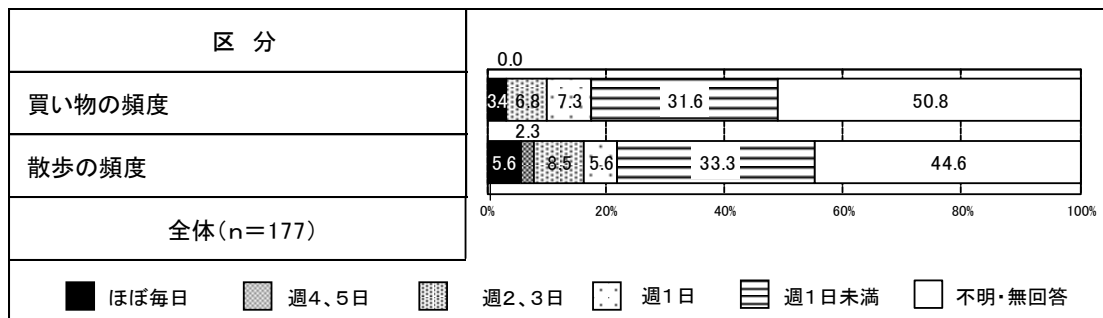
【1号】



【要支援】



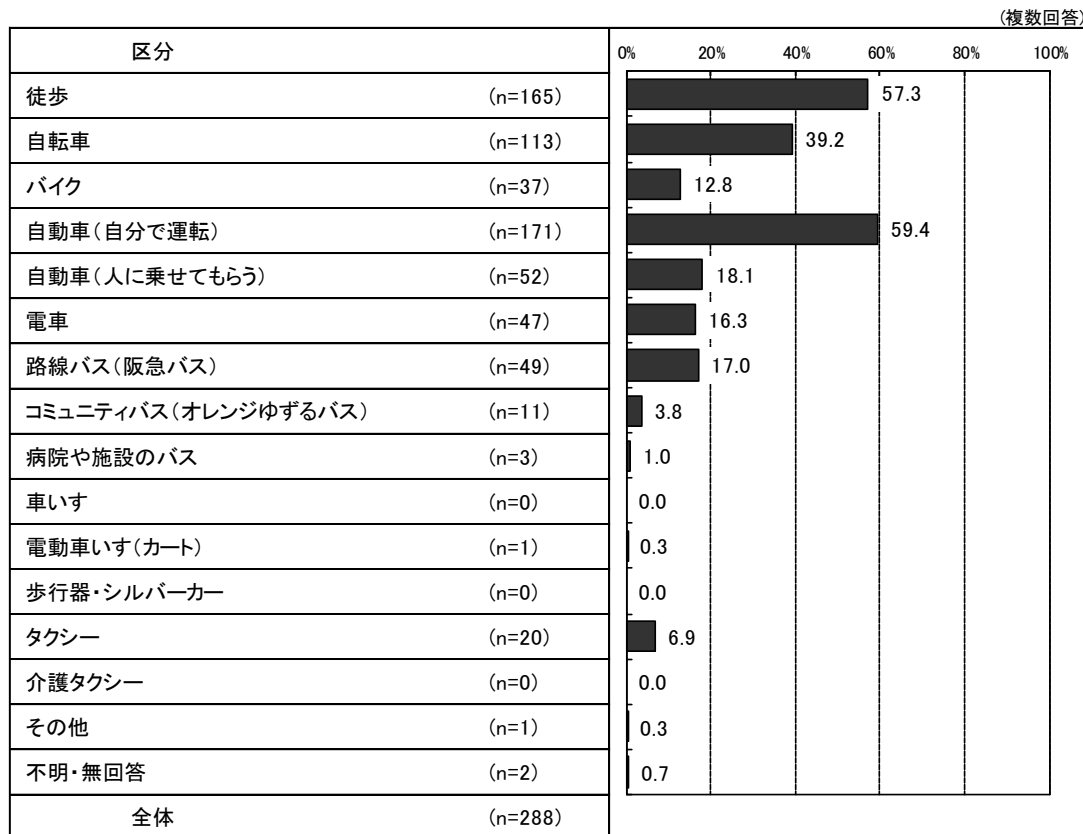
【要介護】



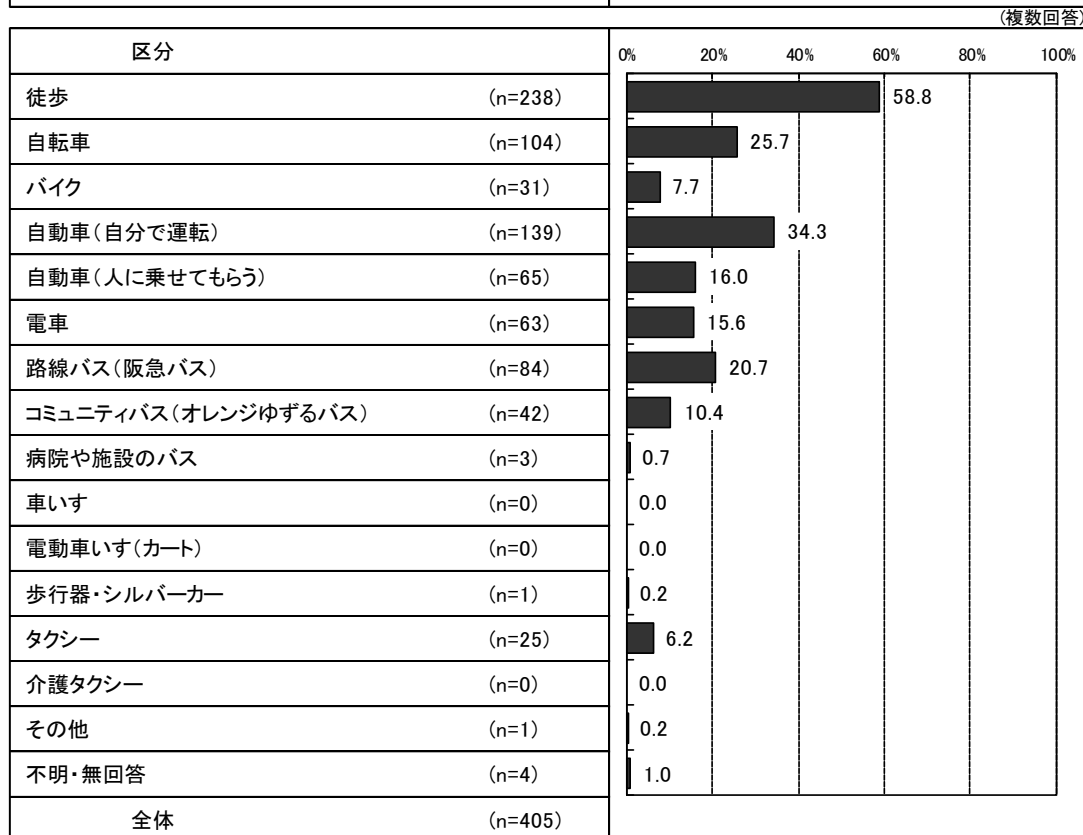
買物や散歩で外出する頻度については、要支援・要介護状態になるほど、低下しています。特に、「ほぼ毎日」については、【1号】から【要支援】にかけて大きく減少しています。

図表 34 ○ あなたが普段の買物や通院などに行くときの移動手段は何ですか。

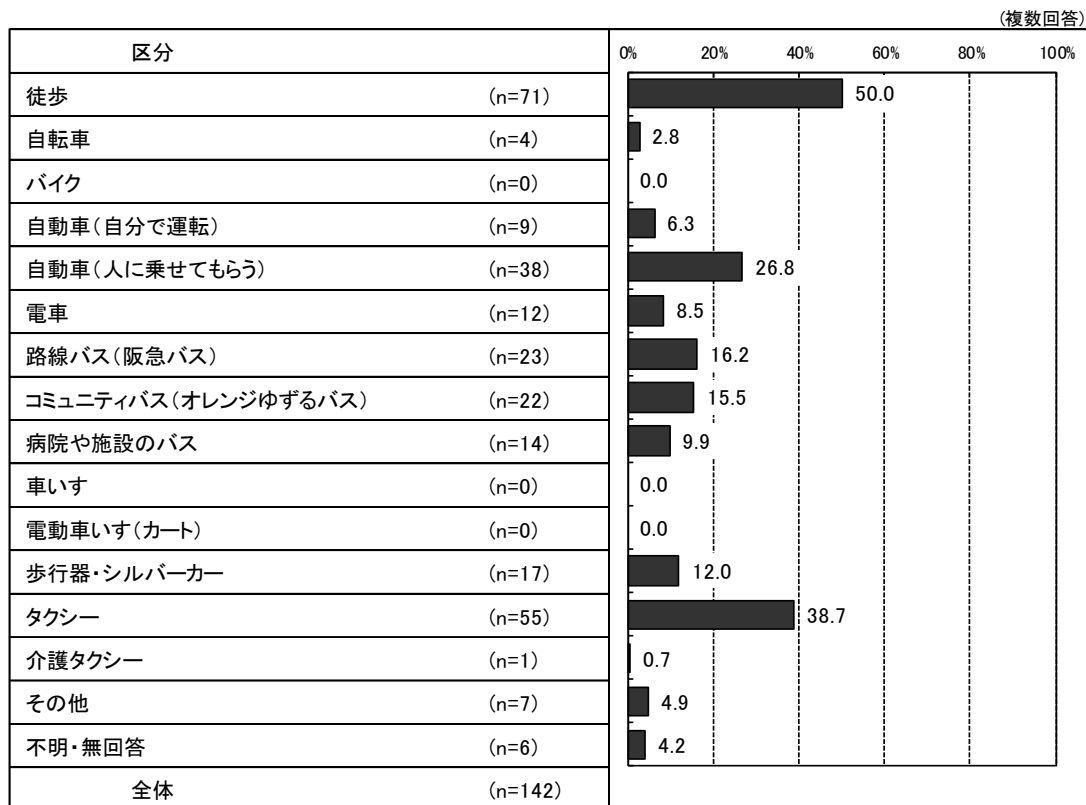
【2号】



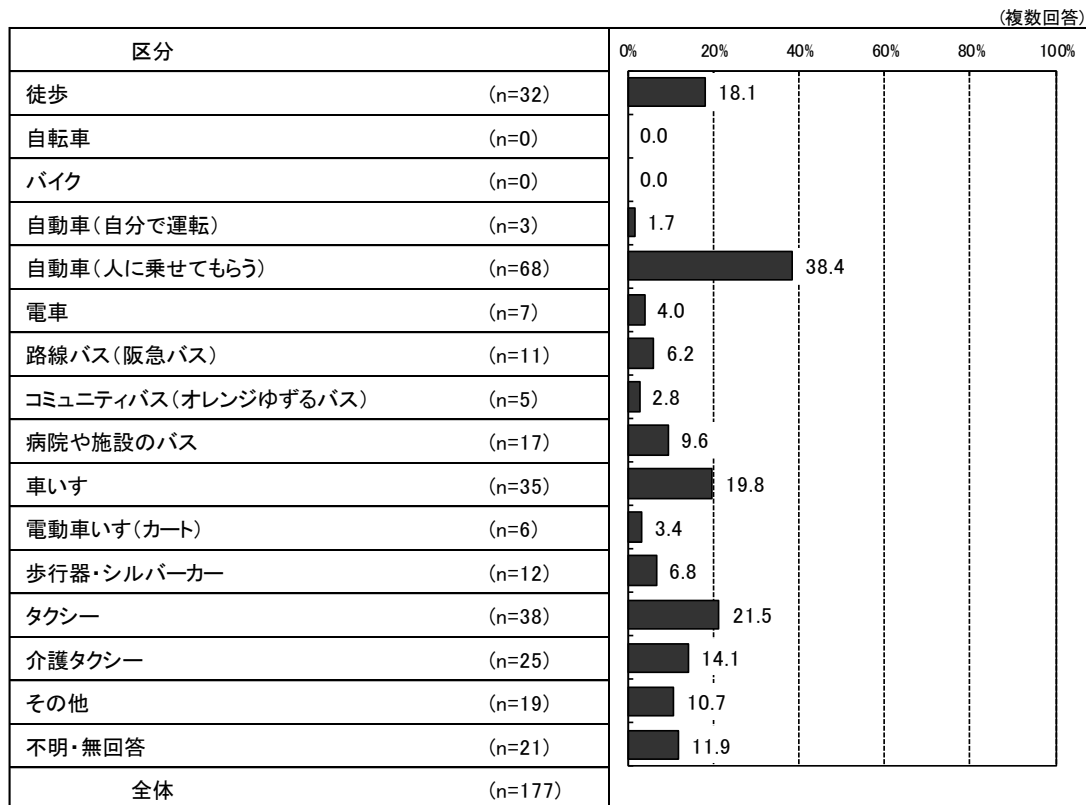
【1号】



【要支援】



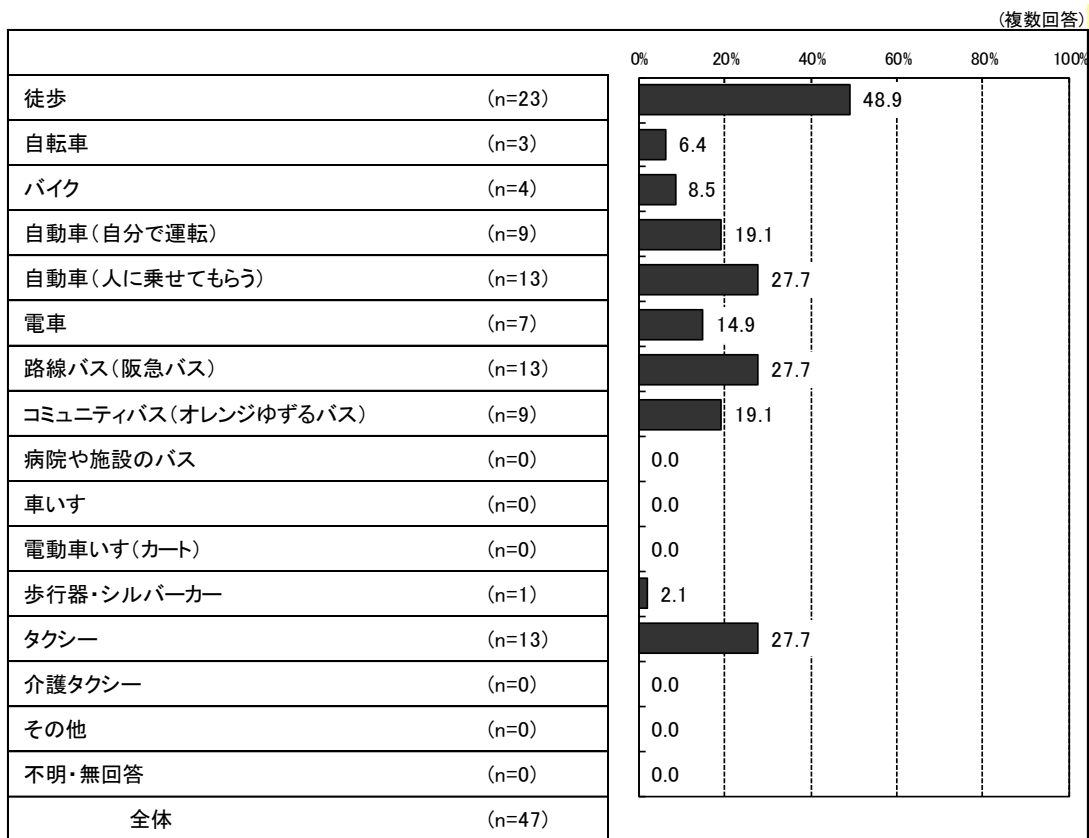
【要介護】



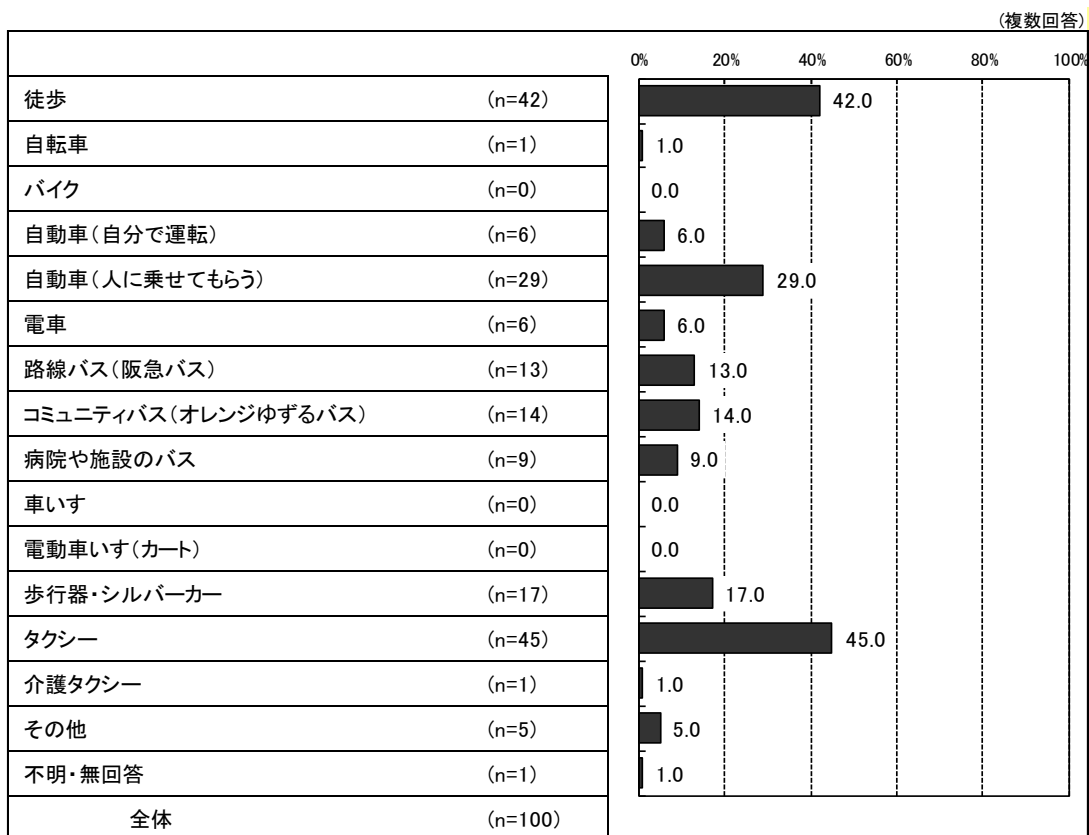
普段外出する際の移動手段については、【2号】【1号】では、「徒歩」や「自動車(自分で運転)」、【要支援】では「徒歩」「タクシー」「自動車(人に乗せてもらう)」、【要介護】では「自動車(人に乗せてもらう)」「タクシー」の割合が高くなっており、要支援・要介護状態になるほど、他人に依存する交通手段に移行しています。

図表 34-1 ■ 外出を控えている方の移動手段

【1号】

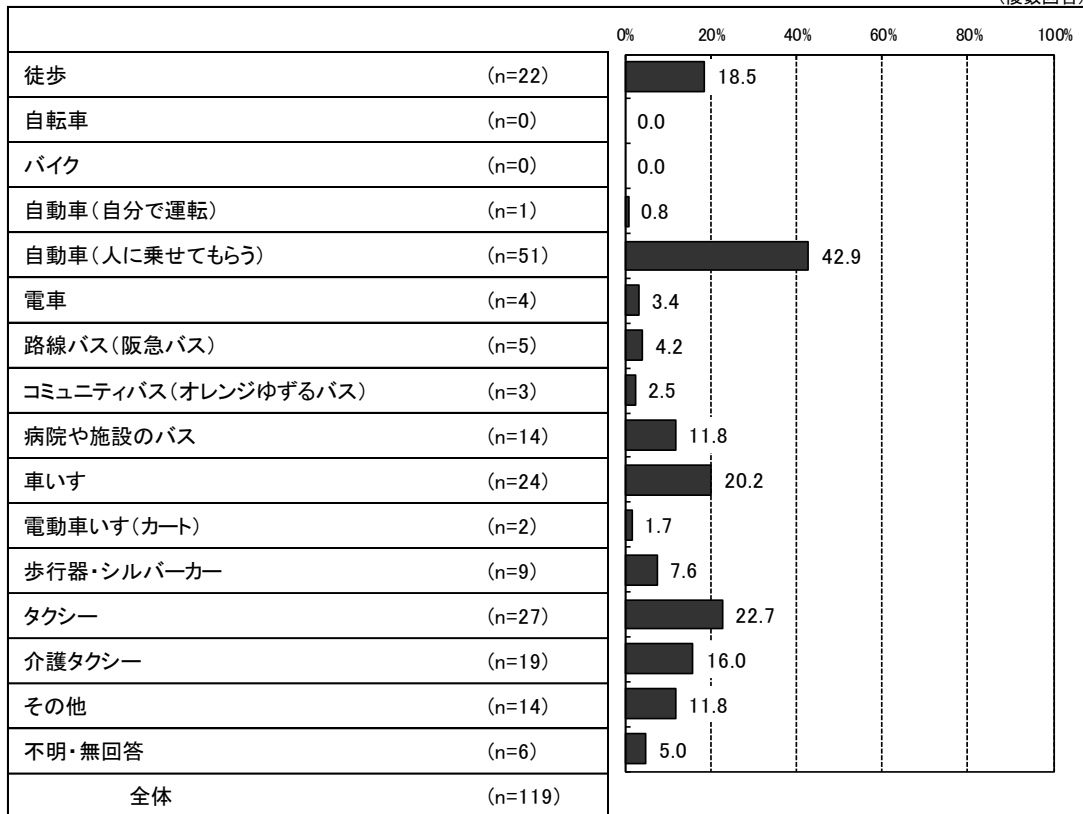


【要支援】



【要介護】

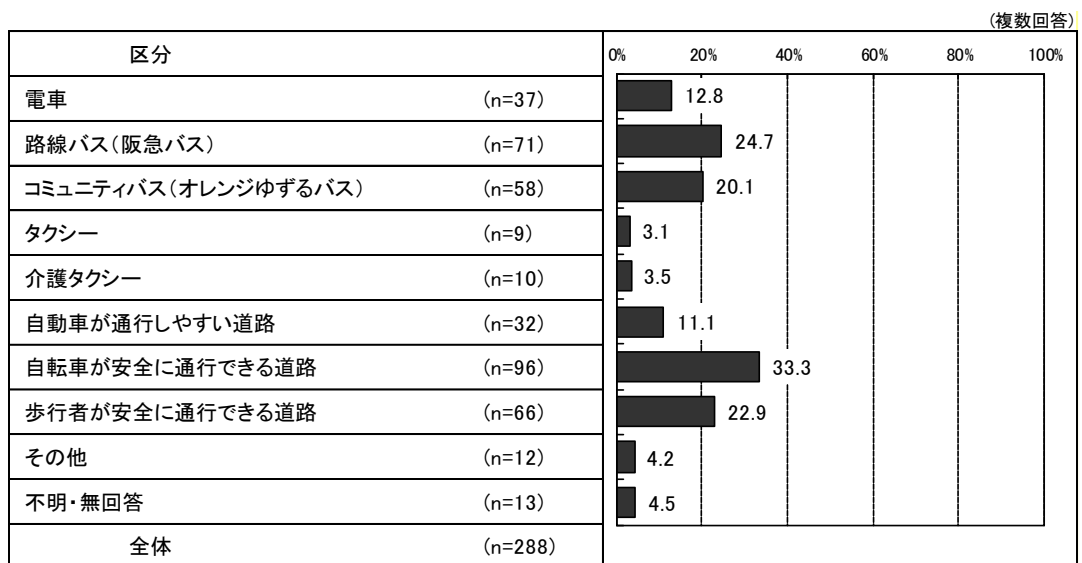
(複数回答)



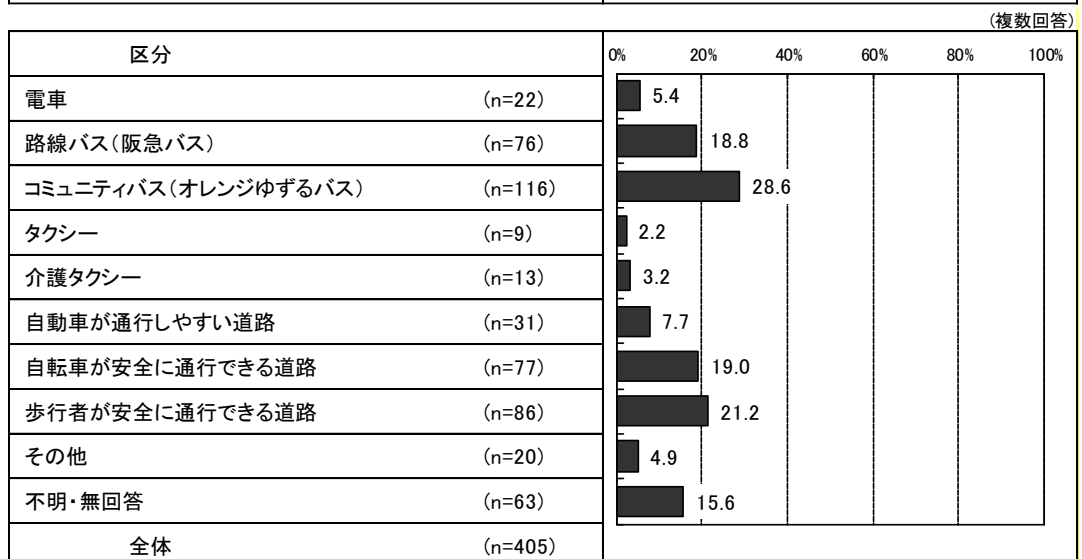
普段外出を控えている方の移動手段についてみると、【1号】では「徒歩」、【要支援】では「タクシー」、【要介護】では「自動車(人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。「徒歩」の割合は要支援・要介護状態になるほど、減少しています。

図表 35 ○ 今後、外出のために充実してほしいものは何ですか。

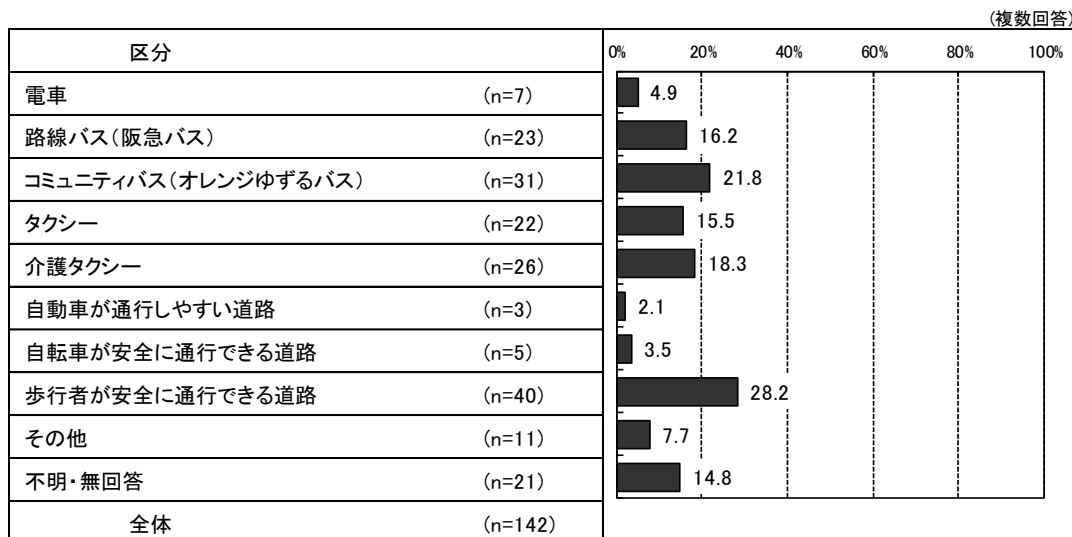
【2号】



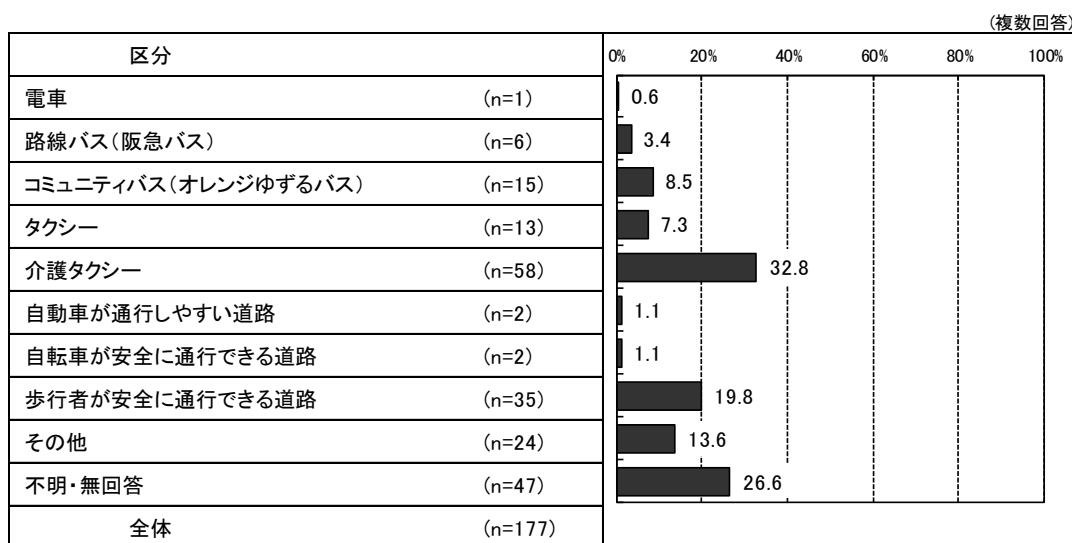
【1号】



【要支援】



【要介護】

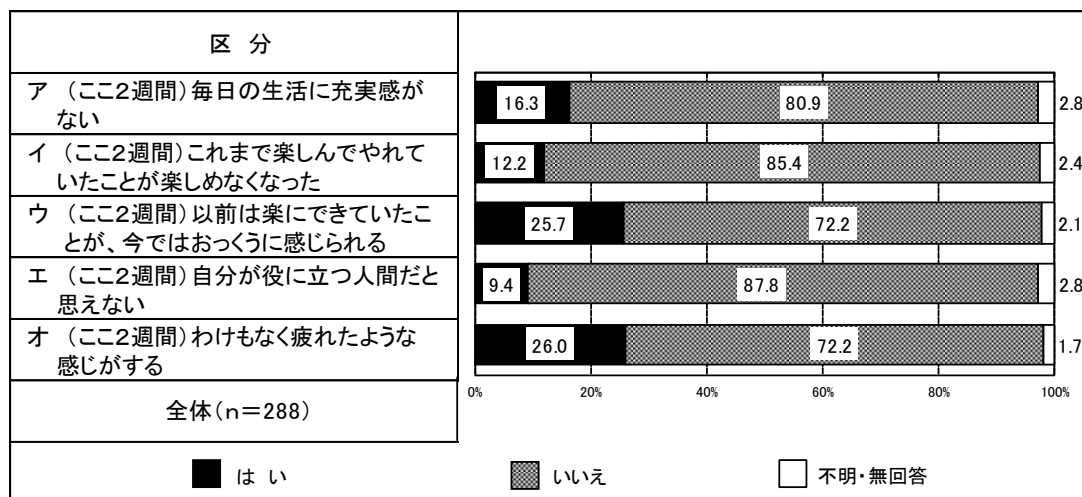


外出のために充実してほしいことについては、【2号】では「自転車が安全に通行できる道路」、【1号】では「コミュニティバス」、【要支援】では「歩行者が安全に通行できる道路」、【要介護】では「介護タクシー」が最も多くなっています。

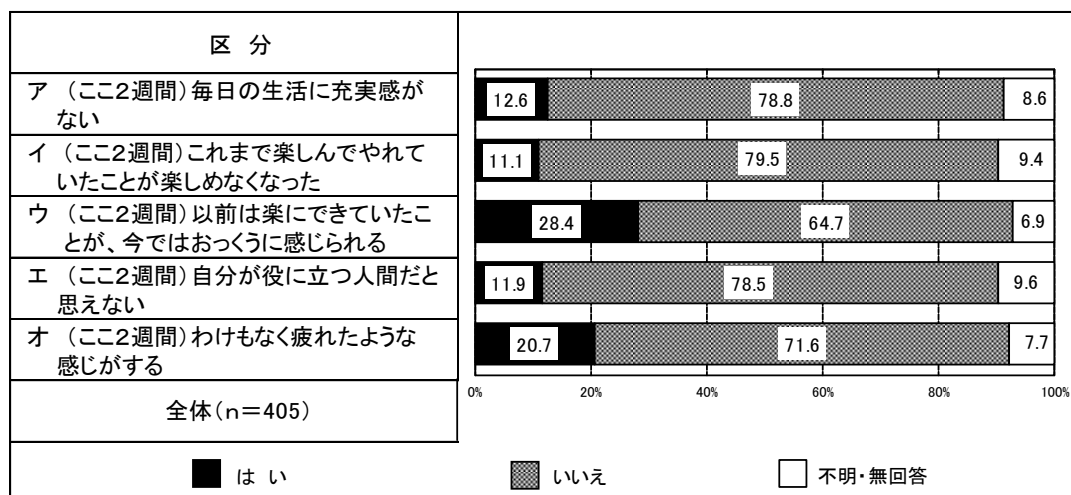
こころの状況について

- 図表 36 ○ 毎日の生活の様子についておたずねします。
 ○ あなたのこころの状況についておたずねします。

【2号】



【1号】



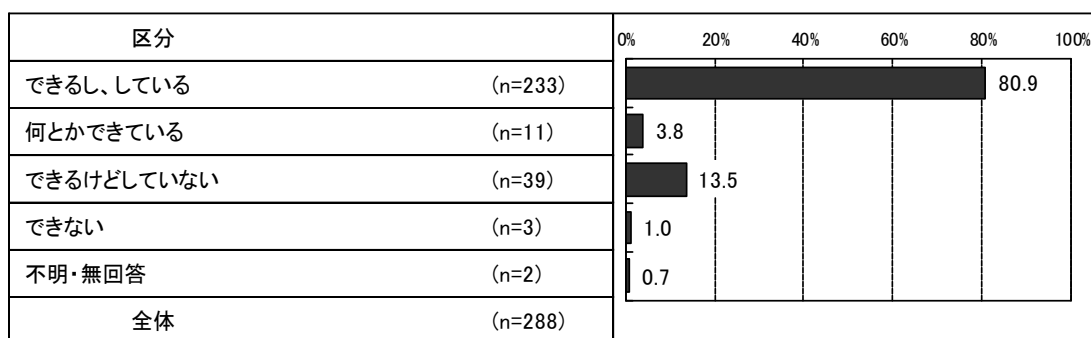
こころの状況について、【2号】では、「(ここ2週間)毎日の生活に充実がない」、「(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」、「(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする」が【1号】と比べて「はい」の割合が高くなっています。

一方、【1号】では、「(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」、「(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない」が【2号】と比べて「はい」の割合が高くなっています。

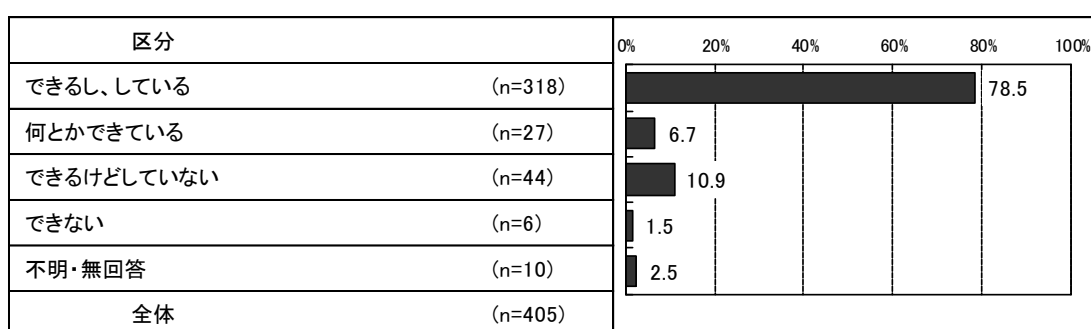
日常生活について

図表 37 ○ あなたは自分で日用品の買物をしていますか。

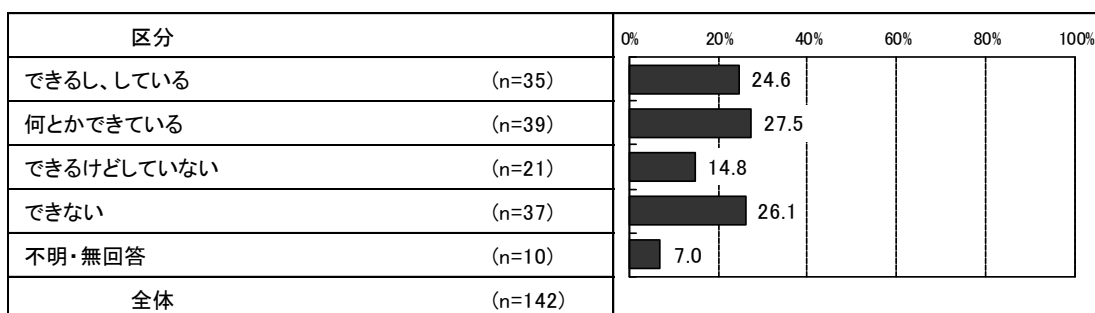
【2号】



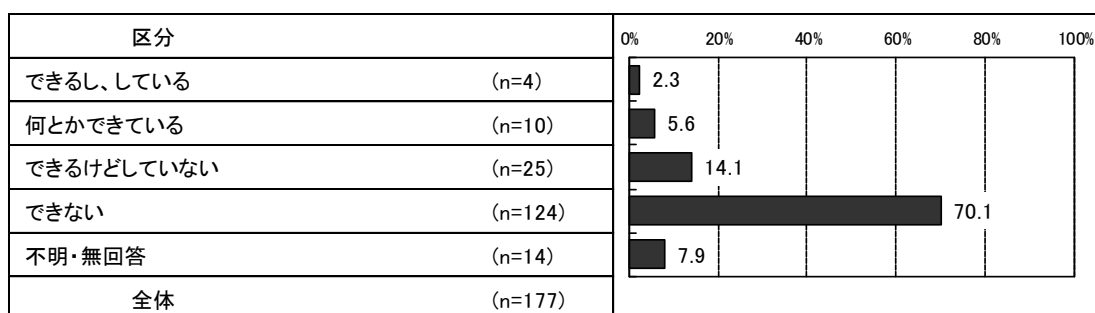
【1号】



【要支援】



【要介護】

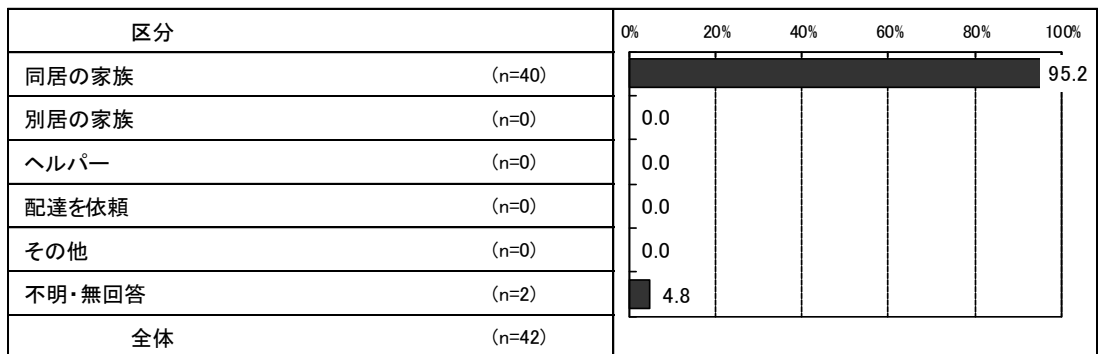


日用品の買物については、【2号】【1号】では「できるし、している」が約8割を占めています。一方、【要介護】では「できない」が約7割を占めています

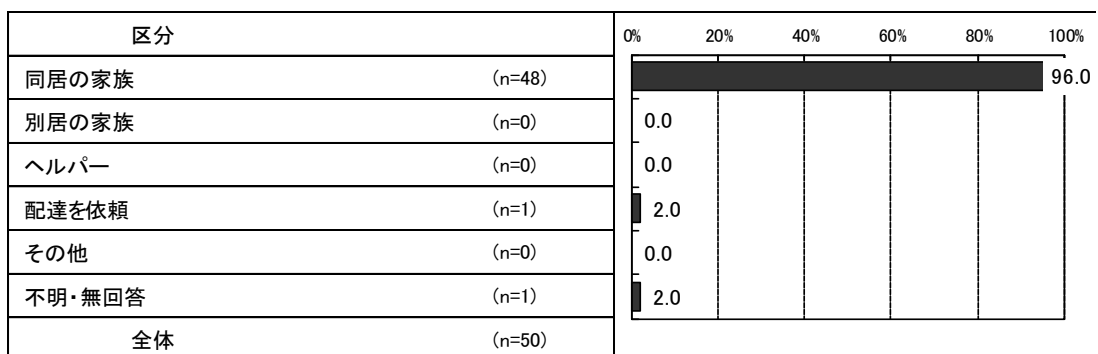
【要支援】では、「できるし、している」、「何とかできている」が約5割を占めています。

図表 37-1 ○ 主に日用品の買物をする人

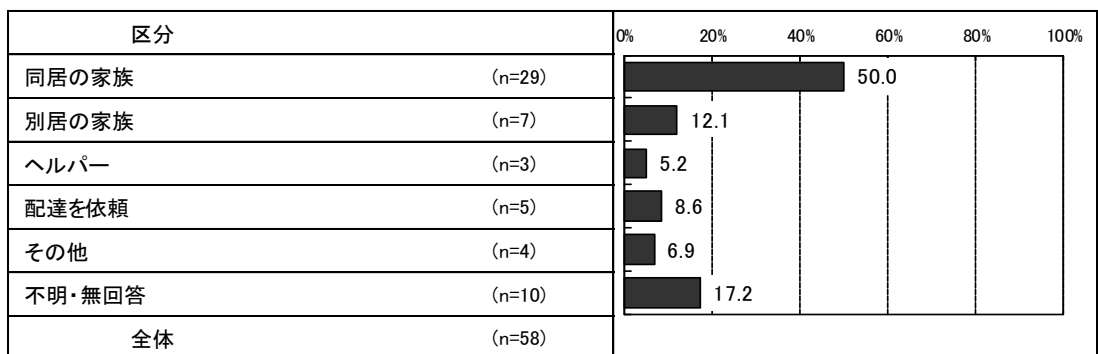
【2号】



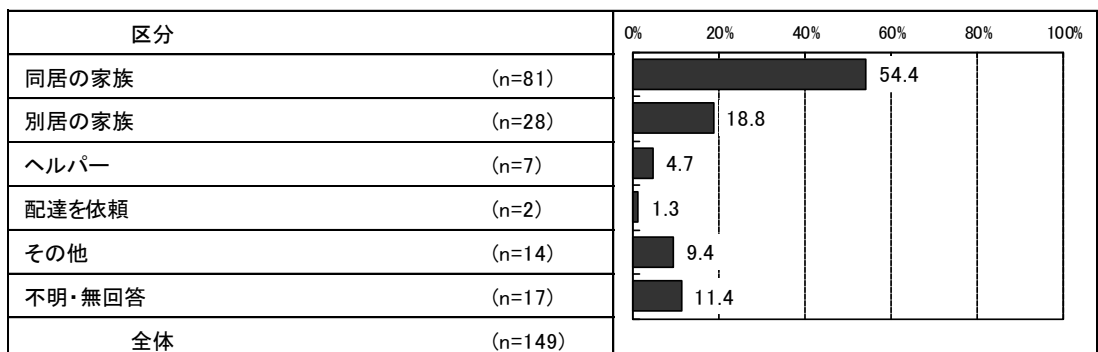
【1号】



【要支援】



【要介護】



自身で日用品の買物をしない・できない人の代わりに買物する人については、いずれの区分においても、「同居の家族」が最も多くなっています。【2号】【1号】では「同居の家族」は9割を超えています。一方、【要支援】【要介護】では約5割で、「別居の家族」が続いています。

図表 37-1-1* ■ 性別、年齢階層別の買物の状況

【1号】

上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	405 100.0	318 78.5	27 6.7	44 10.9	6 1.5	10 2.5
男	168 100.0	114 67.9	13 7.7	33 19.6	2 1.2	6 3.6
女	232 100.0	203 87.5	13 5.6	8 3.4	4 1.7	4 1.7
65歳～69歳	132 100.0	108 81.8	3 2.3	18 13.6	0 0.0	3 2.3
70歳～74歳	123 100.0	104 84.6	3 2.4	9 7.3	4 3.3	3 2.4
75歳～79歳	78 100.0	61 78.2	7 9.0	8 10.3	0 0.0	2 2.6
80歳～84歳	44 100.0	34 77.3	7 15.9	2 4.5	1 2.3	0 0.0
85歳以上	24 100.0	10 41.7	7 29.2	4 16.7	1 4.2	2 8.3

【要支援】

上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	142 100.0	35 24.6	39 27.5	21 14.8	37 26.1	10 7.0
男	38 100.0	7 18.4	10 26.3	6 15.8	12 31.6	3 7.9
女	104 100.0	28 26.9	29 27.9	15 14.4	25 24.0	7 6.7
60歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
60歳～64歳	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
65歳～69歳	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
70歳～74歳	13 100.0	6 46.2	2 15.4	1 7.7	3 23.1	1 7.7
75歳～79歳	26 100.0	5 19.2	6 23.1	5 19.2	8 30.8	2 7.7
80歳～84歳	46 100.0	14 30.4	14 30.4	6 13.0	10 21.7	2 4.3
85歳以上	51 100.0	7 13.7	16 31.4	8 15.7	15 29.4	5 9.8

【要介護】

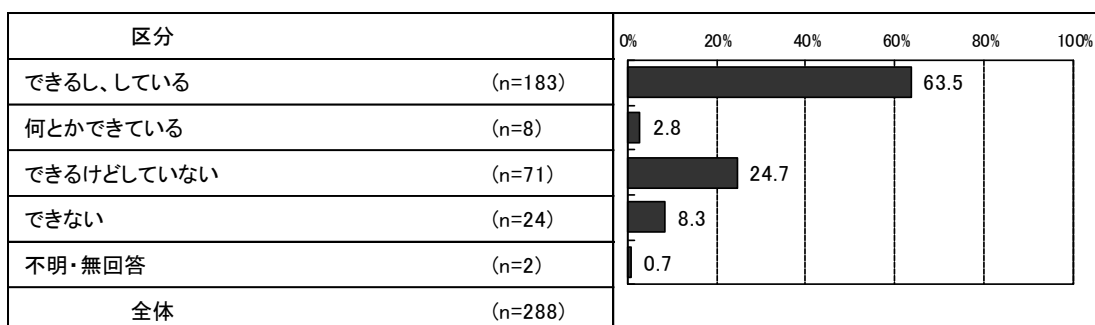
上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	177 100.0	4 2.3	10 5.6	25 14.1	124 70.1	14 7.9
男	60 100.0	2 3.3	4 6.7	15 25.0	35 58.3	4 6.7
女	116 100.0	2 1.7	6 5.2	10 8.6	88 75.9	10 8.6
60歳未満	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
60歳～64歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0
65歳～69歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	4 44.4	4 44.4	0 0.0
70歳～74歳	12 100.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	7 58.3	0 0.0
75歳～79歳	19 100.0	0 0.0	2 10.5	2 10.5	15 78.9	0 0.0
80歳～84歳	42 100.0	3 7.1	4 9.5	8 19.0	26 61.9	1 2.4
85歳以上	82 100.0	0 0.0	2 2.4	5 6.1	62 75.6	13 15.9

買物の状況について、性別でみると、【1号】【要支援】では自分で買物をしている人（「できるし、している」「何とかできている」）は男性より女性の割合が高くなっていますが、【要介護】では女性より男性の割合が高くなっています。

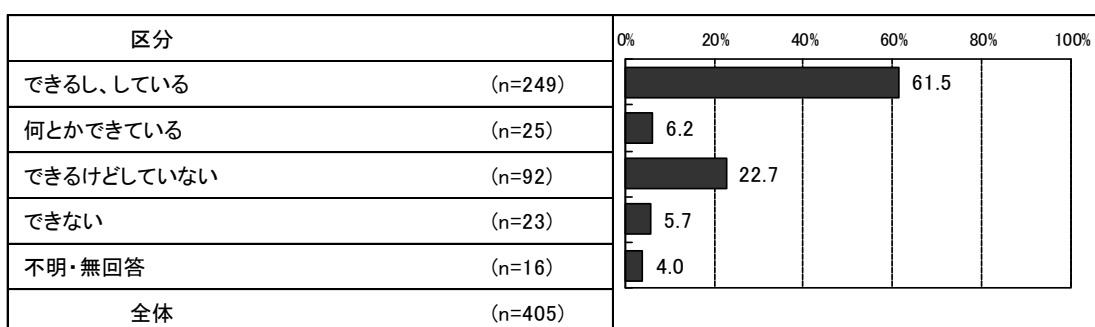
年齢階層別にみると、【1号】では自分で買物している人はどの年齢階層も6割を超えています。【要支援】では約4割～6割を占める年齢階層が多くなっています。ただし、「65歳～69歳」の自分で買物をしている割合は100%となっています。【要介護】では約1割の年齢階層が多くなっています。

図表 38 ○ あなたは自分で食事の用意をしていますか。

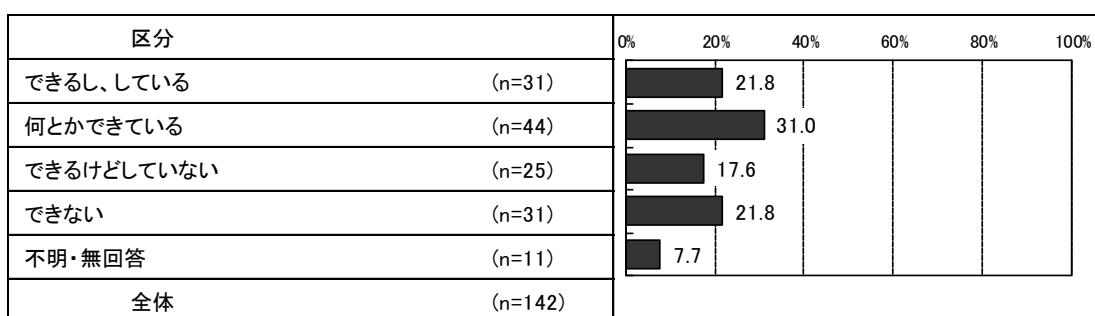
【2号】



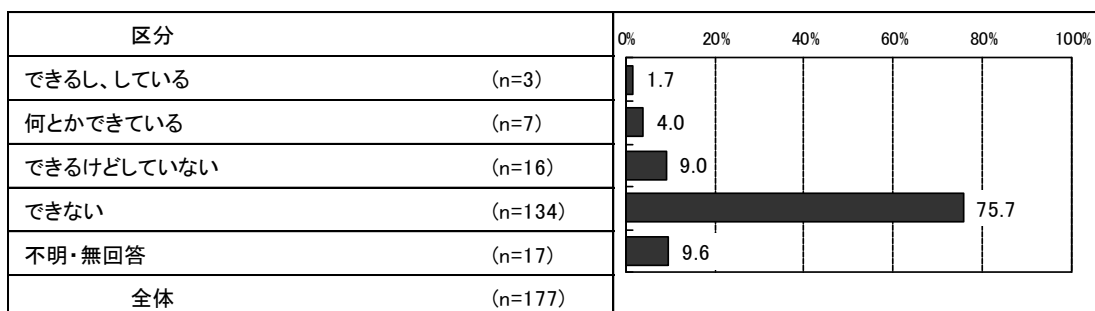
【1号】



【要支援】



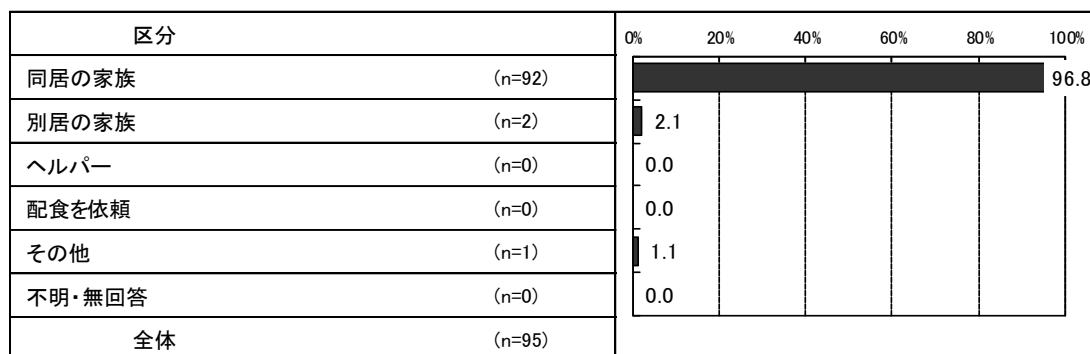
【要介護】



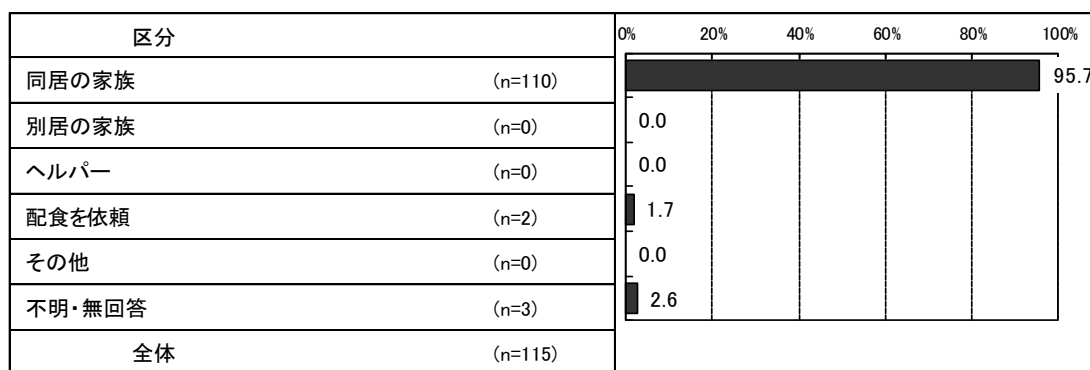
食事の用意については、【2号】【1号】では、「できるし、している」が最も多く、「できるけどしていない」が続いています。【要支援】では、「何とかできている」が最も多く、「できるし、している」、「できない」が続いています。【要介護】では「できない」が最も多くなっています。

図表 38-1 ○ 主に食事の用意をする人

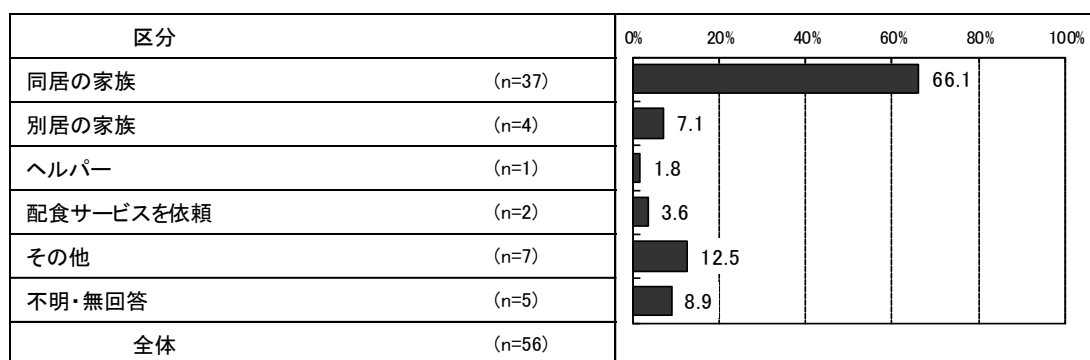
【2号】



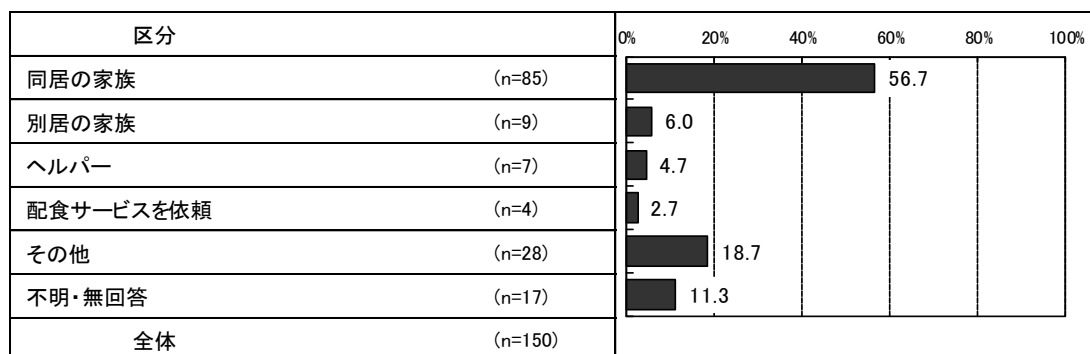
【1号】



【要支援】



【要介護】



自身で食事の用意をしない・できない人の代わりに用意する人については、いずれの区分においても、「同居の家族」が最も多くなっています。【2号】【1号】では「同居の家族」は9割を超えています。一方、【要支援】【要介護】では6割程度で、「その他」が続いています。

図表 38- 1 - 1 * ■ 性別、年齢階層別の食事の用意の状況

【1号】

上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	405 100.0	249 61.5	25 6.2	92 22.7	23 5.7	16 4.0
男	168 100.0	50 29.8	10 6.0	79 47.0	20 11.9	9 5.4
女	232 100.0	197 84.9	15 6.5	10 4.3	3 1.3	7 3.0
65歳～69歳	132 100.0	85 64.4	4 3.0	29 22.0	9 6.8	5 3.8
70歳～74歳	123 100.0	83 67.5	8 6.5	27 22.0	4 3.3	1 0.8
75歳～79歳	78 100.0	49 62.8	5 6.4	16 20.5	4 5.1	4 5.1
80歳～84歳	44 100.0	27 61.4	2 4.5	10 22.7	4 9.1	1 2.3
85歳以上	24 100.0	4 16.7	6 25.0	7 29.2	2 8.3	5 20.8

【要支援】

上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	142 100.0	31 21.8	44 31.0	25 17.6	31 21.8	11 7.7
男	38 100.0	5 13.2	7 18.4	11 28.9	12 31.6	3 7.9
女	104 100.0	26 25.0	37 35.6	14 13.5	19 18.3	8 7.7
60歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
60歳～64歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
65歳～69歳	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
70歳～74歳	13 100.0	3 23.1	4 30.8	2 15.4	3 23.1	1 7.7
75歳～79歳	26 100.0	7 26.9	9 34.6	4 15.4	4 15.4	2 7.7
80歳～84歳	46 100.0	14 30.4	13 28.3	9 19.6	7 15.2	3 6.5
85歳以上	51 100.0	6 11.8	16 31.4	9 17.6	15 29.4	5 9.8

【要介護】

上段(人) 下段(%)	合計	できるし、 している	何とかできて いる	できるけど していない	できない	不明・無回答
全体	177 100.0	3 1.7	7 4.0	16 9.0	134 75.7	17 9.6
男	60 100.0	1 1.7	2 3.3	9 15.0	43 71.7	5 8.3
女	116 100.0	2 1.7	5 4.3	7 6.0	90 77.6	12 10.3
60歳未満	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
60歳～64歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0
65歳～69歳	9 100.0	1 11.1	0 0.0	2 22.2	6 66.7	0 0.0
70歳～74歳	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 100.0	0 0.0
75歳～79歳	19 100.0	0 0.0	1 5.3	1 5.3	16 84.2	1 5.3
80歳～84歳	42 100.0	2 4.8	1 2.4	8 19.0	29 69.0	2 4.8
85歳以上	82 100.0	0 0.0	5 6.1	3 3.7	60 73.2	14 17.1

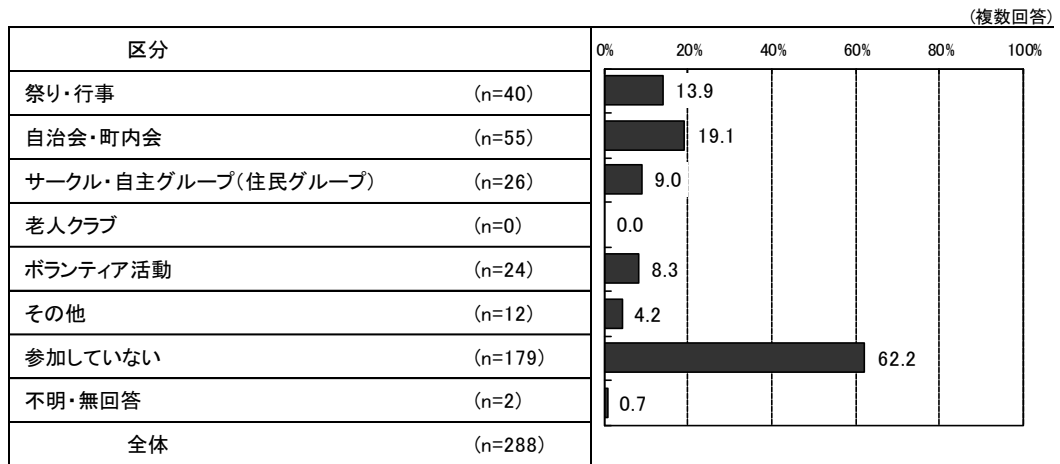
食事の用意の状況について、性別で見ると、【1号】【要支援】では自分で食事の用意をしている人（「できるし、している」「何とかできている」）は男性より女性の割合が大きく上回っていますが、【要介護】では女性と男性の差は1.0%まで縮小しています。

年齢階層別にみると、【1号】では自分で買物している人はどの年齢階層も6割を超えています。ただし、「85歳以上」では約4割となっています。【要支援】では約4割～6割を占める年齢階層が多くなっています。【要介護】ではどの年齢階層も1割を下回っています

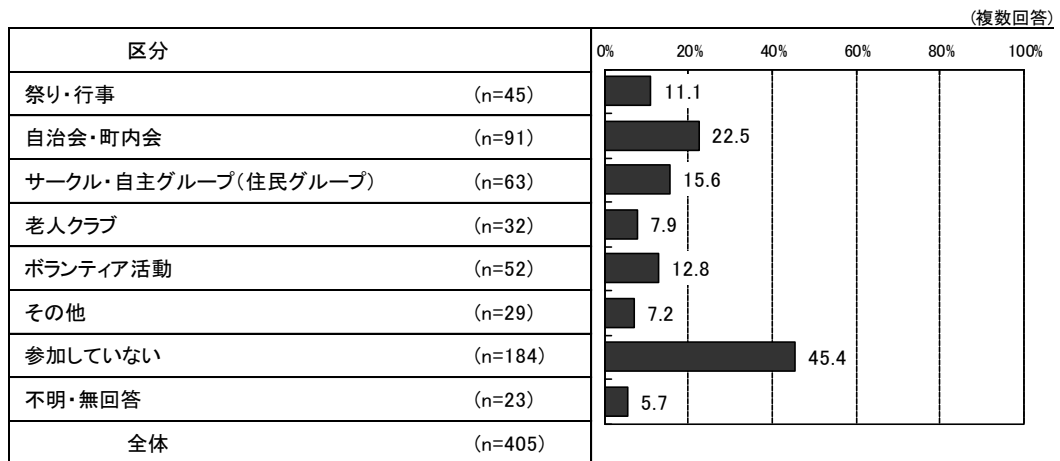
社会参加などについて

図表 39 ○ あなたは地域活動などに参加していますか。

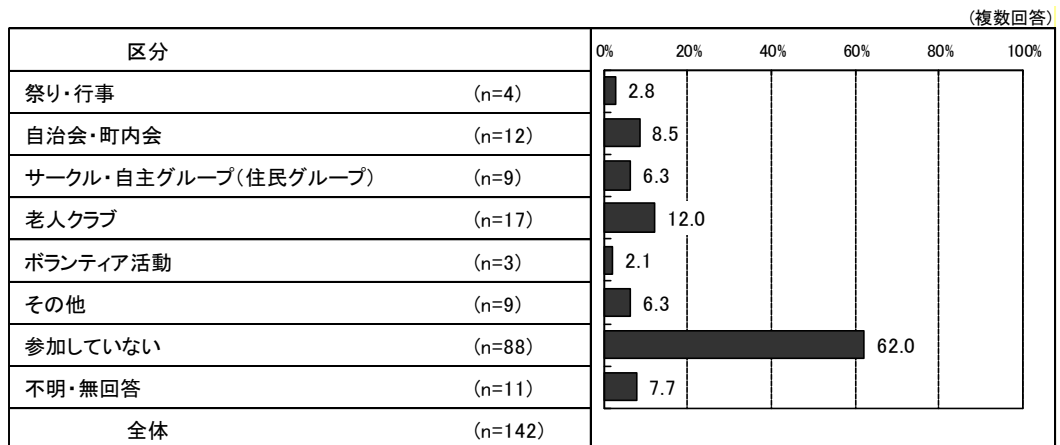
【2号】



【1号】

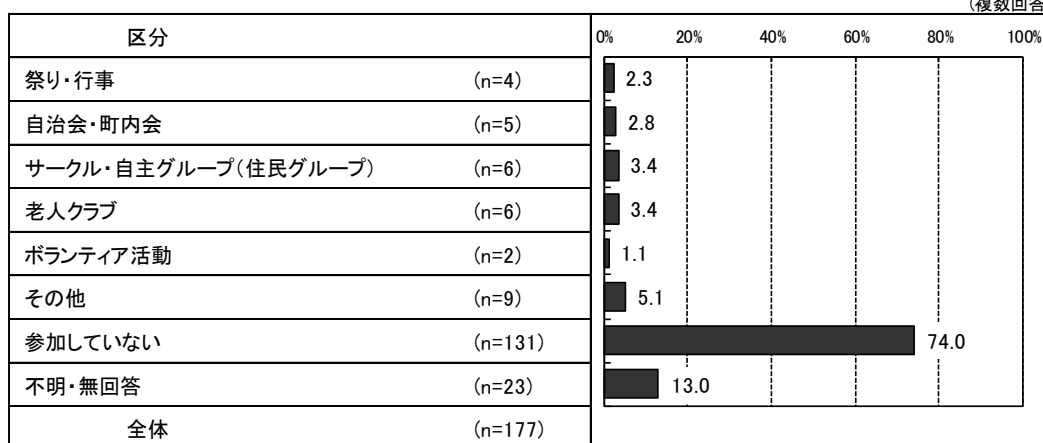


【要支援】



【要介護】

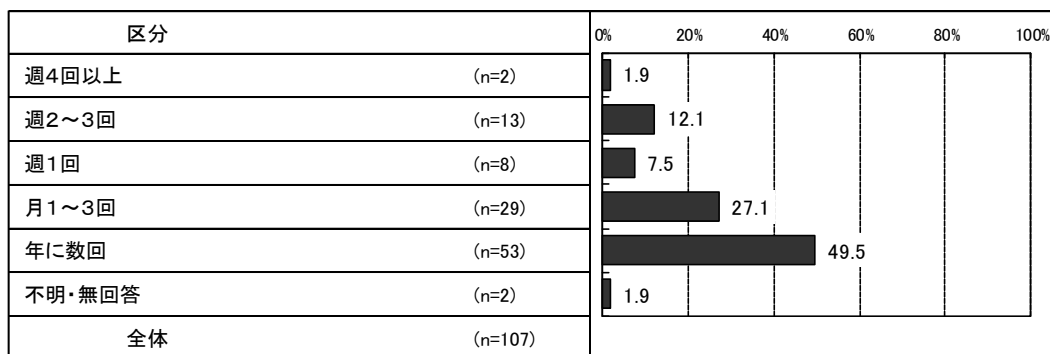
(複数回答)



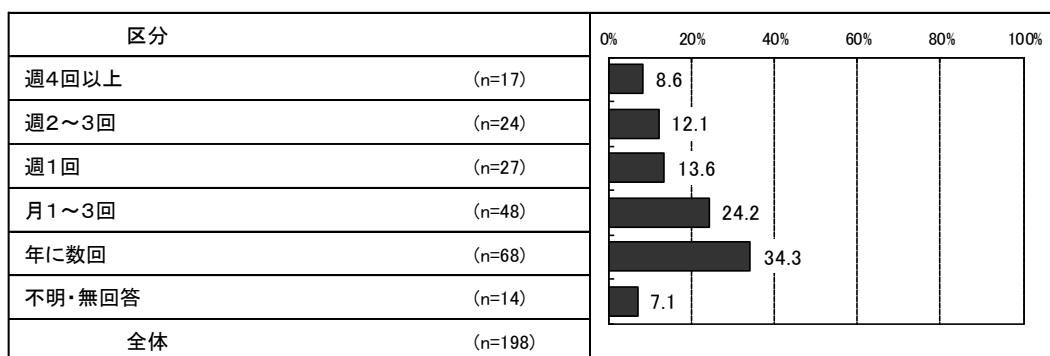
地域活動に参加している人の割合は、【2号】で37.8%、【1号】で54.6%、【要支援】で38.0%、【要介護】で26.0%となっており、非認定者の約4割～5割が地域活動に参加していることがわかります。

図表 40 ○ あなたは地域活動などにどのくらいの頻度で参加していますか。

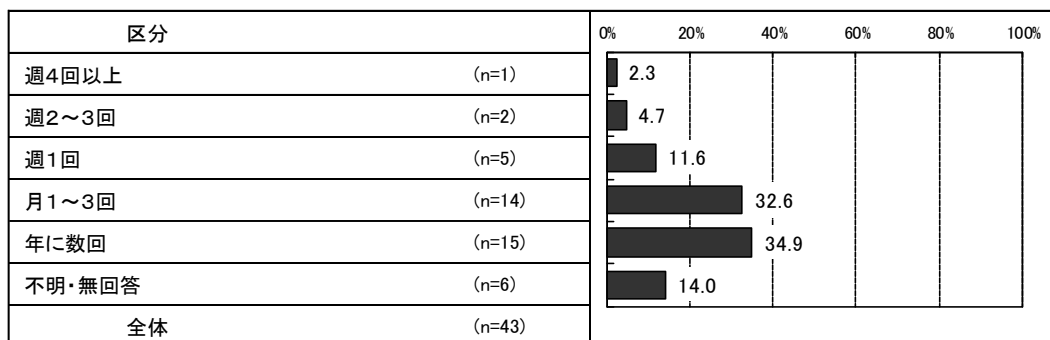
【2号】



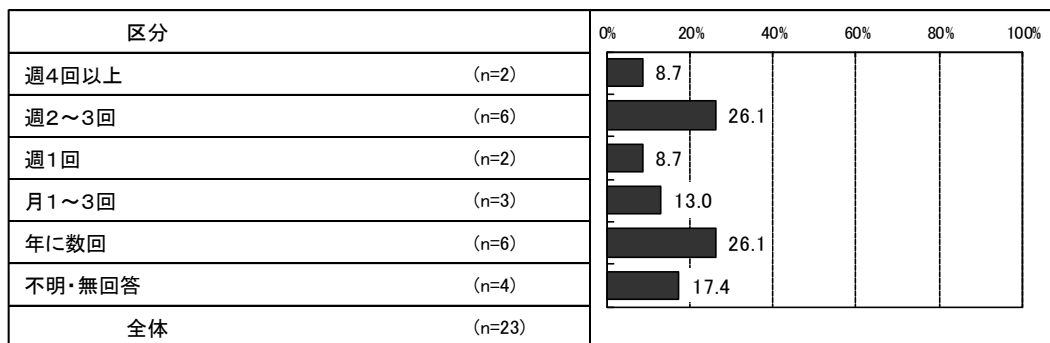
【1号】



【要支援】



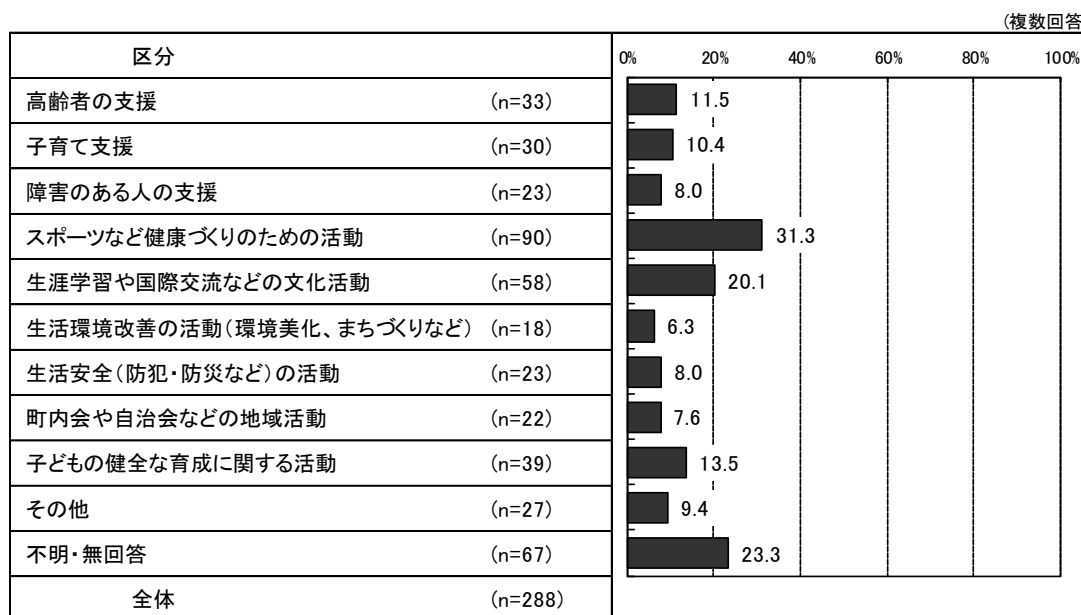
【要介護】



地域活動に参加頻度については、【2号】【1号】【要支援】では、「年に数回」が最も多く、「月1~3回」が続いています。【要介護】では、「週2~3回」、「年に数回」が最も多くなっています。

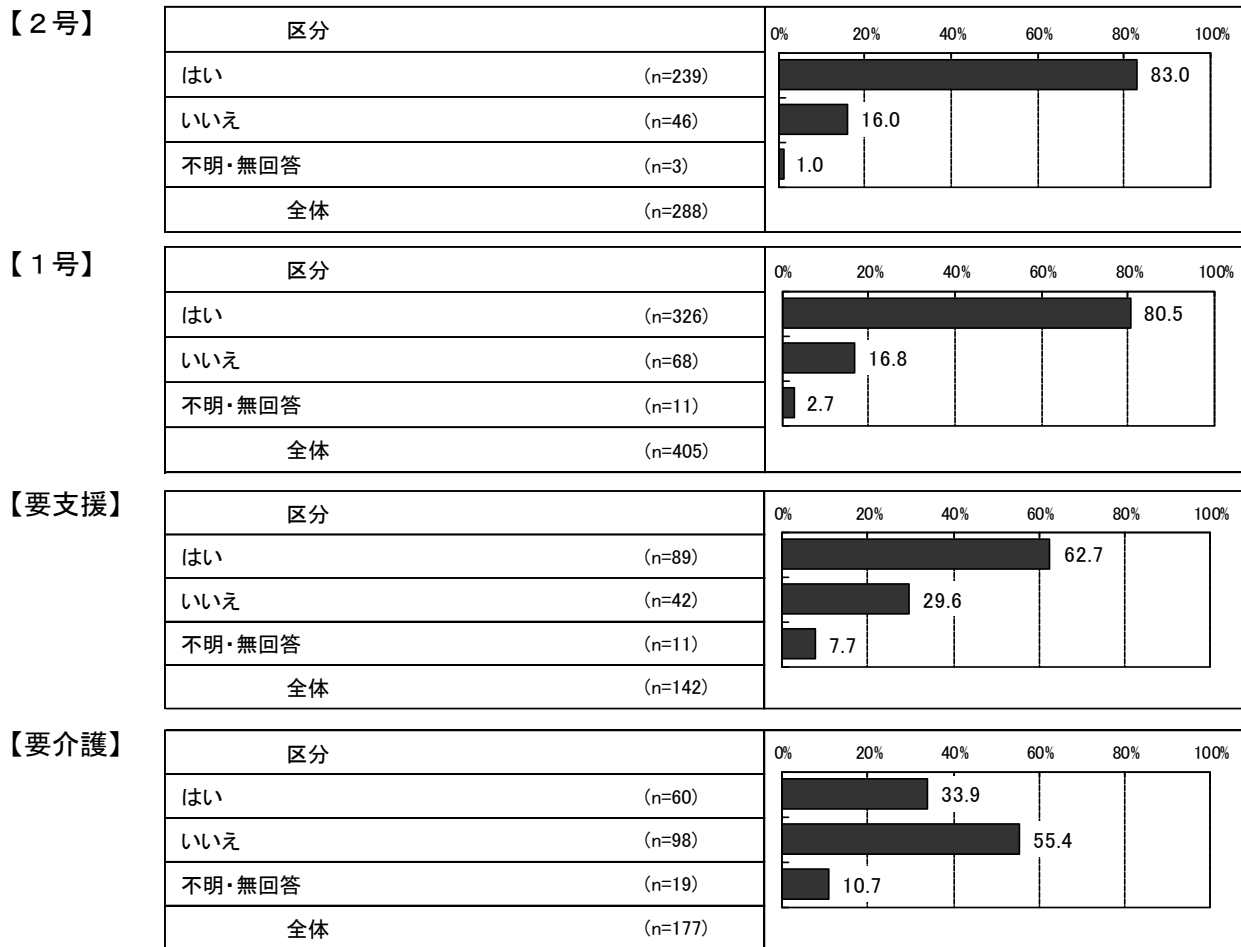
図表 41 ○ あなたが、今後やってみたいこと、また、今後も続けたいことはありますか。

【2号】



【2号】で今後やってみたいこと、また、今後も続けたいことについてみると、「スポーツなど健康づくりのための活動」が 31.3%で最も高く、「生涯学習や国際交流などの文化活動」(20.1%)、「子どもの健全な育成に関する活動」(13.5%)が続いています。

図表 42 ○ あなたは地域における自分の避難所を知っていますか。

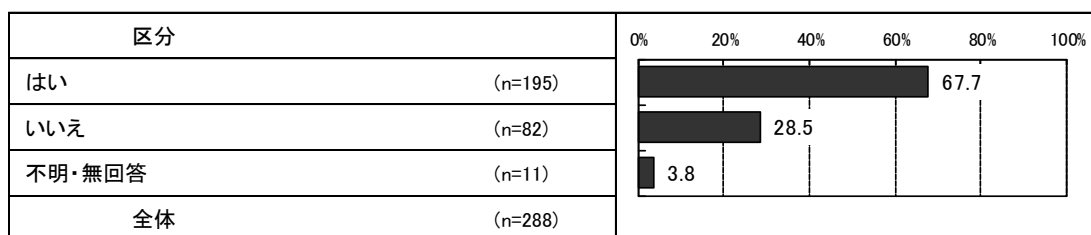


地域における自分の避難所について、【2号】【1号】【要支援】では知っている人（「はい」）が知らない人（「いいえ」）を大きく上回っています。【要介護】では知らない人（「いいえ」）が知っている人（「はい」）を上回っています。

介護保険について

図表 43 ○ あなたは「黄色いハンカチ作戦」を知っていましたか。

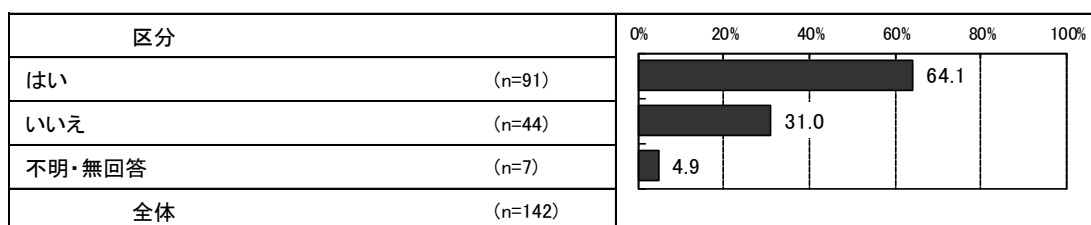
【2号】



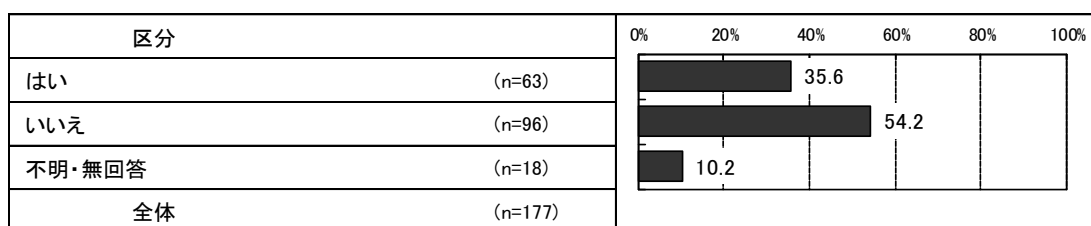
【1号】



【要支援】

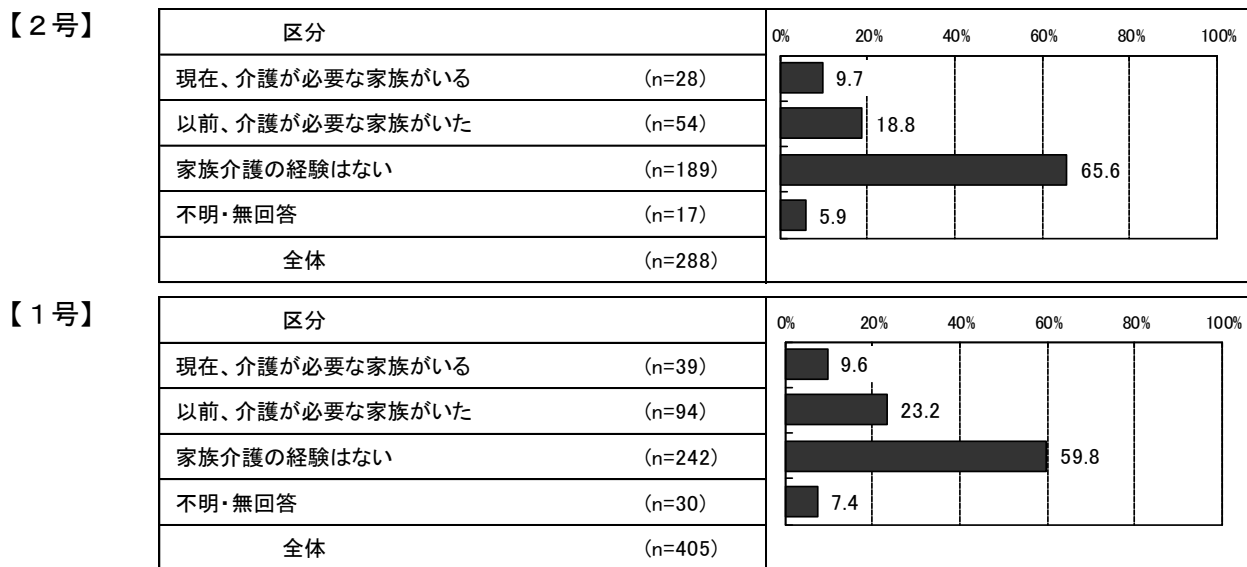


【要介護】



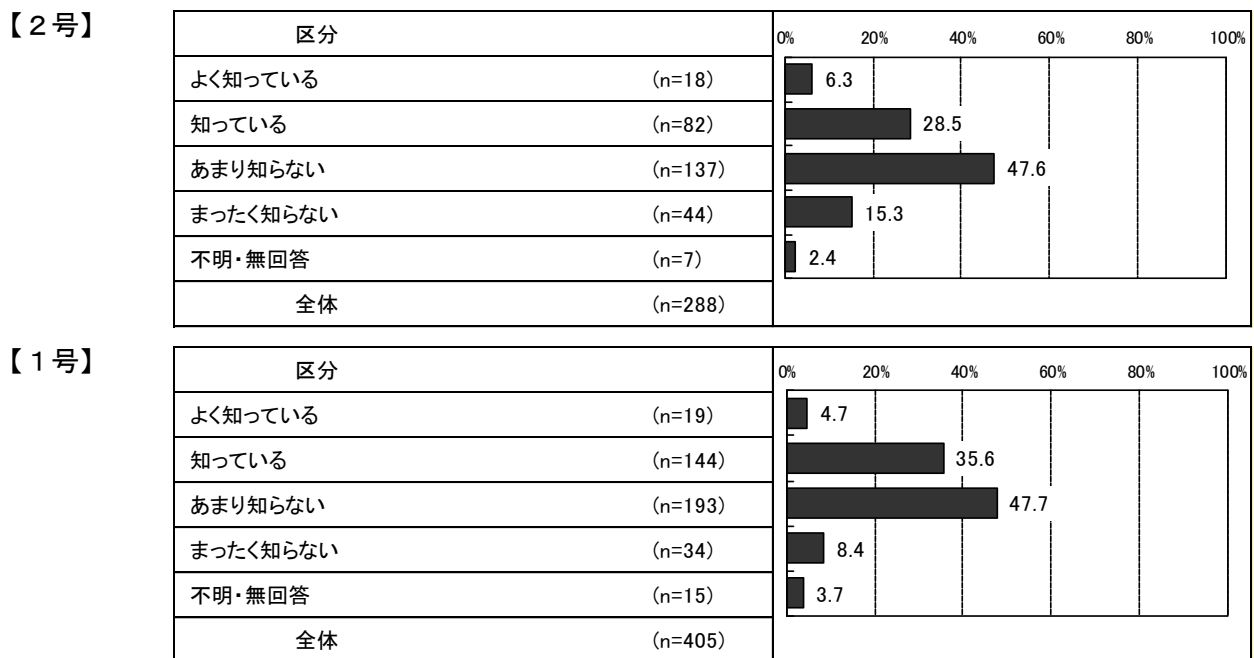
「黄色いハンカチ作戦」については、【2号】【1号】【要支援】では、知っている人（「はい」）が約6割～8割で知らない人（「いいえ」）を上回っています。【要介護】では、知らない人が約5割で知っている人を上回っています。

図表 44 ○ 同居の家族の介護経験についておたずねします。



介護経験については、【2号】【1号】ともに、「家族介護の経験はない」が最も多く、「以前、介護が必要な家族がいた」、「現在、介護が必要な家族がいる」が続いています。

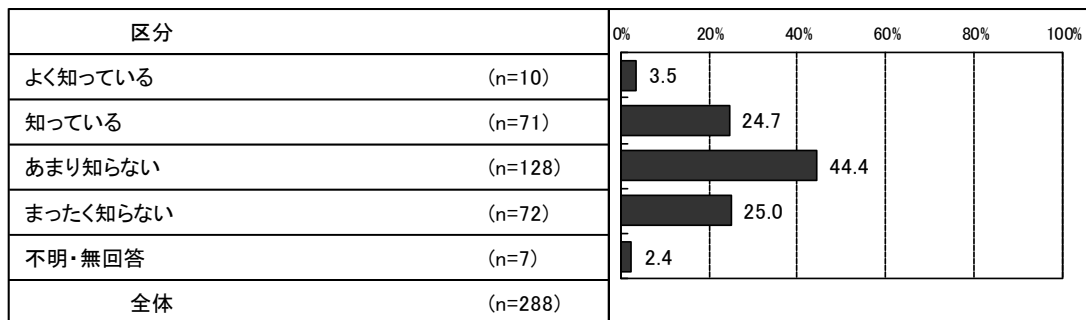
図表 45 ○ 介護保険制度についてどの程度知っていますか。



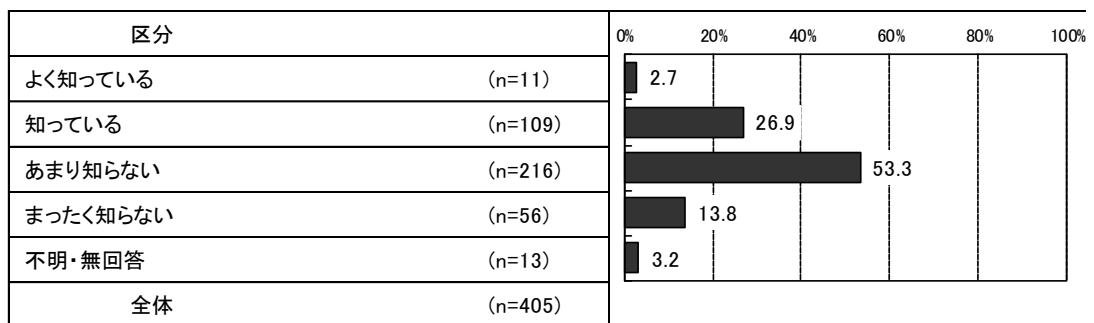
介護保険制度の認知度については、【2号】【1号】ともに「知っている」が「あまり知らない」を下回っています。知っている人（「よく知っている」「知っている」）は、【2号】では34.7%、【1号】では40.2%となっています。

図表 46 ○ 介護保険で利用できるサービスの種類や内容を知っていますか。

【2号】



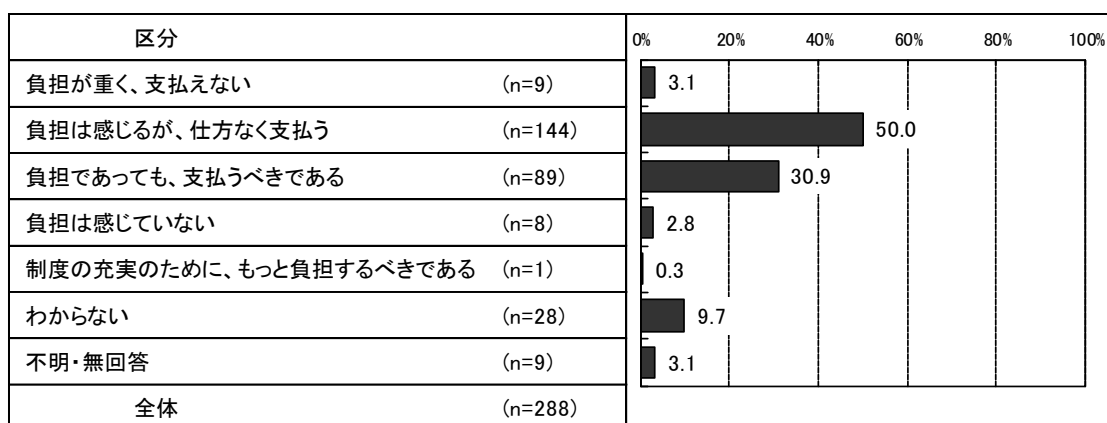
【1号】



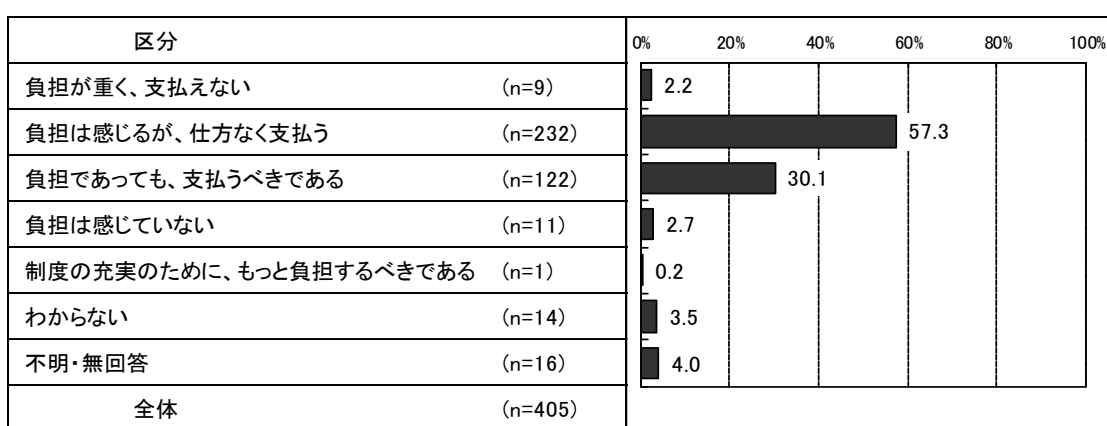
介護保険で利用できるサービスの認知度については、【2号】【1号】ともに「あまり知らない」が約4割～5割で最も高くなっています。知っている人（「よく知っている」「知っている」）は、【2号】では28.1%、【1号】では29.6%となっています。

図表 47 ○ 介護保険料を支払うことについて、どう思いますか。

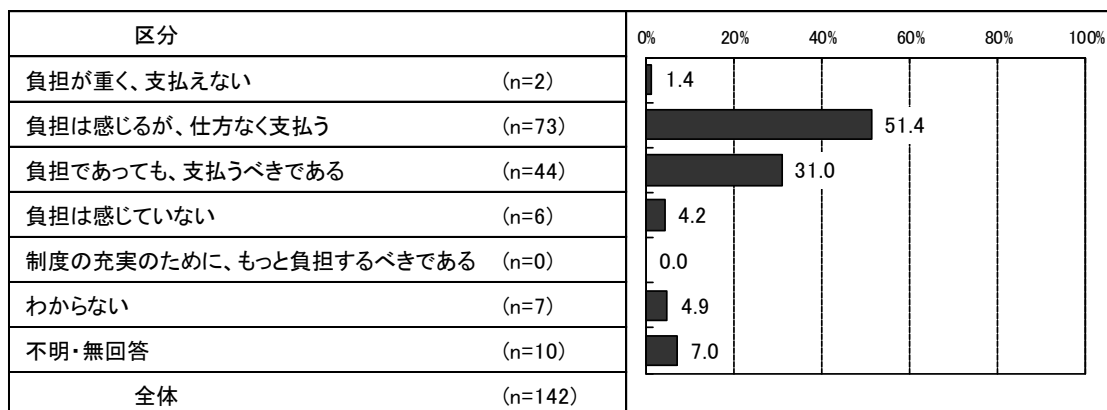
【2号】



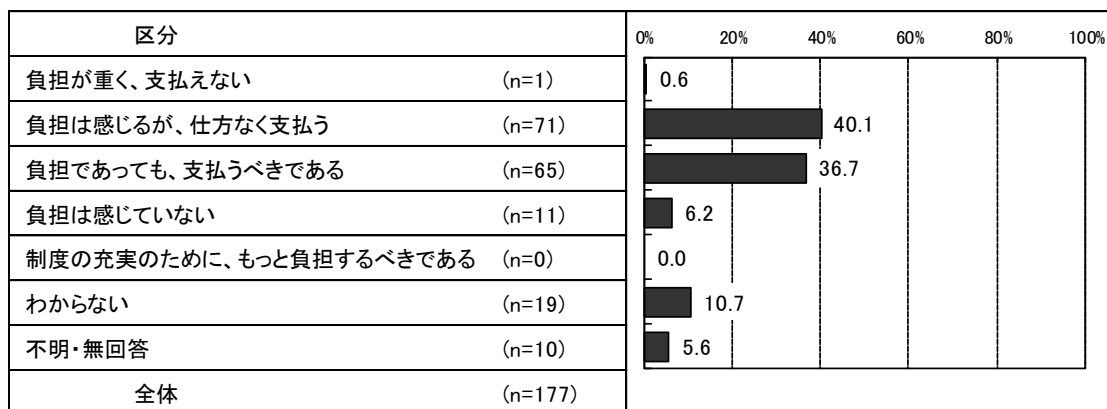
【1号】



【要支援】

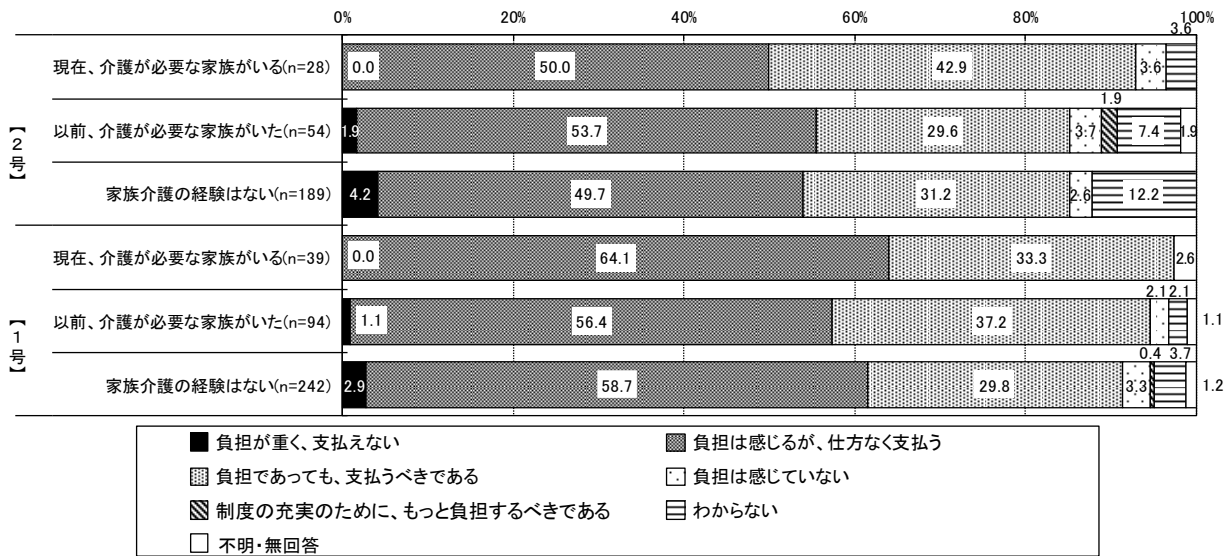


【要介護】



介護保険料を支払うことについては、いずれの区分においても、「負担は感じるが、仕方なく支払う」が最も多くなっています。一方、支払うことに肯定的な回答をした人（「負担であっても、支払うべきである」「負担は感じていない」「制度の充実のために、もっと負担するべきである」）は、【2号】で34.0%、【1号】で33.1%、【要支援】で35.2%、【要介護】で42.9%となっています。

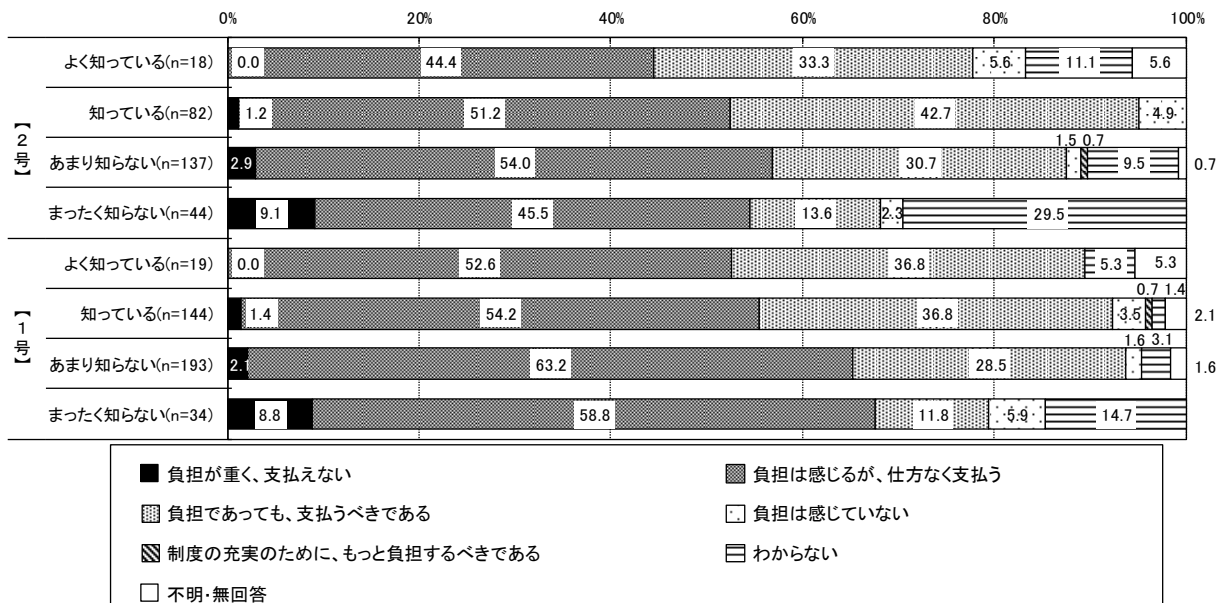
図表 47-1 ■ 家族介護経験別の介護保険料の負担感



介護保険料を支払うことについて、家族介護の経験別でみると、【2号】で肯定的な回答の割合（「負担があっても、支払うべきである」「負担は感じていない」）は、「現在、介護が必要な家族がいる」では46.5%となっていますが、「負担は感じるが、仕方なく支払う」（50.0%）はそれを上回っています。

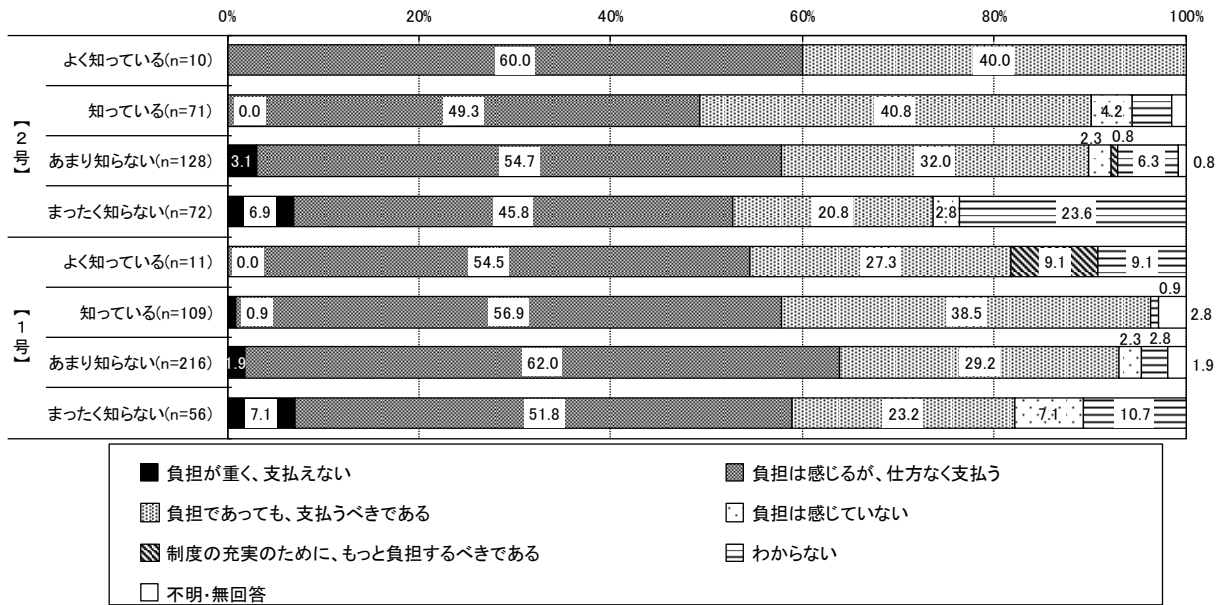
一方、【1号】で肯定的な回答の割合は、「現在、介護が必要な家族がいる」では33.3%、「以前、介護が必要な家族がいた」では39.3%となっており、「家族介護の経験はない」では33.1%となっています。

図表 47-2 ■ 介護保険制度認知度別の介護保険料の負担感



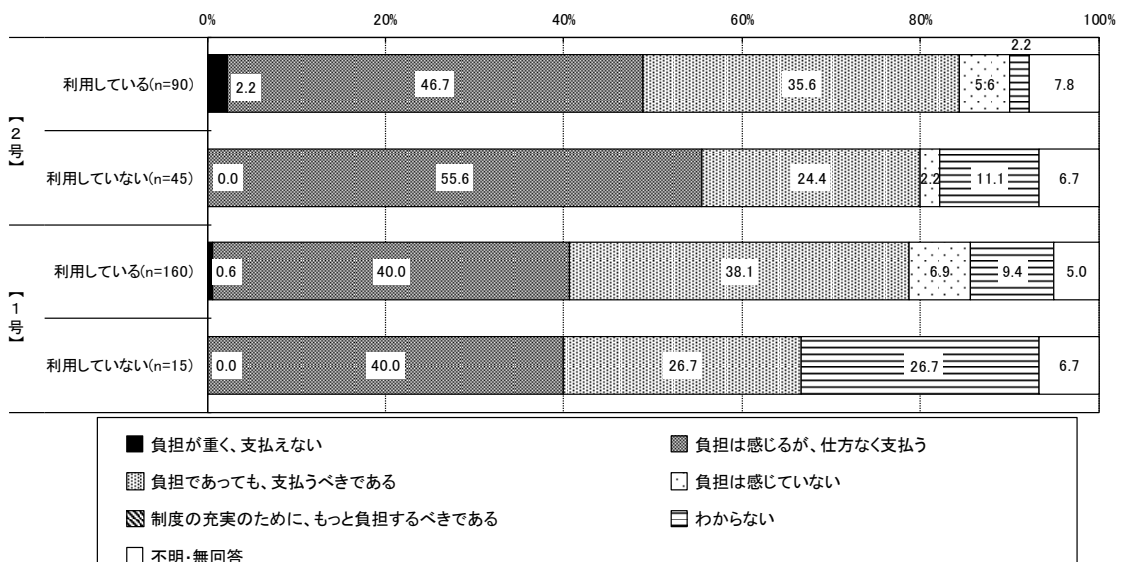
介護保険料を支払うことについて、介護保険制度の認知度別でみると、【2号】【1号】ともに、認知度が高くなるほど、「負担は感じるが、仕方なく支払う」の割合がおおむね減少傾向にあり、「負担があっても、支払うべきである」の割合はおおむね増加傾向にあります。このことから、介護保険制度の理解と介護保険料への負担感に相関性があることがうかがえます。

図表 47-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の介護保険料の負担感



介護保険料を支払うことについて、介護保険サービス内容の認知度別でみると、【2号】では認知度が高くなるほど、「負担は感じるが、仕方なく支払う」の割合はおおむね増加傾向にあります。一方、【1号】とも、認知度が高くなるほど、「負担は感じるが、仕方なく支払う」の割合はおおむね減少傾向にあります。

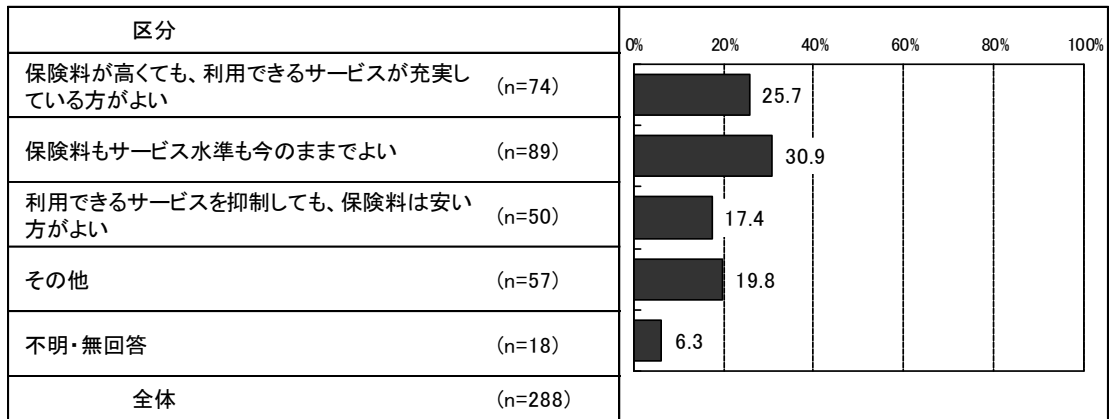
図表 47-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の介護保険料の負担感



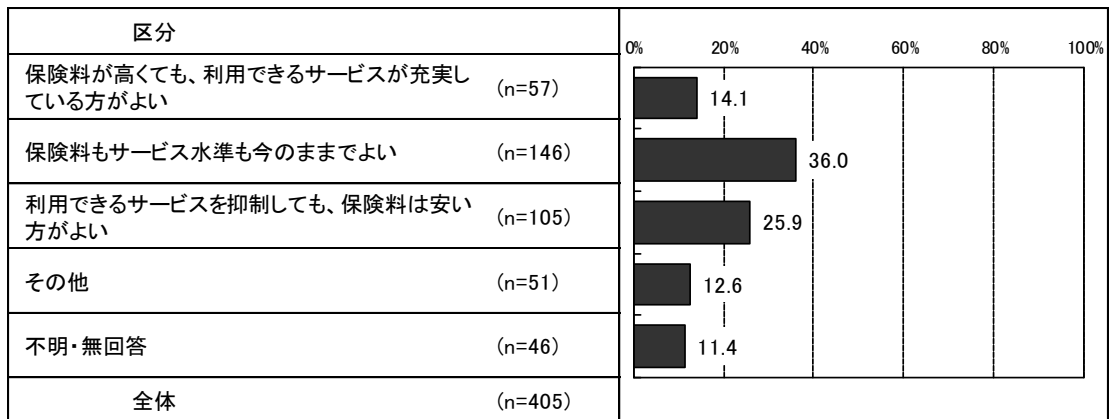
介護保険料を支払うことについて、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】【要介護】とも、サービスを利用している人の方が利用していない人より、肯定的な回答の割合が高くなっています。

図表 48 ○ 負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について

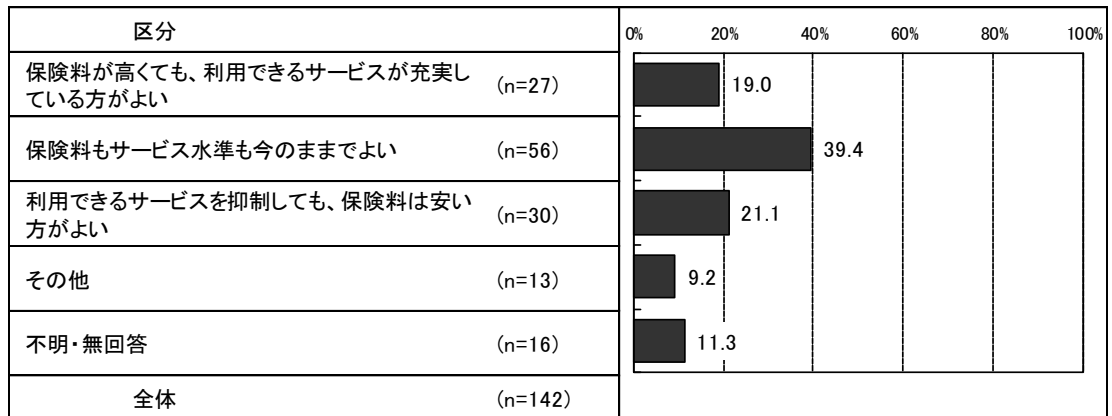
【2号】



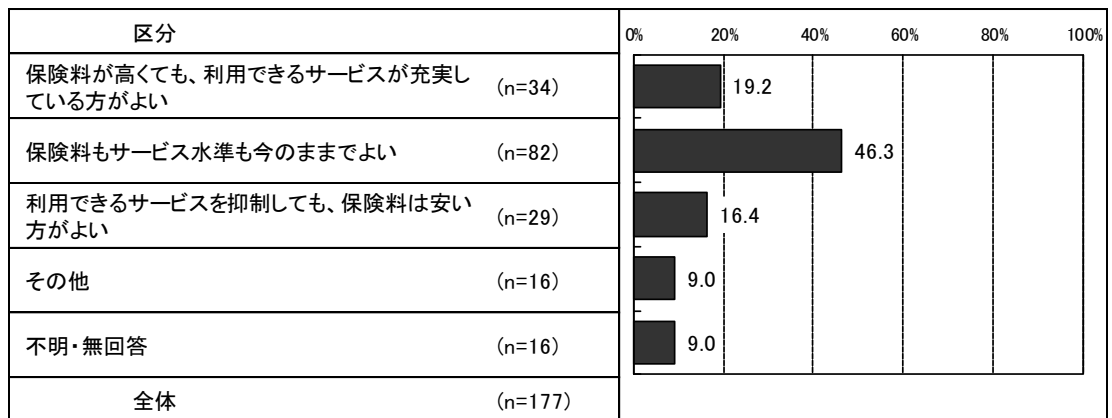
【1号】



【要支援】

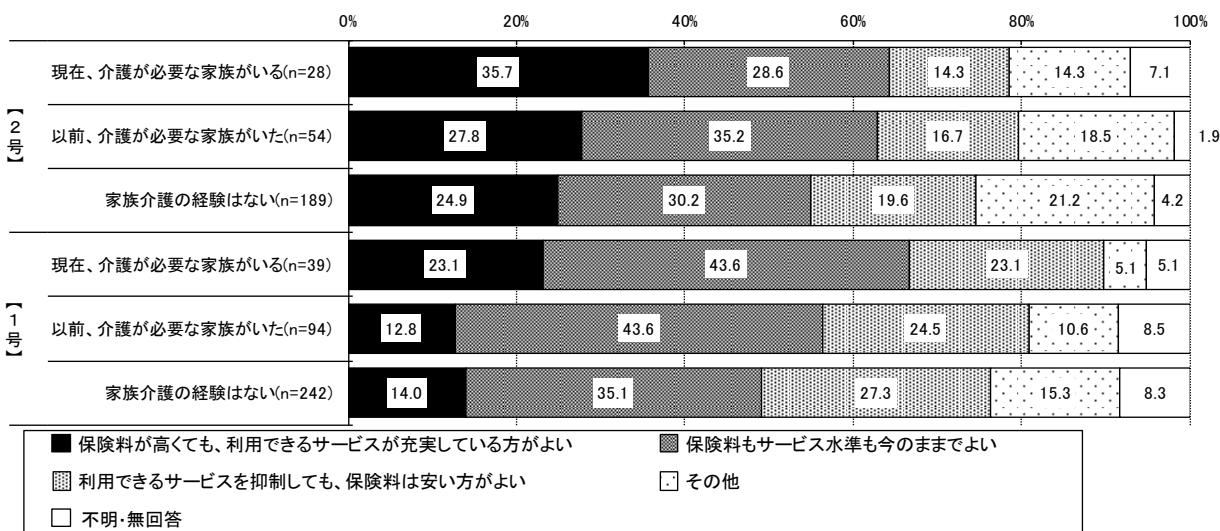


【要介護】



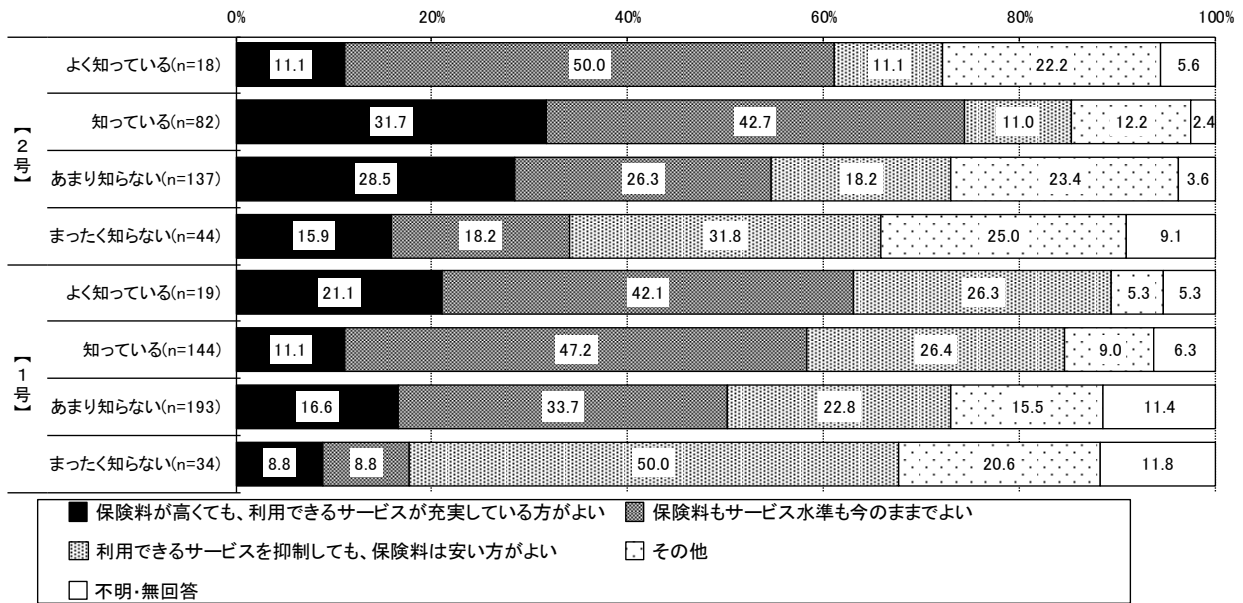
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係については、「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）が、【2号】で30.9%、【1号】で36.0%、【要支援】で39.4%、【要介護】で46.3%と最も高くなっています。また、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）は、【2号】で25.7%、【1号】【要支援】【要介護】では約1割～2割となっています。さらに、「利用できるサービスを抑制しても、保険料は安い方がよい」（保険料重視）は、【2号】【要支援】で約2割、【1号】で25.9%、【要介護】で16.4%となっています。

図表 48-1 ■ 家族介護経験別の負担と給付の関係について



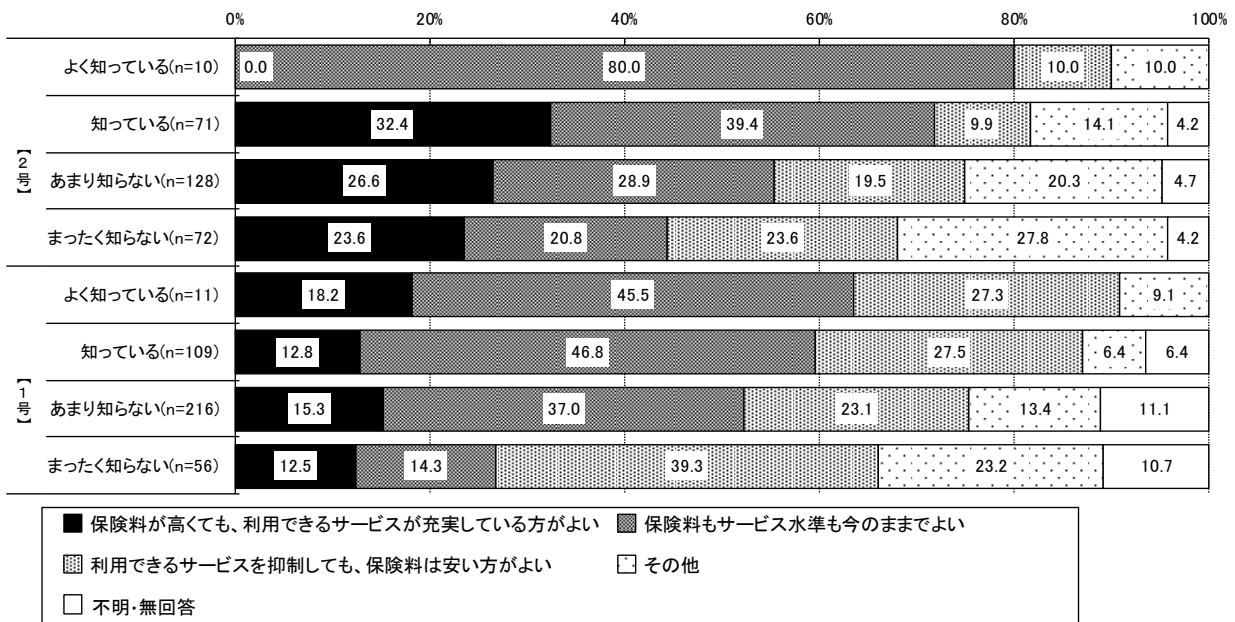
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、家族介護の経験別で見ると、【2号】【1号】とも、現在、介護の必要な家族がいる人で、「保険料が高くて、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）の割合が、家族介護の経験がない人より高くなっています。

図表 48-2 ■ 介護保険制度認知度別の負担と給付の関係について



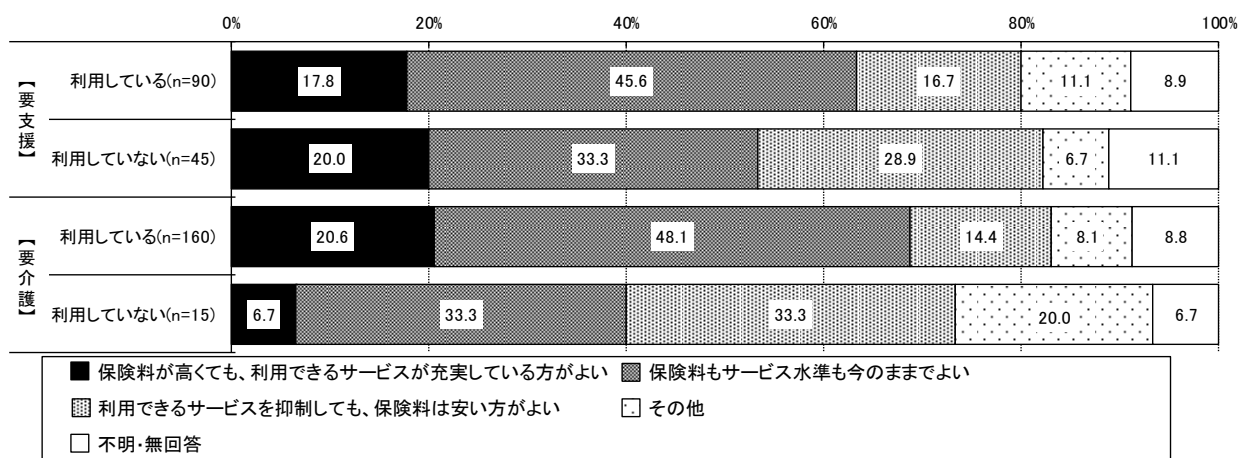
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険制度の認知度別でみると、【2号】【1号】とも、認知度が高くなるほど、「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合は増加傾向にあります。【2号】では、認知度が高くなるほど、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）の割合も増加傾向にあります。ただし、「知っている」から「よく知っている」にかけて、サービス重視が20ポイント程度減少しています。

図表 48-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の負担と給付の関係について



負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険サービス内容の認知度別でみると、【2号】では、認知度が高くなるほど、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）や「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合は増加傾向にあります。【1号】では、認知度が高くなるほど、「保険料もサービス水準も今のままでよい」（現状維持）の割合は増加傾向にありますが、「知っている」から「よく知っている」にかけて、1ポイント減少しています。

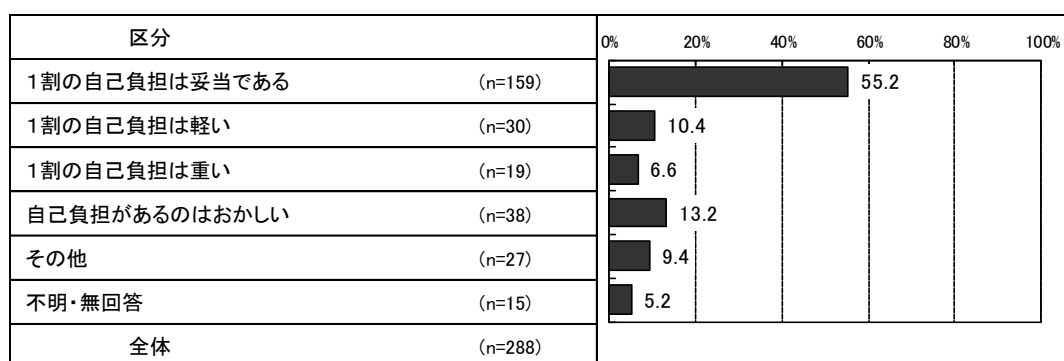
図表 48-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の負担と給付の関係について



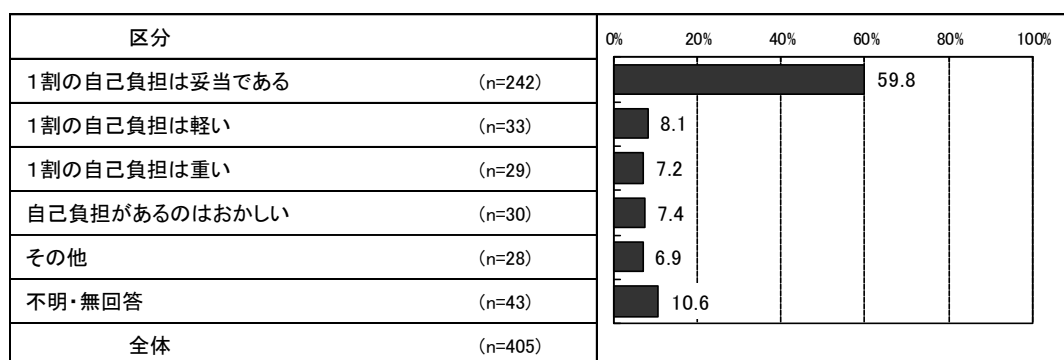
負担（介護保険料）と給付（介護保険サービス）の関係について、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】では、サービスを利用していない人の方が利用している人より、「保険料が高くても、利用できるサービスが充実している方がよい」（サービス重視）の割合が高くなっています。【要介護】ではサービスを利用している人の方が利用していない人より、サービス重視の割合が高くなっています。

図表 49 ○ 介護保険サービスの1割の自己負担について

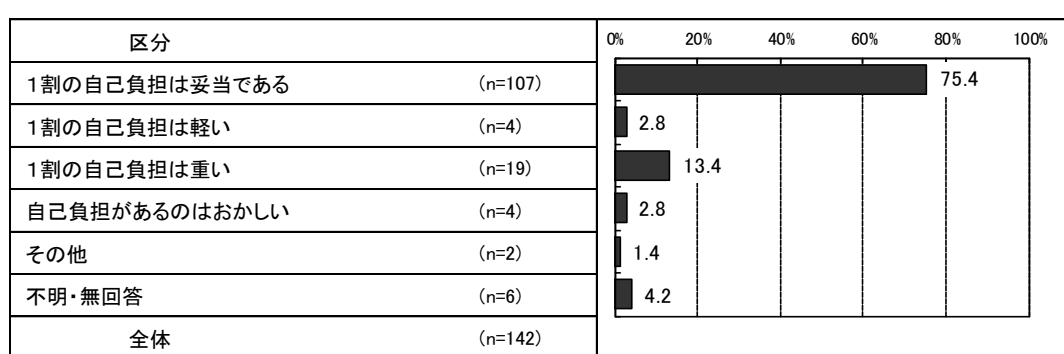
【2号】



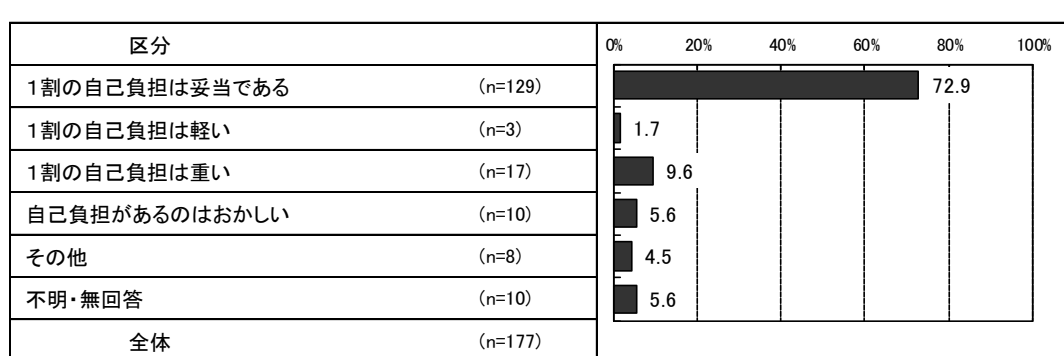
【1号】



【要支援】

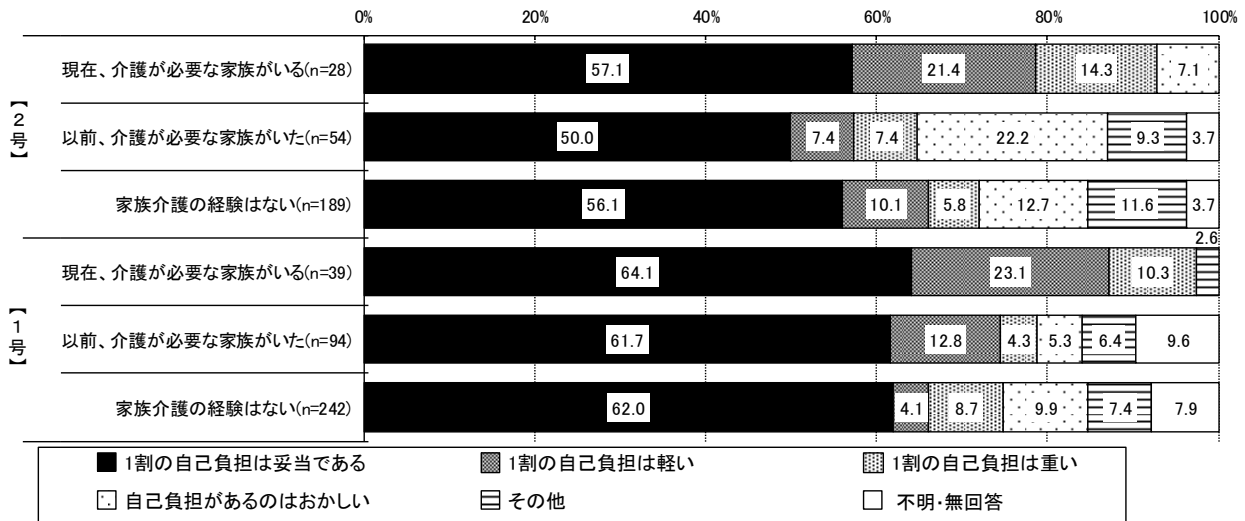


【要介護】



介護保険サービスの1割の自己負担については、いずれの区分においても、「1割の自己負担は妥当である」が最も多く、【2号】で55.2%、【1号】で59.8%、【要支援】で75.4%、【要介護】で72.9%を占めています。特に、【要支援】【要介護】では、【2号】【1号】より、この割合は10ポイント以上高くなっています。

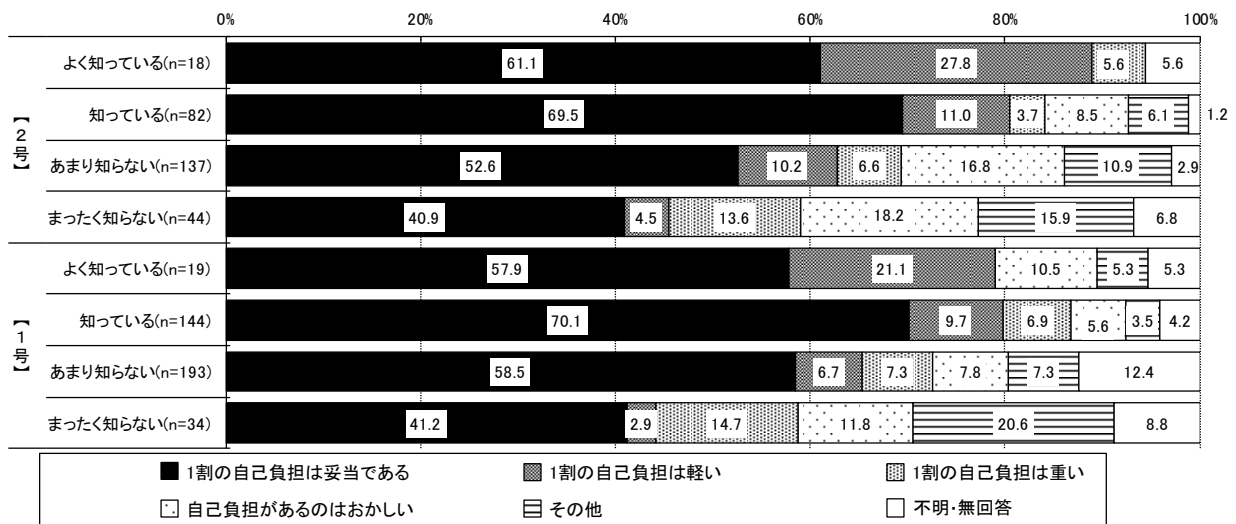
図表 49-1 ■ 家族介護経験別の介護保険サービスの1割負担について



介護保険サービスの1割負担について、家族介護の経験別でみると、【2号】で「1割の自己負担は妥当である」は、家族介護の経験の有無に関係なく5割台を占めています。【1号】で「1割の自己負担は妥当である」は、家族介護の経験の有無に関係なく6割台を占めています。

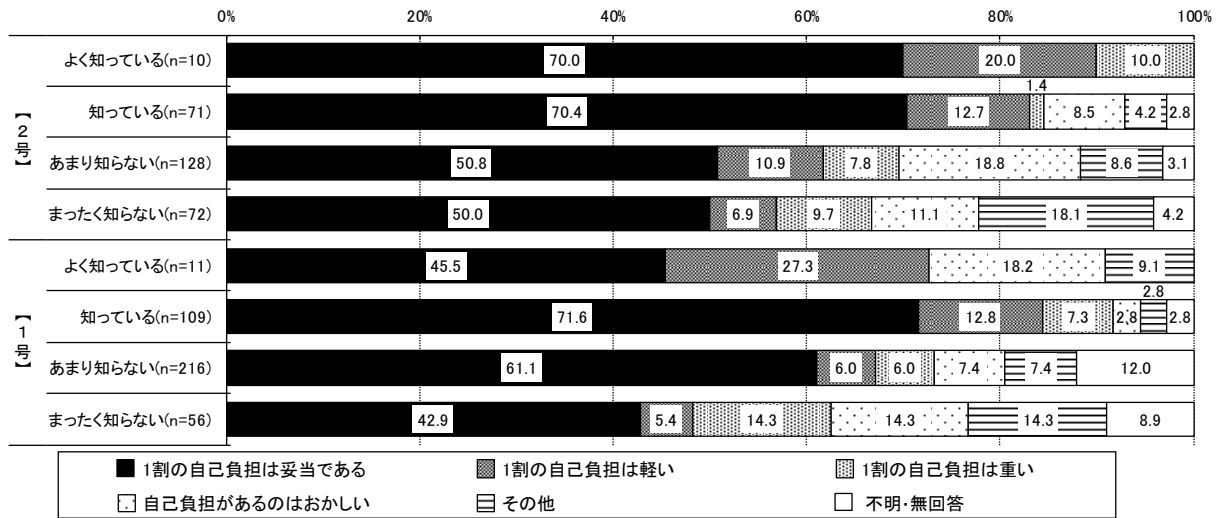
また、【1号】で「1割の自己負担は軽い」は、家族介護の経験のある人が家族介護の経験のない人を大きく上回っています。

図表 49-2 ■ 介護保険制度認知度別の介護保険サービスの1割負担について



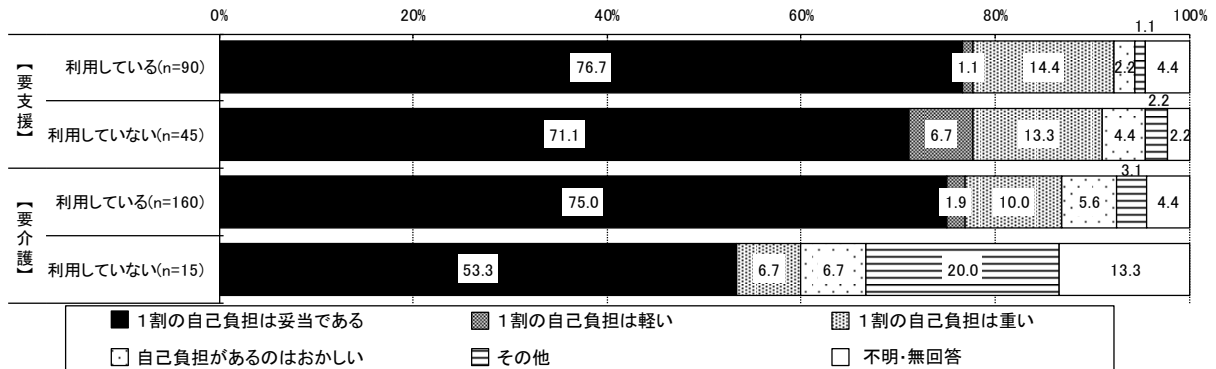
介護保険サービスの1割負担について、介護保険制度の認知度別でみると、【2号】【1号】ともに、認知度が高くなるほど、「1割の自己負担は妥当である」の割合は増加傾向にあります。ただし、「知っている」から「よく知っている」にかけて、「1割の自己負担は妥当である」が減少しています。

図表 49-3 ■ 介護保険サービス内容認知度別の介護保険サービスの1割負担について



介護保険サービスの1割負担について、介護保険サービス内容の認知度別でみると、認知度が高くなるほど、「1割の自己負担は妥当である」の割合はおおむね増加傾向にあります。

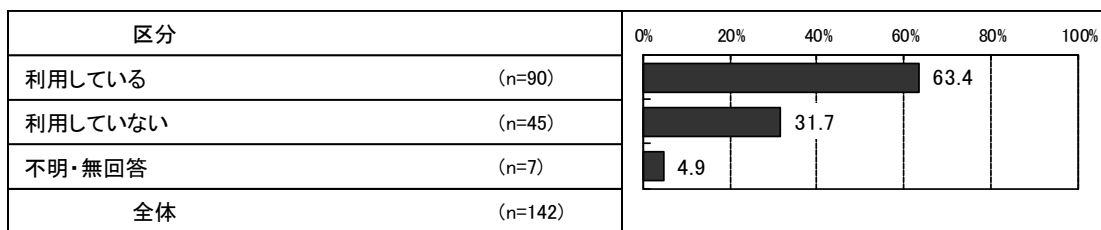
図表 49-4 ■ 介護保険サービス利用有無別の介護保険サービスの1割負担について



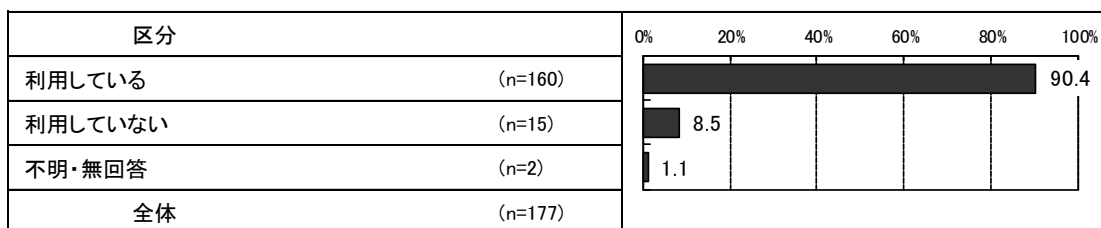
介護保険サービスの1割負担について、介護保険サービス利用有無別でみると、【要支援】【要介護】とも、サービスを利用している人の方が利用していない人より、「1割の自己負担は妥当である」の割合が高くなっています。

図表 50 ○ あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。

【要支援】



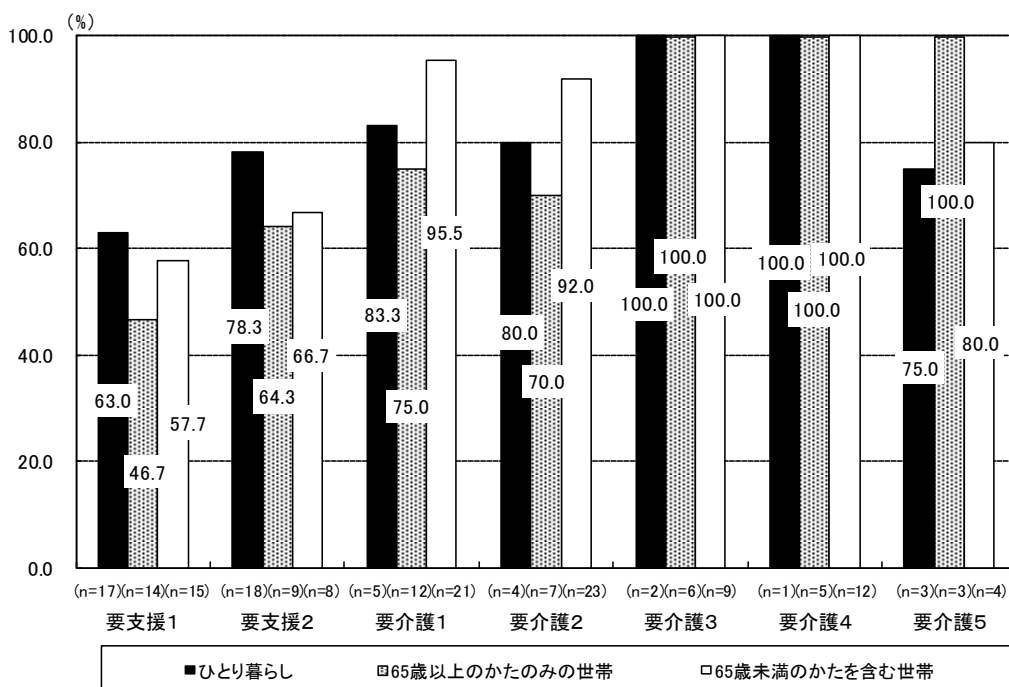
【要介護】



介護保険サービスの利用率（「利用している」）は、【要支援】で63.4%、【要介護】で90.4%となっています。

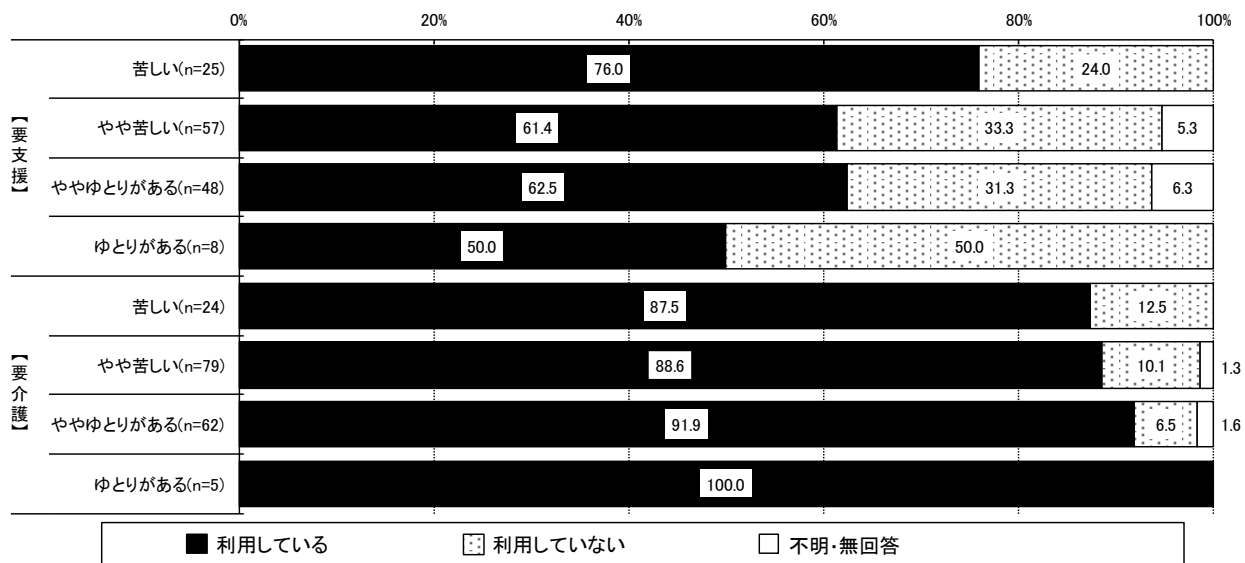
図表 50-1 ■ 世帯状況別、要介護度別の介護保険サービス利用率

【要支援】 【要介護】



介護保険サービスの利用率について、世帯状況別および要介護度別でみると、要支援1から要支援2では、介護保険サービス利用率が最も高い世帯は、「ひとり暮らし」世帯となっています。

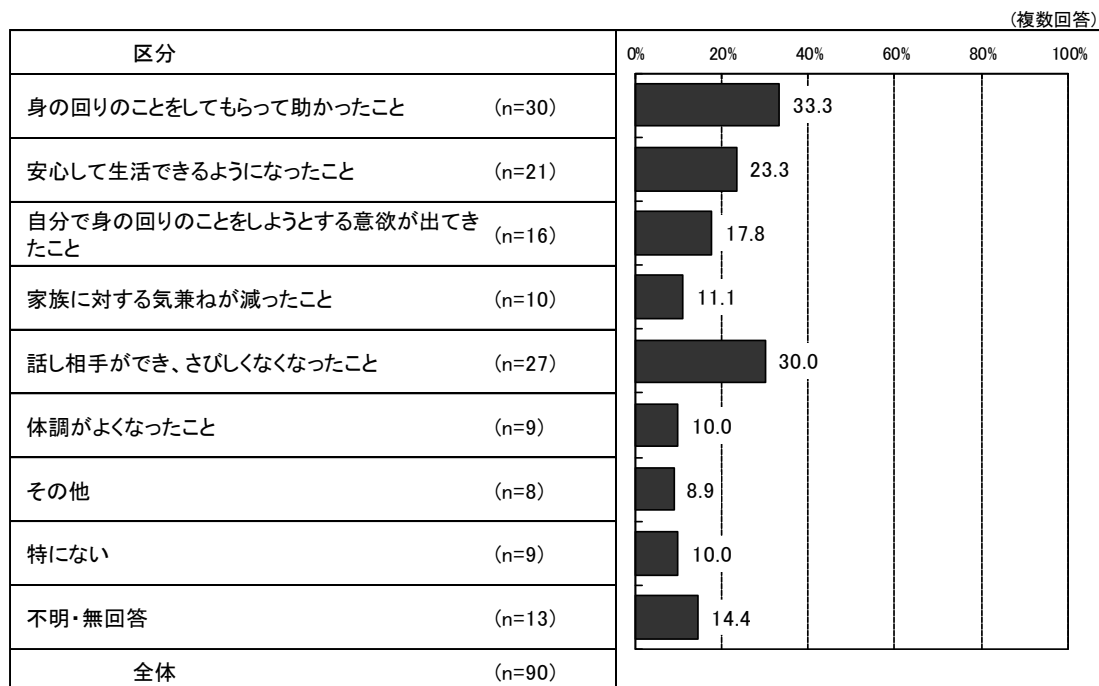
図表 50-2 ■ 暮らしの経済的な状況別の介護保険サービス利用状況



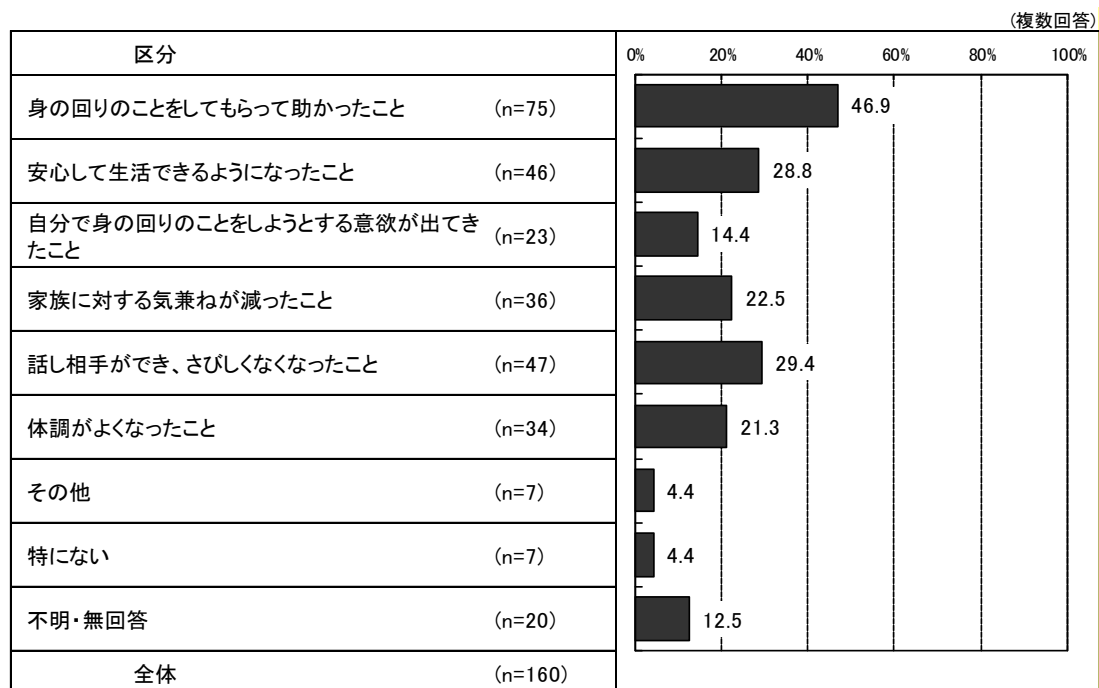
介護保険サービスの利用状況について、暮らしの経済的な状況別で見ると、【要介護】では、暮らしが経済的に苦しくなるほど、「利用している」の割合が減少しています。一方、【要支援】では、経済的なゆとりがあるほど、「利用している」の割合が減少しています。

図表 51 ○ あなたが介護保険サービスを利用してよかった点は、どのようなことですか。（日常の生活においてどのような改善がありましたか。）

【要支援】



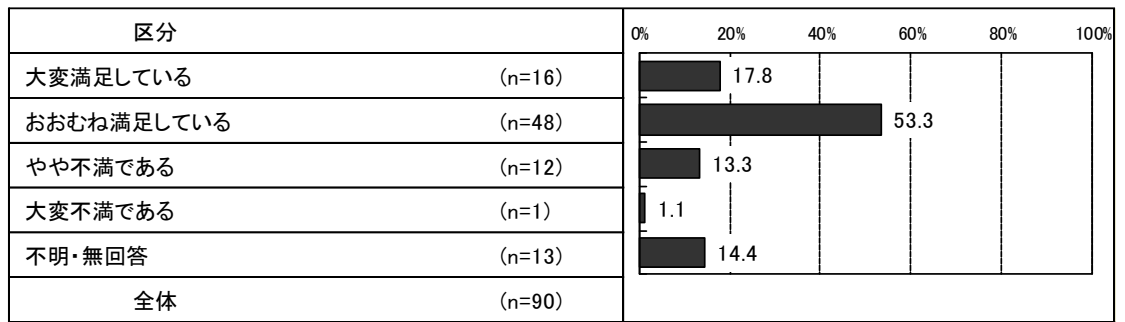
【要介護】



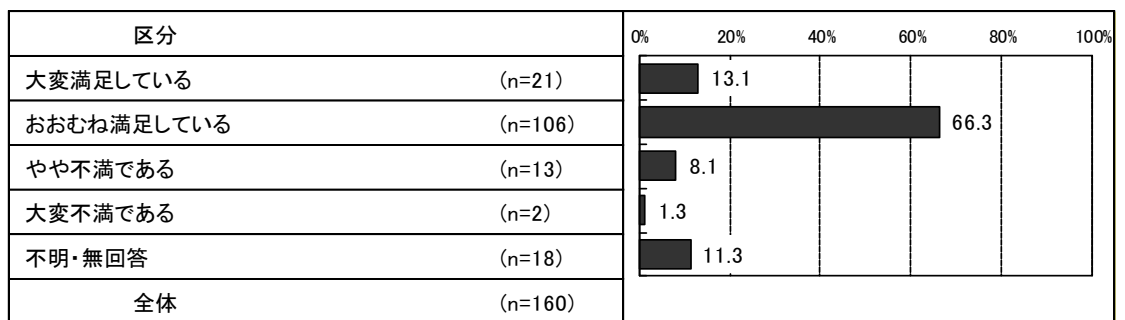
介護保険サービスを利用してよかった点については、「身の回りのことをしてもらって助かったこと」が【要支援】で 33.3%、【要介護】で 46.9%と最も高くなっています。また、【要支援】【要介護】ともに「話し相手ができ、さびしくなくなったこと」や「安心して生活できるようになったこと」が約2割～3割を占めて、上位に入っています。

図表 52 ○ 介護保険サービスの利用に対する満足度について

【要支援】



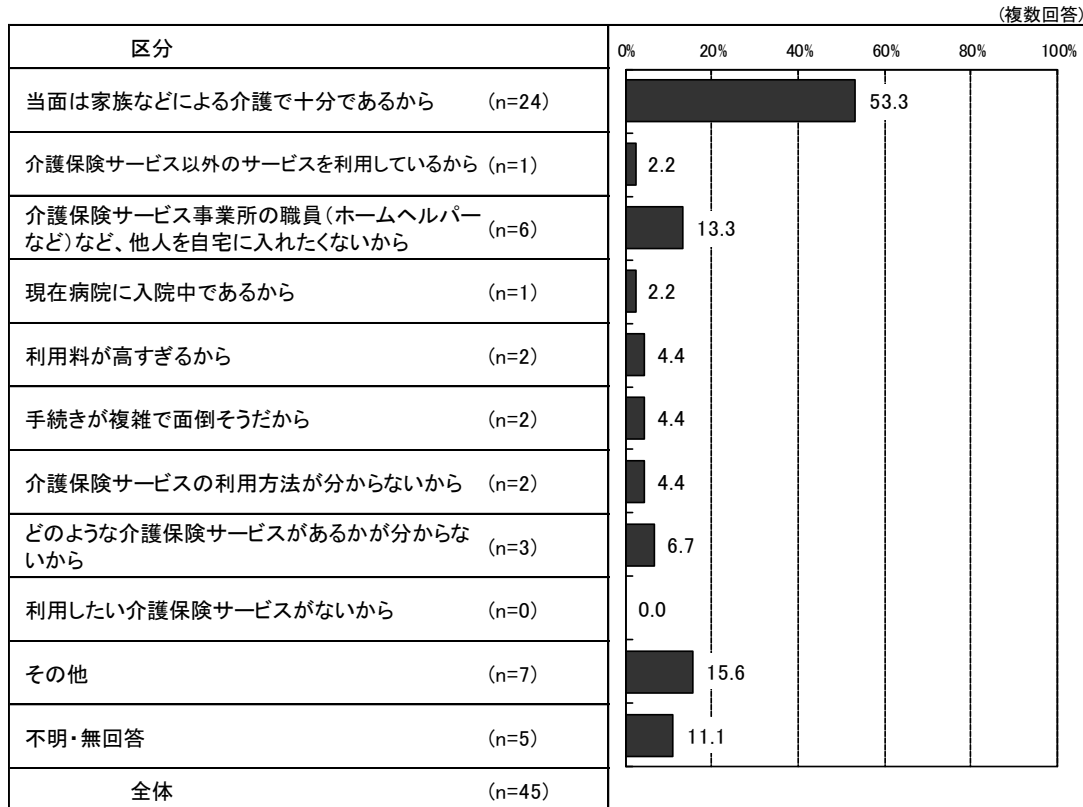
【要介護】



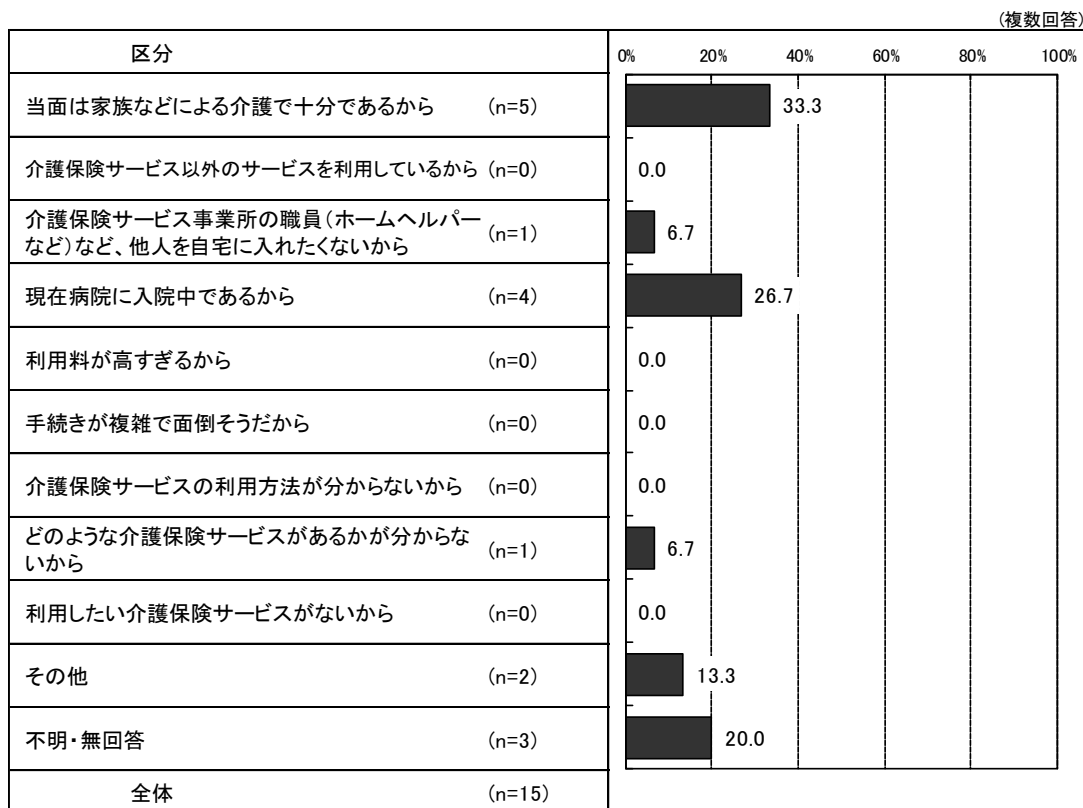
介護保険サービスの利用に対する満足度（「大変満足している」「おおむね満足している」）は、【要支援】で71.1%、【要介護】で79.4%と高い割合となっています。

図表 53 ○ あなたが、介護保険サービスを利用しないのはどのような理由ですか。

【要支援】



【要介護】



介護保険サービスを利用しない理由については、「当面は家族などによる介護で十分であるから」が【要支援】で53.3%、【要介護】で33.3%を占めて、最も高くなっています。また、【要介護】では、「現在病院に入院中であるから」が26.7%で続いています。

未利用理由の中には、「介護保険サービス事業所の職員（ホームヘルパーなど）など、他人を自宅に入れたくないから」との理由も【要支援】で13.3%、【要介護】で6.7%を占めています。また、「どのようなサービスがあるかわからない」「利用方法が分からない」「手続きが面倒」など、利用したいが利用できないという高齢者も存在しています。

図表 53-1* ■ 要介護度別の介護保険サービスの未利用理由

	合計(人)	(単位:%)										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用しているから	介護保険サービス事業所の職員(ホームヘルパーなど)など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	どのような介護保険サービスがあるかが分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他	不明・無回答
全体	70	50.0	1.4	11.4	7.1	2.9	2.9	4.3	8.6	1.4	14.3	12.9
要支援1	32	56.3	0.0	18.8	0.0	0.0	3.1	3.1	6.3	0.0	15.6	12.5
要支援2	13	46.2	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7
要介護1	6	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
要介護2	6	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
要介護3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護4	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
要介護5	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

介護保険サービスを利用しない理由について、要介護度別でみると、要支援1から要介護1では「当面は家族などによる介護で十分であるから」、要介護5では「現在病院に入院中であるから」が最も多くなっています。要介護2では「当面は家族などによる介護で十分であるから」と「現在病院に入院中であるから」は同じ割合になっています。

図表 53-2* ■ 世帯状況別の介護保険サービスの未利用理由

【要支援】

	合計(人)	(単位:%)										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用してゐるから	介護保険サービス事業所の職員(ホームヘルパーなど)など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	どのような介護保険サービスがあるかが分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他	不明・無回答
全体	45	53.3	2.2	13.3	2.2	4.4	4.4	4.4	6.7	0.0	15.6	11.1
ひとり暮らし	14	35.7	0.0	21.4	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	14.3	14.3
65歳以上のかたのみの世帯	16	62.5	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	18.8	6.3
65歳未満のかたを含む世帯	14	64.3	0.0		7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1
その他(施設入所など)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【要介護】

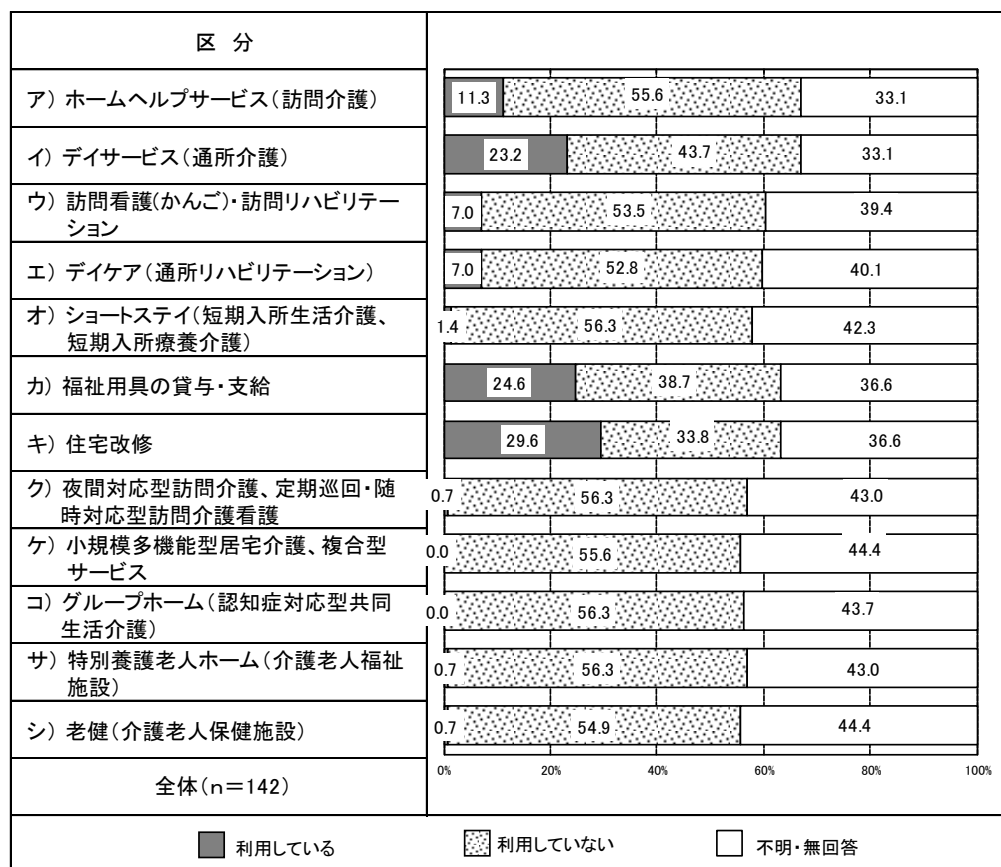
	合計(人)	(単位:%)										
		当面は家族などによる介護で十分であるから	介護保険サービス以外のサービスを利用してゐるから	介護保険サービス事業所の職員(ホームヘルパーなど)など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	介護保険サービスの利用方法が分からないから	どのような介護保険サービスがあるかが分からないから	利用したい介護保険サービスがないから	その他	不明・無回答
全体	15	33.3	0.0	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	20.0
ひとり暮らし	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
65歳以上のかたのみの世帯	6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
65歳未満のかたを含む世帯	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
その他(施設入所など)	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

介護保険サービスを利用しない理由について、世帯状況別でみると、【要支援】では、いずれの世帯でも「当面は家族などによる介護で十分であるから」の割合が最も高くなっています。「ひとり暮らし」では「介護保険サービス事業所の職員など、他人を自宅に入れたくないから」が21.4%いて、他の世帯の割合より高くなっています。

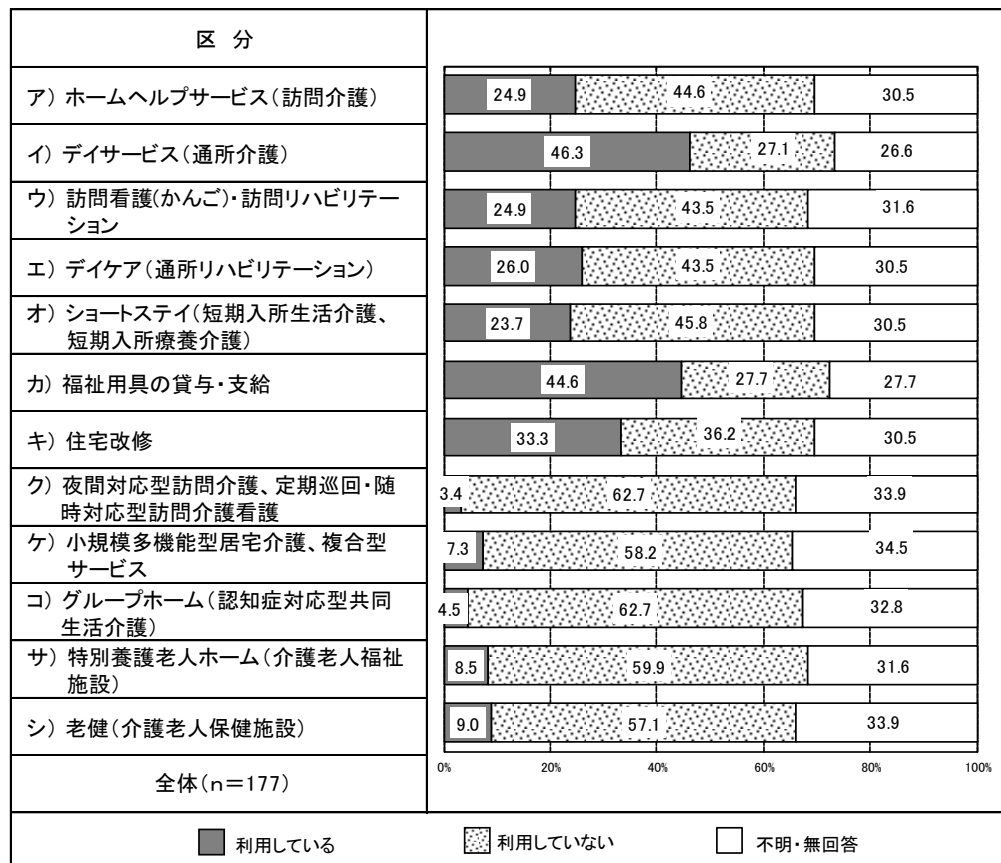
【要介護】では、「ひとり暮らし」「65歳未満の方を含む世帯」「その他(施設入所など)」で「現在病院に入院中であるから」が最も多くなっています。「65歳以上のかたのみの世帯」では「当面は家族などによる介護で十分であるから」が最も多くなっています。

図表 54 ○ 主な介護保険サービスの現状の利用について

【要支援】



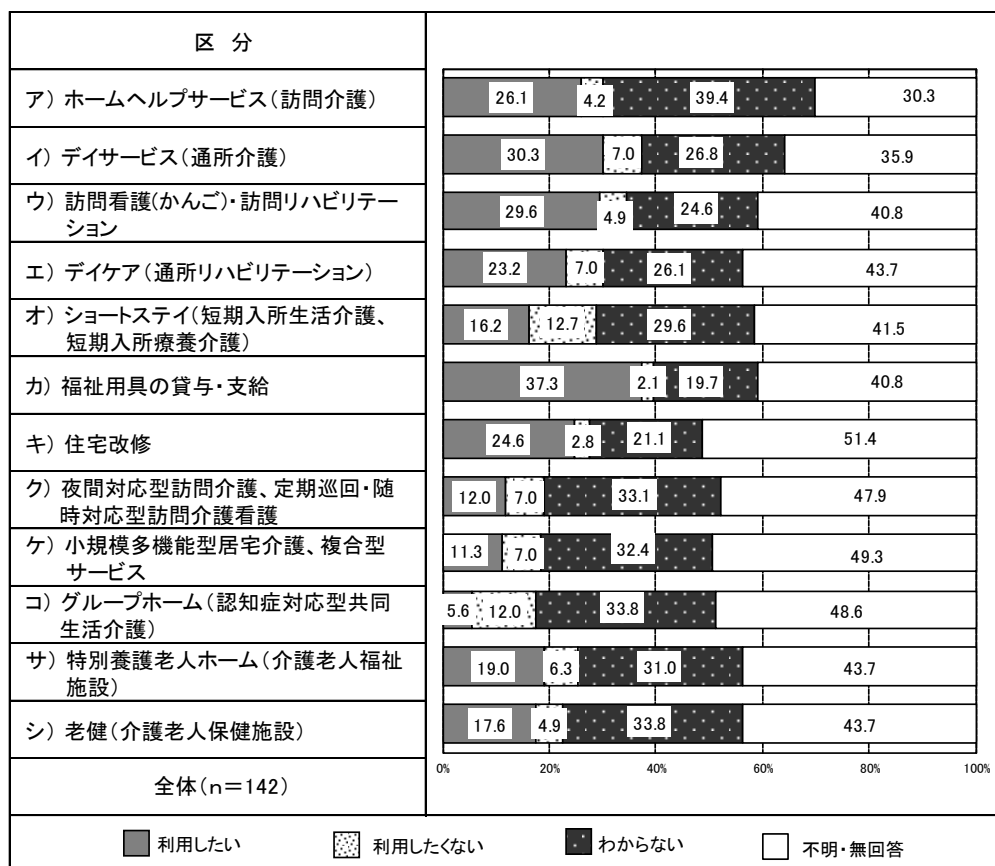
【要介護】



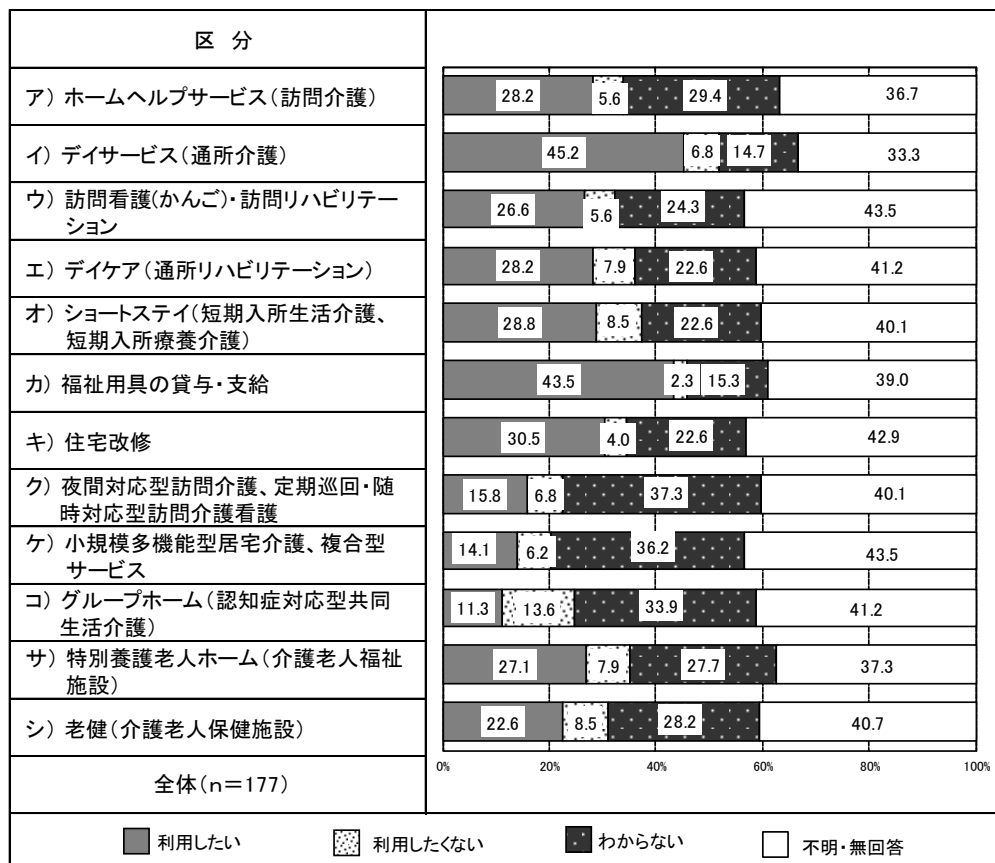
主な介護保険サービスの利用状況については、【要支援】【要介護】ともに、多くの項目で「利用していない」が「利用している」を上回っています。【要支援】【要介護】ともに、「デイサービス（通所介護）」、「福祉用具の貸与・支給」「住宅改修」の「利用している」の割合が高くなっています。

図表 55 ○ 主な介護保険サービスの今後の利用希望について

【要支援】



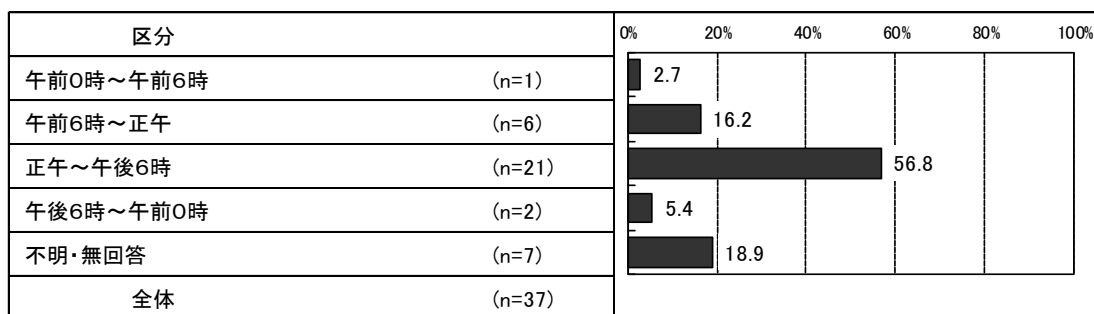
【要介護】



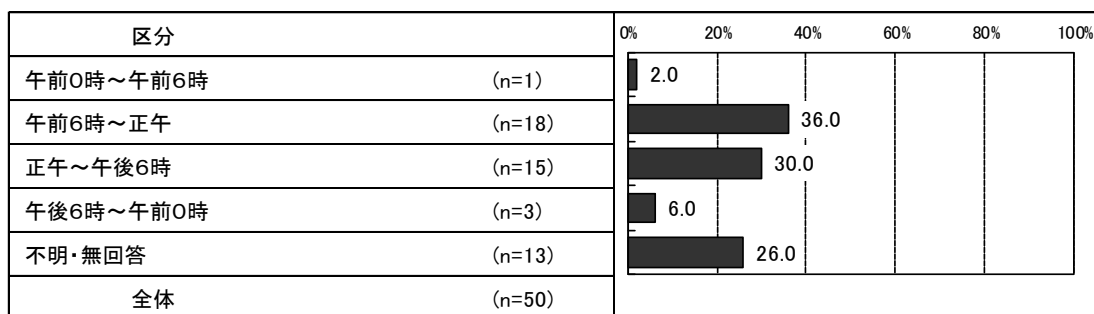
主な介護保険サービスの今後の利用希望については、【要支援】では「福祉用具の貸与・支給」や「デイサービス（通所介護）」で「利用したい」が約3割～4割を占め、【要介護】では、約4割～5割を占めています。

図表 55-1 ○ 「ア）ホームヘルプサービス（訪問介護）」を利用したい主な時間帯

【要支援】



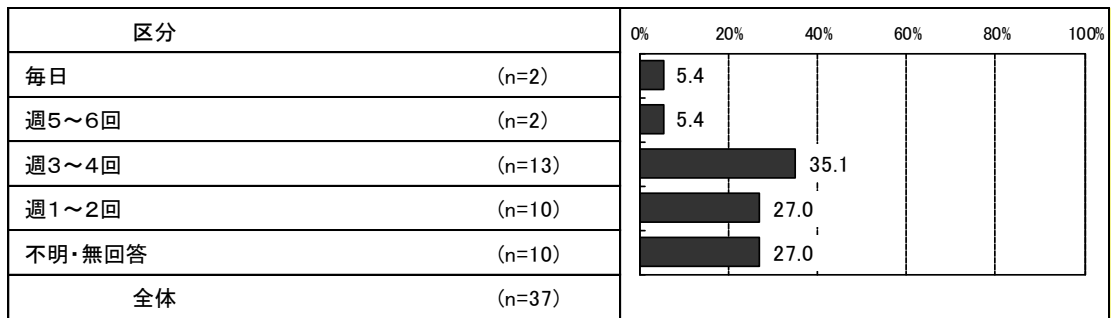
【要介護】



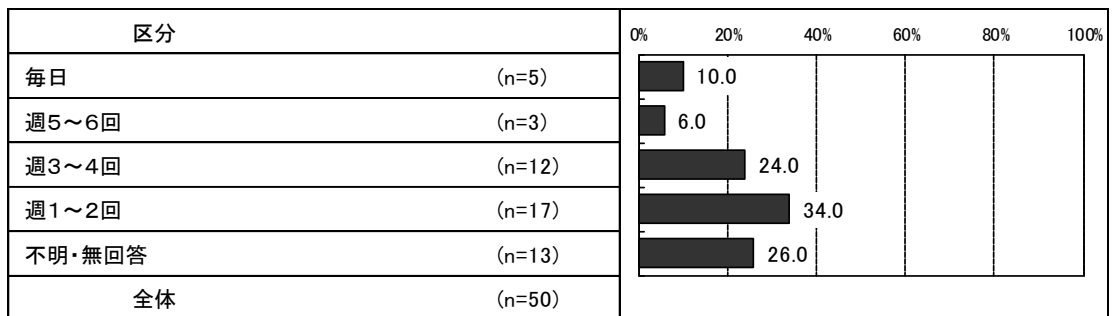
「ホームヘルプサービス（訪問介護）」を利用したい時間帯については、【要支援】では「正午～午後6時」が56.8%で最も高くなっています。【要介護】では「午前6時～正午」が36.0%で最も多く、「正午～午後6時」(30.0%)が続いています。

図表 55-2 ○ 「ア）ホームヘルプサービス（訪問介護）」を利用したい頻度

【要支援】



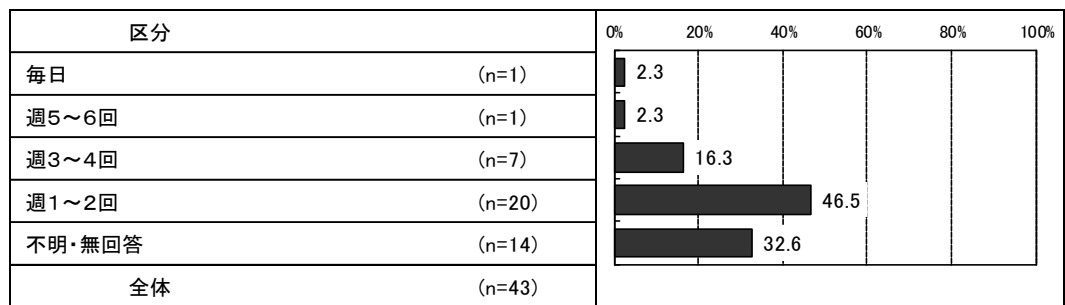
【要介護】



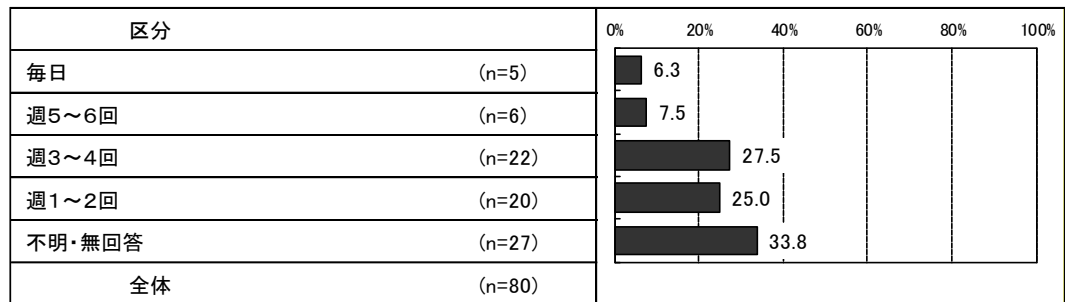
「ホームヘルプサービス（訪問介護）」を利用したい頻度については、【要支援】では「週3～4回」が35.1%で最も高く、「週1～2回」(27.0%)が続いています。【要介護】では「週1～2回」が34.0%で最も高く、「週3～4回」(24.0%)が続いています。

図表 55-3 ○ 「イ」 デイサービス（通所介護）を利用したい頻度

【要支援】



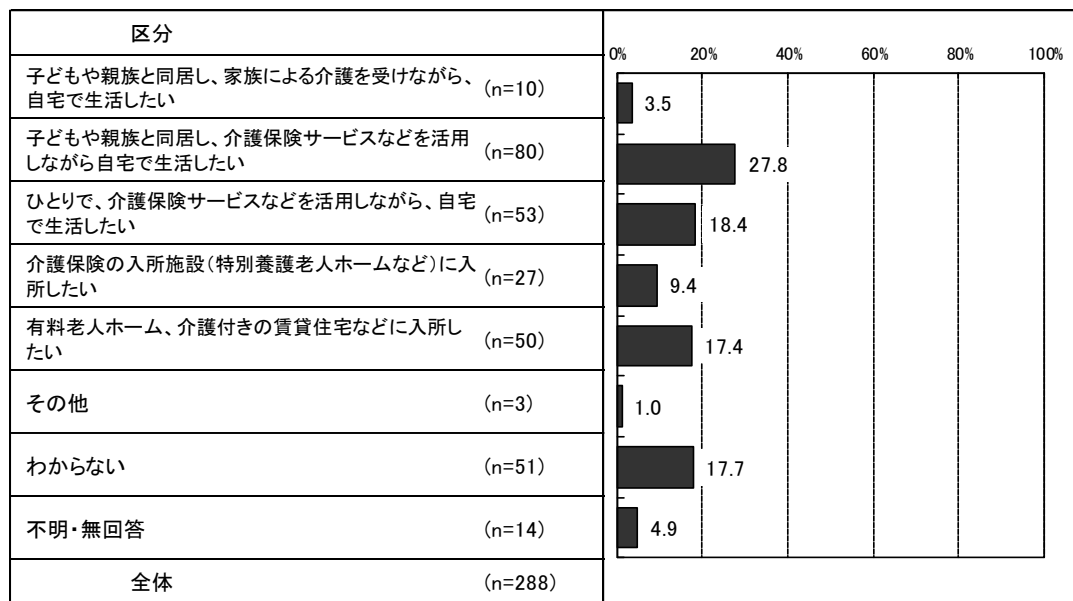
【要介護】



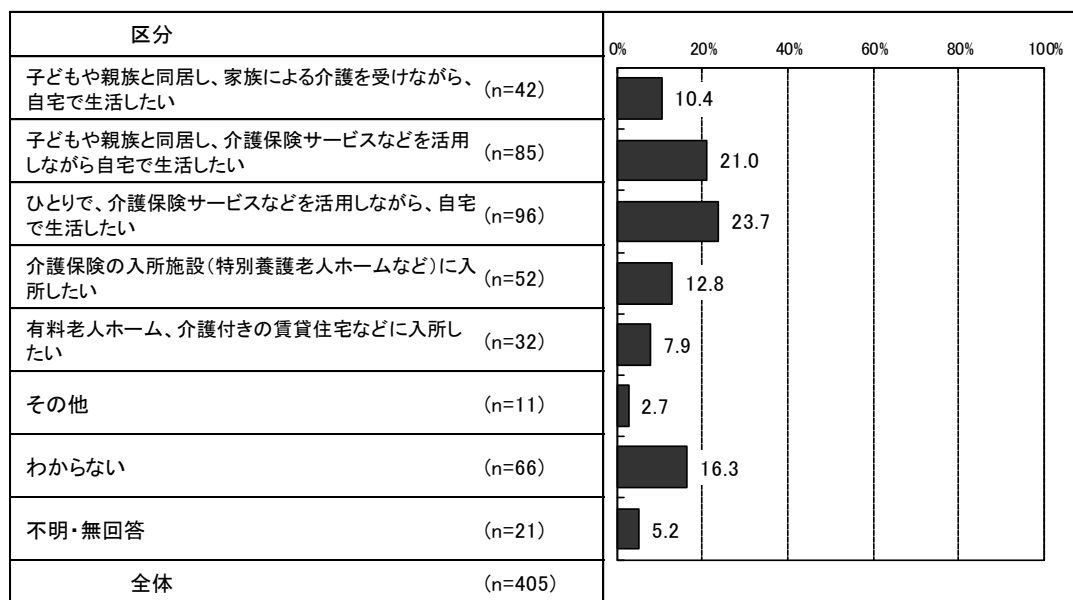
「デイサービス（通所介護）」を利用したい頻度については、【要支援】では「週1～2回」が46.5%で最も高く、「週3～4回」（16.3%）が続いています。【要介護】では「週3～4回」が27.5%で最も高く、「週1～2回」（25.0%）が続いています。

図表 56 ○ あなたは、将来どのような介護を受けたいと思いますか。

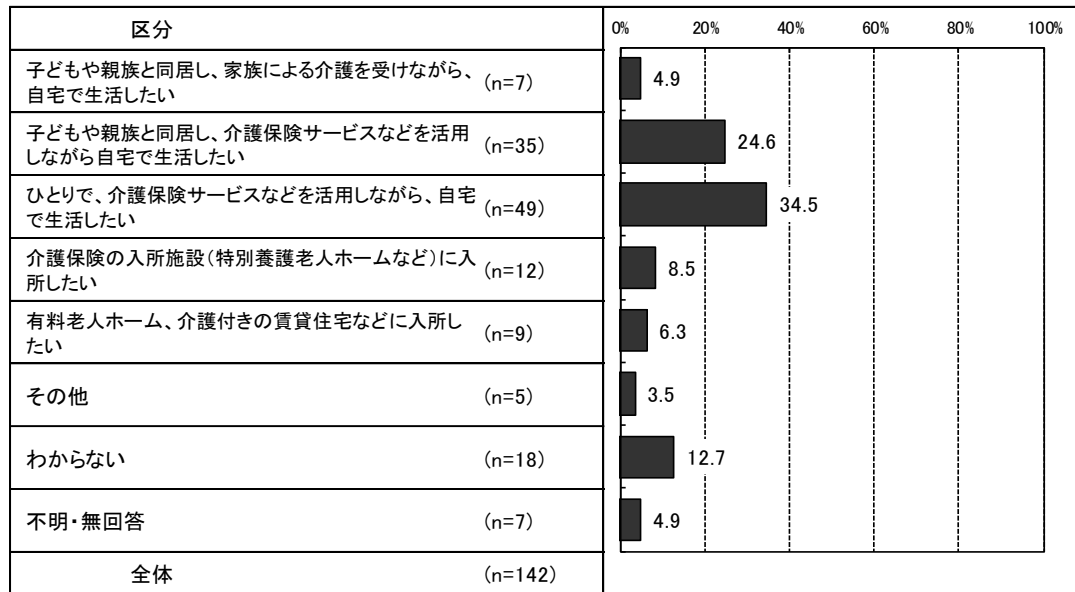
【2号】



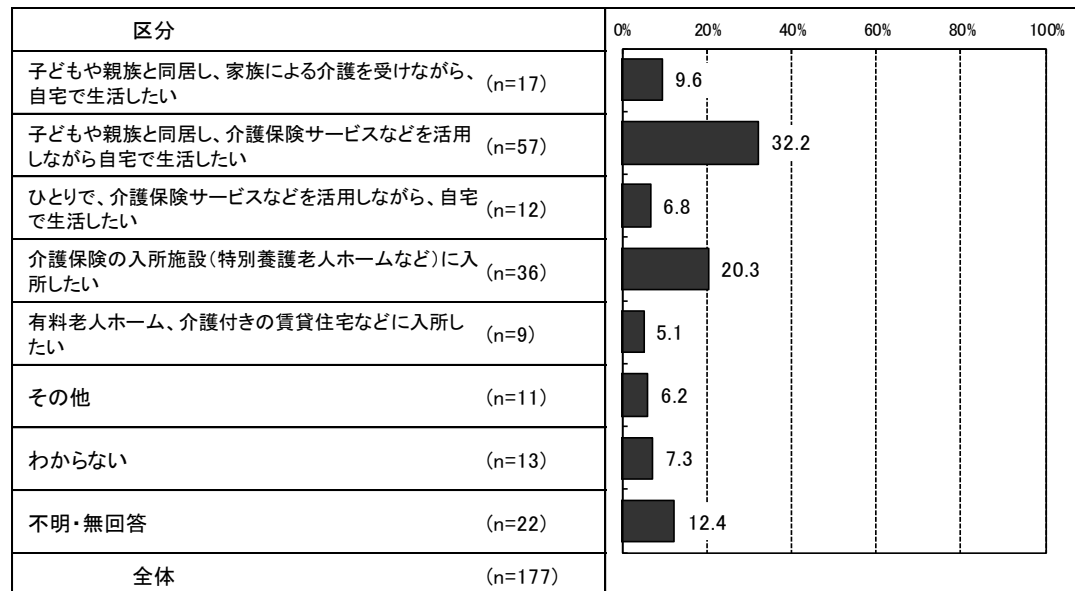
【1号】



【要支援】



【要介護】

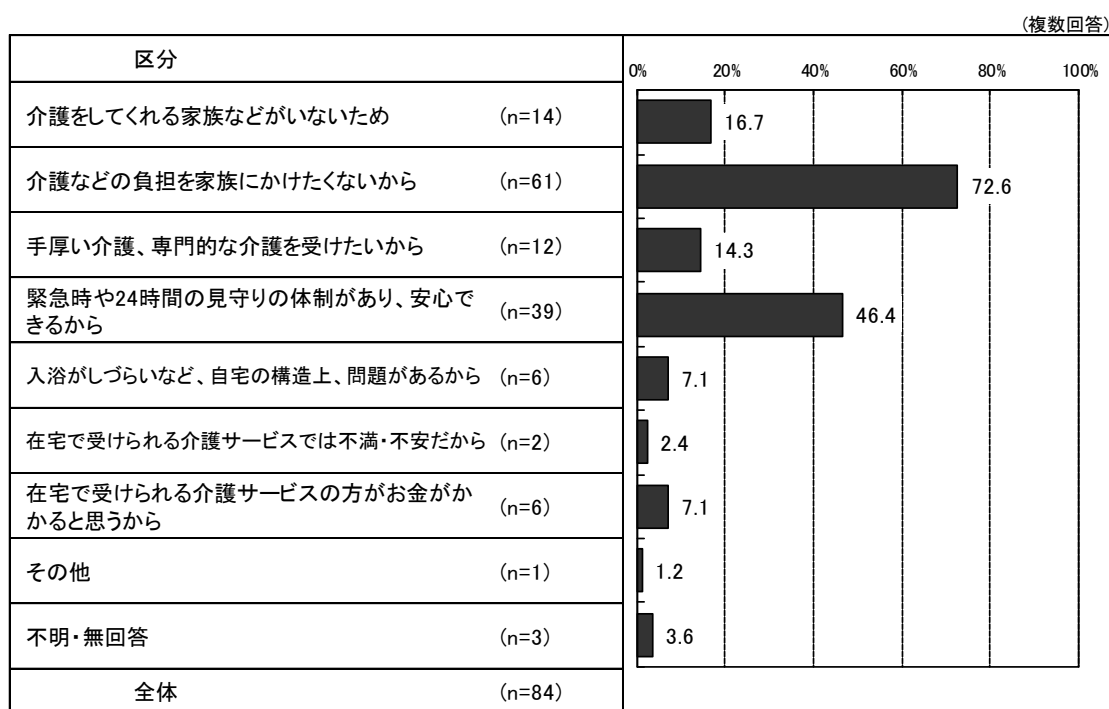


将来の介護希望については、【2号】【要介護】では、「子どもや親族と同居し、介護サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」が最も多くなっています。【1号】【要支援】では、「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」が最も多くなっています。【2号】から【要介護】まで自宅で生活すること望んでいることがうかがえます。

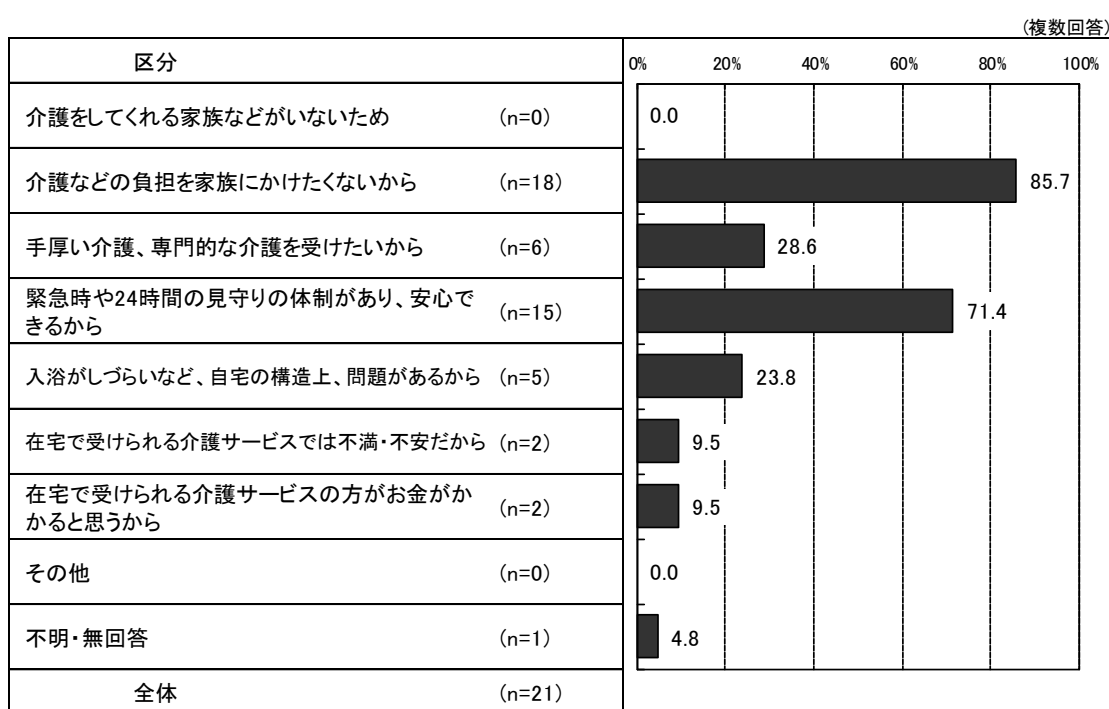
また、【2号】では「有料老人ホーム、介護付き賃貸住宅などに入所したい」、【要介護】では「介護保険の入所施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」が、それぞれ約2割います。

図表 57 ○ 施設に入所したい理由

【1号】

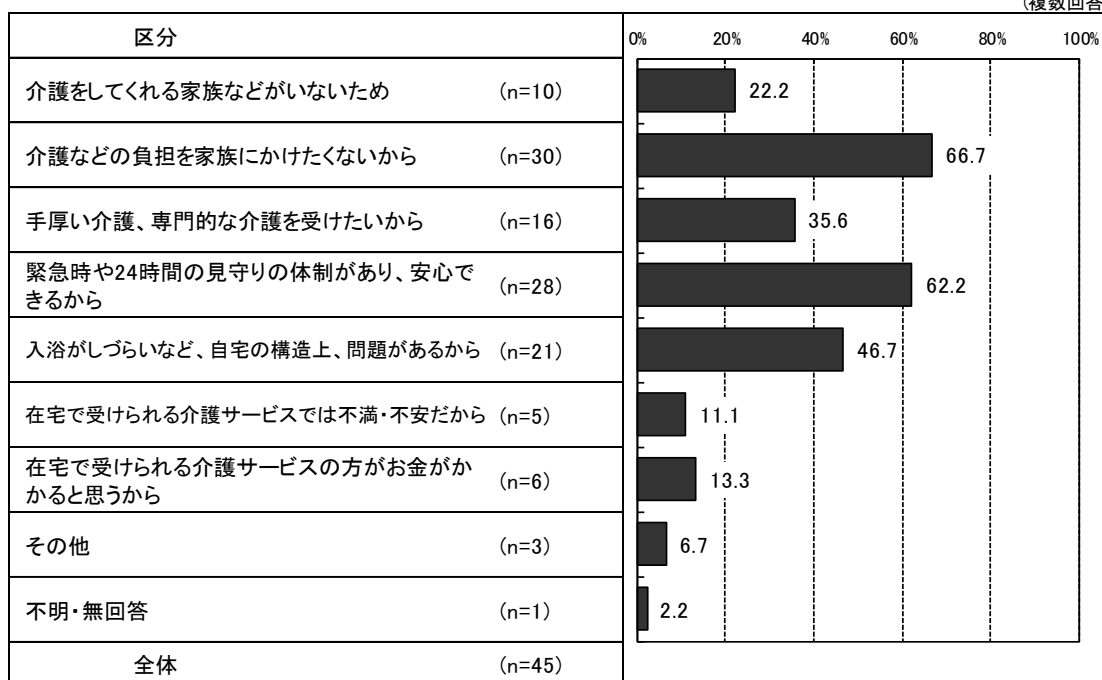


【要支援】



【要介護】

(複数回答)



将来の介護で施設入所を希望する理由については、いずれの区分においても、「介護などの負担を家族にかけたくないから」や「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」が上位を占めています。【要介護】では「入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから」や「手厚い介護、専門的な介護を受けたいから」も約3割～4割います。

図表 57-1* ■ 世帯状況別の施設入所希望理由

【1号】

	全体(人)	(単位: %)								
		介護をしてくれる家族などがないため	介護などの負担を家族にかけたくないから	手厚い介護、専門的な介護を受けたいから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	在宅で受けられる介護サービスでは不満・不安だから	在宅で受けられる介護サービスの方がお金がかかると思うから	その他	不明・無回答
全体	84	16.7	72.6	14.3	46.4	7.1	2.4	7.1	1.2	3.6
ひとり暮らし	14	42.9	42.9	14.3	57.1	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1
65歳以上のかたのみの世帯	46	13.0	73.9	13.0	45.7	10.9	0.0	8.7	2.2	4.3
65歳未満のかたを含む世帯	23	4.3	87.0	17.4	43.5	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0
その他(施設入所など)	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【要支援】

	全体(人)	(単位:%)								
		介護をしてくれる家族などがいないため	介護などの負担を家族にかけたくないから	手厚い介護、専門的な介護を受けたいから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	在宅で受けられる介護サービスでは不満・不安だから	在宅で受けられる介護サービスの方がお金がかかると思うから
全体	21	0.0	85.7	28.6	71.4	23.8	9.5	9.5	0.0	4.8
ひとり暮らし	9	0.0	88.9	33.3	66.7	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1
65歳以上のかたのみの世帯	5	0.0	80.0	60.0	80.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
65歳未満のかたを含む世帯	5	0.0	80.0	0.0	80.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他(施設入所など)	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

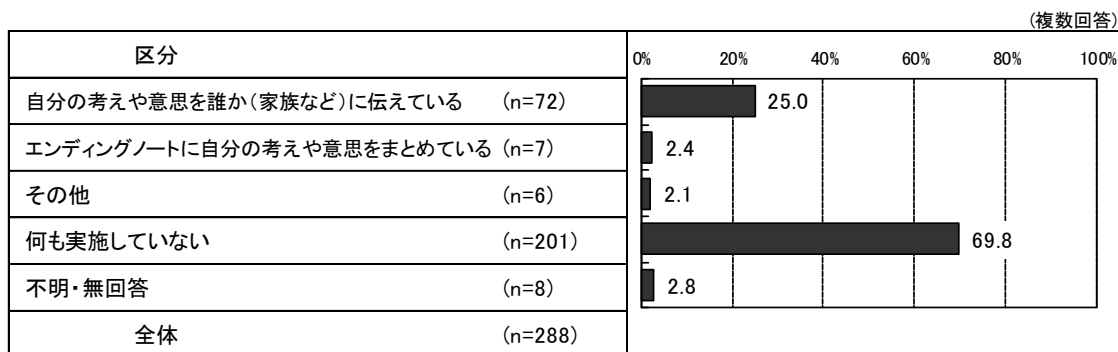
【要介護】

	全体(人)	(単位:%)								
		介護をしてくれる家族などがいないため	介護などの負担を家族にかけたくないから	手厚い介護、専門的な介護を受けたいから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	入浴がしづらいなど、自宅の構造上、問題があるから	在宅で受けられる介護サービスでは不満・不安だから	在宅で受けられる介護サービスの方がお金がかかると思うから
全体	45	22.2	66.7	35.6	62.2	46.7	11.1	13.3	6.7	2.2
ひとり暮らし	5	40.0	40.0	40.0	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65歳以上のかたのみの世帯	9	11.1	55.6	33.3	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0
65歳未満のかたを含む世帯	11	9.1	81.8	18.2	45.5	18.2	18.2	9.1	18.2	0.0
その他(施設入所など)	18	27.8	72.2	44.4	72.2	72.2	16.7	16.7	5.6	5.6

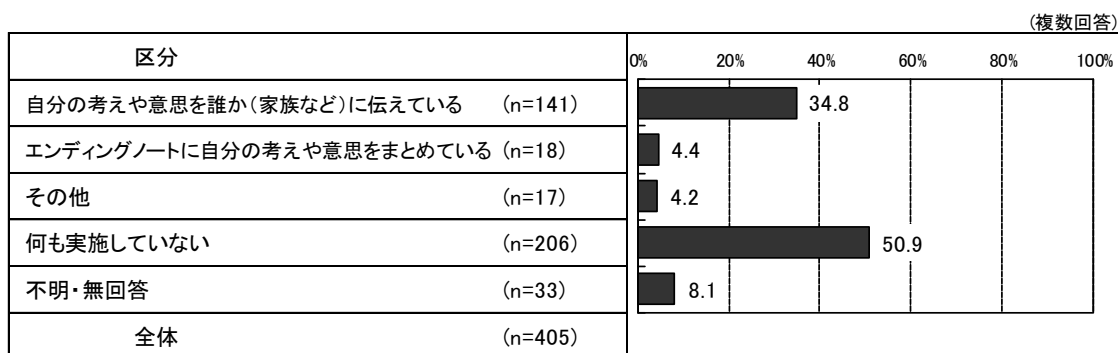
将来の介護で施設入所を希望する理由について、世帯状況別で見ると、すべての区分において、「介護などの負担を家族にかけたくないから」や「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」の割合が高くなっています。【1号】【要介護】の「ひとり暮らし」の人では「緊急時や24時間の見守りの体制があり、安心できるから」の割合が最も高く、【要介護】では「介護などの負担を家族にかけたくないから」が最も高くなっています。

図表 58 ○ もしものとき（病気などにより、自分自身で自分の考えや意思を示すことができなくなったとき）に備え、あなたは何か実施していますか。

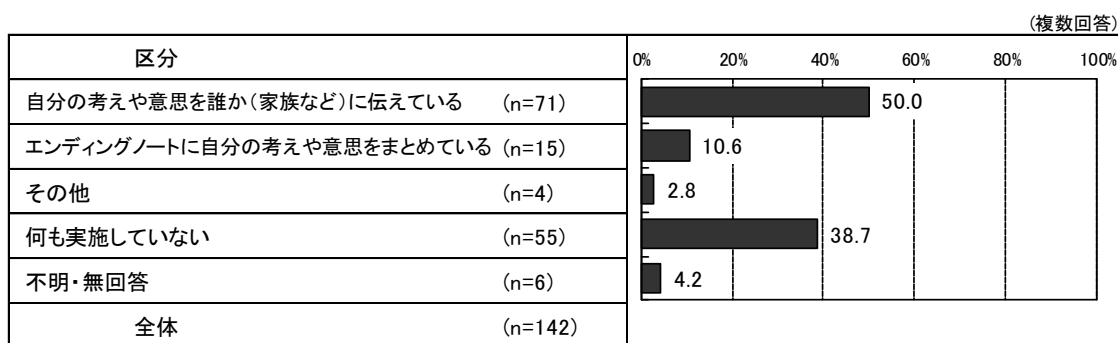
【2号】



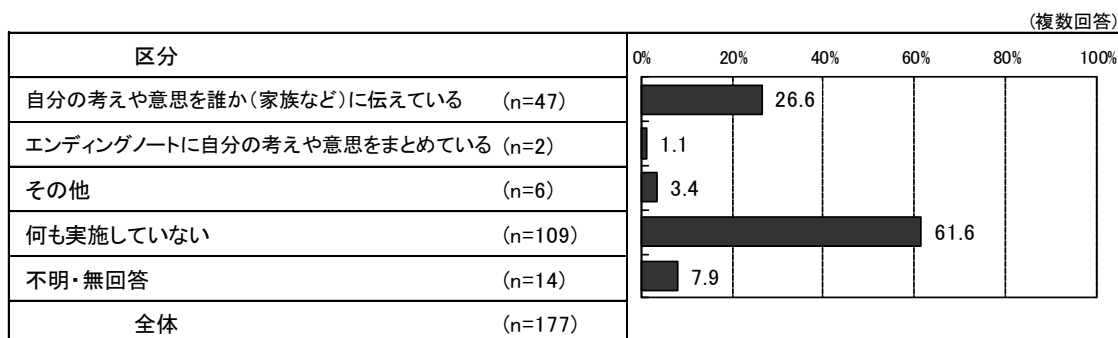
【1号】



【要支援】

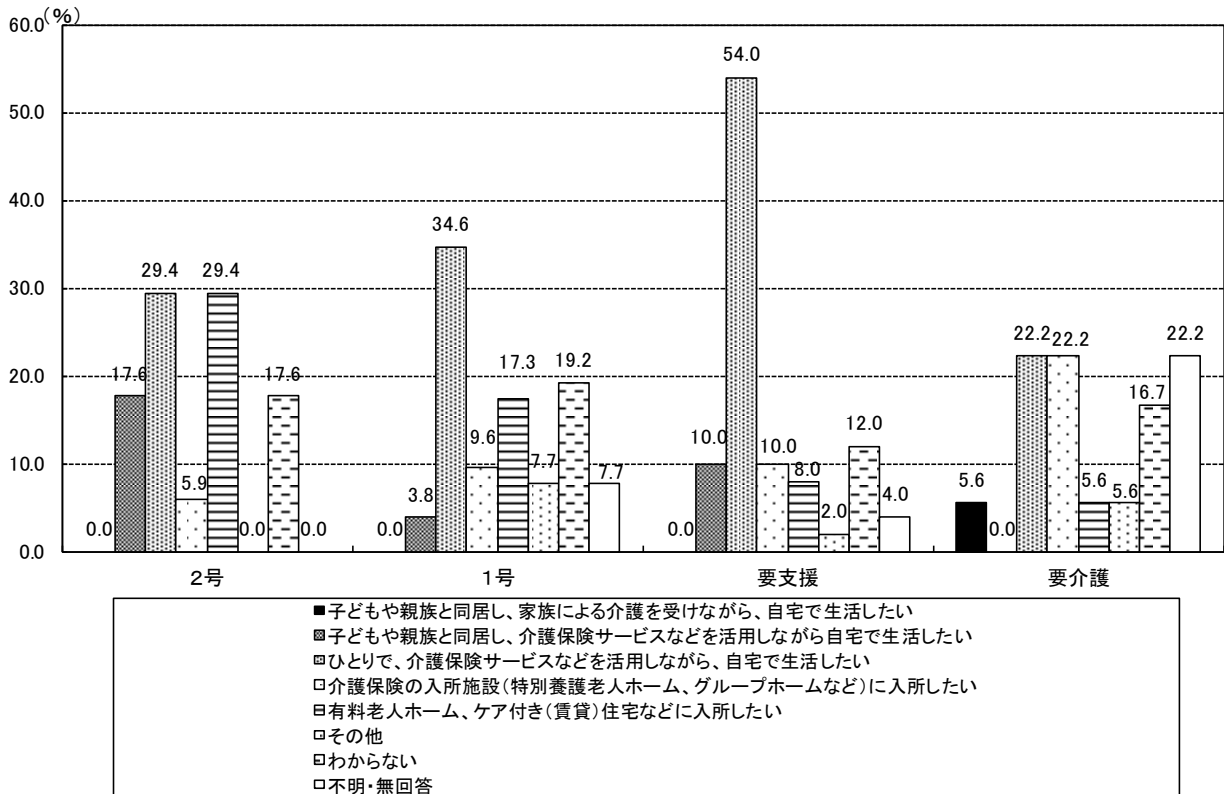


【要介護】



もしものとき（自分で意思表示ができなくなったとき）の準備については、【2号】【1号】【要介護】では「何も実施していない」が最も多くなっています。【要支援】では「自分の考えや意思を誰か（家族など）に伝えている」が最も多くなっています。

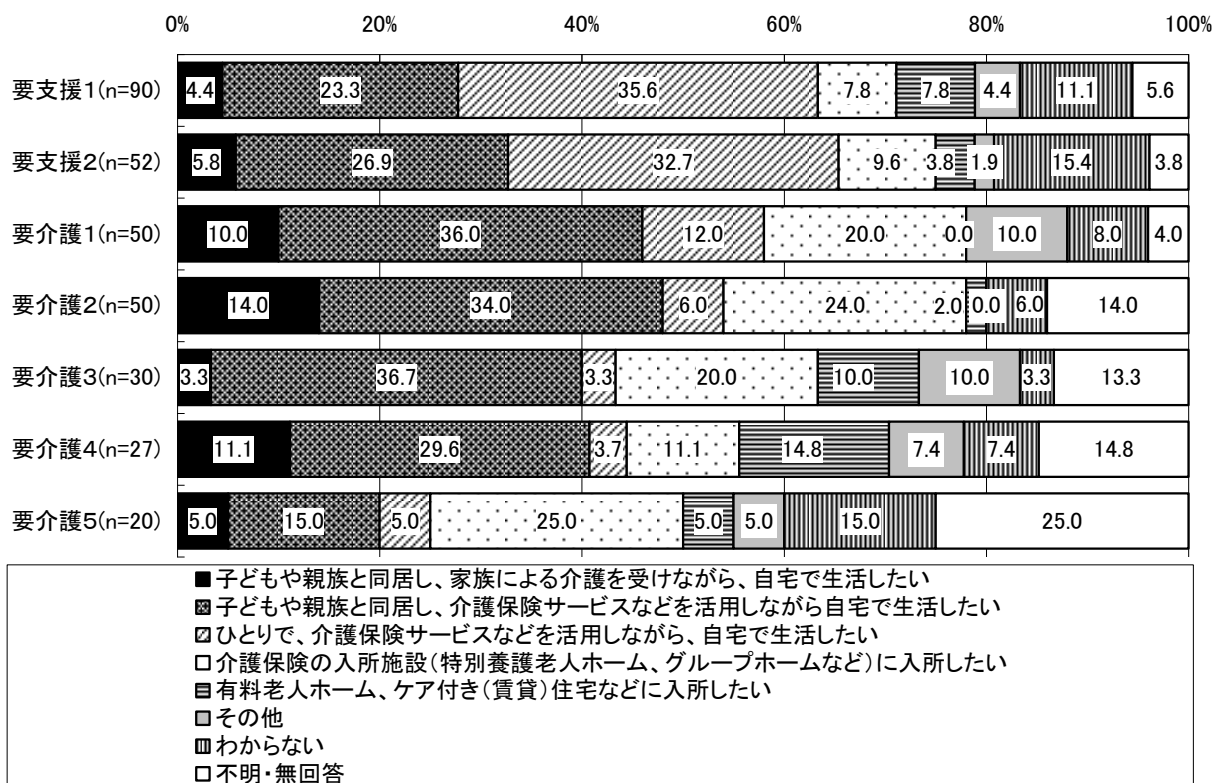
図表 58-1 ■ ひとり暮らしの将来の介護希望



「ひとり暮らし」の将来の介護希望については、すべての区分において、「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」の割合が高くなっています。特に、【1号】【要支援】では、2位以下との割合の差が大きくなっています。

また、「ひとり暮らし」で自宅での生活を希望する人（「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」と回答した人）は、【2号】で47.0%、【1号】で38.4%、【要支援】で64.0%、【要介護】で27.8%となっています。

図表 58-2 ■ 要介護度別の将来の介護希望



将来の介護希望について、要介護度別で見ると、要支援1から2では「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」、要介護1から4では「子どもや親族と同居し、介護サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」、要介護5では「介護保険の入所施設（特別養護老人ホーム、グループホームなど）に入所したい」の割合が、最も高くなっています。

また、自宅での生活を希望する人（「子どもや親族と同居し、家族による介護を受けながら、自宅で生活したい」「子どもや親族と同居し、介護保険サービスなどを活用しながら自宅で生活したい」「ひとりで、介護保険サービスなどを活用しながら、自宅で生活したい」と回答した人）は、認定度が高いほどおおむね低下する傾向にあります。

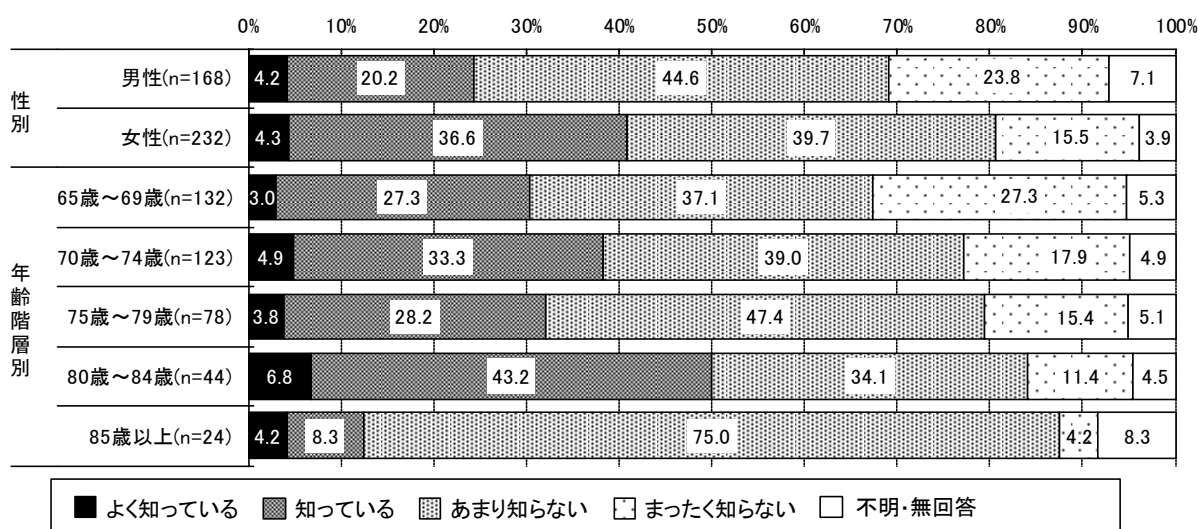
図表 59 ○ 現在、このままだと介護が必要になる恐れのある高齢者を対象に、介護予防事業が行われています。あなたは、こうした介護予防事業について知っていますか。

【1号】

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
よく知っている	(n=18)	4.4					
知っている	(n=121)	29.9					
あまり知らない	(n=168)	41.5					
まったく知らない	(n=77)	19.0					
不明・無回答	(n=21)	5.2					
全体	(n=405)						

介護予防事業の認知度については、知っている人（「よく知っている」「知っている」）の人の割合（34.3%）は知らない人（「あまり知らない」「まったく知らない」）の割合（60.5%）を大きく下回っています。

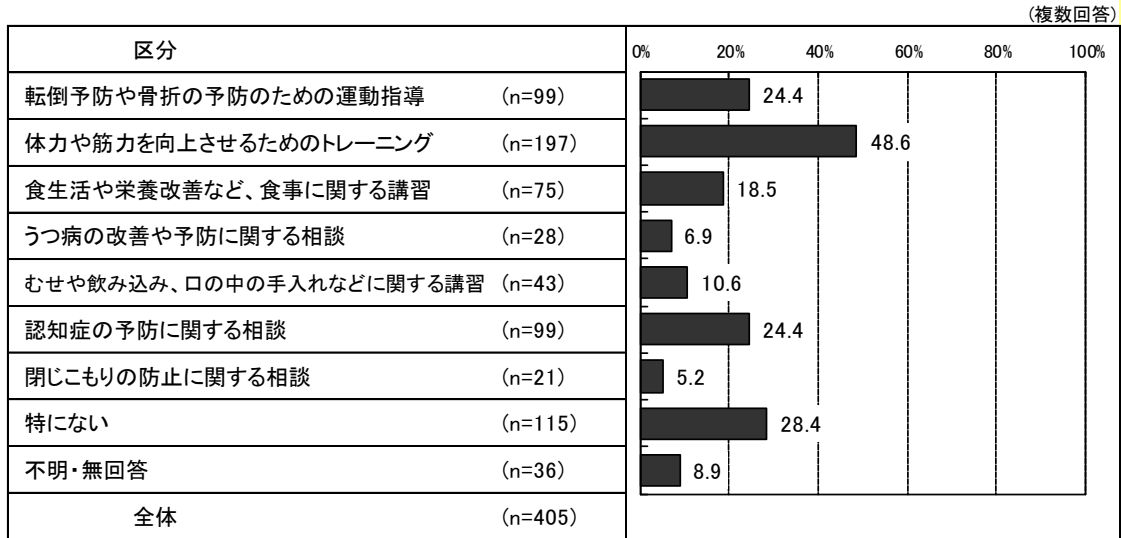
図表 59-1 ■ 性別・年齢階層別の介護予防事業の認知状況



介護予防事業の認知状況について、性別で見ると、介護予防事業の認知度（「よく知っている」「知っている」）は、「男性」で24.4%、「女性」で40.9%となっています。
年齢階層別で見ると、「80歳～84歳」の介護予防事業の認知度は約5割で最も高くなっています。65歳から79歳までは約3割～4割となっています。

図表 60 ○ これからも、元気で健康的な生活を続けるために、または今後、体力や生活習慣に自信がなくなったときのために、やりたいこと、知りたいことは何ですか。

【1号】

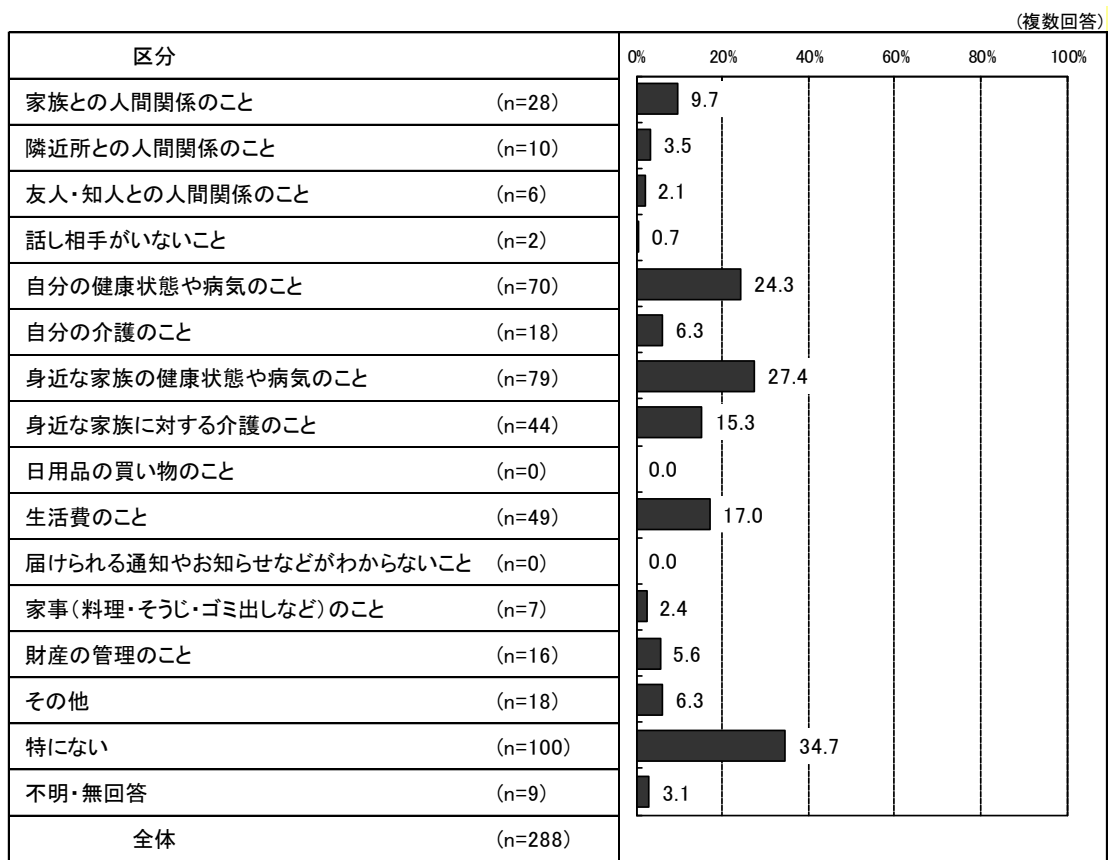


介護予防のためにやりたいこと、知りたいことについては、「体力や筋力を向上させるためのトレーニング（自宅でできるものを含む）」が 48.6%で最も高く、「特にない」(28.4%)、「転倒予防や骨折の予防のための運動指導」(24.4%)、「認知症の予防に関する相談」(24.4%)が続いています。

相談ごと・情報について

図表 61 ○ あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。

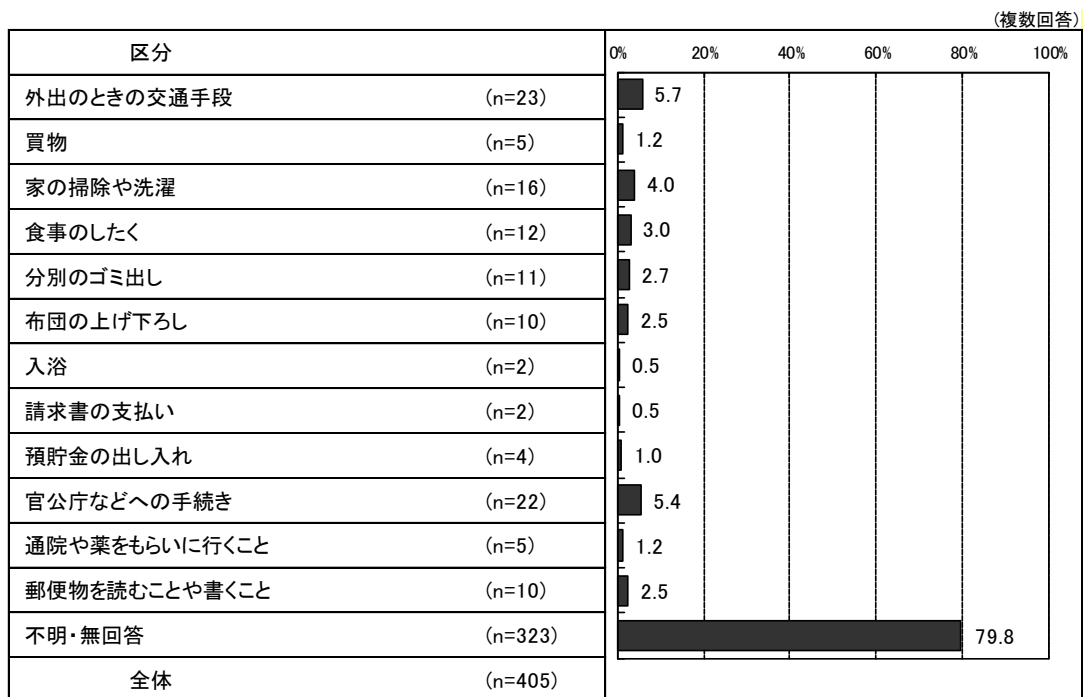
【2号】



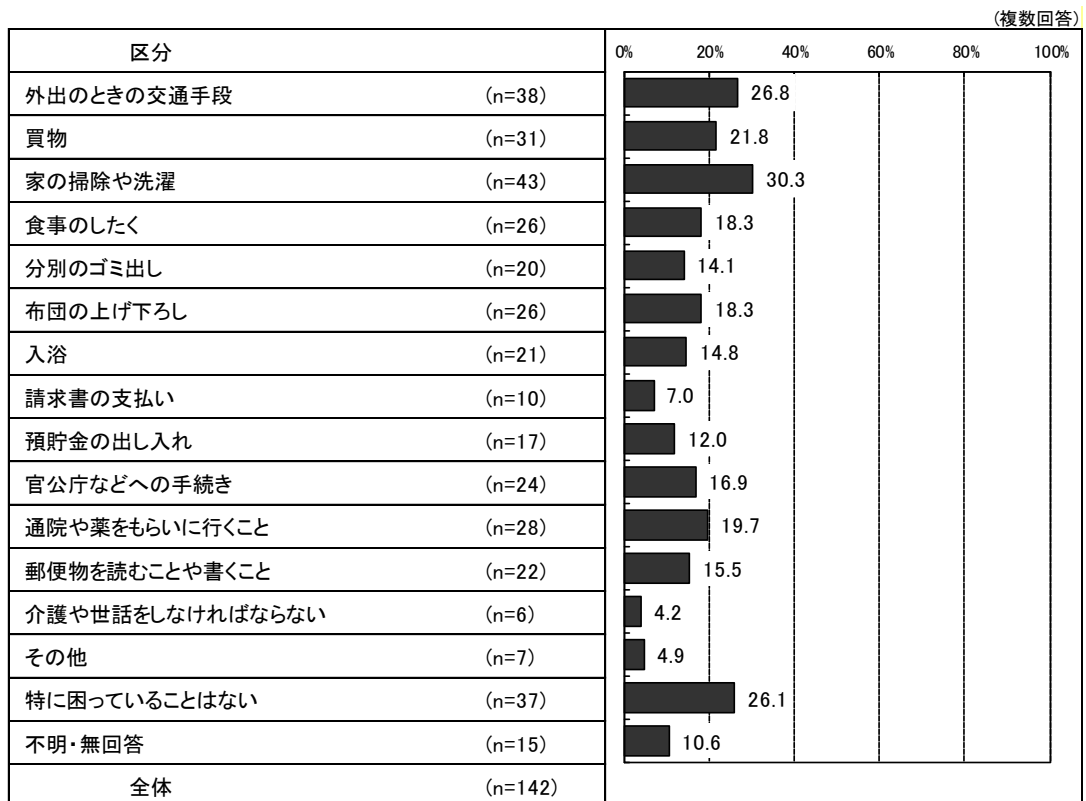
日常生活で抱える不安や悩みについては、「特にない」が 34.7%で最も高くなっており、「身近な家族の健康状態や病気のこと」(27.4%)、「自分の健康状態や病気のこと」(24.3%)、「生活費のこと」(17.0%)が続いています。

図表 62 ○ あなたは、現在、日常生活の中で困っていることはありますか。

【1号】

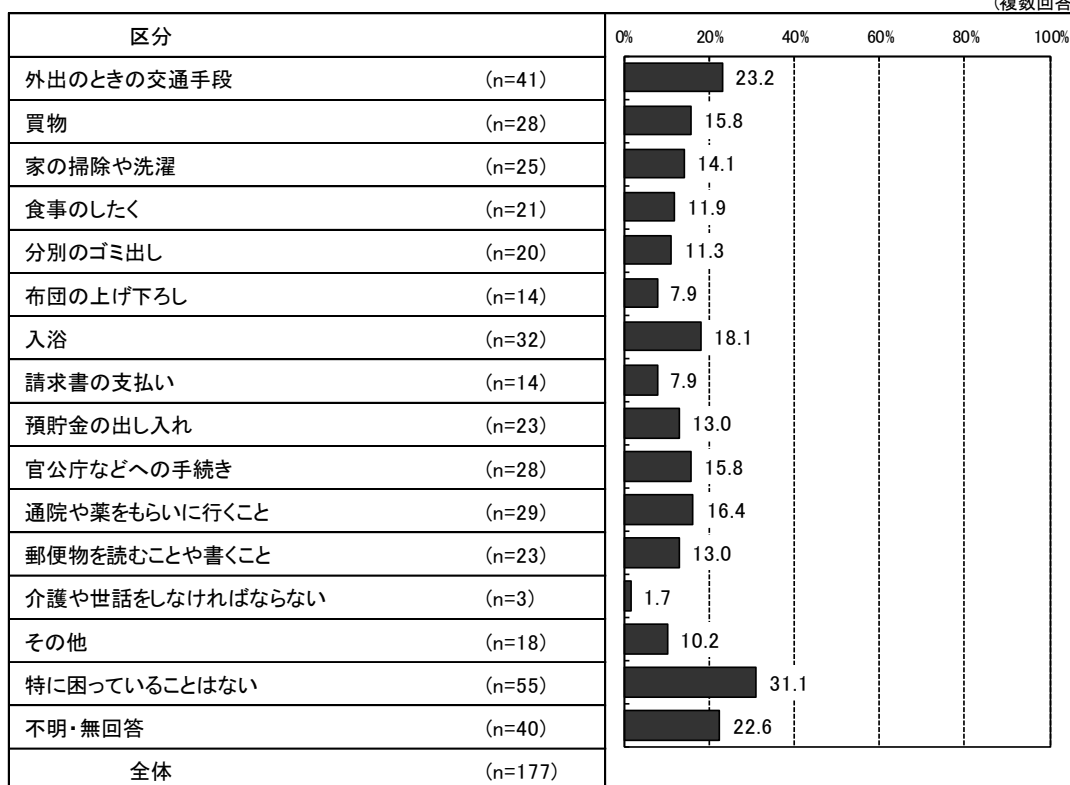


【要支援】



【要介護】

(複数回答)

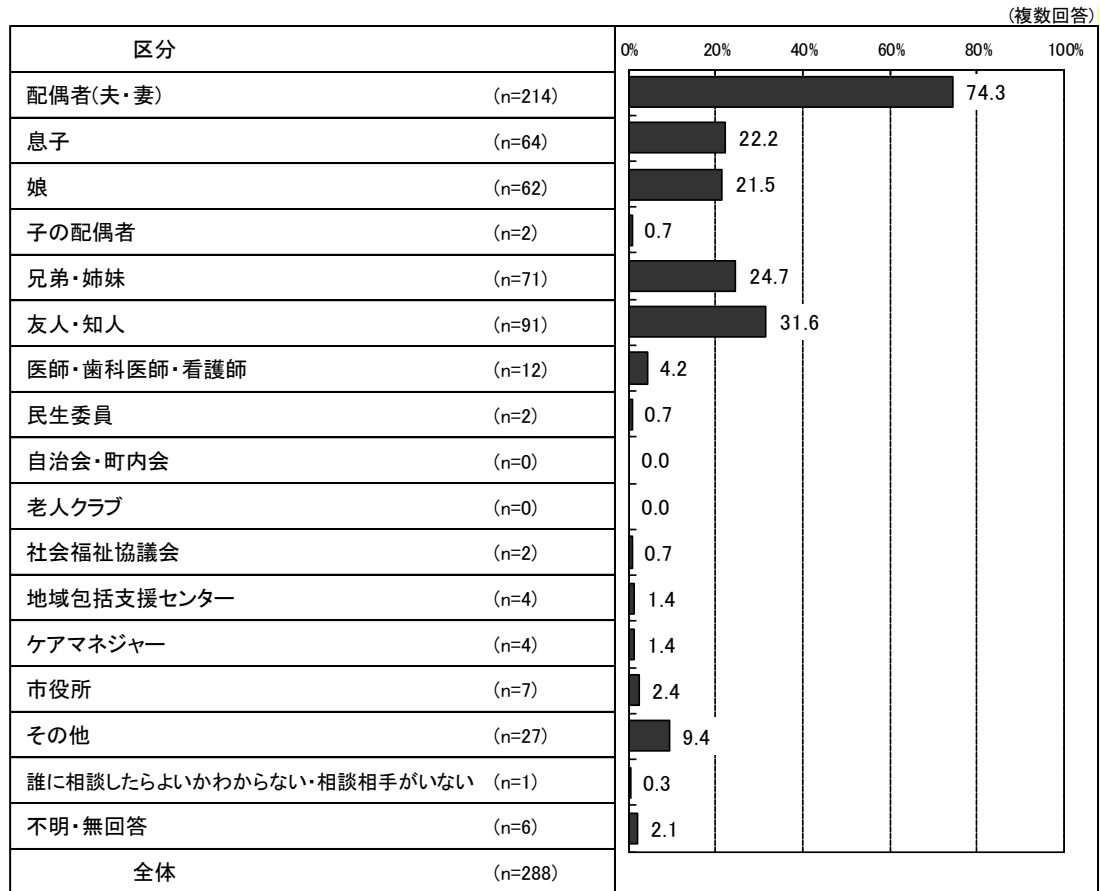


日常生活の中で困っていることについて、【1号】では回答していない人が79.8%いて、具体的に困っている内容を挙げる人の割合は約2割にとどまっています。

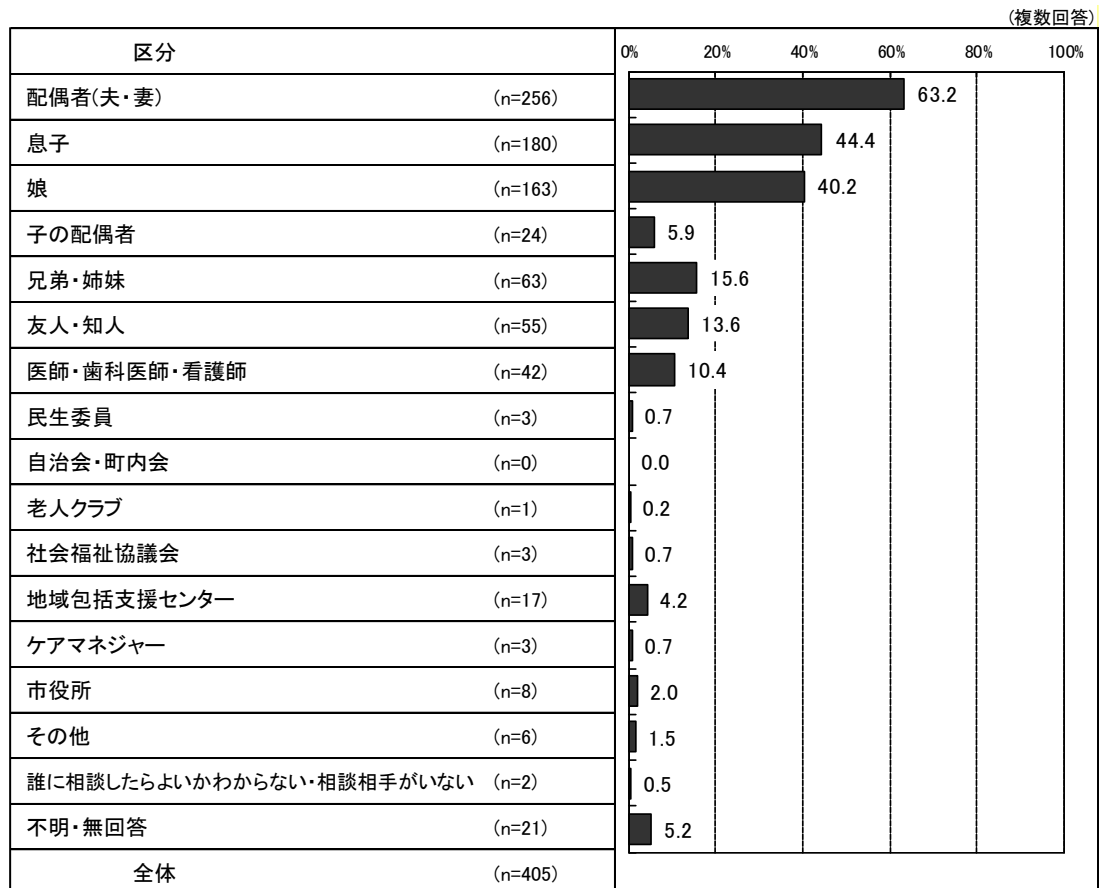
一方、【要支援】【要介護】では、「特に困っていることはない」がそれぞれ26.1%、31.1%にとどまっています。具体的に困っている内容としては、【要支援】では、「家の掃除や洗濯」、「外出のときの交通手段」、「買物」の割合が、また【要介護】では、「外出のときの交通手段」、「入浴」、「通院や薬をもらいに行くこと」の割合が高くなっています。

図表 63 ○ あなたは、何かあった時、誰に相談していますか。

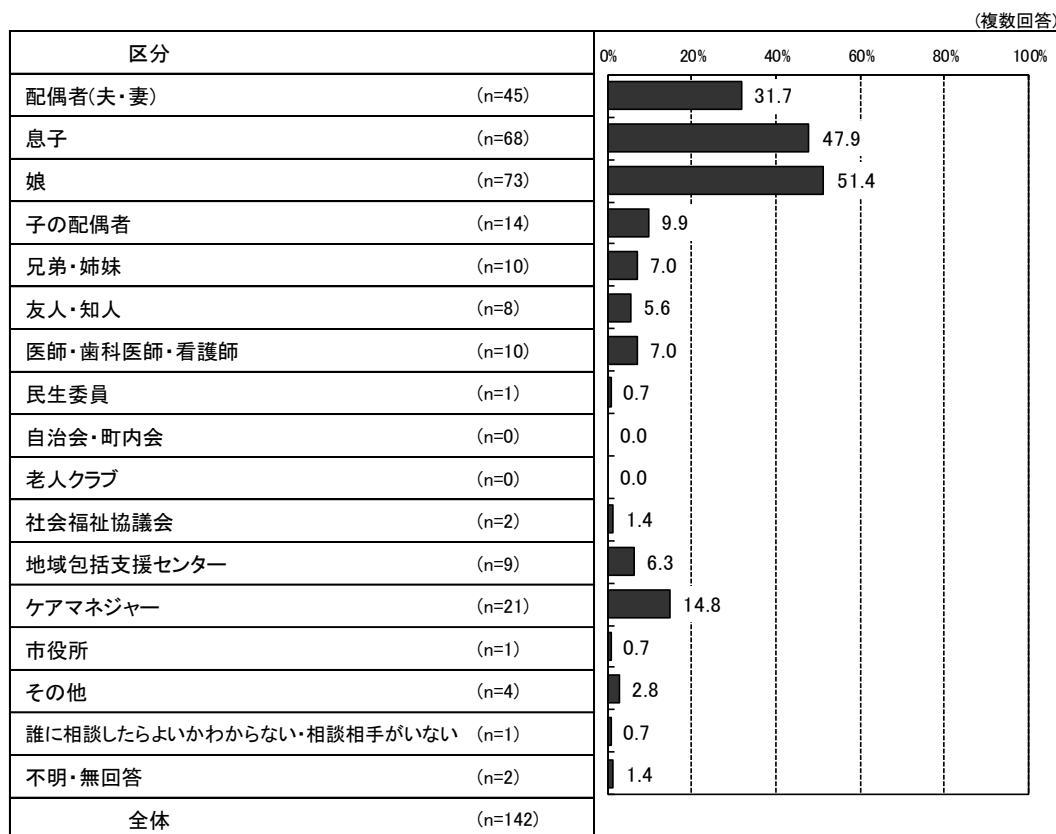
【2号】



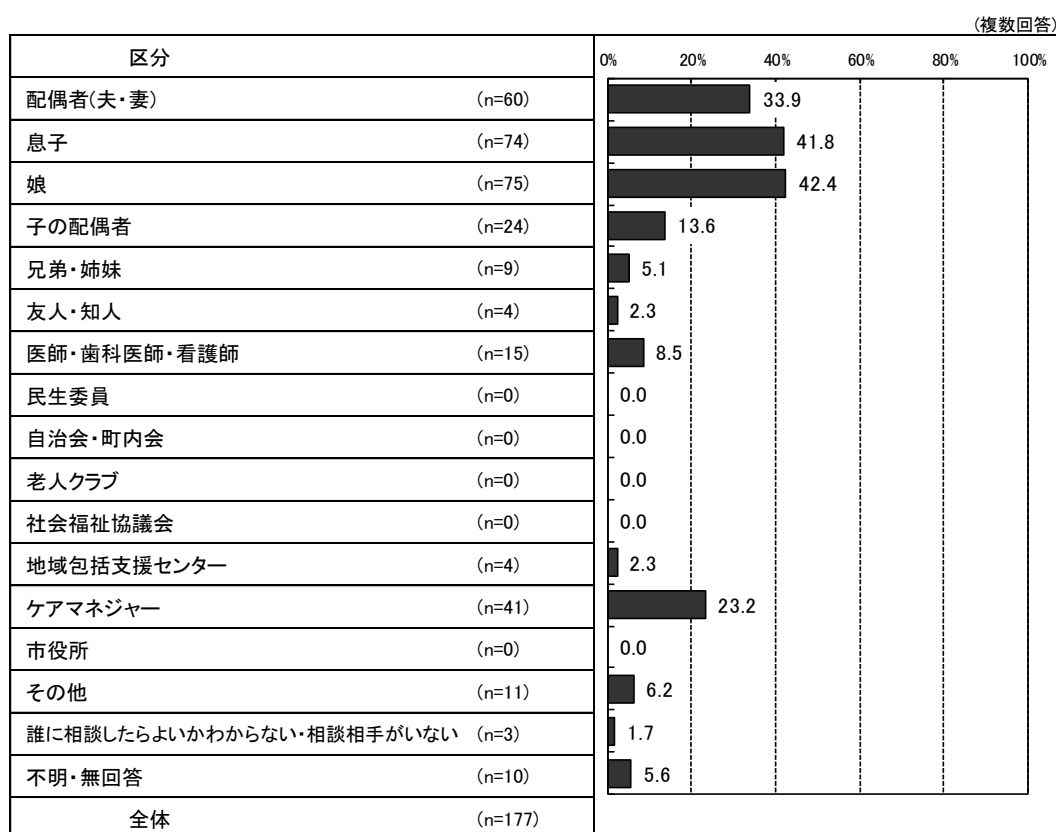
【1号】



【要支援】



【要介護】

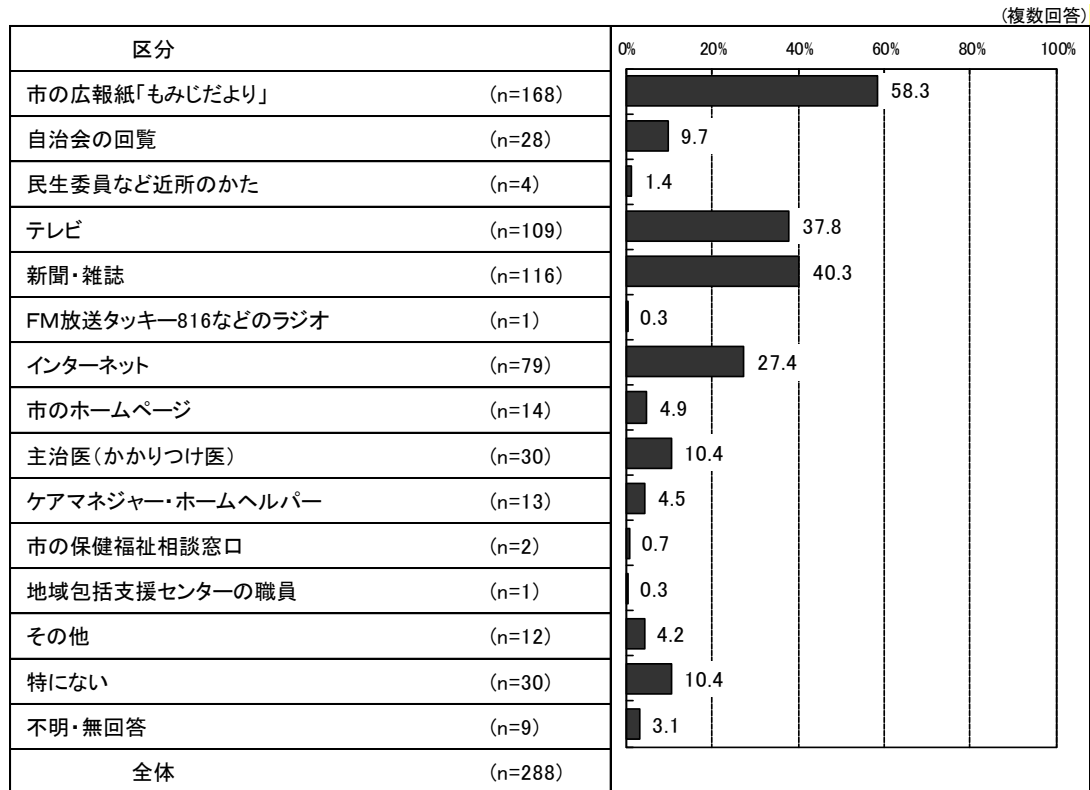


何かあった時に相談する相手については、【2号】【1号】では「配偶者」、【要支援】
【要介護】では「息子」「娘」の割合が高くなっており、いずれの区分においても、親
しい家族が上位を占めています。また、【2号】では「友人・知人」、【要支援】【要介護】
では「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

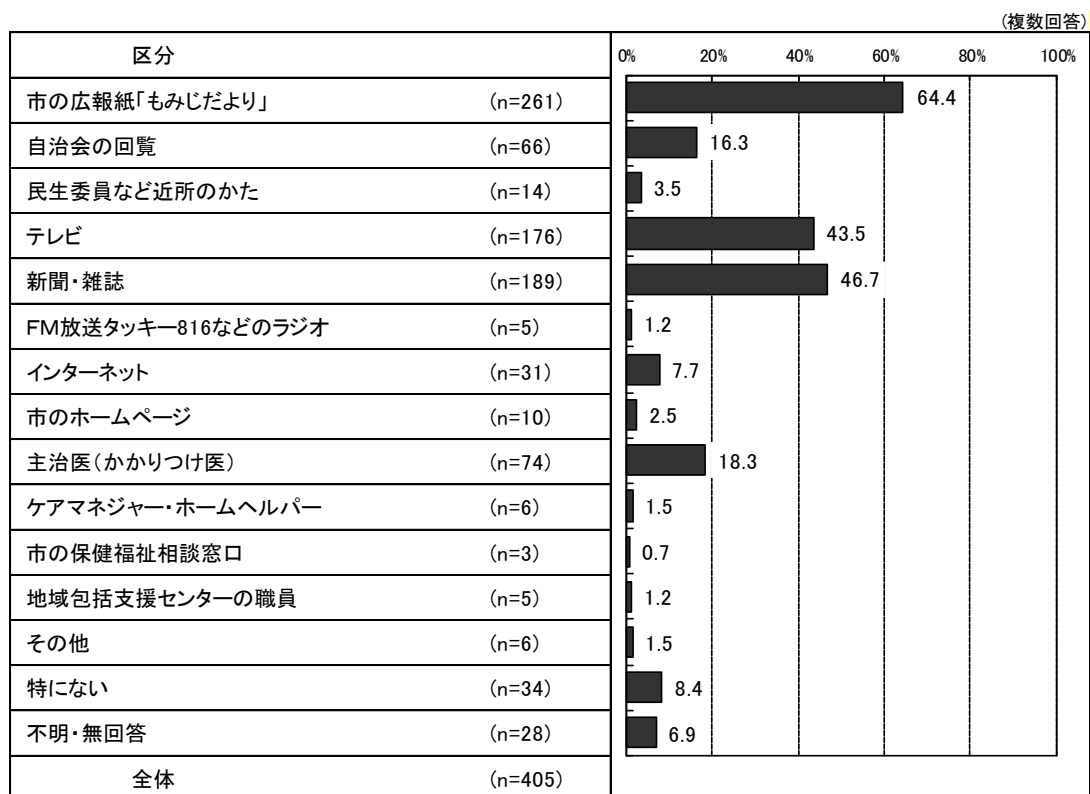
一方「地域包括支援センター」については、【要支援】で6.3%となっています。

図表 64 ○ あなたは、介護や福祉、健康の情報を、主に何から得ていますか。

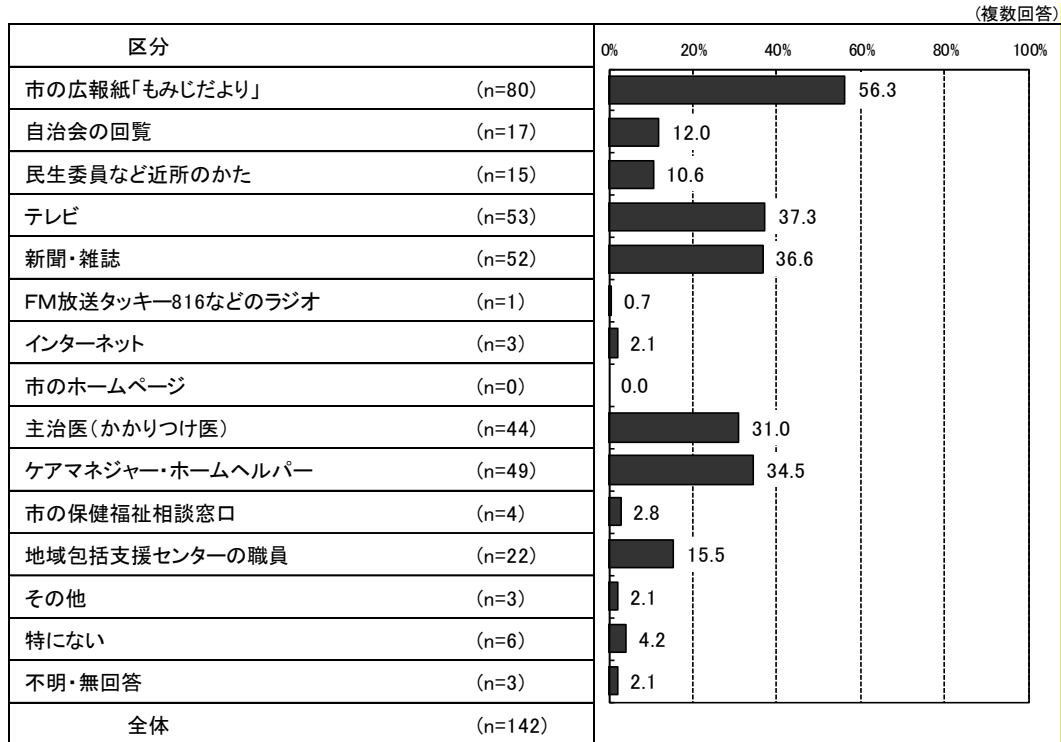
【2号】



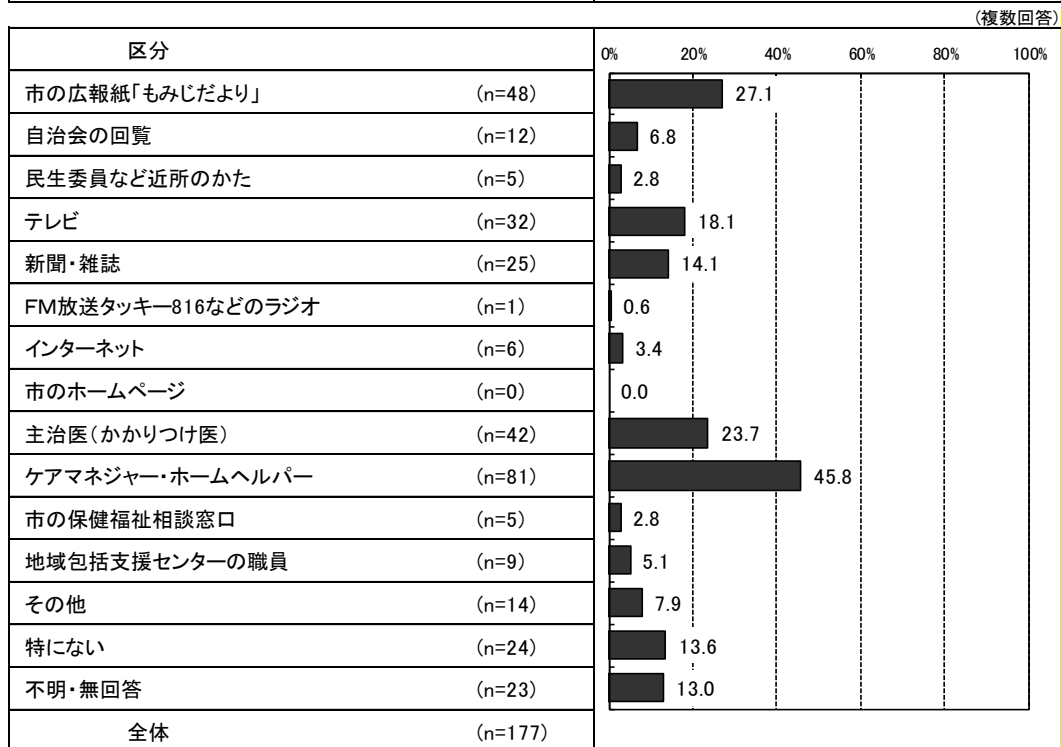
【1号】



【要支援】



【要介護】



介護や福祉、健康に関する情報の入手先については、【2号】【1号】【要支援】では「市の広報紙「もみじだより」、【要介護】では「ケアマネジャー・ホームヘルパー」が最も高くなっています。また、【2号】【1号】では「テレビ」や「新聞・雑誌」、【要支援】では「主治医(かかりつけ医)」や「ケアマネジャー・ホームヘルパー」、【要介護】では「市の広報紙「もみじだより」や「主治医(かかりつけ医)」も上位を占めています。

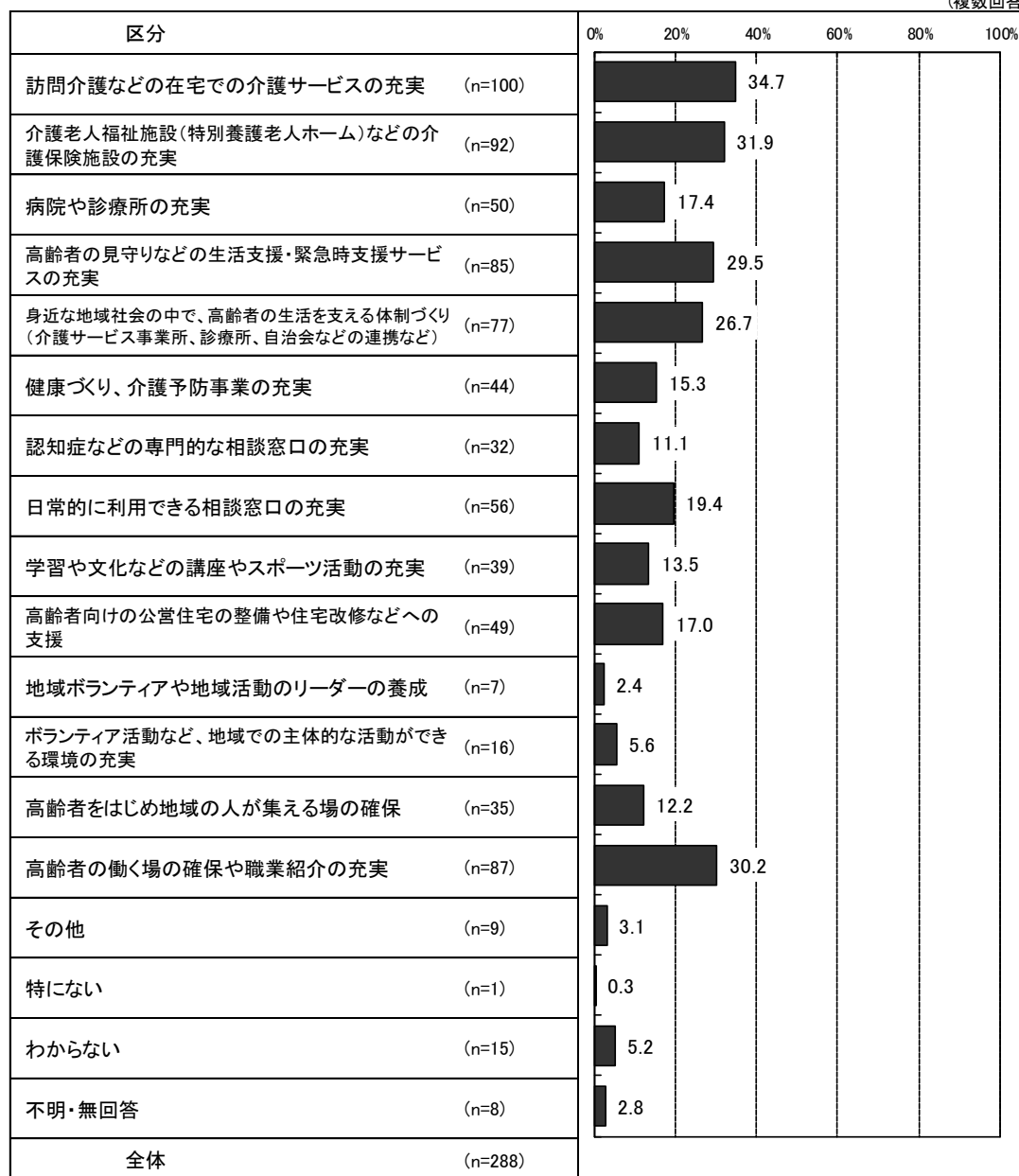
「地域包括支援センターの職員」については、【要支援】で15.5%となっており、その他の区分を上回っています。

高齢者施策について

図表 65 ○ あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策・事業が重要と思いますか。

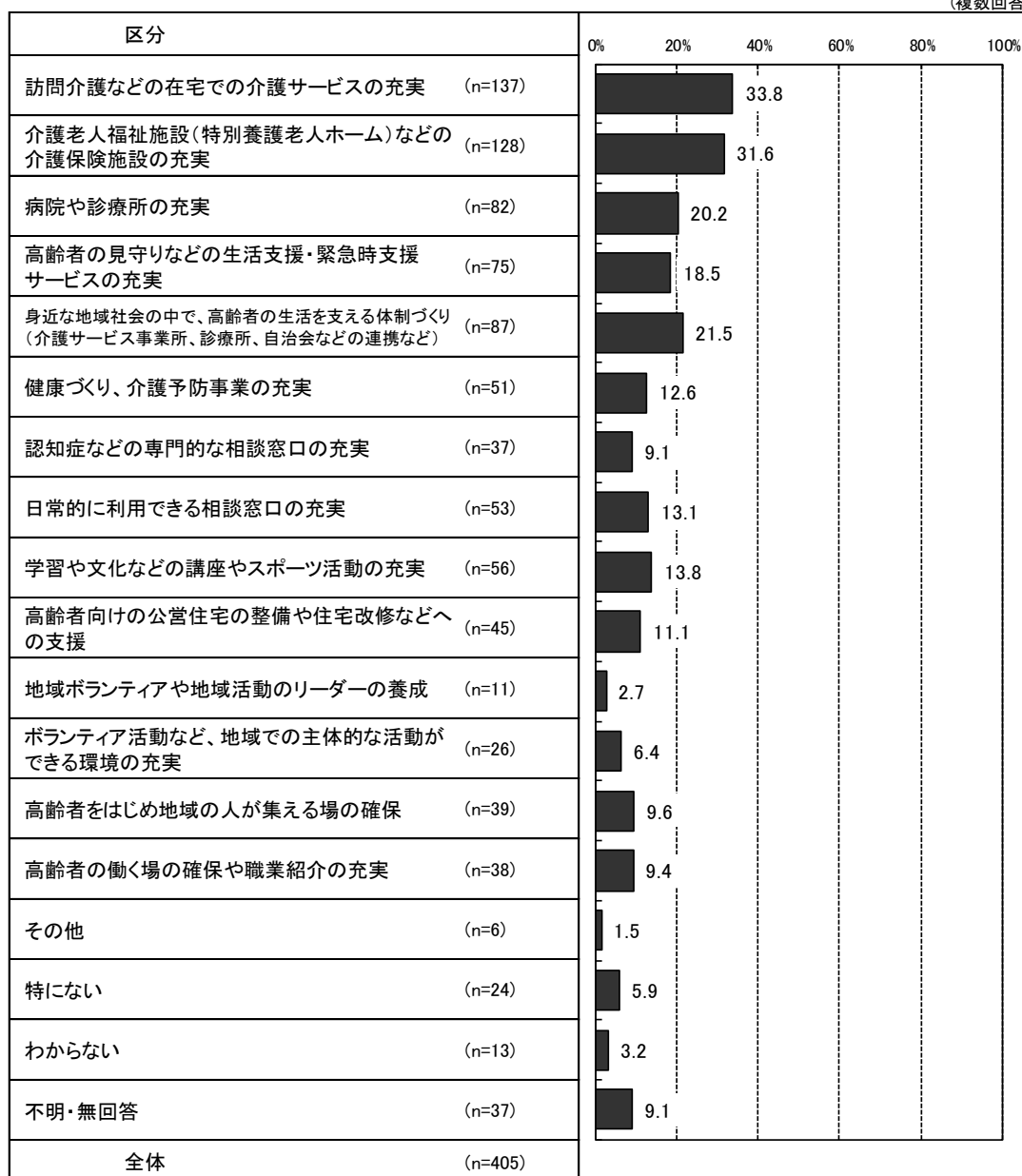
【2号】

(複数回答)



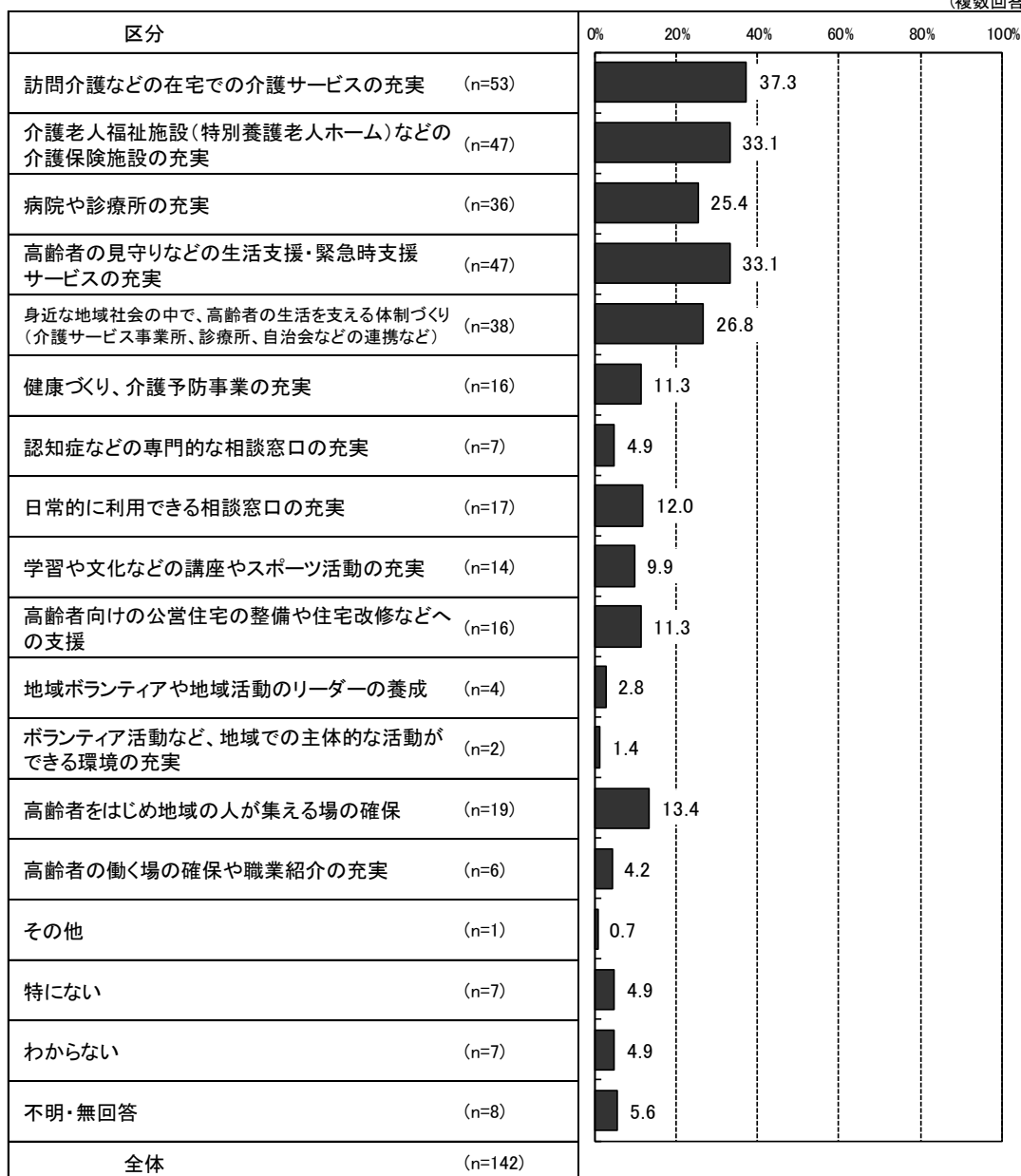
【1号】

(複数回答)



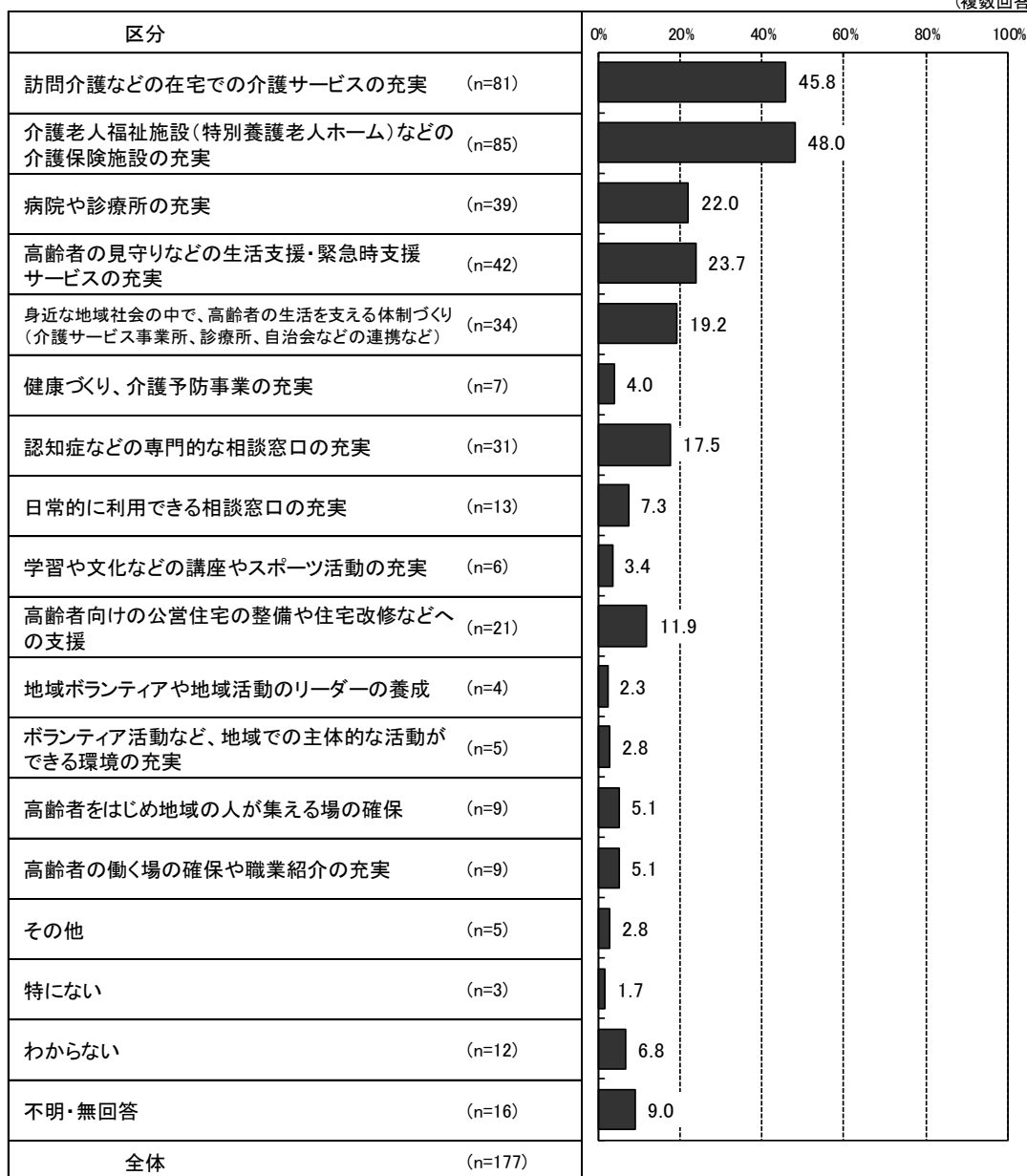
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

(複数回答)



■ 今後重要な施策・事業（上位5項目）

（複数回答）

	第2号被保険者 (n=288)	第1号被保険者 (n=405)	要支援認定者 (n=142)	要介護認定者 (n=177)
第1位	訪問介護などの在宅での介護サービスの充実(34.7%)	訪問介護などの在宅での介護サービスの充実(33.8%)	訪問介護などの在宅での介護サービスの充実(37.3%)	介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実(48.0%)
第2位	介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実(31.9%)	介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実(31.6%)	介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実(33.1%)	訪問介護などの在宅での介護サービスの充実(45.8%)
第3位	高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実(30.2%)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり(21.5%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実(33.1%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実(23.7%)
第4位	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実(29.5%)	病院や診療所の充実(20.2%)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり(26.8%)	病院や診療所の充実(22.0%)
第5位	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり(26.7%)	高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実(18.5%)	病院や診療所の充実(25.4%)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり(19.2%)

重要と考える施策・事業について、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が【2号】【1号】【要支援】で第1位、【要介護】で第2位となり、すべて3割を超えています。

【2号】では、「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」が前回に比べ第4位から第2位に上昇し（27.2%→31.9%）、「高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実」（30.2%）が続き、「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」も3割近くとなっています。

【1号】では、第2位の「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」（31.6%）に続き、「身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり」や「病院や診療所の充実」がそれぞれ2割を超えています。

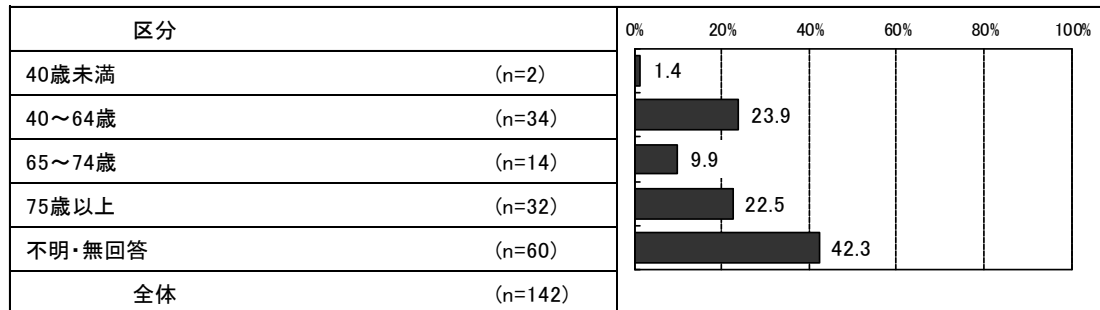
【要支援】では、第2位の「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」と「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」がともに33.1%となっています。前回に比べ「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」（24.2%→33.1%）、「身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり」（18.8%→26.8%）の割合が大きく上昇しています。

【要介護】では、「介護老人福祉施設などの介護保険施設の充実」が第1位で5割近くになっており、前回に比べ7.8%増加しています（40.2%→48.0%）。第2位の「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」（45.8%）に続き、「高齢者の見守りなどの生活支援・緊急時支援サービスの充実」「病院や診療所の充実」がそれぞれ2割を超えています。

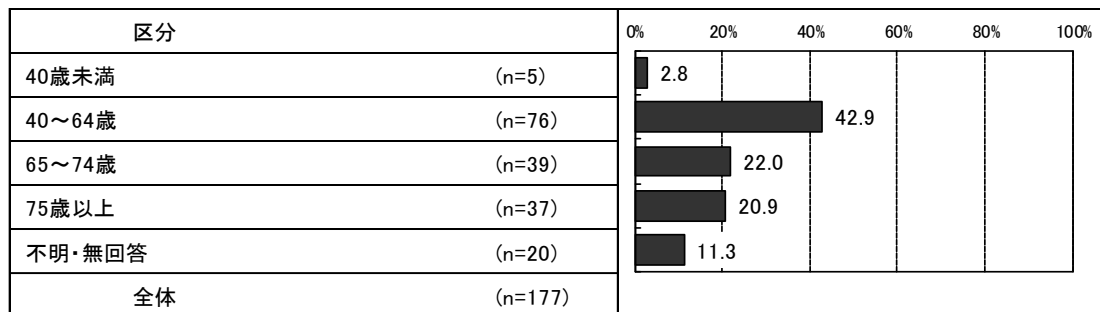
介護者について

図表 66 ○ あなた（介護者）は、平成 25 年（2013 年）10 月 1 日現在で何歳ですか

【要支援】

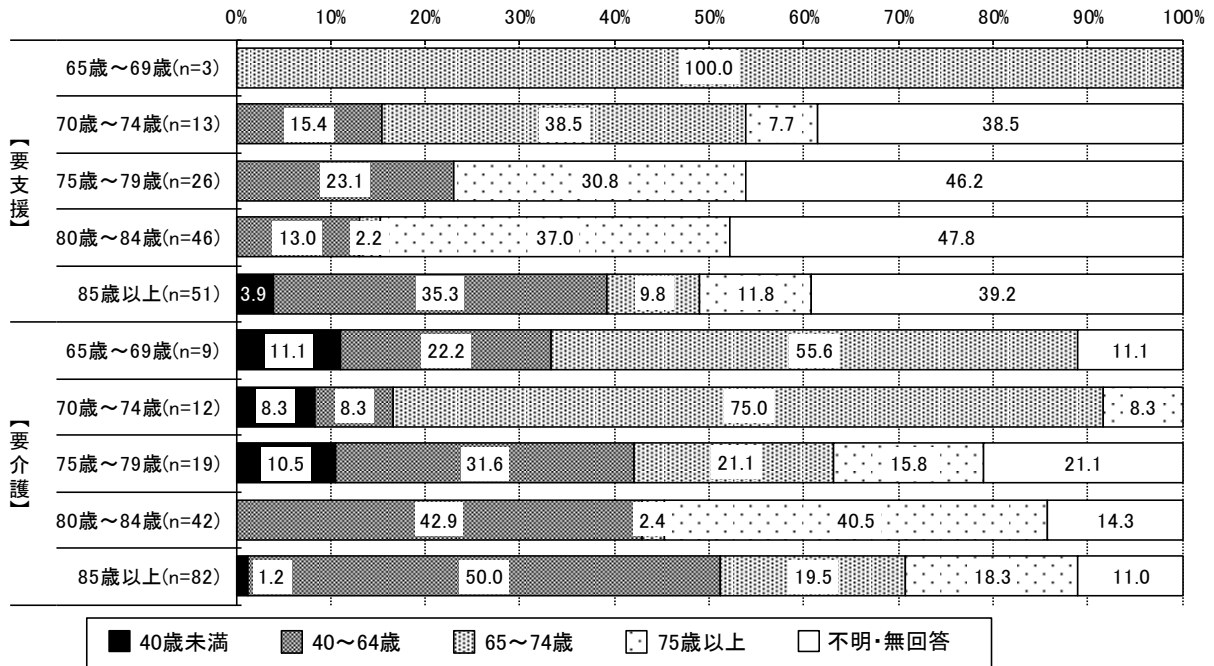


【要介護】



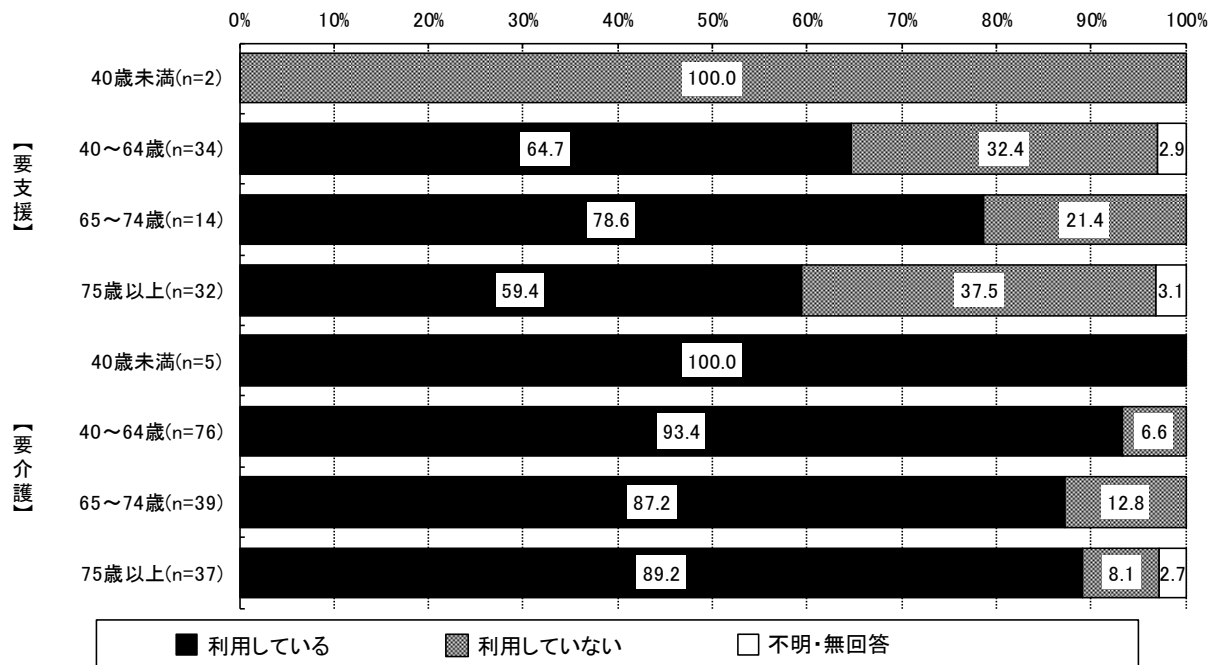
介護者の年齢については、【要支援】【要介護】ともに「40～64歳」が、それぞれ 23.9%、42.9%で最も高くなっており、【要支援】では「75歳以上」（22.5%）、【要介護】では「65～74歳」（22.0%）が続いています。

図表 66-1 ■ 調査対象者年齢階層別の介護者の年齢階層



介護者の年齢について、調査対象者の年齢階層別でみると、【要支援】では、調査対象者が65~74歳で「65~74歳」、75~84歳で「75歳以上」、85歳以上で「40~64歳」の割合が最も高くなっています。【要介護】では、調査対象者が65~74歳で「65~74歳」、75歳以上で「40~64歳」の割合が最も高くなっています。

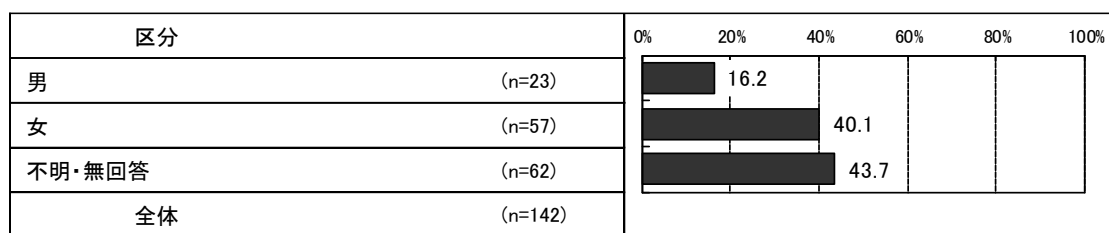
図表 66-2 ■ 介護者の年齢階層別の介護保険サービスの利用状況



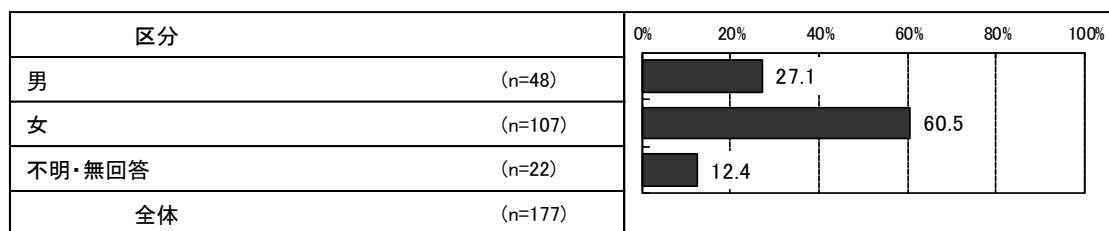
調査対象者の介護保険サービスの利用状況について、介護者の年齢階層別でみると、【要支援】では、介護保険サービスの利用率は介護者の年齢が「40~64歳」では64.7%、「65~74歳」では78.6%、75歳以上では59.4%となっています。【要介護】では、介護者の年齢が「40歳未満」では100.0%、40歳以上では9割前後を占めています。

図表 67 ○ あなた（介護者）の性別はどちらですか。

【要支援】



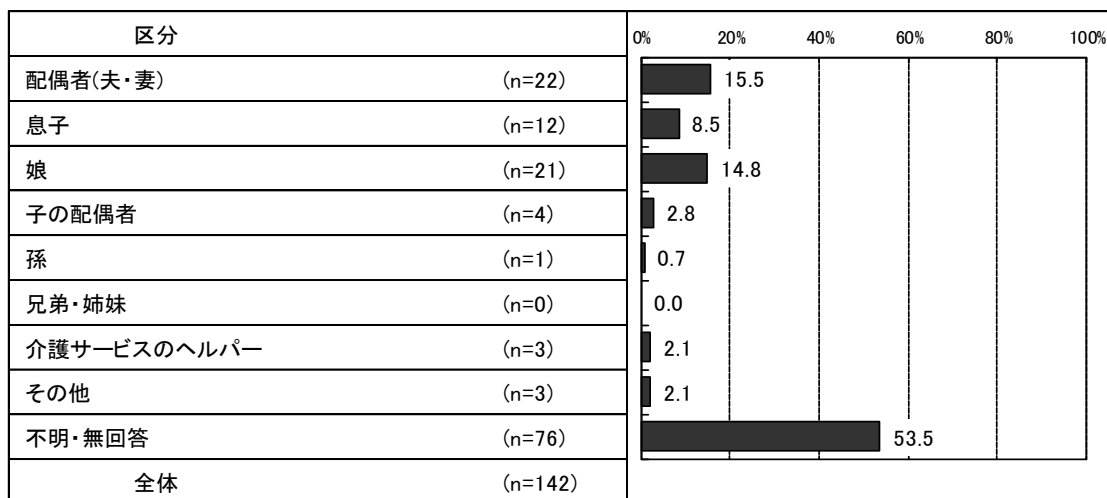
【要介護】



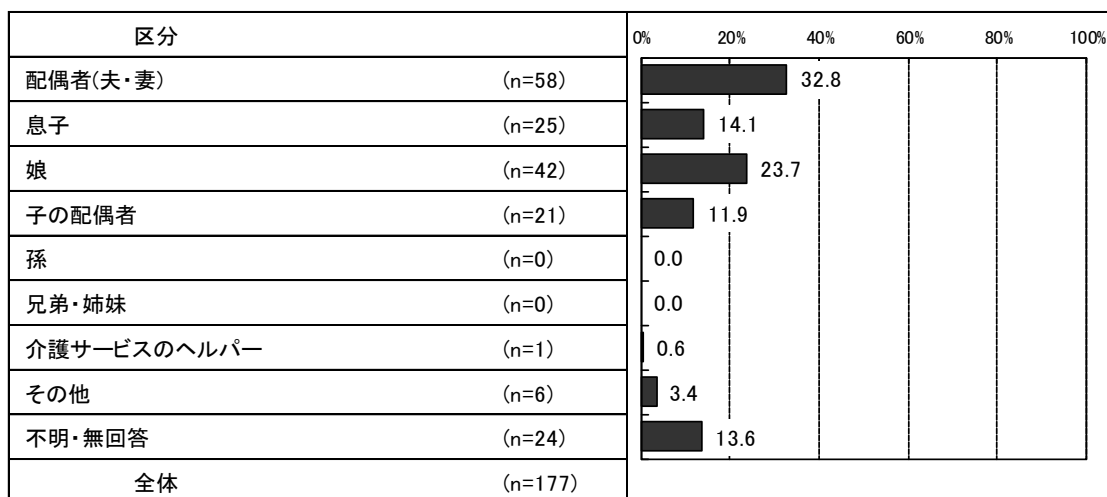
介護者の性別については、【要支援】【要介護】ともに「女性」の割合が高く、それぞれ 40.1%、60.5%となっています。

図表 68 ○ 調査対象者（要介護認定を受けているかた）から見た、あなた（介護者）の続柄についておたずねします。

【要支援】



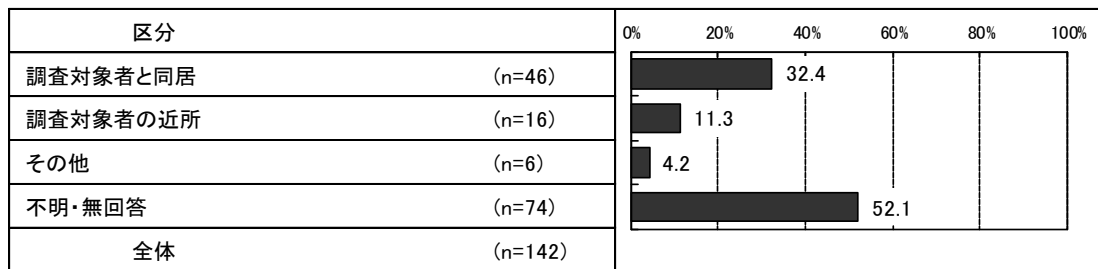
【要介護】



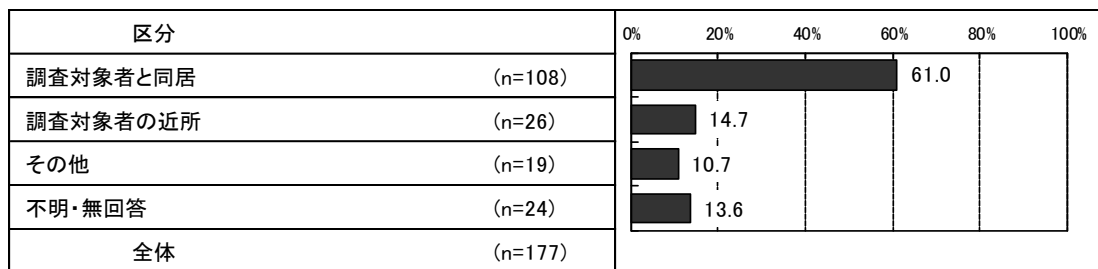
介護者の続柄については、【要支援】【要介護】ともに「配偶者」が、それぞれ 15.5%、32.8%で最も高くなっており、【要支援】では「娘」(14.8%)、「息子」(8.5%)、【要介護】では「娘」(23.7%)、「息子」(14.1%)が続いています。

図表 69 ○ あなた（介護者）のお住まいについておたずねします。

【要支援】



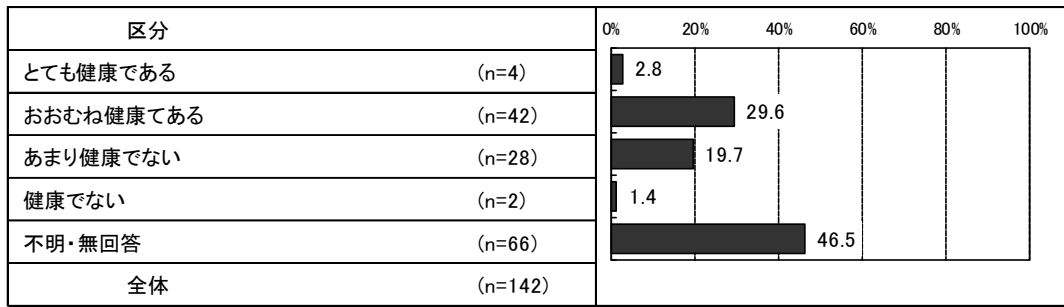
【要介護】



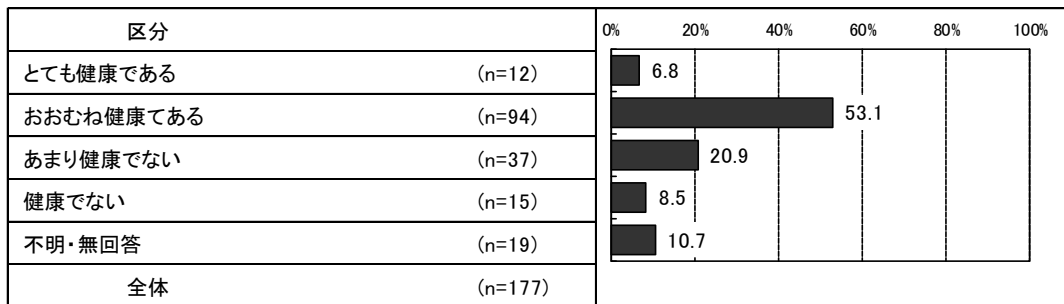
介護者の住まいについては、【要支援】【要介護】ともに「調査対象者と同居」の割合が高く、それぞれ 32.4%、61.0%となっていますが、特に【要介護】では【要支援】と比較して、調査対象者と同居している介護者が多いことがわかります。

図表 70 ○ あなた（介護者）の健康状態についておたずねします。

【要支援】



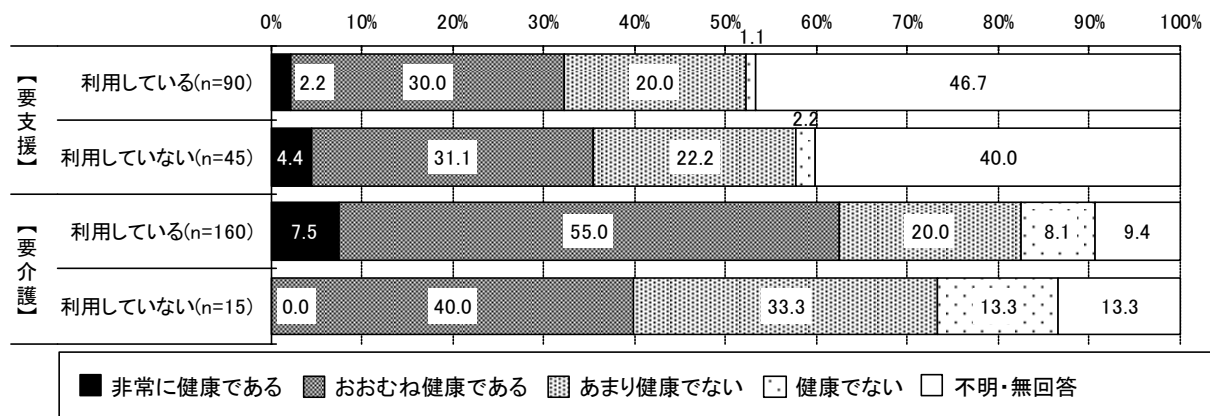
【要介護】



介護者の健康状態については、【要支援】【要介護】ともに「おおむね健康である」が、それぞれ 29.6%、53.1%で最も高くなっています。

また、自身は健康でないと感じている介護者（「あまり健康でない」「健康でない」）は、【要支援】で 21.1%、【要介護】で 29.4%となっています。

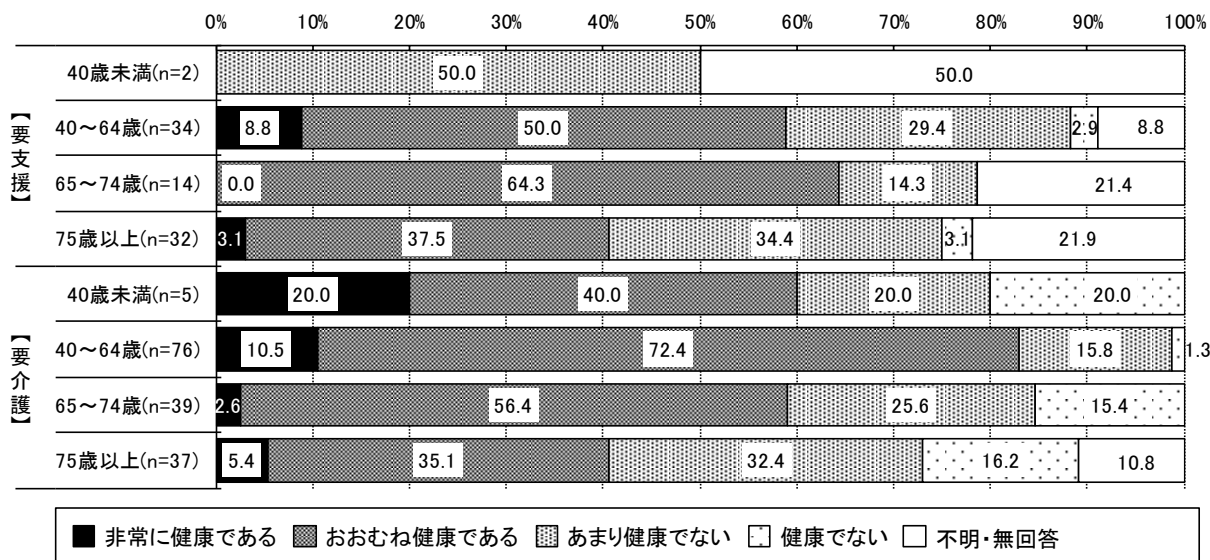
図表 70-1 ■ 介護保険サービスの利用状況別の主観的な健康状態



介護者の健康状態について、介護保険サービス利用状況別でみると、【要支援】では、サービスを「利用していない」で、自身は健康であると感じている介護者（「非常に健康である」「おおむね健康である」）が 35.5%となっており、「利用している」と比べて高くなっています。

一方、【要介護】では、サービスを「利用している」で、自身は健康であると感じている介護者が 62.5%となっており、「利用していない」と比べて高くなっています。

図表 70-2 ■ 介護者の年齢階層別の主観的な健康状態

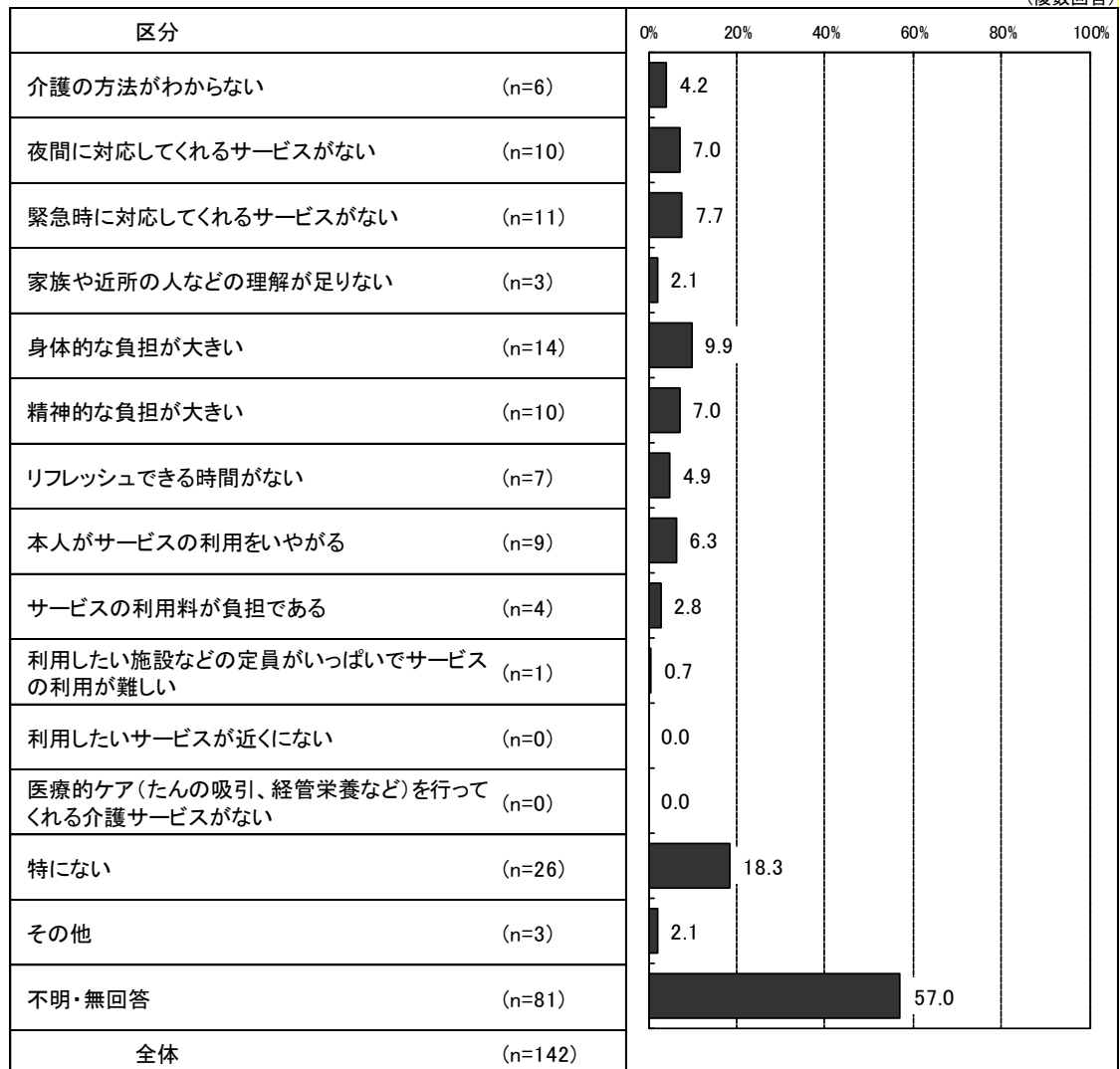


介護者の健康状態について、介護者の年齢階層別で見ると、【要支援】【要介護】とも「おおむね健康である」の割合が高くなっています。【要介護】の40歳以上では、年齢が高くなるほど健康ではない人（「あまり健康でない」「健康でない」）の割合が増加傾向にあります。

図表 71 ○ あなた（介護者）は、介護を行う上で困っていることはありますか。

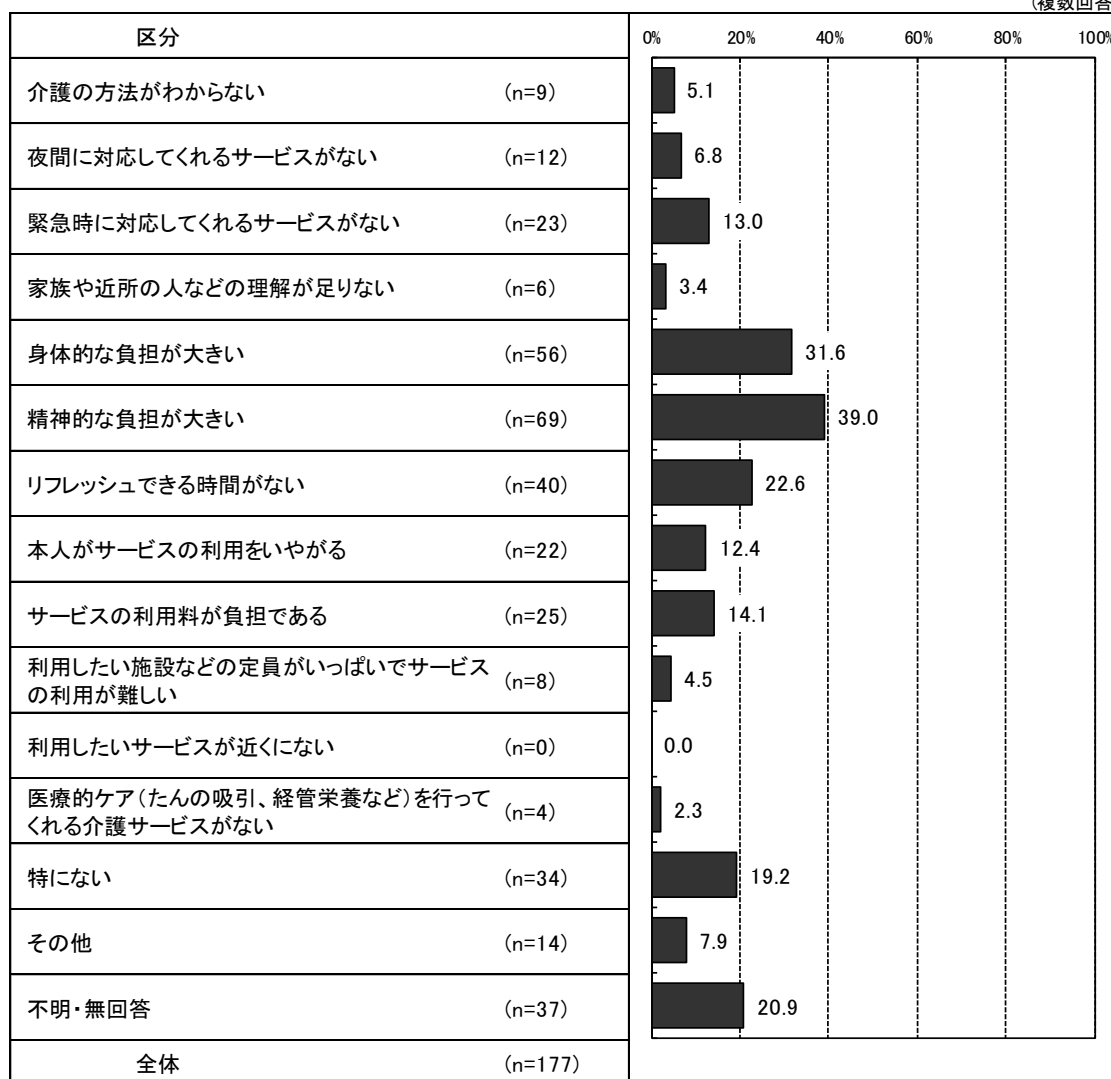
【要支援】

(複数回答)



【要介護】

(複数回答)

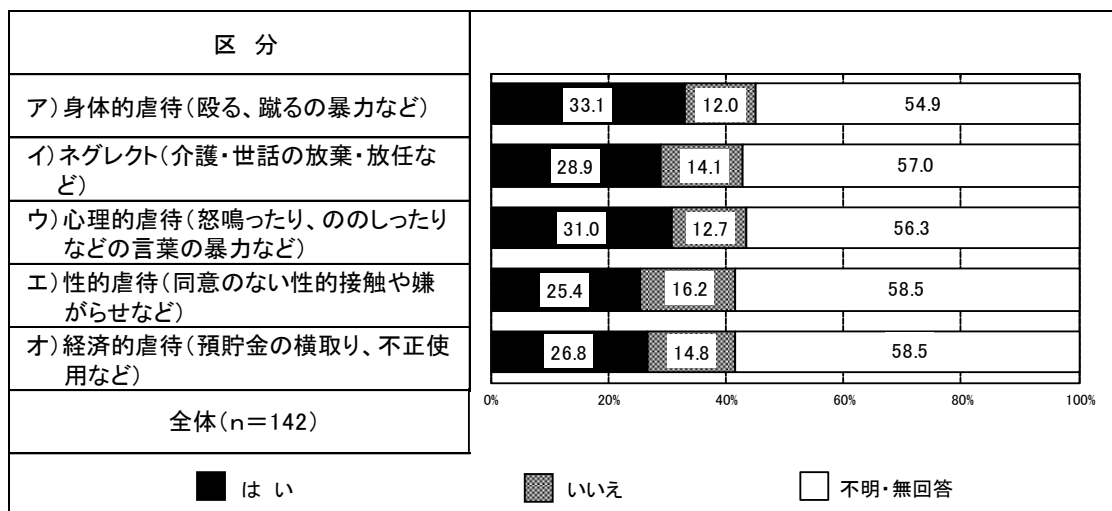


介護者が介護を行う上で困っていることについては、【要支援】では「特にない」が18.3%で最も高く、「身体的な負担が大きい」(9.9%)、「緊急時に対応してくれるサービスがない」(7.7%)が続きます。

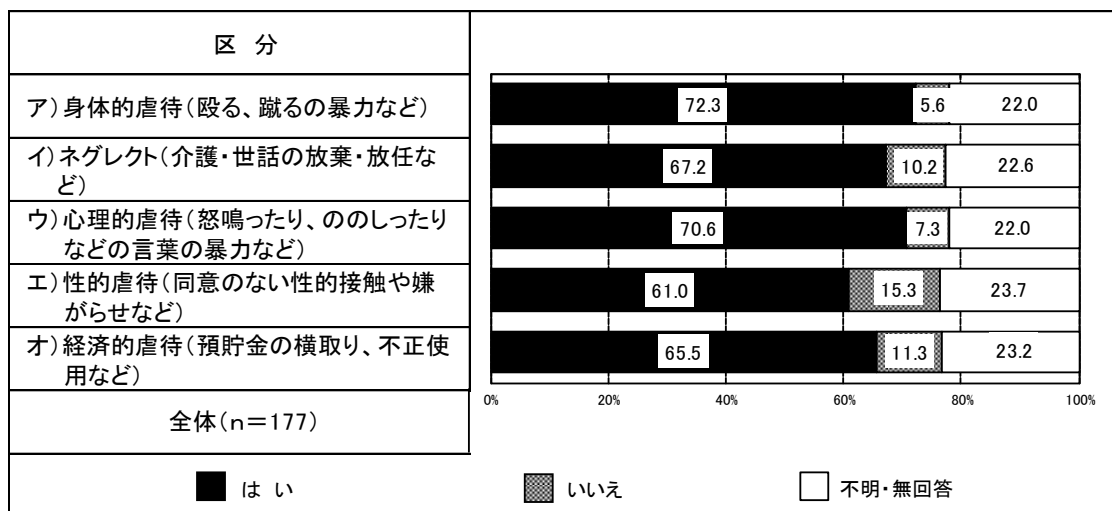
【要介護】では「精神的な負担が大きい」が39.0%で最も高く、「身体的な負担が大きい」(31.6%)、「リフレッシュできる時間がない」(22.6%)が続いています。

図表 72 ○ あなた（介護者）は高齢者への虐待の種類を知っていますか。

【要支援】



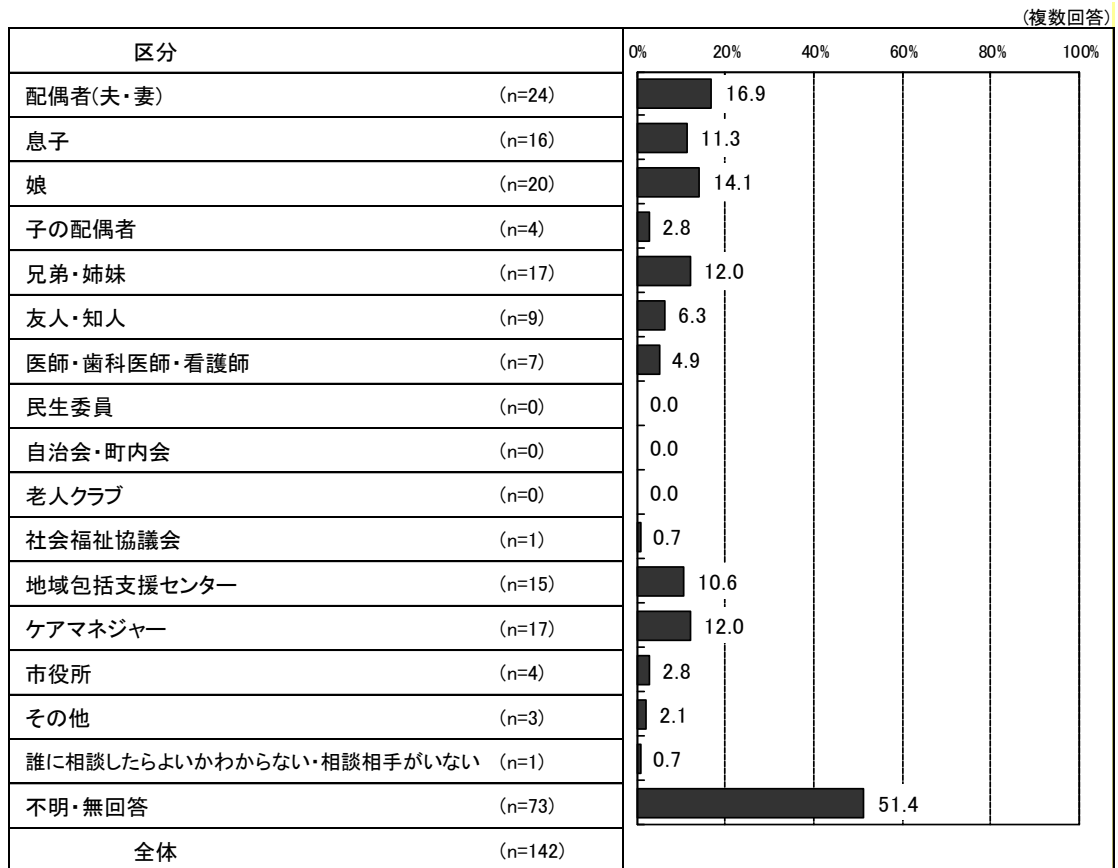
【要介護】



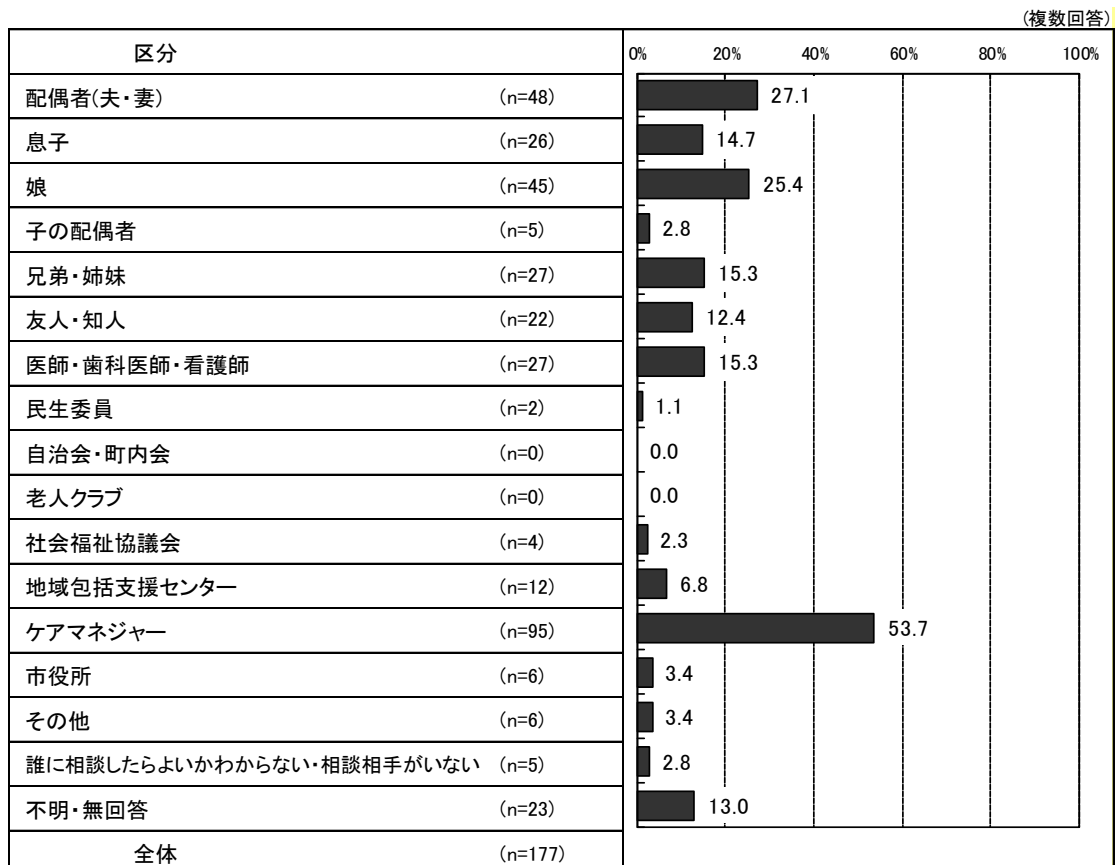
高齢者虐待に関する認知度については、【要支援】【要介護】ともに、すべての項目で「はい」の割合が高くなっています。「はい」の割合は、【要支援】より【要介護】の割合がすべての項目で高くなっています。また、「性的虐待」については、【要支援】【要介護】ともに、他の項目より「はい」の割合が低くなっています。

図表 73 ○ あなた（介護者）は介護に困ったとき誰に相談しますか。

【要支援】



【要介護】



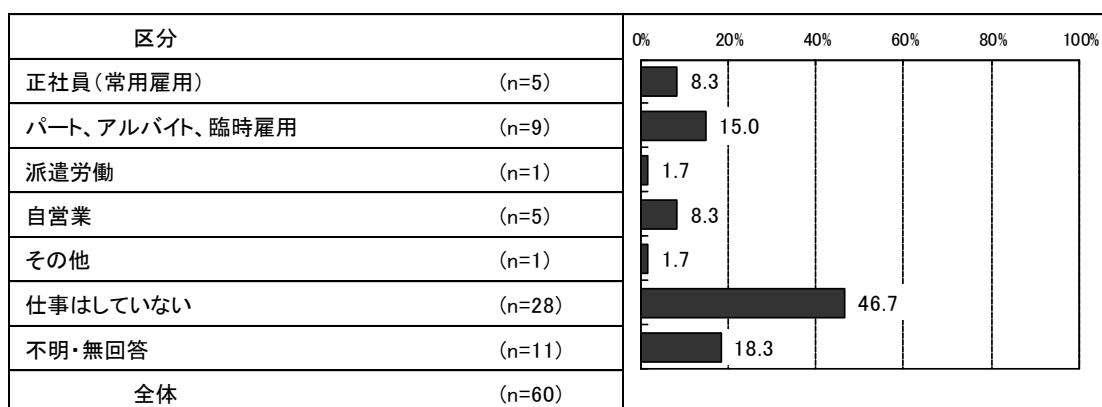
介護者が介護に困ったときに相談する相手については、【要支援】では「配偶者」が16.9%で最も高くなっており、「娘」「兄弟・姉妹」「ケアマネジャー」が続きます。また、「地域包括支援センター」については、【要支援】で10.6%となっています。

【要介護】では「ケアマネジャー」が53.7%で最も高くなっており、「配偶者」「娘」が続きます。また、「地域包括支援センター」については、【要介護】で6.8%となっています。

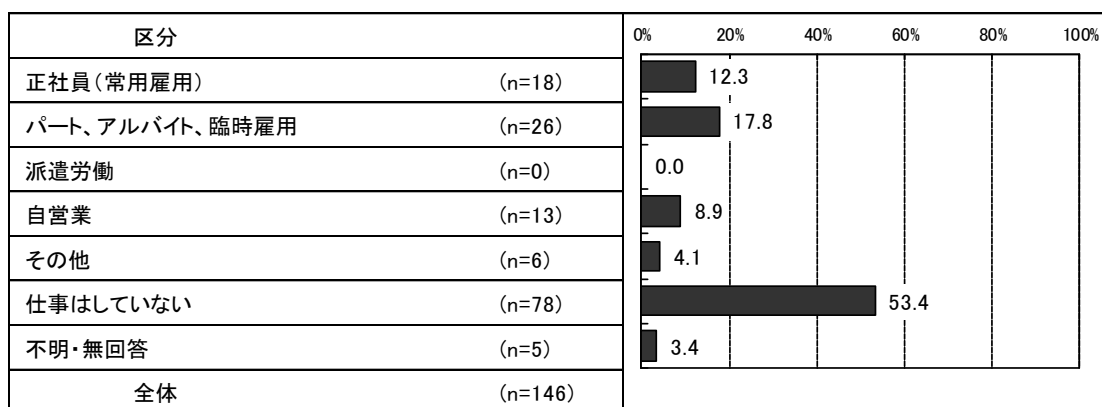
図表 74 ○ あなた（介護者）の仕事の状況について

介護者の仕事の状況については、介護者が家族か親族の場合のみ回答するようになっているため、介護者の属性において、介護サービスのヘルパーなどの家族以外の介護者と回答があった件数や不明・無回答の件数を除いた件数を有効回答数としています。（要支援：60件、要介護：146件）

【要支援】



【要介護】



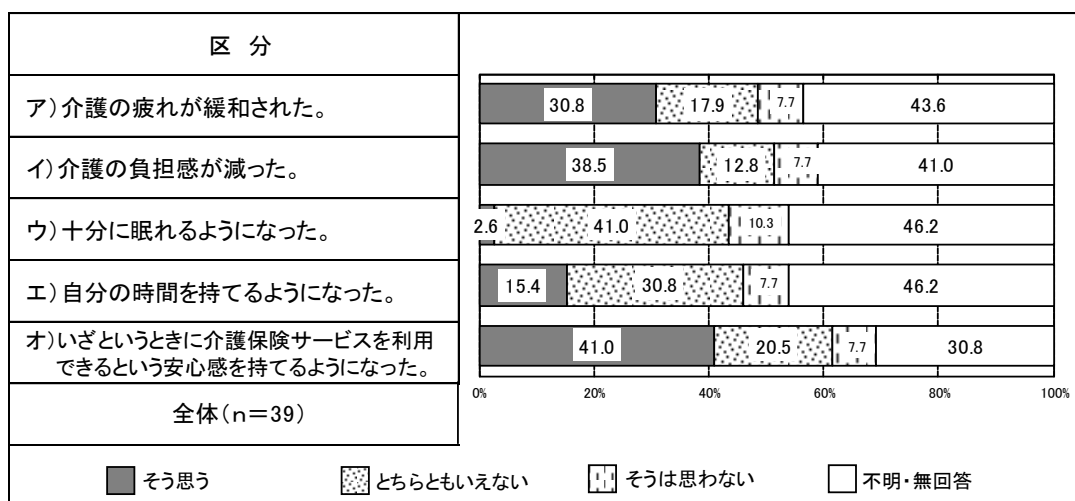
介護者の仕事の状況について、「仕事はしていない」は、【要支援】で46.7%、【要介護】で53.4%を占めています。

図表 75 ○ 介護保険サービスを利用して、あなた（介護者）の生活は、どのように変わりましたか。

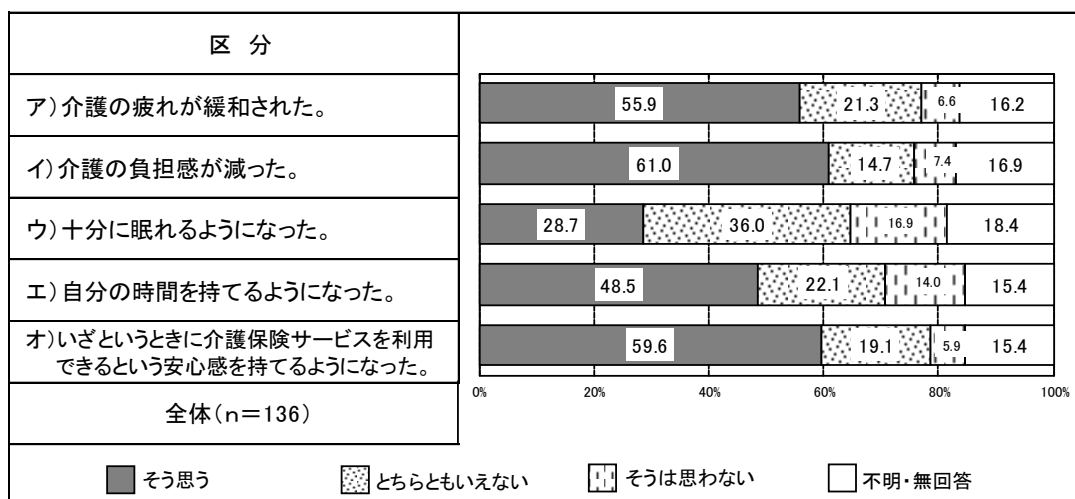
介護保険サービス利用による介護者の生活の変化については、介護者が家族か親族の場合のみ回答するようになっていたため、介護者の属性において、介護サービスのヘルパーなどの家族以外の介護者と回答があった件数や不明・無回答の件数を除いた件数を有効回答数としています。（要支援：60件、要介護：146件）

ただし、本設問は介護保険サービスを利用している介護者に対する限定設問ですので、回答数は、要支援で39件、要介護で136件となっています。

【要支援】



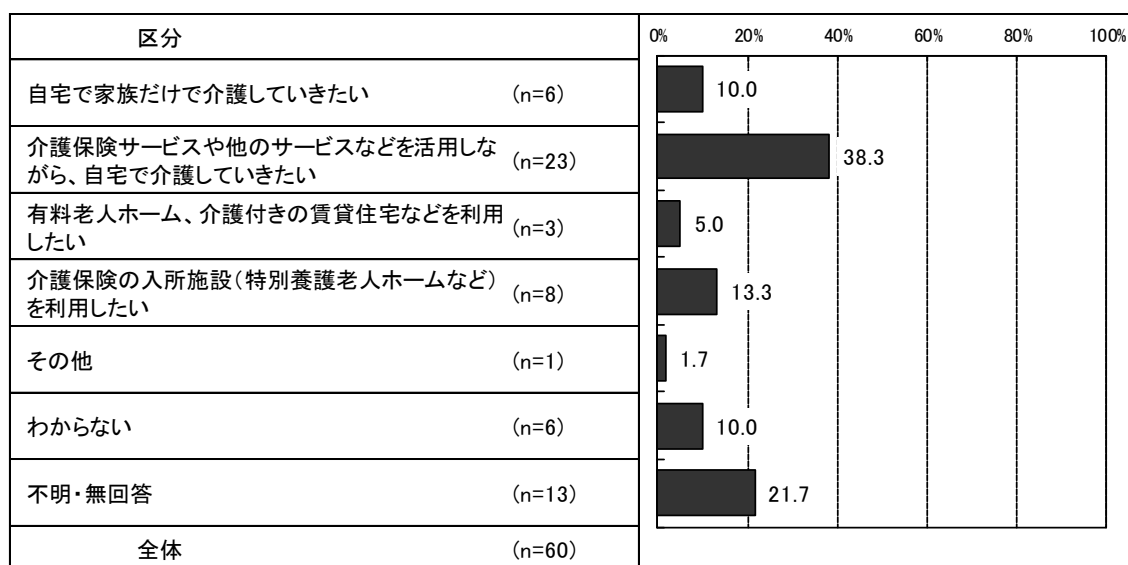
【要介護】



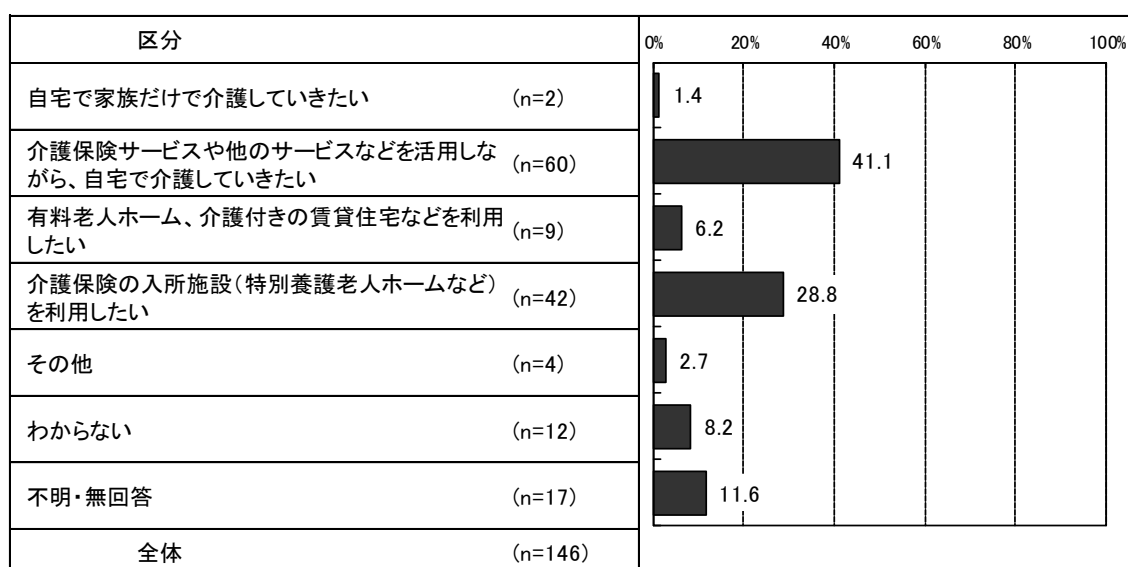
介護保険サービスを利用することによる介護者の日常生活の変化については、「いざという時にサービスを利用できるという安心感を持てるようになった」が、【要支援】で41.0%、【要介護】で59.6%と高くなっています。また、【要支援】【要介護】ともに、「介護の負担感が減った」や「介護の疲れが緩和された」の割合も高くなっています。総じて、【要支援】【要介護】ともに、「いざという時にサービスを利用できるという安心感を持てるようになった」や「介護の負担感が減った」「介護の疲れが緩和された」といった変化がある程度見られている一方で、「十分に眠れるようになった」といった変化は【要介護】では28.7%ですが、【要支援】では2.6%にとどまっています。

図表 76 ○ あなた（介護者）は、今後どのように介護していきたいとお考えですか

【要支援】



【要介護】



介護者の将来の介護希望については、【要支援】【要介護】ともに「介護保険サービスや他のサービスなどを活用しながら、自宅で介護していきたい」が最も高くなっています。

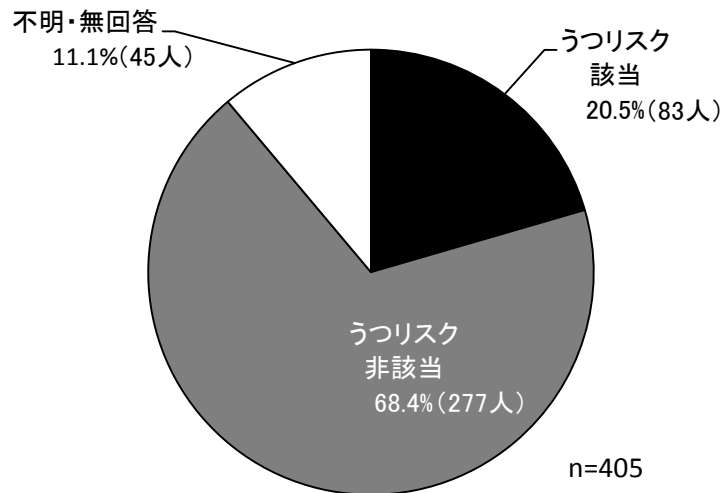
一方、施設入所を希望する人（「有料老人ホーム、介護付きの賃貸住宅などを利用したい」「介護保険の入所施設を利用したい」）は、【要支援】では 18.3%ですが、【要介護】では 34.9%と、【要支援】を約 2 倍上回っています。

生活状況評価（うつ予防・支援）

調査結果から、第1号被保険者を対象にうつ予防・支援に関わる生活状況进行评估します。評価は「介護予防マニュアル（改定版）」（厚生労働省 平成24年3月）において提示された手法に基づいて行い、基本チェックリストに含まれる「うつ」に関する質問項目からうつリスク該当/非該当を評価しました。

図表 77 ○ うつリスク該当/非該当の割合

【1号】



うつリスク該当/非該当の割合をみると、第1号被保険者の約2割が該当、約7割が非該当となっています。

自由回答

第2号被保険者

項目・内容	件数
<p>■介護保険制度について</p>	19
<p>①介護保険料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料は支払うべきと思うが、必要となった時に1割負担しないといけないのはおかしいと思う。 ・保険をかける世代の負担が大きすぎる。 ・介護保険料を納めるのは問題ないが、不正請求等の目に余る不正が多すぎる。 	5
<p>②介護保険施設の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機者の多い介護福祉施設（特養）の取り組みに不明な点があるので、基準に不平等がないようにしてほしい。 ・今後、高齢者が増え、介護の施設が不足する現状を認識すべき。 ・自宅介護も良いが入所施設をもっと作って必要な時に、入所でき安心して暮らせるようにしてほしい。 	4
<p>③介護保険サービスの充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の適応力がとぼしく、使いにくい。必要なサービスが提供されないという不具合がある。 ・本当に必要な人が必要なサービスを選択して、利用していけるようにしていくべきだと思う。 ・介護保険を払っている人が、損をしない制度施策を考えてほしい。 	4
<p>④制度やサービスの周知や情報提供の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度や施設など利用者がわかりやすいことが大切。 ・初歩的な段階からはじまる図式説明を載せた冊子の発行を希望する。 ・介護が必要になった時、まずどこに相談にいけばいいのか。もみじだよりなどで、特集を組んで、お知らせしてほしい。 	3
<p>⑤介護従事者の処遇改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在特養で介護の仕事をしているが、スタッフの人数はギリギリ過酷な労働時間。もう少し仕事に見合った待遇がなければスタッフの質も向上しない。 ・福祉施策も若い方々の雇用につなげ、生きる糧となるように、労働条件をよくしてあげて欲しい。 ・介護の仕事はきついのに給料が看護師に比べて安い。処遇の改善が必要。 	3

項目・内容	件数
<p>■医療・健康について</p>	7
<p>①予防医学・介護予防等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の施策の方法が、最優先、その充実が将来の要介護者の減につながる。 ・健康で長生きでないと、本人も周りの家族も不幸だと思う。病気にならない予防医学にもっと力を入れた方がよい。 ・高齢者が増える中、介護サービスの充実より介護予防にもっと力点がおかれるべき。 	5
<p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕面市民病院の人としての対応、患者への対応、対応のレベルアップを望む。 ・若年で、脳梗塞後遺症を持つものと、介護保険利用者（高齢者）のリハビリ内容が同じというのはおかしい。 	2
<p>■高齢者支援について</p>	6
<p>①生きがい、就労、社会活動等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気で余裕のある60才～70才代の活用。要支援レベルの生活面でのお手伝いを少額の有償ボランティアとして登録し、介護保険を受けるまでの予備部門として働ける場所を作ってほしい。 ・60歳以上の元気な人達の働ける場所をもっと充実してほしい。 ・公的機関において、弱者老人の意見ばかり反映するのではなく、健康で日々暮らしている老人にも目を向け前向きな老後を構築していくべきと思う。 	3
<p>②認知症患者対応の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ばかりのデイサービス施設が近くにあり、気軽に何でも相談できる人がいれば介護も楽になる。 	1
<p>③相談体制の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人の問題で福祉課に相談に行った事がある。些細に思える相談であっても、当事者にとっては大きな問題である場合があり、人権保護という観点が必要である。 	1
<p>④公営住宅・マンションの充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低賃金の公営住宅やマンション等の支援をしてほしい。 	1
<p>■将来の不安について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は仕事をしていて経済的にも安定しているが、あと10年経った頃は、どうなっているだろうかと不安になることもある。 ・主人もいつまで働けるかわからず、家の家賃は上がり来年は消費税が上がるため、将来はとても不安。 ・先の事を考えると暗い気持ちになる。介護保険料は払うだけで、サービスは受けられるのか。 	4

項目・内容	件数
<p>■アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで、これまで日常「介護する側」として考えてばかりだったが、自分もいつか「介護される側」になるということを痛感させられた。自分の問題としてしっかり考えていかなければならない問題だと考え直させられた。こうした調査は大切な活動だと思う。 ・当事者になってみないとわからないことが多いので、1つの手段として、アンケートは良いことだと思う。 ・アンケートの質問内容はとても無意味。これからあるべき制度や施策は、現状で把握できること。 	4
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会（自治会など）を通じて、関係を強化するようにしてほしい。 ・介護保険制度の仕事内容を民生委員に行ってもらえば、介護保険の出費が減るのではないか。 ・ケアマネジャーが中立公正にプランが作成されているか、本人等に聞きとりにこない、チェックを行うべきである。 ・市役所の福祉課の従事者全ての人が市民の問いかけや疑問に答えることができるように指導してほしい。 ・本当に必要などころにお金を使ってほしい。 	18

第1号被保険者

項目・内容	件数
<p>■介護保険制度について</p>	18
<p>①介護保険料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が高すぎる。使うようになったら高くなっても仕方がないと思うが、一度も使わずにいる。 ・介護保険に入ってもお金のある人はいいが、いま食べるのも苦しい人がいる事もわかってほしい。 ・介護保険料の年金からの天引きは禁止すべき。 ・介護保険は、最中一番大変な時期から支払っているが、年齢を上げるのは如何なものか。いろいろな値上だけは極力抑えことを切望している。 ・アンケートや保険証の標記発送などの費用があるならば、包括センター職員が調整し、保険料を減額せよ。 	6
<p>②介護保険施設の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は元気でも、体の悪くなった時にこのまま続けて入居できる施設が多く出来る事を望む。 ・老人用のホーム施設等を利用したくても、現在は不足していて希望時に入居できない。介護保険は何のために納めているのかわからない。 	4

項目・内容	件数
<p>③介護保険サービスの充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護などの在宅での介護サービスを充実させてもらいたい。 ・介護施設での短期入所等を充実させてほしい。（介護者の休養も必要だから） ・介護保険料を支払う一方で、この制度発生以来、一定期間使用しない人に対して何か配慮はないか。 	3
<p>④介護保険制度の充実・見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度や保健福祉施策は当然必要だが、全体のバランスの中で調整してゆけば良い。 ・利用するかどうかは別として、元気な人でも80歳ぐらいになったらすべて申請するようにしたらいいと思う。 	3
<p>⑤制度やサービスの周知や情報提供の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しでも早いうちから制度について詳しく知る機会（高齢者や家族を対象にした勉強会等）を作ってもらえると選択肢が増えるし、準備が出来ると思う。 ・介護保険制度の内容とその利用の仕方を具体的に知る講習などがあると良い。 	2
<p>■医療・健康について</p>	10
<p>①定期検診の検査項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年一回の検診は高齢期に変化がくる項目（視聴覚や筋骨の検診）に特化してほしい。現在、検診では成人とほぼ同じになっている。 ・年に1回の健康診断の内容（無料）を増やしてほしい。動脈硬化、心電図検査、眼底、白血球、赤血球等。 ・後期高齢者になってからの定期検診の検診票を見ると検査項目が少なくなり、もう年だから悪いのが当たり前、検査をするまでもありませんと感じる。 	3
<p>②保健施設の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急車に御世話になる事が増えた。保健福祉施設等でも救急車は出してほしい。 ・保健施設の充実を望む。 	2
<p>③運動講習等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康を対象の運動講習など、80才前後だと参加しにくい。市の主催する講習会等は殆んど65才～70才位の人が多く参加するのに少々ためらいがある。 	1
<p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から今迄感じなかった地域の会合など、福祉施策等に耳をかさなければと思う。 ・出来るだけ二人共健康に気をつけて生活していこうと思う。手軽に入居出来る施設が多く出来るといいと思う。 ・病気に関する専門的なアドバイスを受ける相談窓口が必要だと思う。 	4

項目・内容	件数
■高齢者支援について	11
①外出手段等について ・黄色のゆずるバスの小野原6丁目のバス停をなくさないでほしい。	3
②生きがい、就労、社会活動等について ・夫婦単位又は老令主婦が参加容易な行事、集まりの数が増えると良いと思う。 ・福祉会等では高齢者が幹事を引き受け高齢者の支援をしている。もう少し若い方たちにも参加してほしい。	2
③支援内容の充実について ・出来るだけ自宅での一人の生活が長く出来るように、毎日声かけ買物通院ごみだしなどの支援してほしい。	1
④公営住宅・マンション、入居施設等の充実について ・その時今みたいに待たなくても、すぐ施設に入れる様になっていたら安心して生きていける様に思う。	1
⑤その他 ・過保護にならないように適度に。 ・1人暮らしや家族が少なくなっているので、警察の見回りをお願いしたい。 ・地域に介護が必要な方々を地域包括センター、民生委員、地域福祉会、デイサービス等が連携して完全に把握出来ているのか。	4
■将来の不安について ・現在は主人が働いているので生活は出来ているが、病気や働けなくなった時、安い介護施設に入れるのか不安。 ・今夫婦2人で、子供が居ないので、老後はどちらか1人になった時の事が、とても不安。 ・現在は健康で自立した生活を送っているが、認知症になった時は頼れる施設があるのか不安。	4
■アンケートについて ・高齢者ではあるが健康で仕事も現役な人も多くいる。アンケートでも高齢者イコール介護にむすび付けているが、アンケートの内容に検討は必要。 ・仕事を持ち現役で働いている高齢者に対する質問が少ないと思われるので、解答しにくいように思う。 ・将来の事業計画策定のための調査のようだが、あまり出来ない事は期待させないようにしてほしい。 ・市の担当課が機会を設けて、積極的にPRを行ってほしい。アンケートによる調査ではなく、出向いていき談笑等により生の声を聞いてほしい。	6

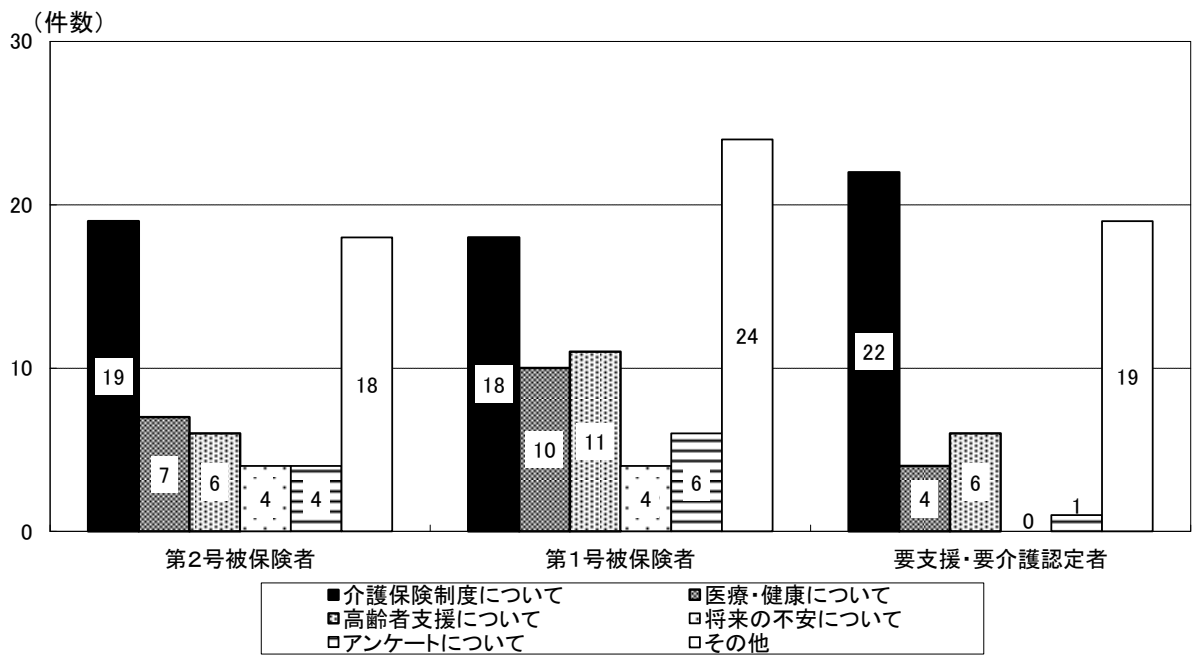
項目・内容	件数
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人が第三者に世話をしてもらっただけでなく、今ある能力を使って誰かのために何かができるといった充実感を持てるような社会（を望む）。 ・老人には全くわからない。私 81 才であるが役所、その他からのアドバイスが全くななし、規定もない。健康であるためであろうか。 ・いつもあたたかい、相談、情報のご支援に感謝している。 	24

要支援・要介護認定者

項目・内容	件数
<p>■介護保険制度について</p>	22
<p>①介護保険サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度や施策の実施は可能なかぎり早く行うことが、市（事業者）にとっても対象者にとっても大切であり有効であると思う。 ・本人がデイサービスの利用などとにかく嫌がって利用する事ができない。 	12
<p>②介護保険料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料が高すぎる。絶対に 1 割負担を 2 割負担にしないように望む。 ・介護保険制度の費用が高すぎる。 ・介護保険料が高すぎる。現在はまだ少し働いているので収入があるが、将来、わずかな年金だけでは、生活もできない不安がある。 	4
<p>③介護保険制度の充実・見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護を受ける身になって、本当に、介護保険制度の素晴らしさ、有難さを感じる。 ・老健に入所していると、外部の医院・病院を自由に受診できないのが何故なのか分からない。 ・将来、介護保険制度は、必ず資金不足に陥る。少子化になり、地域のボランティア育成は大切。 	3
<p>④介護保険施設の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕面市は老人施設等がよく出来ていると思う。 ・これからますます介護を必要とする人が増えている。それだけに福祉施設の充実を望む。 	2
<p>⑤制度やサービスの周知や情報提供の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度自体のしくみが理解しにくい。制度利用時のケアマネジャーの質問のうち、個人情報調査が（身体的な部分を除き）詳細すぎる。 	1

項目・内容	件数
■医療・健康について	4
①予防医学・介護予防等について ・健康づくり、緊急予防の充実、注射等の無料実施を望む。	1
②その他 ・保健福祉策は何なのか具体的に知らない。 ・訪問診療の国の負担が大きく、訪問診療の回数を減らした。	3
■高齢者支援について	6
①手続きの簡素化について ・何をするにも、ものすごい量の書類の作成が必要で手続きがややこしい。もう少し簡素化してほしい。 ・ショートステイをお願いしたが、手続きやショートステイ先を決めるのにかなりの手間をとったが、もっと簡単にできるようにならないか。	2
②緊急連絡体制について ・救急の場合、ケアセンターに電話連絡するが、それからの連絡網が解らなく非常に不安。 ・本人が倒れてしまうと通報できないので、遠方居住家族からの緊急通報のシステム化を望む。	2
③生きがい、就労、社会活動等について ・障害者の外出支援を望む。	1
④相談体制の充実について ・介護で分からない事が多い。相談・問い合わせができる所がわかる様にしてほしい。	1
■アンケートについて ・本アンケートに回答しようにも、施設入所中の認知症重度の利用者にとって、回答の適切な選択肢がみつからない質問が多すぎる。	1
■その他 ・難聴者に対する補聴器の貸与、購入割引の制度があれば良い。 ・歩行困難な者にとっては近くて平な道を歩いていける避難所を望んでいる。 ・ショートステイ利用を希望し、契約する際の医師に書いてもらう診断書の文書料が高額である。 ・要介護2で総合福祉施設あかつきで御世話になっている。皆様御親切で満足している。 ・市役所の方に時々電話するが、福祉関係の皆さまがとても親切に対応してもらい、気持ちが癒された。 ・箕面市や支援センターの方には大変お世話になりとても感謝している。	19

図表 78 ○ 自由回答の内容



自由回答の内容をみると、第2号被保険者、第1号被保険者、要支援・要介護者いずれも「介護保険制度について」が最も多くなっています。

箕面市
第6期高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための
アンケート調査結果報告書

平成26年3月

編集・発行

箕面市役所 健康福祉部 高齢福祉課

電話 072-727-9505 (直通) ファクス 072-727-3539

URL <https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/index.html>